

通信教育実施計画

はじめに

■レポート・映像視聴報告・その他について

- ① タブレット・PC端末を使用します。
- ② Manabie Learner (学習管理システム) を使用して、学習計画の作成、映像授業の視聴やレポート作成、お知らせの確認・メッセージの送信を行います。
- ③ D-FILE (成長度MAPアプリ) を使用して、なりたい自分の設定、成長度MAPの表示、日々の評価振り返り、教職員からのフィードバック受取、e-ポートフォリオへの接続 (成長実績の記録) を行います。

■スクーリングについて

- ① 自分が履修している科目のスクーリング日・時間を確認して指定された教室に入室してください。
(注 1) 遅刻は認めていません。時間に余裕をもって入室しましょう。
(注 2) 体育(実技)は校外施設での実施です。
- ② 個人時間割表に時限ごとの教室名が記載されています。校舎見取図についてはスクーリングしおりおよび校舎1階玄関ホールに掲示してあります。名札を付けてください。
- ③ MIMAMUミマム (授業出席管理アプリ) で授業開始時にQRコードを読み取ってください。QRコードが読み取れない場合は教員に申し出てください。

■単位認定試験について

- ① 単位認定試験は全ての学習が終了 (レポートや映像視聴報告についても合格点をとっていること) しなければ受験できません。
- ② タブレット・PC端末を使用します。
- ③ 自分が履修している科目の試験日・時間を確認して指定された教室に入室してください。
- ④ 遅刻は認めていません。途中退出はできません。
- ⑤ MIMAMUミマム (授業出席管理アプリ) で試験開始時にQRコードを読み取ってください。QRコードが読み取れない場合は試験監督者に申し出てください。
- ⑥ 机には試験で使用する電子機器 (1デバイスのみ 音が鳴らないように設定) ・生徒証・筆記用具 (筆箱・ボールペン不可) のみとしてください。他のデバイスは電源を切ってカバンにしまってください。
- ⑦ 単位認定試験以外のブラウザページ (Manabie Learner [学習管理システム]) は全て削除してください。他のアプリは全て閉じてください。デバイスの通知オフ設定をお願いします。
※試験中に他のアプリ・Manabie Learner (学習管理システム) 以外のサイトの利用が発覚した場合、受験したすべての単位認定試験は無効になり、全ての科目が単位不認定となります。
- ⑧ サーバーのアクセス混雑を防ぐため、試験監督者の指示があるまでマナビラーナーへのログインはしないで下さい。
- ⑨ Manabie Learner (学習管理システム) にログインができない、もしくは試験中にログアウトし、再ログインをする場合は、挙手をし試験監督者の指示に従ってください。
- ⑩ 不正行為防止の為、試験で使用する電子機器は画面を水平にするなど、周囲に見えないように配慮してください。
- ⑪ 試験監督者が不正行為とみなす事象を確認した場合は、全ての科目が無効となり単位不認定となります。
- ⑫ 試験中の私語は厳禁です。不明点等は手をあげて試験監督者にお知らせ下さい。ただし、問題の解答に関する質問は受け付けません。
- ⑬ 万が一、電子機器での解答提出ができない場合、手をあげて試験監督者にお知らせ下さい。
- ⑭ 試験終了後、受験後の問題用紙を試験監督者が回収します。机の右上に置いて下さい。

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位数時間	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
国語	現代の国語	通年	必修	2	70単位数時間 (50分×70)	1単位数時間	東京書籍『新編 現代の国語 2 東書 現国701』	授業者に準ずる	中村 清枝

【教科学習を通じて、育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語的確に理解し効果的に表現することができる、筆者の気持ちの変化や考え、主張の要旨を捉え、今までの学習を生かして自分の興味・関心を確認し、考えをまとめ、伝えようとする資質、能力が育成されている生徒。

【学習目標】

- 〈知識・技能〉 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
- 〈思考・判断・表現〉 論理的に考える力や深く感じたり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- 〈主体的に取り組む態度〉 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

【学習方法】

- ①メディア授業 国語科はとかく文字言語だけを教材としがちである。メディア授業を通じて、音声言語や画像により「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の全般にわたって学習効果を高める。
- ②本校スクーリング 筆者独自の考え方を読み取り、人それぞれが持つ意識の世界に思いをはせる。生きる原点としての自己への理解を深める。
- ③報告課題（レポート） 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語を的確に理解し、効果的に表現する資質・能力を身につける。

○メディア箇所全て
◎ メディア視聴報告書箇所

【年間学習計画】

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位数時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導 (S)		報告課題提出期限	備考
	編	章	節	項					メディア (映像視聴等)	異時異空間 (遠隔指導)		
4月	読むこと	自己を見つける	こそめスープ		6	3	筆者独自の考え方を読み取り、人それぞれが持つ意識の世界に思いをはせることができる。	教科書・映像視聴	○		第1回 5月31日	
4月	読むこと	自己を見つける	ルリボシカミキリの青		12	3	筆者の少年時代の体験について書かれた文章を読み、自分に当てはめて考えている。	教科書・映像視聴	○			
4月	話すこと・聞くこと	自己を見つける	気になるニュースについて話そう		18	4	情報を整理し、内容や構成に注意して話すことができる。	教科書・映像視聴	○		第2回 6月30日	
5月	読むこと	他者に出会う	未来をつくる想像力		24	4	情報と想像力の関係を論じた文章を読み、意見の根拠を的確に理解して筆者の主張をつかんでいる。	教科書・映像視聴	○	○		
5月	読むこと	他者に出会う	メディアとの付き合い方		31	2	さまざまなメディアの特徴を知り、受信者としても送信者としても適切な判断のもと、使い分けができる。	教科書・映像視聴	○			
5月	読むこと	他者に出会う	水の東西		33	5	「水」を巡る日本と西洋の文化の比較を通じて、日本文化の特徴について理解が深まっている。	教科書・映像視聴	○			
5月	読むこと	他者に出会う	評論の読み方・文章の趣旨をまとめてみよう		39	2	評論の書かれ方を理解し、読み方を知っている。	教科書・映像視聴	○		第3回 7月31日	
6月	読むこと	視野を広げる	スキマが育む都市の緑と生命のつながり		68	3	身近な植物を観察してきた成果を述べた文章を読み、提示された新しい視点について理解している。	教科書・映像視聴	◎			
6月	読むこと	視野を広げる	無彩色の色		78	3	色について論じた文章を、具体例の役割を踏まえながら読み、筆者の価値観と主張をつかんでいる。	教科書・映像視聴	○			
6月	話すこと・聞くこと	視野を広げる	情報を整理しながら話し合おう		87	3	話し合いの進め方を工夫し、考えを深めている。	教科書・映像視聴	○		第4回 8月31日	
7月	読むこと	社会と関わる	鍋洗いの日々		94	3	自分の道を切り開いた筆者の体験から、仕事に対する思いを読み取ることができる。	教科書・映像視聴	○			
7月	読むこと	社会と関わる	森で染める人		100	4	自然や社会の中で生きる意味を考えながら働く筆者の思いに触れ、働くということについて考えることができる。	教科書・映像視聴	◎			
7月	読むこと	社会と関わる	真夏のひしこ漁	働くとは？	110	4	海での漁の様子を伝える文章を読み、自然の中での労働について理解を深めることができる。	教科書・映像視聴	○			
7月	書くこと	社会と関わる	権力の職業について調べ、整理してまとめてみよう		122	5	調べたことを整理して、考えたことを分かりやすくまとめる。	教科書・映像視聴	○		第5回 9月30日	
9月	読むこと	世界とつながる	美しさの発見		142	4	「美」という抽象的な題材について論じた文章を読み、その展開を論理的に捉え、筆者の価値観を理解している。	教科書・映像視聴	◎			
9月	読むこと	世界とつながる	りんごのほっぺ		150	3	出来事の流れに着目しながら、能幹下の人々の状況と、作品に一貫する筆者の思いを読み取っている。	教科書・映像視聴	○			
9月	書くこと	世界とつながる	読み手のアドバイスを生かして紹介文を書こう		159	5	助言をもとに描かれて、よりよい文章に仕上げよう。	教科書・映像視聴	○		第6回・映像視聴報告 10月30日	
10月	読むこと	未来に目を向ける	不思議な拍手		166	4	人間の心・意識について体験を踏まえつつ考察する文章を読み、人間への認識を深めている。	教科書・映像視聴	◎			
10月	読むこと	未来に目を向ける	推論の仕方		176	3	推論の仕方を理解し、日常で使える。	教科書・映像視聴	○			
10月	読むこと	未来に目を向ける	真の自立とは		179	3	「自立」の在り方について考察する文章を読み、自分の考えを持ち、視野を広げることができる。	教科書・映像視聴	○			

計70単位数時間

【学習上の注意】

- ☞自分の考え方を広めるために、筆者の気持ちの変化や考え方を意識して学習に取り組みましょう。
- ☞教科書の本文（「読む」）だけではなく、「話す」「聞く」の部分にも注目して学習し、国語力の向上を目指しましょう。

【映像視聴について】



指定された所定時間、所定回数以上を視聴・学習すること。

<https://ww3.tokyo-shoseki.co.jp/api/wizus/index.php?encode=off&id=r4kgk>

【学習評価】

*主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点 評価基準

知識・技能 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。

思考・判断・表現 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理展開などについて、叙述を基に的確に捉え、趣旨や要点を把握している。

主体的に学習に取り組む態度 ・進んで筆者の気持ちの変化や考えを理解し、学習課題に沿って自分の考えをまとめている。日本語の特徴や使い方を学び、それを普段の生活に活かすことができる。

【単位修得認定基準】

①報告課題（レポート）：6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。

②面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に1単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。

③単位認定試験の得点：単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位数時間	必要面接触時数	使用教科用図書	副教材	担当者
国語	言語文化	通年	必修	2	70単位数時間(50分×70)	1単位数時間	東京書籍『新編 言語文化』 2 東書 言文701	授業者に準ずる	中村 清枝

【教科学習を通じて、育てたい生徒像(カリキュラムマネジメント)】

言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解し、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにする。我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解し、各地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について考えを深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて考えることができる生徒。

【学習目標】

- (知識・技能) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
- (思考・判断・表現) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (主体的に取り組む態度) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

【学習方法】

- ①メディア授業 国語科はとく文字言語だけを教材としがちである。メディア授業を通じて、音声言語や画像により「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の全般にわたって学習効果を高める。
- ②本校スクーリング 筆者独自の考え方を読み取り、人それぞれが持つ意識の世界に思いをはせる。生きる原点としての自己への理解を深める。
- ③報告課題(レポート) 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通じて、国語を的確に理解し、効果的に表現する資質・能力を身につける。

○メディア箇所全

◎メディア視聴報告書箇所

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位数時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導(S)		報告課題	備考
	編	章	節	項					メディア(映像視聴学習)	本校スクーリング(授業時数)		
4月	読む	生きる喜び	さくらさくらさくら		10	2	引用歌や体験談に注意しながら、日本独特の桜に対する感性について理解を深める。	教科書・映像視聴	◎			
4月	読む	生きる喜び	「美しい」ということ		18	2	筆者の経験と分析について理解し、「美しい」ということについて考える。	教科書・映像視聴	◎		第1回 5月31日	
4月	読む	触れ合う心	とんかつ		24	4	会話や行動の描写に着目して、登場人物の心情とその変化を読み取る。	教科書・映像視聴	○	○		
5月	読む	命をうたう	柳あをめく・雪の深さを		50	3	短歌・俳句独自の特質と表現効果を理解し、言葉にこめられた情景や心情を読み取る。	教科書・映像視聴	◎		第2回 6月30日	
5月	読む	命をうたう	冬が来た・I was born		58	4	比喩とリフレインの効果を理解して詩を読み味わい、作者のものの感じ方について考える。英文詩を読み、韻律(かげろう)のイメージに託された生命への思いを深く味わう。	教科書・映像視聴	○			
6月	読む	葛藤する心	羅生門		72	5	極限状態にある登場人物の心情の変化を、場面展開に即して読み取り、主題を考える。	教科書・映像視聴	◎		第3回 7月31日	
6月	読む	現実の向こう側	夢十夜		94	4	表現に即して小説を丁寧に読み味わい、そこに展開する独自の世界を味わう。	教科書・映像視聴	◎			
7月	読む	古文の世界へ	古文に親しむ・見のそら寝		118	3	歴史的仮名遣いについて理解し、説話のおもしろさを読み取る。	教科書・映像視聴	○		第4回 8月31日	
7月	読む	日々の思い	徒然草		138	3	随筆に表れた作者の考えを、叙述を基に的確に捉える。	教科書・映像視聴	◎			
7月	読む	日々の思い	枕草子		146	3	作品の内容を自分と関係づけながら、ものの見方、感じ方、考え方を深める。	教科書・映像視聴	◎			
7月	読む	うたの心	折々のうた		154	4	詩歌に表れたものの見方、感じ方、考え方を読み取る。	教科書・映像視聴	○			
8月	書く	うたの心	短歌を作る		167	2	自分の感じたことや伝えたいメッセージなどを、古典的技法に倣って短歌にし、効果的に書く。	教科書・映像視聴	○		第5回 9月30日	
8月	読む	古人の生き方	伊勢物語		170	4	歌物語に描かれている内容を、叙述を基に的確に捉える。	教科書・映像視聴	◎			
8月	読む	旅の心	奥の細道		190	3	構成に注目しながら、作品にこめられた思いを読み取る。	教科書・映像視聴	◎			
9月	読む	漢文に親しむ	訓読の基本		210	3	漢文の特色を知り、訓読のまじりを理解するとともに、格賞に親しむ。	教科書・映像視聴	○			
9月	読む	漢文に親しむ	故事成語一三編		220	3	故事成語の元になった話を読むことを通じて、漢文の読解に慣れ親しむ。	教科書・映像視聴	◎			
9月	読む	漢詩を味わう	絶句と律詩一七篇		228	5	漢詩に描かれている情景や心情を読み取り、優れた表現に親しむ。	教科書・映像視聴	○		第6回・映像視聴 報告 10月31日	
10月	書く	漢詩を味わう	訳詩を書く		235	3	元の漢詩の魅力が効果的に伝わるように、表現を工夫して訳詩を書く。	教科書・映像視聴	○			
10月	読む	論語のことば	論語一八章		238	5	孔子の学問・人間・政治に対する考え方を知り、孔子の思想に興味を持つとともに、ものの見方や考え方を豊かに	教科書・映像視聴	◎			
10月	読む	史話を楽しむ	史話一三編		248	5	話の展開や登場人物の行動を読み取り、史話のおもしろさを味わう。	教科書・映像視聴	○			

計70単位数時間

教科書の本文(「読む」)だけでなく、「話す」「聞く」の部分にも注目して学習し、国語力の向上を目指しましょう。

【映像視聴について】

言語文化 教科書解説動画



指定された所定時間、所定回数以上を視聴・学習すること。

<https://ww3.tekvo-shoseki.co.jp/api/wizus/index.php?encod=off&id=4&gb>

【学習評価】

*主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点	評価基準
知識・技能	・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。
思考・判断・表現	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理展開などについて、叙述を基に的確に捉え、趣旨や要点を把握している。
主体的に学習に取り組む態度	・進んで筆者の気持ちの変化や考えを理解し、学習課題に沿って自分の考えをまとめていく。日本語の特徴や使い方を学び、それを普段の生活に活かすことができる。

【単位修得認定基準】

- ①報告課題（レポート）：6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- ②面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に1単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。
- ③単位認定試験の得点：単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位時間	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
国語	文学国語	通年	必履修	4	140単位時間 (50分×140)	2単位時間	東京書籍 『文学国語』 2東書 分国701	授業者に準ずる	中村 清枝

【教科学習を通じて、育てたい生徒像(カリキュラムマネジメント)】

「思考力、判断力、表現力等」の感性・情緒の側面力、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を育成し、我が国の言語文化に対する理解を深め、深く共感したり豊かに想像したりする力を養う。

【学習目標】

- 〈知識・技能〉 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
- 〈思考・判断・表現〉 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを上げたり深めたりすることができるようにする。
- 〈主体的に取り組む態度〉 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

【学習方法】

- ①メディア授業 言葉そのものを認識したり、説明したりすることを可能にする、学術的な学習の基礎に必要な知識に興味関心を持つ。
- ②本校スクーリング 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点を身に付ける。
- ③報告課題(レポート) 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語を的確に理解し、効果的に表現する資質・能力を身に付ける。

○メディア箇所全て
◎メディア視聴報告書箇所

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位数	学習到達度目標	学習教材	面接指導(S)		報告課題(R)	備考
	編	章	節	項					メディア(授業時学習)	メディア視聴報告書(授業時)		
4月	Ⅰ部	随筆	「光の歌」		8~14	4	・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を深めている。	教科書・映像視聴	◎			
4月	Ⅰ部	随筆	「雨月物語」		15~18	5	・文学的な文章を読むことを通じて、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・進んで『雨月物語』が筆者に与えた影響を読み取り、今までの学習を基として『物語』についての自分の考えをまとめようとしている。	教科書・映像視聴	○			
4月	Ⅰ部	小説1	「山月記」		20~33	4	・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・粘り強く登場人物の心情を把握し、学習課題に沿って主人公の内面と表層を理解して、その生き方について考え、話し合おうとしている。	教科書・映像視聴	○			
4月	Ⅰ部	小説1	「恋」		34~39	4	・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 ・粘り強く『短編小説』が像徴するものを読み取り、学習課題に沿って自分自身の記憶の風景を思い出し、文章を基として考える。	教科書・映像視聴	○			第1回・第2回 5月31日
5月	Ⅰ部	評論1	「言葉を生きたる」		44~49	4	・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・粘り強く筆者の考えをその表層から読み取り、学習課題に沿って『生きたる』と『言葉』の関係について理解を深めようとしている。	教科書・映像視聴	○			
5月	Ⅰ部	評論1	「詩と感情生活」		50~55	5	・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・進んで詩についての筆者の主張を読み取り、学習課題に沿って詩の特質について考えを深めようとしている。	教科書・映像視聴	○			
5月	Ⅰ部	小説2	「山椒魚」		58~70	5	・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・作品に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、作品が成立した背景や他の作品などとの関係性を踏まえ、作品の解釈を深めている。	教科書・映像視聴	○	○		
5月	Ⅰ部	小説2	「神鏡の手記から」		71~92	5	・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・時代背景や登場人物の生き方・考え方を把握し、学習課題に沿って、人間の生と死について考え、まとめようとしている。	教科書・映像視聴	○			第3回・第4回 6月30日
5月	Ⅰ部	詩歌	「歌」「竹」「永訣の朝」		94~103	5	・人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 ・進んで作品に表現された事柄を把握し、学習課題に沿って作品に込められた作者の思いを読み取ろうとしている。	教科書・映像視聴	◎	○		
6月	Ⅰ部	詩歌	梶子の歌-短歌抄		104~107	4	・進んで短歌独自の特質と表現効果を理解し、学習課題に沿って印象に残った歌について、ひかれた理由を考え、まとめようとしている。	教科書・映像視聴	○			
6月	Ⅰ部	小説3	「こころ」		116~148	7	・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章における文体の特質や修辭などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 ・登場人物の関係性と心情を描写から把握し、今までの学習を基として人の心のありようについて考えを深め、自分の考えを話し合おうとしている。	教科書・映像視聴	○			
6月	Ⅰ部	評論2	「文学のふるさと」		150~160	5	・具体例と筆者の主張との関係に注意して本文を読み、学習課題に沿って文学のふるさとについて、筆者の考えを理解し、まとめようとしている。	教科書・映像視聴	○			第5回・第6回 7月31日
7月	Ⅰ部	評論2	「文学の未来」		161~168	4	・文学作品とテキスト、読者の関係について筆者の考えを読み取り、学習課題に沿って文学作品を読む意義についてまとめようとしている。	教科書・映像視聴	○			
7月	Ⅱ部	随筆1	「国語から就立って」		190~198	6	・文学的な文章を読むことを通じて、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・筆者の多言語体験に基づいた考えを読み取り、学習課題に沿って言葉と自分との関係について考えを深めようとしている。	教科書・映像視聴	◎			
7月	Ⅱ部	随筆1	「書かれた風景の中へ」		199~204	6	・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・粘り強く筆者の読書体験を読み取り、学習課題に沿って二つの随筆を比べ、日本語の特色について考え、話し合おうとしている。	教科書・映像視聴	○			第7回・第8回 8月31日
8月	Ⅱ部	小説1	「檸檬」		206~216	6	・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・『私』の冒頭や心理を表現に即して読み取り、学習課題に沿って『私』の心情の描かれ方について考え、話し合おうとしている。	教科書・映像視聴	◎			

8月	Ⅱ部	小説1	「コンピニの母」	217～222	7	・情景の豊かさや心構の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・登場人物の言動や心理を表現し即して読み取り、学習課題に沿ってさまざまな立場から現代社会における人間関係について考え、話し合おうとしている。	教科書・映像視聴	○	○	第9回・第10回 9月30日
8月	Ⅱ部	詩歌	金剛の露-俳句抄	232～235	4	・情景の豊かさや心構の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・俳句独自の特徴と表現効果を知り、学習課題に沿って想像力を働かせながら句の主題を読み取り、印象に残った句について書こうとしている。	教科書・映像視聴	○		
8月	Ⅱ部	詩歌	「平仄」	236～244	4	・韻文とその解釈によって描き出される人物像の違いを探え、学習課題に沿って筆者の主張について読み取り、自分の考えをまとめようとしている。	教科書・映像視聴	○		
8月	Ⅱ部	詩歌	「小謡なる古城のほとり」	230～231	4	・情調的に文脈の響きや五七調のリズムに親しみ、学習課題に沿って詩に描かれた情景や作者の心情を読み取ろうとしている。	教科書・映像視聴	○		
8月	Ⅱ部	随筆2	「空っぽの瓶」	248～254	4	・人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 ・粘り強く人物を語る筆者の体験や考えを読み取り、学習課題に沿って言葉と存在の関わりについて、考えようとしている。	教科書・映像視聴	○		
9月	Ⅱ部	随筆2	「クレールという女」	255～264	7	・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・筆者の読書体験を読み取り、学習課題に沿って人間の生き方について、自分の考えをまとめようとしている。	教科書・映像視聴	○		
9月	Ⅱ部	戯曲	「父と暮らせば」	266～289	5	・通んで対話の中から登場人物の状況や心情を読み取り、学習課題に沿って「平仄」や「まきること」について自分の考えをまとめようとしている。	教科書・映像視聴	○		第11回・第12回 映像視聴報告 10月31日
9月	Ⅱ部	小説2	「舞姫」	292～328	10	・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・粘り強く主人公の考え方や行動について、時代背景を踏まえながら読み取り、学習課題に沿って自分の考えをまとめ、話し合おうとしている。	教科書・映像視聴	○		
9月	Ⅱ部	評論	「演技する「私」」	330～334	5	・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を深めている。 ・粘り強く筆者の主張を読み取り、学習課題に沿って小説における作者と小説内の「私」との関係について理解し、考えをまとめようとしている。	教科書・映像視聴	○		
10月	Ⅱ部	評論	「映画の可能性のために」	335～344	4	・人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 ・粘り強く「バルザック」と「カミュ」の視点の違いを理解し、学習課題に沿って選んだ作品がどちらの視点であるか考えをまとめ、話し合おうとしている。	教科書・映像視聴	○		
10月	Ⅱ部	小説3	「葉桜と農笛」	348～359	4	・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・粘り強く物語の展開を把握し、登場人物の心情を読み取り、学習課題に沿ってこの作品における時間の流れの役割について話し合おうとしている。	教科書・映像視聴	○		
10月	Ⅱ部	小説3	「穽」	362～372	3	・人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 ・粘り強く視点の移動に注意しながら描かれた場面や状況を読み取り、学習課題に沿って作品の主題について複数の観点から考え、話し合おうとしている。	教科書・映像視聴	○		

140
計140単位時間

○メディア箇所全て
◎メディア視聴報告書箇所

【学習上の注意】

- 教科書を参考にしながら、丁寧に課題へ取り組みましょう。
- 教科書の本文(「読む」)だけでなく、「話す」「聞く」の部分にも注目して学習し、国語力の向上を目指しましょう。

【映像視聴について】

指示された所定時間、所定回数以上を視聴・学習すること。
https://ww3.tokyo-shuseki.co.jp/api/wjrus/index.php?mc_code=nlff&id=5kbu



【学習評価】

*主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点	評価基準
知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。
思考・判断・表現	文章や資料を対象化して、その正誤や適否を吟味したり検討したりしながら考える力や、それを踏まえて自分自身の思考を意識的に吟味する力を論理的に表現できる。
主体的に学習に取り組む態度	現代社会における様々な問題の解決に資する言語の価値に重点を置き、言葉を通して他者や社会に関わろうとすることができる。

【単位修得認定基準】

- 報告課題(レポート)：12回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 面接指導(スクーリング)：実施校で行われる面接指導に4単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。
- 単位認定試験の得点：単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

教科	科目	前講期間	版修	単位数	年間自学習単位数	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
国語	論理国語	通年	必履修	4	140単位時間 (50分×140)	2単位時間	東京書籍 『新編論理国語』 2 東書 論国701	授業者に準ずる	中村 清枝

【教科学習を通じて、育てたい生徒像(カリキュラムマネジメント)】

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成し、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとすることができる。

【学習目標】

(知識・技能)

実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

(思考・判断・表現)

論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをぶつけたり深めたりすることができるようにする。

(主体的に取り組む態度)

言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

【学習方法】

- ①メディア授業
- ②本校スクーリング
- ③報告課題(レポート)

言葉そのものを認識したり、説明したりすることを可能にする、学術的な学習の基礎に必要な知識に興味関心を持つ。

文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点を身に付ける。

論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにする力を身に付けることで論理的な思考力の育成を図る。

○メディア箇所全て

◎メディア視聴報告書箇所

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位数	学習到達目標	学習教材	面接指導(S)		報告課題(R)	備考	
	編	章	節	項					メディア(授業後学習)	本校スクーリング(授業後)			締切期限
4月	I部	広がる風景	対話とは何か		8-14	5	・文や文章の他動的な読み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ・「読むこと」において、文章の構成を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要約を捉えている。 ・情報的に筆者が伝える「おしべり」と「対話」の違いを捉え、学習課題に沿って自分の生活におけるコミュニケーションの取り方を振り返ってまとめている。	教科書・映像視聴	○		第1回・第2回 5月31日		
4月	I部	広がる風景	世界を作り替えるために		15-22	5	・筆者には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを通して、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点を身に付けることができるようにしている。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。	教科書・映像視聴	◎				
4月	I部	考える手がかり	少女たちの「ひらしま」		26-36	5	・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点を身に付けることができるようにしている。	教科書・映像視聴	○	○			
5月	I部	考える手がかり	「ふし」ということ		37-43	6	・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の他動的な読み立て方や接続の仕方について理解を深めている。	教科書・映像視聴	○				
5月	I部	人間と知性	学びことと人間の知恵		56-65	4	・「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の意図や目的を読み取る。資料の信頼性を確かめる。 ・情報的に論理の展開を捉えて筆者の考えを理解し、今までの学習を生かして人間の思考や学びことの意義について、コンピュータと比較することによって筆者の意図と自分の考えを整理することができる。	教科書・映像視聴	○			第3回・第4回 6月30日	
5月	I部	人間と知性	クラブアップ「抱えた「罪人」		66-72	6	・議論の仕方について理解を深めている。 ・情報的に筆者の主張や事実と関係に注目し、読み手が読み取り、今までの学習を生かして人間の思考や学びことの意義について、複数の文章を読み比べながら、考えを深めようとしている。	教科書・映像視聴	○				
5月	I部	授業の中で	思考の筋道		76-82	4	・本文の主旨について、「傍注」の役割を持っている段落がどこか、指摘することができる。 ・「思考」のために必要な「筋道」とはどのようなものか理解する。 ・振り返り活動によって表現された筆者の主張を読み取り、学習課題に沿って筆者が伝える「思考」のあるべき点について理解を深めようとしている。	教科書・映像視聴	○				
6月	I部	授業の中で	安心について		83-91	6	・「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の意図や目的を読み取る。資料の信頼性を確かめる。 ・情報的に論理の展開を捉えて筆者の考えを理解し、学習課題に沿って筆者が伝える「安心」の本質について考えを深め、まとめようとしている。	教科書・映像視聴	○				
6月	I部	ものの見方	脳内現象は自然の摂理中		102-113	8	・この文章における筆者の前提とそれに対する主張が書かれている部分を探し、文章の構成を理解している。 ・「読むこと」の目的や意図を捉え、読み取ることができる。 ・「読むこと」の目的や意図を捉え、読み取ることができる。 ・「読むこと」の目的や意図を捉え、読み取ることができる。	教科書・映像視聴				第5回・第6回 7月31日	
6月	I部	ものの見方	数珠の「わたし」		114-121	8	・「わたし」は、常に複数の役割を持って生きています。」とは、どのようなことを読み取ることができる。 ・「わたし」は、常に複数の役割を持って生きています。」とは、どのようなことを読み取ることができる。 ・「わたし」は、常に複数の役割を持って生きています。」とは、どのようなことを読み取ることができる。	教科書・映像視聴	◎				
7月	I部	働くよろこび	はじめに「言葉」がある		124-131	8	・「働く」とは「生産」にたどり着くこととは、どのようなことを読み取ることができる。 ・「働く」とは「生産」にたどり着くこととは、どのようなことを読み取ることができる。 ・「働く」とは「生産」にたどり着くこととは、どのようなことを読み取ることができる。	教科書・映像視聴					
7月	I部	働くよろこび	家に働くこと、楽しく働くこと		132-137	6	・本文に記されている「家」に働くことと「楽しく働くこと」の違いを注目することができる。 ・「働きの間」に「意味の間」に「論議の間」を意味しながら質問を考えることができる。	教科書・映像視聴	○				
7月	II部	物性を聞く	最初のペンギン		168-175	6	・「神ならぬ」や「有るの立場」などの語句、および「神」と「人間」の対立図式を捉え、第一段の内容を整理することができる。 ・またまたまた、本質的なもので決断し、決断の中に真っ直ぐに飛び込む「最初のペンギン」の行動の意義を捉えることができる。 ・「不確実な状況下」でどう決断して行動するかということについて考える。	教科書・映像視聴		○			
7月	II部	物性を聞く	豊かさと生物多様性		176-183	6	・「働きの間」に「意味の間」に「論議の間」を意味しながら質問を考える、まとめることができる。 ・生物多様性を大切にしようとする必要の重要性について、具体的に読み取り、まとめることができる。	教科書・映像視聴	◎			第7回・第8回 8月31日	
8月	II部	新しい視点から	物語の外から		186-193	6	・「働きの間」に「意味の間」に「論議の間」を意味しながら質問を考える、まとめることができる。 ・「働きの間」に「意味の間」に「論議の間」を意味しながら質問を考える、まとめることができる。	教科書・映像視聴	○				
8月	II部	新しい視点から	カフェの閉店準備		193-199	4	・日本の将来の光景から広がっていく筆者の思考を手がかりにして、自分の日常を見つめることができる。 ・第一・二段に書かれている「喫茶店の閉店準備」を通じての筆者の考えを整理している。	教科書・映像視聴	○	○			
8月	II部	科学と人間	観としてのアンドロイド		210-218	6	・「働きの間」に「意味の間」に「論議の間」を意味しながら質問を考える。「技術開発」をもたらす「新たな意味」とは何かを読み取ることができる。 ・アンドロイドの研究を踏まえて評論を読んで、人間に対する筆者の考えを整理することができる。	教科書・映像視聴	◎				
8月	II部	科学と人間	ロボットが人間にならなくとも		219-227	6	・「この間」は、単純な技術の問題ではない。」とあるが、なぜそういえるのかを読み取ることができる。 ・「近年の発展はこのイメージを押しつづめる。」とは、どのようなことを読み取り、哲学的な思考によって書かれた評論を読んで、人間の存在や自由について理解を深めることができる。	教科書・映像視聴	○				

9月	Ⅱ部	豊かな認識	言葉は「ものの名前」ではない	232-239	8	・「ギリシア以来の伝統的な言語観」がどのようなものから成り立っているかを理解することができる。 ・「名」や「意味」が「認識の中心」の理由を、また、「ギリシア以来の伝統的な言語観」の問題点を理解している。 ・言語と認識の関係について、具体例をもとに主観と客観の両面から、言葉の働きについて考えることができる。	教科書・映像視聴	○		第9回・第10回 9月30日
9月	Ⅱ部	豊かな認識	科学的「発見」とは	240-248	6	・「発見を繰り返す」ということは、それは必ずしも発見ではない、「見」という考えの探求、第二段階から理解することができる。 ・「探求する力」(P158-161)を事例にしながら、本文の中心的な「問い」と「主張」をまとめ、本文中の二つの議論を対照して読み、科学的視点の持ち方とその意義を理解することができる。	教科書・映像視聴	○		
9月	Ⅱ部	知のゆくえ	知識における作者性と創造性	262-270	8	・「情報の多い」「意味の深い」「論証の強い」を議論しながら質問を考えることができる。 ・「ネット情報」と「図書館に収められている本」とについて、筆者の言う「作者性」における違いをまとめることができる。 ・インターネットと本を比較しながら書かれた評論を読み、情報と知識について理解を深められる。	教科書・映像視聴	○		
9月	Ⅱ部	知のゆくえ	もう一つの知性	271-279	5	・「情報化社会」とはどのような社会を言うのか、また、情報化社会で重要なことは何か、意見を述べ合うことができる。 ・科学的思考とは異なる思考の在り方を理解し、現代社会を生き抜くうえで必要な態度について考えることができる。	教科書・映像視聴	◎		
10月	Ⅱ部	明日をみつめて	ホンモノのおかめの作り方	282-290	4	・「言葉の表現、電子メールの仕組み、行状、行状など、読者や読者に資する知識を意図的に上げ、深い知識や考えを表現し合うことができる。 ・「何か」多岐の仕組みと原理を正確に、「ホンモノの代わり」が「ホンモノ」に代わる過程を理解している。 ・「その時々のホンモノ」「ホンモノの形而上学」などの語句に注意して、筆者の議論の妥当性を確認し、更にその結論を通して、筆者は何を言おうとしているのかを考えることができる。	教科書・映像視聴	○		第11回・第12回・映像視聴報告 10月31日
10月	Ⅱ部	明日をみつめて	未来のありか	291-301	4	・「未来の物語」「未来の時間」について考えたことを、具体的に挙げることができる。 ・未来の物語の予想や予感や想像が個々の意識の中に生まれ、社会生活の中で共有されていく過程について読み取り、まとめることができる。	教科書・映像視聴	○		

140

計140単位時間

報告課題学習終了目安日 (4月学習開始例)

○メディア箇所全て

◎ メディア視聴報告書箇所

【学習上の注意】

※教科書を参考にしながら、丁寧に課題へ取り組みましょう。

※教科書の本文(「読む」)だけでなく、「話す」「聞く」の部分にも注目して学習し、国語力の向上を目指しましょう。

【映像視聴について】

指示された所定時間、所定回数以上を視聴・学習すること。

<https://www3.tokyo-shoseki.co.jp/api/wibus/index.php?encodes=off&id=5ku>



【学習評価】

*主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点	評価基準
知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。
思考・判断・表現	文章や資料を対象化して、その正誤や適否を吟味したり検討したりしながら考える力や、それを踏まえて自分自身の思考を意識的に吟味する力を論理的に表現できる。
主体的に学習に取り組む態度	現代社会における様々な問題の解決に資する言語の価値に重点を置き、言葉を通して他者や社会に関わろうとすることができる。

【単位修得認定基準】

①報告課題(レポート)：12回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。

②面接指導(スクリーニング)：実施校で行われる面接指導に4単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。

③単位認定試験の得点：単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

教科	科目	単位数	教科書	副教材	担当者
国語	読解国語研究 I	2	日本語検定公式練習問題集 3 訂版 4 級 (日本語検定委員会編)		中村 清枝

【学習目標】

日本語を学び、語彙を増やしながら正しい使い方を身につけ、日本語検定 4 級の取得を目指すとともに、自分で考え判断する力を養う。

【教科学習を通じて、育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語を的確に理解し、効果的に表現する資質・能力を有する生徒。

【学習方法】

① メディア授業

敬語・文法の特徴や使い方を理解する力を身につける。

② 本校スクーリング

- ・敬語について学び、正しく敬語を使うことができる。
- ・言葉の意味について学び、文脈に即した言葉を正確に選ぶことができる。

③ 報告課題（レポート）

言葉の特徴や使い方を理解する力を身につける。

【学習評価】

*主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。

評価観点	評価基準
知識・技能	・正しい日本語の使い方を知り、会話や本にある言葉の「読み解く力」がある。
思考・判断・表現	・考えたことを、より多くの言葉で言語化することで、深く考えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	・日本語の特徴や使い方を学び、それを普段の生活に活かすことができる。

【年間学習計画】

学習月	単元及び主な学習内容	面接指導 (S)		報告課題 (R)	学習到達度目標
		メディア	スクーリング	締切期限	
4月	敬語(1)	◎		第1回 5月31日	場面や相手に応じて、尊敬語や謙譲語を適切に使い分けることができる。
4月	敬語(2)	◎			場面や相手に応じて、尊敬語や謙譲語を適切に使い分けることができる。
5月	文法 (言葉のきまり)	◎	○	第2回 6月30日	規範的な文法に従って語と語を接続させることができる。
6月	語彙(1)	○	○	第3回 7月31日	さまざまな言葉を正しく理解し、適切に使うことができる。
6月	語彙(2)	○			さまざまな言葉を正しく理解し、適切に使うことができる。
7月	言葉の意味(1)	○		第4回 8月31日	慣用句なども含め、意味と用法を的確に把握することができる。
7月	言葉の意味(2)	○			慣用句なども含め、意味と用法を的確に把握することができる。
8月	表記(1)	○		第5回 9月30日	漢字、仮名遣い、送り仮名について、文脈に合った適切な使い方ができる。
8月	表記(2)	○			漢字、仮名遣い、送り仮名について、文脈に合った適切な使い方ができる。
9月	漢字(1)	○		第6回・ 映像視聴 報告 10月31日	漢字や熟語の読み方と意味を理解し、適切に使い分けることができる。
10月	漢字(2)	○			文漢字や熟語の読み方と意味を理解し、適切に使い分けることができる。

教科	科目	単位数	教科書	副教材	担当者
国語	読解国語研究Ⅱ	2	日本語検定公式練習問題集 3訂版 3級 (日本語検定委員会編)		中村 清枝

【学習目標】

日本語を学び、語彙を増やしながら正しい使い方を身につけ、日本語検定3級の取得を目指すとともに、自分で考え判断する力を養う。

【教科学習を通じて、育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語を的確に理解し、効果的に表現する資質・能力を有する生徒。

【学習方法】

① メディア授業

敬語・文法の特徴や使い方を理解する力を身につける。

② 本校スクーリング

- ・敬語について学び、正しく敬語を使うことができる。
- ・言葉の意味について学び、文脈に即した言葉を正確に選ぶことができる。

③ 報告課題（レポート）

言葉の特徴や使い方を理解する力を身につける。

【学習評価】

*主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。

評価観点	評価基準
知識・技能	・正しい日本語の使い方を知り、会話や本にある言葉の「読み解く力」がある。
思考・判断・表現	・考えたことを、より多くの言葉で言語化することで、深く考えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	・日本語の特徴や使い方を学び、それを普段の生活に活かすことができる。

【年間学習計画】

学習月	単元及び主な学習内容	面接指導 (S)		報告課題 (R)	学習到達度目標
		メディア	スクーリング	締切期限	
4月	敬語(1)	◎		第1回 5月31日	場面や相手に応じて、尊敬語や謙譲語を適切に使い分けることができる。
4月	敬語(2)	◎			場面や相手に応じて、尊敬語や謙譲語を適切に使い分けることができる。
5月	文法(言葉のきまり)(1)	◎	○	第2回 6月30日	規範的な文法に従って語と語を接続させることができる。
6月	文法(言葉のきまり)(1)	○	○		さまざまな言葉を正しく理解し、適切に使うことができる。
7月	語彙(1)	○		第3回 7月31日	さまざまな言葉を正しく理解し、適切に使うことができる。
7月	語彙(2)	○			慣用句なども含め、意味と用法を的確に把握することができる。
8月	言葉の意味	○		第4回 8月31日	慣用句なども含め、意味と用法を的確に把握することができる。
8月	表記(1)	○		第5回 9月30日	漢字、仮名遣い、送り仮名について、文脈に合った適切な使い方ができる。
8月	表記(2)	○			漢字、仮名遣い、送り仮名について、文脈に合った適切な使い方ができる。
9月	漢字(1)	○		第6回・ 映像視聴 報告 10月31日	漢字や熟語の読み方と意味を理解し、適切に使い分けることができる。
10月	漢字(2)	○			文漢字や熟語の読み方と意味を理解し、適切に使い分けることができる。

教科	科目	単位数	教科書	副教材	担当者
国語	漢字基礎(学校設定科目)	2	でる順分野別漢検問題集3級 [五訂版] 【旺文社】	授業者に準じる	中村 清枝

【教科学習を通じて、育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】

※教科共通

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語を的確に理解し、効果的に表現する資質・能力を有する生徒。

【学習目標】

読む力・書く力の基盤となる大切な知識を認識しながら、漢字を活用する力、文や文章の中で漢字を適切に使う力を養うことを目標とする。

【学習方法】

① メディア授業

視覚的な資料を用い、話し合い活動を通して、漢字の基礎を定着させる。

② 本校スクーリング

話し合い活動を通して、楽しく学びながら漢字の基礎を定着させる。

③ 報告課題（レポート）

中学校卒業程度の漢字を書きとり、読み取りができ、漢字検定3級の内容を理解する。

【学習評価】

*主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。

評価観点	評価基準
知識・技能	中学校卒業程度の漢字を書きとり、読み取りができ、漢字検定3級の内容を理解している。
思考・判断・表現	話し合い活動や、与えられたワークに対して自ら考え、発表することができる。
主体的に学習に取り組む態度	話し合い活動を通して自分の考えを発表し、問題に対して真剣に取り組むことができる。

【年間学習計画】

学習月	単元及び主な学習内容	面接指導 (S)		報告課題 (R)	学習到達度目標
		メディア	スクーリング	締切期限	
4月	「読み」「書き取り」「送り仮名」	◎		第1回 5月31日	「読み」「書き取り」「送り仮名」の解説と練習
4月	「同音・同訓異字」	◎	○		「同音・同訓異義語」の解説と練習
5月	日本漢字能力検定3級受験対策(1)	◎		第2回 6月30日	2022年度第1回日本漢字能力検定3級の模擬試験
5月	「熟語の構成」	◎			「熟語の構成」の解説と練習
6月	「部首」	◎		第3回 7月31日	「部首」の解説と練習
7月	日本漢字能力検定3級受験対策(2)	◎		第4回 8月31日	2022年度第2回日本漢字能力検定3級の模擬試験
7月	「対義語・類義語」	◎			「対義語・類義語」の解説と練習
8月	「四字熟語」	◎		第5回 9月30日	「四字熟語」の解説と練習
8月	「誤字訂正」	◎			「誤字訂正」の解説と練習
9月	日本漢字能力検定3級受験対策(3)	◎		第6回・映像視聴報告 10月30日	2022年度第3回日本漢字能力検定3級の模擬試験
10月	全単元のまとめ	◎			全単元の復習と練習

教科	科目	単位数	教科書	副教材	担当者
国語	漢字標準(学校設定科目)	2	でる順分野別漢検問題集準2級 [五訂版] (旺文社)		中村 清枝

【教科学習を通じて、育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】

※教科共通

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語を的確に理解し、効果的に表現する資質・能力を有する生徒。

【学習目標】

読む力・書く力の基盤となる大切な知識を認識しながら、漢字を活用する力、文や文章の中で漢字を適切に使う力を養うことを目標とする。

【学習方法】

① メディア授業

視覚的な資料を用い、話し合い活動を通して、漢字の基礎を定着させる。

② 本校スクーリング

話し合い活動を通して、楽しく学びながら漢字の基礎を定着させる。

③ 報告課題（レポート）

④ 中学校卒業程度の漢字を書きとり、読み取りができ、漢字検定準2級の内容を理解する。

【学習評価】

*主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。

評価観点	評価基準
知識・技能	中学校卒業程度の漢字を書きとり、読み取りができ、漢字検定準2級の内容を理解している。
思考・判断・表現	話し合い活動や、与えられたワークに対して自ら考え、発表することができる。
主体的に学習に取り組む態度	話し合い活動を通して自分の考えを発表し、問題に対して真剣に取り組むことができる。

【年間学習計画】

学習月	単元及び主な学習内容	面接指導 (S)	報告課題 (R)	学習到達度目標

		メディア	スクーリング	締切期限	
4月	「読み」「書き取り」「送り仮名」	◎		第1回	「読み」「書き取り」「送り仮名」の解説と練習
4月	「同音・同訓異義語」	◎		5月31日	「同音・同訓異義語」の解説と練習
5月	日本漢字能力検定準2級受験対策(1)	◎		第2回	2022年度第1回日本漢字能力検定準2級の模擬試験
5月	「熟語の構成」	◎		6月30日	「熟語の構成」の解説と練習
6月	「部首」	◎		第3回 7月31日	「部首」の解説と練習
7月	日本漢字能力検定準2級受験対策(2)	◎		第4回	2022年度第2回日本漢字能力検定準2級の模擬試験
7月	「対義語・類義語」	◎		8月31日	「対義語・類義語」の解説と練習
8月	「四字熟語」	◎	○	第5回	「四字熟語」の解説と練習
8月	「誤字訂正」	◎		9月30日	「誤字訂正」の解説と練習
9月	日本漢字能力検定準2級受験対策(3)	◎		第6回・映像	2022年度第3回日本漢字能力検定準2級の模擬試験
9月	全単元のまとめ	◎		視聴報告 10月31日	全単元の復習と練習

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習時間	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
地理歴史	地理総合	通年	選択必修	2	70単位時間(50分×70)	1単位時間	東京書籍『地理総合』 2 東書 地総701	授業者に準ずる	藤井 誉

【教科学習を通じて、育てたい生徒像(カリキュラムマネジメント)】

諸資料から我が国と世界の系統的な地誌的事象と生活・文化の地域的特色について理解を深め、社会的な見方・考え方を養い、課題を発見・追究・解決していくことで、広い視野やグローバル化する国際社会に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。

【学習目標】

(知識・技能)

地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球の課題への取り組みなどに関する知識。地図や地理情報システムなどを用いて、諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切に調べとめる技能。

(思考・判断・表現)

地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察できる。また地理的な課題の解決に向けて構想したりすることができる。

(主体的に取り組む態度)

知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行う。また、粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整する。地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度。多面的・多角的な考察や深い理解を通して顕著される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするこの大

【学習方法】

①メディア授業

視覚、聴覚に訴える教材を利用することで、幅広い単元や現代の諸課題を発見し観点を学びながら情報処理能力を身につけることができる。

②本校スクーリング

対面授業を実施し、諸資料を用いて、資料の活用方法を学び、また主体的に課題を追究することができる。

③報告課題(レポート)

教科書に準じた内容の報告課題を利用し学習することで、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民と資

○メディア箇所全

◎メディア視聴報告書箇所

【年間学習計画】

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安学習時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導(S)		報告課題(R)	備考
	編	章	節	項					メディア(録音視聴学習)	本校スクーリング(対面授業)		
4月	第1編 地図や地理情報システムでとらえる現代社会	第1章 私たちが暮らす世界		1 緯度・経度 【24時間、地球は回らない。】	P8	2	世界各地における、太陽高度や昼夜の時間の季節変化と、標準時を確認し、緯度や経度との関係について考えます。	教科書	○			
4月				2 地球儀と世界地図 【丸い地球を、平らな紙に正しく描けるだろうか。】	P10	1	地球儀上で方位や距離を計測し、さまざまな世界地図での描かれ方と比較することで、世界地図の特徴を考えます。	教科書	○			
4月				3 日本の位置と領域 【小さな島が、大きな意味をもつのはなぜ?】	P12	1	領土問題発生の背景が国益の衝突にあることをふまえ、問題を平和的に解決するための方法について考えます。	教科書	○			
4月		第2章 地図や地理情報システムの役割		4 地図の種類【地図を使わない人は、ほとんどいない。】	P22	1	多様な地図が生活を便利にしていることを理解し、地図利用のさまざまな可能性を考えます。	教科書	○			
4月				5 地形図のルール 【地形や土地利用の歴史がひと目でわかる。】	P24	2	地形図を用いて土地利用、距離、面積など基礎的事項について読み取ります。	教科書	○			
4月				6 主題図の種類と読み取り【このテーマ、どんな地図で表すべきか。】	P26	1	主題図の読み取りを通じて地理的事象の分布の特徴を把握します。	教科書	○			第1回 5月31日
4月				7 地理情報システムと地図【地図の可能性は、まだまだ広がる。】	P28	1	地理情報システム(GIS)が幅広い分野で使われていることについて理解します。GISとは何かを理解し、私たちの生活への影響を考えます。	教科書	○			
5月		第3章 資料から読み取る現代世界		8 多量の発達 【地球は、どんどん小さくなっている?】	P40	2	各国間の形成や結びの読み取りを通じて、グローバルな結び付きの変化や、各種交通手段の特徴について考察します。	教科書	○			
5月				9 情報通信の発達 【世界中が、ネットでつながりはじめた。】	P42	1	情報通信技術(ICT)の普及と状況の推移や地域的な傾向を読み取ったうえで、情報通信技術の普及ともなう利点と課題を考察します。	教科書	○			
5月				10 国境をこえる人々の移動【仕事に、旅行に。人々は外国をめざす。】	P44	1	主題図や統計資料を読み取り、観光客の国際移動の特徴、観光客の増加の社会的背景と課題について考察します。	教科書	○			
6月				11 拡大する貿易【国どうしの貿易は、どう変化したのか。】	P46	2	統計を用いて、貿易品目・相手国の変化と産業構造・国家間の関係の変化との関係について考察します。	教科書	○			
6月				12 つながる世界、多様化する世界【国どうしの結び付きで、世界はどこに向かう?】	P48	2	主題図を用いて、国家群・地域間の変遷や課題を考察します。グローバル化の具体的な事象を通じて、利点と課題を考察します。	教科書	○			
6月	第2編 国際理解と国際協力	第1章 人々の生活文化と多様な地理的環境	1 節 生活文化の多様性と国際理解	13 文化の地域性と多様性【同じくといえど、「牛肉だ!」「豚肉だ!」】	P58	1	地域によって文化が異なる理由について理解します。文化は持続することもある一方で、変容することもあることを理解します。	教科書	○			第2回 6月30日
6月				14 宗教と人々の暮らし【宗教に根ざした、習慣や文化がある。】	P60	1	写真を用いて、さまざまな宗教の持つ特徴を把握します。地図を用いて、世界の宗教分布について歴史的背景を含めて理解します。	教科書	○			
6月			2 節 生活文化と自然環境① 地形	15 山地の暮らし【山に住むには、どんな工夫が必要なのか。】	P68	1	写真を用いて、山地に暮らす人々の生活を理解します。図を用いて標高の違いに対応した人々の工夫を理解します。	教科書	◎			
6月				16 平野の暮らし【流れる川が、地形を変えていく。】	P70	1	写真や地図を用いて、河川がつくる地形とその利用について理解します。	教科書	◎			
7月				17 海岸の暮らし【さまざまな海岸と、そこでの暮らしとは。】	P72	2	写真や模式図を用いて、海岸地形とその利用について理解します。	教科書	◎			
7月			3 節 生活文化と自然環境② 気候	18 多様な気候とその分布【なぜこれほど違う?暑さ、寒さ、雨の量。】	P78	2	地図を用いて、気温の高い/低い地域や降水量の多い/少ない地域の分布をとらえます。写真を用いて、地域による気候の多様性を理解します。	教科書	◎	○		
7月				19 熱帯の人々の暮らし【強い日差しと暑い雨。人々の暮らしと農業は?】	P80	2	雨温図の読み取り方を学び、気候区ごとの特徴を理解します。写真を用いて、自然環境とそれに対応する人々の生活の様子を把握します。	教科書	◎	○		
7月				20 乾燥帯の人々の暮らし【雨が少ない!どうやって水を得る?】	P82	2	雨温図を読み取り、気候区ごとの特徴を理解します。写真や模式図を用いて、自然環境とそれに対応する人々の生活の様子を把握します。	教科書	◎	○		第3回 7月31日
7月				21 温帯の人々の暮らし【クワーター不要の地域からストープ不要の地域まで。】	P84	2	雨温図を読み取り、気候区ごとの特徴を理解します。写真を用いて、自然環境とそれに対応する人々の生活の様子を把握します。	教科書	◎	○		
7月				22 亜寒帯・寒帯の人々の暮らし【寒い冬を過ごすための食料や、冬の衣食とは。】	P86	1	雨温図を読み取り、気候区ごとの特徴を理解します。写真を用いて、自然環境とそれに対応する人々の生活の様子を把握します。	教科書	◎	○		
8月			4 節 生活文化と産業	23 食生活と農業の分布【人の食生活は、気候だけで決まるのだろうか。】	P92	2	写真や主題図を用いて、世界の食文化の多様性と農業の地域性について考察します。	教科書	○			
8月				24 工場立地の変化【工場は、どんな理由でどんな場所に建つか。】	P96	1	写真を用いて、さまざまな工業の特徴を把握します。主題図を用い、国や地域ごとの工業の違いと、その要因を考察します。	教科書	○			

8月			25 商業立地と人々の生活【売り場も、買ひ方も、社会とともに変化するか。】	P100	1	写真や図を用いて、さまざまな商業の特徴を把握します。図を用いて、近年における商業の変化とその要因を考察します。	教科書	○		
8月			26 情報産業の発達と生活文化の変化【ものづくりも働き方も、ICTが変化を促している。】	P102	1	写真や図を用いて、情報技術がさまざまな産業の情報化に寄与していることを把握します。	教科書	○		
8月	第2章 さまざまな地域の課題と国際協力	1節 地球環境問題	27 地球環境問題(1) 【大気と海に、何が起きているのだろうか。】	P124	1	主題図を用いて地球環境問題の現状について視覚的にとらえます。統計から地球環境化の現状を把握し、その背景・要因とそれがもたらす問題について考察します。	教科書	○		第4回 8月31日
8月			28 地球環境問題(2) 【森林減少と砂漠化、その原因を探る。】	P126	2	森林破壊や砂漠化によってもたらされた問題をふまえて、問題解決のあり方について追究します。写真を用いて森林減少の現状を理解し、模式図を用いて砂漠化のメカニズムを考察します。	教科書	○		
8月		2節 資源・エネルギー問題	29 資源・エネルギーの確保【誰もか、欲しい。だから、取り合いたい。】	P130	1	統計を用いて、エネルギー消費の南北格差の現状とその背景について考察します。統計を用いて、原油価格の推移とその背景について国際政治・経済との関わりから考察します。	教科書	○		
8月			30 化石燃料から再生可能エネルギーへ【地球を、「電池切れ」にさせないため】	P132	1	写真やグラフを用いて、地球社会の持続可能性という観点から望ましいエネルギー政策について考察します。	教科書	○		
9月		3節 人口問題	31 発展途上の人口問題【人が増えたのはなぜ？何が問題なのだろうか。】	P136	2	統計や主題図を用いて世界の人口分布と人口増加の特徴を把握し、その背景について考察します。	教科書	○		
9月			32 先進国の人口問題【若者が減り、高齢者が増えるとうなると？】	P138	1	人口ピラミッドの作成や統計の読み取りを通じて、先進国の抱える人口問題とそれへの対策について考察します。	教科書	○		
9月		4節 食料問題	33 食料供給をめぐる問題【増産しても、まだ足りない。なぜだろうか。】	P142	2	主題図や統計を用いて、世界の食料増産・供給の地域差を認識し、食料問題の存在を把握します。食の安全に關する問題について、身近な食生活を例に考察します。	教科書	○		
9月		5節 居住・都市問題	34 発展途上の居住・都市問題【人は、何を求めて都市に向かうのか。】	P146	2	都市開発の要因を、都市化の過程との関わりから考察するとともに、問題解決に向けての具体的な取り組みを把握します。	教科書	○		第5回 9月30日
9月			35 先進国の居住・都市問題【なぜ、再開発が必要なのか。】	P148	2	写真から都市の景観の変化を読み取り、再開発による変化を視覚的にとらえます。地図やグラフから再開発の必要性を考察し、持続可能な社会を実現する再開発のあり方を追究します。	教科書	○		
9月		6節 民族問題	36 民族問題・難民問題【くり返す対立で、国を揺るがせる人々がいる。】	P150	1	難民が発生する地域と難民を受け入れる地域の地理的関係を考察します。民族問題の歴史的背景について、具体的な事例をあげて考察します。	教科書	○		
9月		7節 持続可能な社会の実現をめざして	37 地球的課題と国際協力【グローバルな課題を、解きほぐす糸口とは。】	P154	1	地球的課題の解決に向けてのさまざまな国際的取り組みとその課題を整理します。持続可能な社会の実現に向けての世界各地での取り組みの事例について考察します。	教科書	○		
10月	第3編 持続可能な地域づくりと私たち	第1章 自然環境と防災	1節 日本の自然環境の特色	P176	2	日本列島の地帯構造とプレートとの関わりを主題図を用いて、日本の地形の特色について考察します。地形の特色と自然災害との関係性について、主題図や衛星画像などを用いて考察します。地形の特色と生活との関係性について、主題図や衛星画像などを用いて考察します。	教科書	○		
10月			39 日本の気候の特色【四季ある国、季節ごとの天候は？】	P178	1	日本列島の季節ごとの天候の変化の要因について主題図の読み取りを通じて考察します。主題図や雨量図の読み取りを通じて、日本の気候環境の多様性について考察します。日本列島の気候の特色と自然災害との関係性について、地形学習の成果をふまえて考察します。	教科書	○		
10月		2節 さまざまな自然災害と防災	40 地震災害・津波災害(1)【地震が発生するメカニズムとは。】	P180	1	地震や津波の発生メカニズムについて模式図を用いて考察します。地震や津波によってもたらされる被害の状況について、複数の写真を用いて考察します。	教科書	○		
10月			41 地震災害・津波災害(2)【くり返す地震を、災害史から学ぶ。】	P182	2	地震災害の軽減へ向け取り組みについて具体例をあげながら考察します。自宅もしくは学校周辺地域のハザードマップを用いながら災害時に取るべき避難行動について考察します。	教科書	○		
10月			42 火山の災害とめぐみ【火山をよく知り、共存していくために。】	P184	1	火山災害がもたらす人命に及ぼす被害について具体例をあげながら考察します。火山災害のメカニズムについて、図や写真を用いて考察します。火山の果たす恩恵について具体例をあげながら考察します。	教科書	○		
10月			43 気象災害(1)【寒さ・暑さや台風【雪、猛暑、水不足、台風、どんな被害をもたらすか？】	P186	1	季節ごとに生じる気象災害の原因について考察します。季節ごとに生じる気象災害がもたらす被害の状況や人々の生活に与える影響について、写真を用いて考察します。	教科書	○		
10月			44 気象災害(2)【大雨と洪水・土砂災害【大雨で、あふれる水、何が起こるのだろうか。】	P188	1	大雨がもたらす各種災害とそれらのメカニズムについて、模式図を用いて考察します。大雨がもたらす各種自然災害の被害の状況について、地形図を用いて考察します。大雨がもたらす各種自然災害の軽減に向けた対応策について、写真やハザードマップを用いて考察します。	教科書	○		第6回・映像視聴報告 10月31日
10月			45 都市と自然災害【都市を襲う災害、危険はどこにある？】	P190	1	都市における各種災害の発生要因について、写真や地理院地図を用いて多面的に考察します。都市における各種災害がもたらす被害の状況について、写真や地理院地図を用いて多面的に考察します。都市における各種災害がもたらす被害の軽減に向けた対応策について、ハザードマップや写真を用いて考察します。	教科書	○		
10月			46 防災・減災と復興・復興【地域を災害から守るために、できることは？】	P192	1	防災・減災へ向けた各地域における取り組みについて、自助・共助の観点から考察します。防災・減災へ向けた公助の取り組みには限界があり、自助・共助の観点から意識を高める必要性があることを、さまざまな取り組みを概観することで考察します。	教科書	○		
10月	第2章 生活圏の調査と地域の展望		47 調査テーマの設定【学校のまわりの、地理的テーマを探せ！】	P204	2	学校周辺地域における新旧の地形図や統計を用いて地域の変化について考察します。地域調査の一連の流れをふまえて、学校周辺地域で生じている複数の課題を見いだし、班ごとに調査テーマを設定します。地域調査の一連の流れをふまえて、班ごとに身近な地域の調査計画を立案します。	教科書	○		
10月			48 地域調査1【資料調査】【「○○かな？」まずは仮説を立ててスタート。】	P206	2	身近な地域の調査に必要な資料収集の方法について習得します。身近な地域の課題の解決に必要な仮説の設定・検証の方法について、資料調査を通じて習得します。	教科書	○		
10月			49 地域調査2【野外調査】【どこを歩いて誰に聞くか。計画が大前提。】	P208	1	身近な地域における野外調査の手順について計画作成段階から実施段階までの流れを軸に習得し、野外調査を実施します。身近な地域における野外調査についての複数の方法とそ	教科書	○		

10月				50まとめ発表【地域のこれからの、皆で考えていくために。】	P210	1	○身近な地域における調査で得た結果を分析する視点について習得します。調査内容の分析結果を的確にまとめる方法について習得し、まとめを行います。身近な地域における	教科書	○		
-----	--	--	--	-------------------------------	------	---	---	-----	---	--	--

計70単位時間

【学習上の注意】

- 教科書を参考にしながら、丁寧に課題へ取り組みましょう。
- 地理総合は、地球表面で行われているすべての活動に関わる重要な科目です。身近な現象から自身に置き換えて考え、学習へ取り組んでください。

【映像視聴について】

指示された所定時間、所定回数以上を視聴・学習すること。
<https://ww3.tokyo-shoseki.co.jp/api/wizus/index.php?encode=off&id=r4scs>



【学習評価】

*主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点	評価基準
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ○地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解している。 ○地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けている。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりすることができる。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ○知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行う中、自らの学習を調整しようとしている。

【単位修得認定基準】

- 報告課題（レポート）：6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に1単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。
- 単位認定試験の得点：単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位時間	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
地理歴史	歴史総合	通年	必修履修	2	70単位時間 (50分×70)	1単位時間	東京書籍「精選 歴史総合」 2 東書 歴総701	授業者に 準ずる	藤井 晋

【教科学習を通じて、育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】

時間認識と空間認識をバランスよく総合する人材育成を目指し、社会で求められる資質・能力を全ての生徒に育む。また、「地理総合」と相互補完的な役割を果たすとともに、「世界史探究」「日本史探究」へと接続する土台としての役割を果たす。

【学習目標】

- (知識・技能) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
- (思考・判断・表現) 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (主体的に取り組む態度) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

【学習方法】

- ①メディア授業 視覚、聴覚に訴える教材を利用することで、近現代の歴史の変化を多面的・多角的に考察し、表現できる。
 ②本校スクリーング 対面授業で諸資料を活用することで、諸資料の活用方法や歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
 ③報告課題（レポート） 基本的な近現代の歴史の変化に関わる知識を包括的に得て、近現代の歴史を考察、構想する学習を通じて広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に関わる姿勢を身に付ける。

- メディア箇所全
 ◎メディア視聴報告書箇所

【年間学習計画】

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導 (S)		報告課題 (R)	備考
	編	章	節	項					メディア (映像視聴学習)	本校スクリーング (課題指導)		
4月		第1章 歴史の扉	1節 歴史と私たち		8~11	0.5	諸資料を活用し、私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象が、日本や日本周辺の地域および世界の歴史とつながっていることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
4月		第1章 歴史の扉	2節 歴史の特質と資料		12~15	0.5	日本や世界のさまざまな地域の人々の歴史的な営みの痕跡や記録である遺物、文書、図像などの資料を活用し、資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
4月		第2章 近代化と私たち	1節 近代化への問い		22~27	1	交通と貿易、産業と人口、権利意識と政治参加や市民の権利、学校教育、労働と家族、移民などに関する資料を活用し、近代化に伴う生活や社会の変容について多面的・多角的に考察し、問いを表現する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
4月		第2章 近代化と私たち	2節 結びつく世界と日本の開国	1 18世紀の東アジア	28~29	1	18世紀の東アジア諸国がどのような関係を築いていったのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
4月		第2章 近代化と私たち	2節 結びつく世界と日本の開国	2 結びつくアジア諸地域	32~33	1	18世紀のアジア諸地域はどのように結び付いていたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
4月		第2章 近代化と私たち	2節 結びつく世界と日本の開国	3 18世紀のヨーロッパとアジア	36~37	1	18世紀のヨーロッパとアジアとの交差点にはどのような変化が見られたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎		第1回 5月31日	
4月		第2章 近代化と私たち	2節 結びつく世界と日本の開国	4 産業革命のはじまり	42~43	1	産業革命が社会にどのような変化をもたらしたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
4月		第2章 近代化と私たち	2節 結びつく世界と日本の開国	5 世界市場の形成	44~45	1	産業革命を経て、世界各地の経済がどのように変化したのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
4月		第2章 近代化と私たち	2節 結びつく世界と日本の開国	6 東アジア国際関係の変化と日本の開国	46~47	2	19世紀の東アジアが、西欧諸国とどのような関わりを持ったのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
5月		第2章 近代化と私たち	2節 結びつく世界と日本の開国	7 世界経済の変化と日本の産業革命	48~49	2	イギリスで始まった産業革命が、どのように世界に広まったのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
5月		第2章 近代化と私たち	3節 国民国家と明治維新	1 市民革命と近代社会	52~53	1	市民革命はどのような社会の仕組みを生み出したのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
5月		第2章 近代化と私たち	3節 国民国家と明治維新	2 自由主義とナショナリズム	54~55	1	19世紀の欧米諸国では、どのような国家形態が構築されたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
5月		第2章 近代化と私たち	3節 国民国家と明治維新	3 アジアの諸国家とその実勢	56~57	1	19世紀のアジア諸地域では、どのような変容のもとにどのような政治的変化が生じたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
5月		第2章 近代化と私たち	3節 国民国家と明治維新	4 明治維新と東アジアの国際関係	58~59	2	明治維新は、どのような国際環境の中で起きたか、日本社会をどのように変えたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位数	学習到達度目標	学習教材	面接指導 (S)		報告課題 (R)	備考
	編	章	節	項					メディア (映像視聴学習)	その他 (ネット・ラジオ等)	締切期限	
5月		第2章 近代化と私たち	3節 国民国家と明治維新	5 立憲制の広まり	62~63	1	19世紀後半の立憲制国家は、それぞれどのような特徴を持っていたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
5月		第2章 近代化と私たち	3節 国民国家と明治維新	6 帝国主義と植民地	64~65	1	帝国主義とは何かを理解する。また、帝国主義国の植民地獲得競争がどのように繰り広げられたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
5月		第2章 近代化と私たち	3節 国民国家と明治維新	7 日清戦争と華夷秩序の解体	68~69	2	日清戦争が東アジアの国際秩序にどのような影響を与えたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		第2回 6月30日	
5月		第2章 近代化と私たち	3節 国民国家と明治維新	8 帝国主義諸国の競合と国際関係	70~71	2	帝国主義国家同士がどのような関係を持っていたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
6月		第2章 近代化と私たち	3節 国民国家と明治維新	9 植民地支配と植民地の近代	72~73	1	植民地の人々がどのような支配を受けていたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
6月		第2章 近代化と私たち	3節 国民国家と明治維新	10 20世紀はじめの世界	74~75	1	20世紀初期、帝国主義に対して世界各地の人々はどうのような態度を示したのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
6月		第2章 近代化と私たち	4節 近代化と現代的な課題		78~83	1	自由・制憲、平等・格差、開港・閉鎖、統合・分化、対立・協調などの観点に基づき主眼を定め、事象の背景や所見、結果や影響などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現することを通して、現代的な課題の形成に関わる近代化の歴史を理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
6月		第3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち	1節 国際秩序の変化や大衆化への問い		86~91	1	国際関係の緊密化、アメリカ合衆国とソビエト連邦の台頭、植民地の独立、大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化、生活様式の変化などに関する資料を活用し、国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について多面的・多角的に考察し、問いを表現する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
6月		第3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち	2節 第一次世界大戦と大衆社会	1 大衆社会の時代	92~93	1	大衆社会とは何かを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
6月		第3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち	2節 第一次世界大戦と大衆社会	2 第一次世界大戦の展開	94~95	1	第一次世界大戦はどのように展開したのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
6月		第3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち	2節 第一次世界大戦と大衆社会	3 国際協調体制の形成	96~97	1	第一次世界大戦後の国際協調体制について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
6月		第3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち	2節 第一次世界大戦と大衆社会	4 ソビエト連邦の成立と社会主義	98~99	1	ソビエト連邦の成立と、社会主義運動の拡大について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
6月		第3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち	2節 第一次世界大戦と大衆社会	5 アメリカ合衆国の台頭と大衆消費社会	100~101	1	アメリカ合衆国の台頭と大衆文化の広がりについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月		第3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち	2節 第一次世界大戦と大衆社会	6 アジアの経済成長と移動する人々	102~103	1	アジアの経済成長とそれぞれの地域の結び付きについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		第3回 7月31日	
7月		第3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち	2節 第一次世界大戦と大衆社会	7 反植民地主義の高揚と国際秩序の変容	106~107	2	反植民地主義の高揚と国際秩序の変容について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月		第3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち	2節 第一次世界大戦と大衆社会	8 民主主義の拡大と社会変革の動き	108~109	1	世界における民主主義の発展と、日本での展開について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月		第3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち	2節 第一次世界大戦と大衆社会	9 マスメディアの発達と日常生活	110~111	1	マスメディアの発達と人々の日常生活の変化について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
7月		第3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち	3節 経済危機と第二次世界大戦	1 世界恐慌	112~113	1	世界恐慌が発生した原因とそれに対する各国の対応について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月		第3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち	3節 経済危機と第二次世界大戦	2 アジア・アフリカと大衆社会	116~117	1	動揺しつつある国際協調体制下での、アジア・アフリカ諸国の人々の対応について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月		第3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち	3節 経済危機と第二次世界大戦	3 国際協調体制の崩壊	118~119	1	第一次世界大戦後の国際協調体制の崩壊について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位数	学習到達目標	学習教材	面接指導 (S)		報告課題 (R)	備考	
	編	章	節	項					メディア (映像視聴資料)	その他 (学習指導要領)	締切期限		
7月		第3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち	3節 経済危機と第二次世界大戦	4 日中戦争と深刻化する世界の危機	120~121	2	日中戦争やファンズムの影響による世界の危機について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		第4回 8月31日		
8月		第3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち	3節 経済危機と第二次世界大戦	5 第二次世界大戦の勃発	122~123	2	第二次世界大戦の勃発とその拡大、および日中戦争との結び付きについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○				
8月		第3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち	3節 経済危機と第二次世界大戦	6 第二次世界大戦における連合国と戦争構想	124~125	2	第二次世界大戦の終結と戦後の国際秩序の形成について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○				
8月		第3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち	3節 経済危機と第二次世界大戦	7 アジア太平洋戦争と日本の敗戦	126~127	1	アジア太平洋戦争の展開と日本の敗戦について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○				
8月		第3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち	3節 経済危機と第二次世界大戦	8 連合国の占領政策と冷戦	128~129	1	連合国の占領政策と冷戦の始まりについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○				
8月		第3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち	3節 経済危機と第二次世界大戦	9 再開されるアジアと冷戦	132~133	1	冷戦下に再開されたアジア諸地域の動きについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○				
8月		第3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち	4節 国際秩序の変化や大衆化と現代的な課題		136~141	1	自由・制衡、平等・格差、開発・保全、統合・分化、対立・協同などの観点に基づき主題を設定し、事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現することを通して、現代的な課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○				
8月		第4章 グローバル化と私たち	1節 グローバル化への問い		144~149	1	冷戦と国際関係、人と資本の移動、高度情報通信、食料と人口、資源・エネルギーと地球環境、感染症、多様な人々の共存などに関する資料を活用し、グローバル化に伴う生活や社会の変容について多面的・多角的に考察し、問いを表現する。	教科書・映像視聴・報告課題	○				
8月		第4章 グローバル化と私たち	2節 冷戦と世界経済	1 冷戦の拡大と第三勢力	150~151	1	冷戦の拡大と第三勢力の台頭について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○				
9月		第4章 グローバル化と私たち	2節 冷戦と世界経済	2 キューバ危機と核兵器の管理	152~153	1	冷戦下の核軍備競争と宇宙開発競争、および核兵器管理への方針転換について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○				
9月		第4章 グローバル化と私たち	2節 冷戦と世界経済	3 脱植民地化の進展と地域紛争	154~155	2	アジア・アフリカにおける脱植民地化の動きと、その地域で起こった地域紛争について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		第5回 9月30日		
9月		第4章 グローバル化と私たち	2節 冷戦と世界経済	4 計画経済と開発	158~159	1	自由主義国、社会主義国、開発途上国の経済政策について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○				
9月		第4章 グローバル化と私たち	2節 冷戦と世界経済	5 冷戦下の日本とアジア	160~161	2	冷戦下の日本の国内政治とアジア外交について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○				
9月		第4章 グローバル化と私たち	2節 冷戦と世界経済	6 日本と欧米先進国の経済成長	162~163	1	欧米先進国と日本の経済成長とそれに伴う社会の変容について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○				
9月		第4章 グローバル化と私たち	2節 冷戦と世界経済	7 地域連携の拡大	166~167	1	ヨーロッパやアジアにおける地域連携の動きについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○				
9月		第4章 グローバル化と私たち	2節 冷戦と世界経済	8 ベトナム戦争と冷戦構造の変容	168~169	1	ベトナム戦争と冷戦構造の変容について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○				
9月		第4章 グローバル化と私たち	3節 世界秩序の変容と日本	1 問い直される時代	170~171	1	先進諸国において、近代的な価値観を問い直す動きが起られ、価値観の変容が生じたことについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○				
10月		第4章 グローバル化と私たち	3節 世界秩序の変容と日本	2 石油危機と経済の自由化	174~175	2	石油危機と経済の自由化について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○				
10月		第4章 グローバル化と私たち	3節 世界秩序の変容と日本	3 アジアの経済発展と日本	176~177	1	東アジア・東南アジア諸国・地域の経済発展について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○				
10月		第4章 グローバル化と私たち	3節 世界秩序の変容と日本	4 冷戦の終結と世界	178~179	1	冷戦の終結と東アジアの分断状況について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○				

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導 (S)		報告課題 (R)	備考	
	編	章	節	項					メディア (映像視聴学習)	その他 (スクーリング課題等)			
10月		第4章 グローバル化と私たち	3節 世界秩序の変容と日本	5 低敷する地域紛争	180~181	1	冷戦終結後に世界各地で起きた地域紛争や、それらに対する国際社会の動きについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		第6回・映像視聴報告 10月31日		
10月		第4章 グローバル化と私たち	3節 世界秩序の変容と日本	6 民主化の進展	184~185	1	世界各国で進んだ民主化の動きと、日本の戦後時代について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○				
10月		第4章 グローバル化と私たち	3節 世界秩序の変容と日本	7 グローバル化と地域統合	186~187	1	冷戦終結後に進んだグローバル化と地域統合について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○				
10月		第4章 グローバル化と私たち	3節 世界秩序の変容と日本	8 歧路に立つ世界と日本	188~189	1	グローバル化や地域統合、民主主義が抱えた問題点について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○				
10月		第4章 グローバル化と私たち	4節 現代的な諸課題の形成と展望	歴史探求の方法	196~197	1	科目のまとめとして、現代的な諸課題に関する主題を設定し、事象の背景や原因、結果などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現することを通して、歴史的経緯を踏まえて、持続可能な社会に向けて、現代的な諸課題の展望を探求する。	教科書・映像視聴・報告課題	○				
計 70 単位時間													

【学習上の注意】

- 教科書を参考にしながら、丁寧に課題へ取り組みましょう。
- 歴史総合は現代的な諸課題の形成に関わる重要な科目です。自身の生活に置き換えて考え、学習へ取り組んでください。

【映像視聴について】

指示された所定時間、所定回数以上を視聴・学習すること。

<https://ww3.tokyo-shoseki.co.jp/api/wirus/index.php?encod=off&id=4&sr>



【学習評価】

*主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点	評価基準
知識・技能	○近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とそれの中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解している。
思考・判断・表現	○近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりすることができる。 ○考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○近現代の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。

【単位修得認定基準】

- ①報告課題 (レポート) : 6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- ②面接指導 (スクーリング) : 実施校で行われる面接指導に1単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。
- ③単位認定試験の得点 : 単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間自学習単位数	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
地理歴史	地理探究	通年	選択	3	105単位数(50分×105)	2単位数時間	東京書籍『地理探究』 2 東書 地探701	授業者に準ずる	藤井 誉

【教科学習を通じて、育てたい生徒像(カリキュラムマネジメント)】

必修科目である「地理総合」の学習によって身に付けた資質・能力を前提に、系統地理的な考察、地誌的な考察によって習得した知識や概念を活用して、現代世界に求められるこれからの持続可能な日本の国土像を探究する。

【学習目標】

- (知識・技能) 地理に関する諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付ける。
- (思考・判断・表現) 地理に関する事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (主体的に取り組む態度) 地理に関する諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

【学習方法】

- ①メディア授業 視覚、聴覚に訴える教材を利用することで、幅広い単元や現代の諸課題を発見し観点を学びながら情報処理能力を身につけることができる。
- ②本校スクーリング 対面授業を実施し、諸資料を用いて、資料の活用方法を学び、また主体的に課題を追究することができる。
- ③報告課題(レポート) 教科書に準じた内容の報告課題を利用し学習することで、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を学び、地図や地形から情報を読み取る技術を身につけることができる。

○メディア箇所全て
◎メディア視聴報告書箇所

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位数	学習到達度目標	学習教材	面接指導(S)		報告課題(R)	備考
	編	章	節	項					メディア(映像視聴学習)	紙上スクーリング(対面授業)		
4月	第1編 現代世界の系統地理的考察	第1章 自然環境	第1節 世界の地形	1 地形をつくる力	12~13	1	生活環境の基礎となる地形の重要性、地球表面の起伏の状態とその形成要因について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	◎	第1回 4月30日	
4月	第1編 現代世界の系統地理的考察	第1章 自然環境	第1節 世界の地形	2 プレート運動とさまざまな境界	14~15	1	地図や衛星画像を用いて、世界の大地形の分布の特徴についてプレートテクトニクスとの関わりから理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
4月	第1編 現代世界の系統地理的考察	第1章 自然環境	第1節 世界の地形	3 変動帯の地形	16~17	1	変動帯の特徴とその形成過程をプレート運動との関係からとらえ、人間生活との関係について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
4月	第1編 現代世界の系統地理的考察	第1章 自然環境	第1節 世界の地形	4 安定地域の地形	18~19	1	安定地域の特徴と人間生活との関係について平野と山地の側面から理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
4月	第1編 現代世界の系統地理的考察	第1章 自然環境	第1節 世界の地形	5 河川がくぐる地形	22~23	1	変動帯にみられる小地形の一つである河川がくぐるさまざまな地形の特徴や形成過程、人間生活との関係について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
4月	第1編 現代世界の系統地理的考察	第1章 自然環境	第1節 世界の地形	6 海岸と海にみられる地形	22~23	1	さまざまな海岸地形、サンゴ礁地形の特徴や形成過程、人間生活との関係について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
4月	第1編 現代世界の系統地理的考察	第1章 自然環境	第1節 世界の地形	7 気候や地質の影響が強い地形	24~25	1	赤道型や乾湿型、カムスト地形の特徴や形成過程、人間生活との関係について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
4月	第1編 現代世界の系統地理的考察	第1章 自然環境	第2節 気候と自然環境	1 気候の見方	34~35	1	模式図や主題図を用いて、気候の形成要素である気温と降水量の世界的な分布の特徴について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
4月	第1編 現代世界の系統地理的考察	第1章 自然環境	第2節 気候と自然環境	2 大気大循環と気候	36~37	1	大気大循環による風の流れの特徴と、それによって形成される降水量分布の特徴から、気候環境形成の要因について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
4月	第1編 現代世界の系統地理的考察	第1章 自然環境	第2節 気候と自然環境	3 海洋と陸水	38~39	1	海洋と陸水における水の循環が、気温分布や水資源の維持に影響を与えていることについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
4月	第1編 現代世界の系統地理的考察	第1章 自然環境	第2節 気候と自然環境	4 世界の誕生・土壌	40~41	1	模式図を用いて、世界規模での各気候帯の分布の特徴、各気候帯と誕生・土壌との対応関係について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
4月	第1編 現代世界の系統地理的考察	第1章 自然環境	第3節 気候と人々の生活	1 ケンベンの気候区分	42~43	0.5	ケッペンの区分した各気候帯の分類基準への理解を前提に、気温図やハイサーグラフの作成・読み取りを通じて各気候帯について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
4月	第1編 現代世界の系統地理的考察	第1章 自然環境	第3節 気候と人々の生活	2 熱帯の特徴と人々の生活	44~45	0.5	熱帯の各気候帯の特徴やそこの生活・文化、生じている諸課題について多面的・多角的に理解します。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
4月	第1編 現代世界の系統地理的考察	第1章 自然環境	第3節 気候と人々の生活	3 乾燥帯の特徴と人々の生活	46~47	0.5	気温図やハイサーグラフを用いて、熱帯の各気候帯の特徴やそこの生活・文化、生じている諸課題について多面的・多角的に理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
4月	第1編 現代世界の系統地理的考察	第1章 自然環境	第3節 気候と人々の生活	4 温帯の特徴と人々の生活(1)	48~49	0.5	気温図やハイサーグラフを用いて、温帯東部の各気候帯の特徴やそこの生活・文化、生じている諸課題について多面的・多角的に理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
4月	第1編 現代世界の系統地理的考察	第1章 自然環境	第3節 気候と人々の生活	5 温帯の特徴と人々の生活(2)	50~51	0.5	気温図やハイサーグラフを用いて、温帯西部の各気候帯の特徴やそこの生活・文化、生じている諸課題について多面的・多角的に理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
4月	第1編 現代世界の系統地理的考察	第1章 自然環境	第3節 気候と人々の生活	6 寒帯(冷帯)・寒帯の特徴と人々の生活	52~53	0.5	気温図やハイサーグラフを用いて、寒帯(冷帯)・寒帯の各気候帯の特徴やそこの生活・文化、生じている諸課題について多面的・多角的に理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
4月	第1編 現代世界の系統地理的考察	第1章 自然環境	第3節 気候と人々の生活	7 高山気候の特徴と人々の生活	54~55	0.5	気温図やハイサーグラフを用いて、高山気候の特徴やそこの生活・文化、生じている諸課題について多面的・多角的に理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
4月	第1編 現代世界の系統地理的考察	第1章 自然環境	第3節 気候と人々の生活	自然災害Ⅱ 異常気象と気候変化	58~59	0.5	写真やグラフを用いて、異常気象と気候変化によってたらされる自然災害の被害状況について理解する。	教科書・映像視聴	○	○	第2回 4月30日	
4月	第1編 現代世界の系統地理的考察	第1章 自然環境	第4節 日本の自然環境と自然災害	1 日本の地形と自然災害	60~61	1	日本の地形の特徴について把握するとともに、写真や模式図を用いて自然災害の発生要因とそれが人々の生活にもたらす影響について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
4月	第1編 現代世界の系統地理的考察	第1章 自然環境	第4節 日本の自然環境と自然災害	2 日本の気候と自然災害	62~63	1	日本の気候の特徴について把握するとともに、衛星写真や模式図を用いて気候災害の発生要因とそれが人々の生活にもたらす影響について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
4月	第1編 現代世界の系統地理的考察	第1章 自然環境	第4節 日本の自然環境と自然災害	3 自然災害と防災・減災の取り組み	64~65	1	防災・減災へ向け自然災害対応のための取り組みについて把握するとともに、自助、共助、公助の観点からその取り組みの重要性について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
4月	第1編 現代世界の系統地理的考察	第1章 自然環境	第5節 世界の環境問題	1 地球規模の環境問題	66~67	1	地球規模で生じるさまざまな環境問題とその分布の特徴について、スケールの大小や発生問題との関わりを踏まえた上で理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
4月	第1編 現代世界の系統地理的考察	第1章 自然環境	第5節 日本の自然環境と自然災害	2 地球温暖化の背景と影響	68~69	1	地球温暖化の現状、発生の背景・要因とそれによってたらされる影響、問題解決のための国際協力の具体的な取り組みについての理解を踏まえ、持続可能な社会の在り方について構築する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
4月	第1編 現代世界の系統地理的考察	第1章 自然環境	第5節 日本の自然環境と自然災害	3 オゾンホール、大気汚染の背景と影響	70~71	1	オゾンホールや大気汚染の現状、発生の背景・要因とそれによってたらされる影響、問題解決のための国際協力の具体的な取り組みについての理解を踏まえ、持続可能な社会の在り方について構築する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
4月	第1編 現代世界の系統地理的考察	第1章 自然環境	第5節 日本の自然環境と自然災害	4 森林破壊の背景と地域性	72~73	1	森林破壊の現状、発生の背景・要因とそれによってたらされる影響、問題解決のための国際協力の具体的な取り組みについての理解を踏まえ、持続可能な社会の在り方について構築する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		

4月	第1編 現代世界の系統地理的 考察	第1章 自然環境	第5節 日本の自然環境と自然 災害	5 砂漠化、水問題の 背景と地域性	74～75	1	砂漠化や水問題の現状、発生の背景・要因と それによってもたらされる影響、問題解決の ための国際協力の具体的な取り組みについて の理解を深め、持続可能な社会の在り方につ いて構築する。	教科書・映像視 聴・報告課題	○	○	
4月	第1編 現代世界の系統地理的 考察	第1章 自然環境	第5節 気候・人々の生活	6 日本の環境問題	76～77	1	日本の環境問題の歴史的背景と現状につ いて把握するとともに、問題解決のための具 体的な取り組みと持続可能な社会の在り方につ いて構築する。	教科書・映像視 聴・報告課題	○	○	
5月	第1編 現代世界の系統地理的 考察	第2章 産業と資源	第1節 産業の発展と社会的分 業	1 産業の変遷	80～81	1	産業の変遷過程、それに伴う産業の高度化と その社会的背景について理解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	○	○	
5月	第1編 現代世界の系統地理的 考察	第2章 産業と資源	第1節 産業の発展と社会的分 業	2 産業構造と地域構 造	82～83	1	産業構造の変化に伴ってもたらされる産業立 地や地域構造の変化の特徴について理解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	○	○	
5月	第1編 現代世界の系統地理的 考察	第2章 産業と資源	第2節 農林水産業	1 農業の立地と形態	86～87	1	農業立地の成立要因について自然条件、社会 条件、市場条件などとの関わりから理解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	○	○	
5月	第1編 現代世界の系統地理的 考察	第2章 産業と資源	第2節 農林水産業	2 世界のさまざまな 農業地域	88～89	1	農業の成立・発展過程とその社会的背景につ いて三つの変遷との関わりから理解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	○	○	
5月	第1編 現代世界の系統地理的 考察	第2章 産業と資源	第2節 農林水産業	3 グローバル化と農 業地域の変容	90～91	1	現代農業の特徴についてフードシステムの観 点から把握するとともに、グローバル化に伴 う農業地域の変容についてアメリカ、アジア を例に理解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	○	○	
5月	第1編 現代世界の系統地理的 考察	第2章 産業と資源	第2節 農林水産業	4 拡大する世界の農 産物流通	92～93	1	世界の農産物流通の特徴について小麦、米、 畜産物、野菜を例に理解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	○	○	
5月	第1編 現代世界の系統地理的 考察	第2章 産業と資源	第2節 農林水産業	5 世界の林業・水産 業	94～95	1	森林資源の分布と役割ならびに林業の現状、 水産資源の分布ならびに水産物貿易、保護の 現状について理解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	○	○	
5月	第1編 現代世界の系統地理的 考察	第2章 産業と資源	第2節 農林水産業	6 日本の農林水産業	96～97	1	日本の農林水産業の特徴について把握すると ともに、変化をもたらす社会的背景について 国内外の動向との関わりから理解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	○	○	
5月	第1編 現代世界の系統地理的 考察	第2章 産業と資源	第3節 食料問題	1 食料問題の背景と 地域性	98～99	1	食料の供給・生産・流通における食料問題の 地域的相違について地球観の視野から理解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	○	○	
5月	第1編 現代世界の系統地理的 考察	第2章 産業と資源	第3節 食料問題	2 食料問題の解決に 向けて	100～101	1	食料確保に向けた世界的な取り組みの現状と 課題、食料不足解消に向けた国際協力の動向 について理解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	○	○	
5月	第1編 現代世界の系統地理的 考察	第2章 産業と資源	第3節 食料問題	3 日本の食料問題	102～103	1	自給率低下、安定供給、安全性という観点か ら、日本の食料問題について多面的、多角的に 理解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	○	○	
5月	第1編 現代世界の系統地理的 考察	第2章 産業と資源	第4節 エネルギーと鉱産資源	1 世界のエネルギー 需要	104～105	1	暮らしを支えるエネルギーの重要性、需要の 増大により生じる問題点について多面的、 多角的に理解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	○	○	
5月	第1編 現代世界の系統地理的 考察	第2章 産業と資源	第4節 エネルギーと鉱産資源	2 化石燃料	106～107	1	石油、石炭、天然ガスなどの化石燃料の生 産・消費と貿易の現状、世界における近年の エネルギー事情の動向について多面的、多角 的に理解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	○	○	
5月	第1編 現代世界の系統地理的 考察	第2章 産業と資源	第4節 エネルギーと鉱産資源	3 電力生産	108～109	1	各種電力生産の特徴と課題への深い理解を基 に、国際的な電力供給に向けた取り組みにつ いて、持続可能性という観点から理解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	○	○	
5月	第1編 現代世界の系統地理的 考察	第2章 産業と資源	第4節 エネルギーと鉱産資源	4 金属資源	110～111	1	工業発展に不可欠な金属資源の重要性とそれ を取り巻く国際情勢について、鉄鉱石と非鉄 金属、レアメタルそれぞれの生産、消費の動 向との関わりから理解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	○	○	
5月	第1編 現代世界の系統地理的 考察	第2章 産業と資源	第5節 資源・エネルギー問題	1 化石燃料への依存 と国家間の対立	112～113	1	化石燃料の大量消費に伴い生じる資源の枯渇 や環境問題、石油供給に関わる国際政治の動 向について理解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	○	○	
5月	第1編 現代世界の系統地理的 考察	第2章 産業と資源	第5節 資源・エネルギー問題	2 化石燃料から再生 可能エネルギーへ	114～115	1	地球の持続可能性という観点から望ましいエ ネルギー政策の実現に向けた取り組みにつ いて多面的、多角的に理解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	○	○	
5月	第1編 現代世界の系統地理的 考察	第2章 産業と資源	第5節 資源・エネルギー問題	3 日本の資源・エネ ルギー問題	116～117	1	わが国における資源・エネルギーの厳しい輸入 依存度を脱却し、自給率向上を目指す取組 みや、新たな資源開発の動向について理解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	○	○	
6月	第1編 現代世界の系統地理的 考察	第2章 産業と資源	第6節 工業の立地と工業地 域の変容	1 工業の立地と工業 地域の変容	118～119	1	工業の立地条件が複数の類型に区分できるこ と、立地条件が時代とともに変化する背景や 原因、その変容の課題について理解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	◎	○	
6月	第1編 現代世界の系統地理的 考察	第2章 産業と資源	第6節 工業の立地と工業地 域の変容	2 繊維・鉄鋼、石油 化学	120～121	1	繊維・鉄鋼、石油化学を事例に、各々の工業 における立地の特徴と近年の変化の動向につ いて理解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	◎	○	
6月	第1編 現代世界の系統地理的 考察	第2章 産業と資源	第6節 工業の立地と工業地 域の変容	3 自動車、エレクト ロニクス	122～123	1	自動車とエレクトロニクスを事例に、多国籍 企業による工業立地の特徴と国際分業体制に ついて理解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	◎	○	
6月	第1編 現代世界の系統地理的 考察	第2章 産業と資源	第6節 工業の立地と工業地 域の変容	4 新しい技術と工業 の変容	124～125	1	ICTの導入によって工業のスマート化が進行 している現状と、それによってもたらされる 課題について理解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	◎	○	
6月	第1編 現代世界の系統地理的 考察	第2章 産業と資源	第6節 工業の立地と工業地 域の変容	5 グローバル化と工 業地域の再編	126～127	1	グローバル化の進展によって進行している工 業地域の再編とそれによってもたらされる課 題について理解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	◎	○	
6月	第1編 現代世界の系統地理的 考察	第2章 産業と資源	第6節 工業の立地と工業地 域の変容	6 工業の知識集約化 の変容	128～129	1	工業の知識集約化に伴う特定地域における産 業の集積とネットワーク形成の動向につ いて理解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	◎	○	
6月	第1編 現代世界の系統地理的 考察	第2章 産業と資源	第7節 日本の工業とその 変容	7 日本の工業とその 変容	130～131	1	高度経済成長期から現在に至るまでの日本 の工業の変遷と最近の動向について理解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	◎	○	
6月	第1編 現代世界の系統地理的 考察	第2章 産業と資源	第7節 第三次産業	1 サービス経済化の 進展と流通産業の発達	136～137	1	サービス経済化の進展を支える流通産業の発 達や消費行動の変化の実現、それによって 生じる小売業立地の実態について理解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	○	○	
6月	第1編 現代世界の系統地理的 考察	第2章 産業と資源	第7節 第三次産業	2 情報通信業とその 発展	138～139	1	情報通信業の急速な発展の背景と国内外にお ける立地の特性について理解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	○	○	
6月	第1編 現代世界の系統地理的 考察	第2章 産業と資源	第7節 第三次産業	3 医療・福祉産業の 課題	140～141	1	医療・福祉産業拡大の背景や地域格差の実 態、保健サービスに焦点を当てた国際比較の 現状について理解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	○	○	
6月	第1編 現代世界の系統地理的 考察	第3章 交通・通信・観光	第1節 交通・通信	1 交通の発達(1)	142～143	0.5	移動手段の発展が時間距離の短縮につなが り、グローバル化を促した。その一環を 担う陸上・水上両交通の特徴について理解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	○	○	
6月	第1編 現代世界の系統地理的 考察	第3章 交通・通信・観光	第1節 交通・通信	2 交通の発達(2)	144～145	0.5	航空を含めた交通の発達をもたらす利点と問 題点について多面的に理解した上で、環境負 荷を減らすための新たな交通のあり方につ いて理解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	○	○	
6月	第1編 現代世界の系統地理的 考察	第3章 交通・通信・観光	第1節 交通・通信	3 情報通信技術の発 達	146～147	0.5	情報通信技術の発達が高度情報化社会をもた らしことを前提に、そのよう社会が進展 することによる利点と問題点について理解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	○	○	
6月	第1編 現代世界の系統地理的 考察	第3章 交通・通信・観光	第2節 貿易と経済連携	1 貿易の自由化と経 済連携	148～149	0.5	自由貿易の促進された背景やそれに伴いま たされた世界規模での経済連携拡大の状況に ついて理解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	○	○	
6月	第1編 現代世界の系統地理的 考察	第3章 交通・通信・観光	第2節 貿易と経済連携	2 現代貿易の課題	150～151	0.5	現代の貿易が抱える課題について世界レ ベル、国内レベル各々の視点から多面的、 多角的に理解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	○	○	
6月	第1編 現代世界の系統地理的 考察	第3章 交通・通信・観光	第3節 観光	1 観光の発達と地理 的展開	152～153	0.5	観光産業発展の背景と動向、その地理的展開 の特徴について多面的、多角的に理解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	○	○	
6月	第1編 現代世界の系統地理的 考察	第3章 交通・通信・観光	第3節 観光	2 ささまざまな観光	154～155	0.5	時代の変化とともに観光そのものが世界規模 において多様化していることを踏まえ、日本 における観光の変化の動向について理解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	○	○	
6月	第1編 現代世界の系統地理的 考察	第4章 人口、村落、都市	第1節 人口	1 世界の人口分布と 人口増加	158～159	1	世界の人口分布の特徴とその背景を踏まえた 上で、地球規模での人口増加の裏面とその要 因、今後の予測について理解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	○	○	
6月	第1編 現代世界の系統地理的 考察	第4章 人口、村落、都市	第1節 人口	2 人口動態とピラ ミッド	160～161	1	人口動態の推移について把握するとともに、 各国の人口ピラミッドを作成することで、そ の国の置かれた社会状況について理解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	○	○	

第3回

5月31日

第4回

6月30日

6月	第1編 現代世界の系統地理的 考察	第4章 人口、村落・都市	第1節 人口	3 人口移動の変遷と 今日の姿	162～163	0.5	地球規模での人口移動の変遷について把握する とともに、労働者と難民を事例に人口移動 の特性とその社会的背景について理解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	○	○	第5回 6月30日
6月	第1編 現代世界の系統地理的 考察	第4章 人口、村落・都市	第2節 人口問題	1 発展途上の人口 問題	164～165	1	発展途上の国が抱える人口問題の特性とその背景・ 要因、もたらされる影響について把握する とともに、問題解決へ向けての国際協力の あり方について理解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	○	○	
6月	第1編 現代世界の系統地理的 考察	第4章 人口、村落・都市	第2節 人口問題	2 先進国の人口問題	166～167	1	先進国が抱える人口問題の特性とその背景・ 要因、もたらされる影響について把握すると ともに、それらを克服するための取り組みに ついて理解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	○	○	
6月	第1編 現代世界の系統地理的 考察	第4章 人口、村落・都市	第3節 村落・都市	1 村落の機能と形態	168～169	1	村落の機能と立地要因、形態の特性や成立条 件についての理解をもとに、近年の村落の 変化の状況と抱える課題について認識を深 める。	教科書・映像視 聴・報告課題	○	○	
6月	第1編 現代世界の系統地理的 考察	第4章 人口、村落・都市	第3節 村落・都市	2 都市の機能と都市 システム	170～171	1	都市機能の拡充過程を踏まえ、都市システム が形成される背景について、その階層性との 関わりから把握するとともに、近年の都市間 競争の激化により、世界都市を担う動き について理解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	○	○	
6月	第1編 現代世界の系統地理的 考察	第4章 人口、村落・都市	第3節 村落・都市	3 都市の内部構造と 大都市圏	172～173	1	都市の成長拡大によってその内部構造が変 化すること、都市圏の広がりが段階的な展 開をたどっていることを理解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	○	○	
6月	第1編 現代世界の系統地理的 考察	第4章 人口、村落・都市	第4節 居住・都市問題	1 発展途上の居 住・都市問題	176～177	1	発展途上国における都市化の過程とそれ に伴って生じる居住・都市問題について、ジ ョカルタを事例に多面的・多角的に理解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	○	○	
6月	第1編 現代世界の系統地理的 考察	第4章 人口、村落・都市	第4節 居住・都市問題	2 先進国の居住・都 市問題	178～179	1	先進国における都市の発展に伴う問題点 とそれをもたらした社会的背景、より良い 住環境の創出に向けた取り組みについて理解 する。	教科書・映像視 聴・報告課題	○	○	
6月	第1編 現代世界の系統地理的 考察	第4章 人口、村落・都市	第4節 居住・都市問題	3 日本の居住・都市 問題	180～181	1	日本の都市が直面している一極集中や都市 の縮退などの課題、解決への取り組みにつ いて多面的・多角的に理解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	○	○	
7月	第1編 現代世界の系統地理的 考察	第5章 生活文化、民族・宗教	第1節 生活文化の地域性	1 文化と環境	186～187	1	文化についての定義を踏まえ、世界諸地域 における文化の形成過程と変容過程につ いて多面的・多角的に理解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	○	○	
7月	第1編 現代世界の系統地理的 考察	第5章 生活文化、民族・宗教	第1節 生活文化の地域性	2 世界の食生活	188～189	1	食文化が地域によって異なる要因や、それ が変容する過程について多面的・多角的に 理解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	○	○	
7月	第1編 現代世界の系統地理的 考察	第5章 生活文化、民族・宗教	第1節 生活文化の地域性	3 世界の住居、衣服	190～191	1	住居や衣服が地域によって異なる要因や、そ れが変容する過程について多面的・多角的 に理解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	○	○	
7月	第1編 現代世界の系統地理的 考察	第5章 生活文化、民族・宗教	第2節 民族・言語・宗教	1 世界の民族と言語	192～193	1	民族についての定義を踏まえ、言語と国家 との相互関係について多面的・多角的に理 解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	○	○	
7月	第1編 現代世界の系統地理的 考察	第5章 生活文化、民族・宗教	第2節 民族・言語・宗教	2 世界の宗教	194～195	1	世界の宗教分布の特性とその形成過程を踏 まえ、宗教を軸とした世界の文化の多様性 について理解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	○	○	
7月	第1編 現代世界の系統地理的 考察	第5章 生活文化、民族・宗教	第2節 民族・言語・宗教	1 世界の多様な民族 問題	196～197	1	世界各地で生じている民族問題の背景につ いて国家や宗教との関わりから理解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	○	○	
7月	第1編 現代世界の系統地理的 考察	第5章 生活文化、民族・宗教	第2節 民族・言語・宗教	2 紛争と難民	198～199	1	世界各地で生じている民族紛争や難民問題 が生じた社会的背景について多面的・多角 的に理解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	○	○	
7月	第1編 現代世界の系統地理的 考察	第5章 生活文化、民族・宗教	第2節 民族・言語・宗教	3 民族問題をどう参 りこめるか	200～201	1	民族紛争や難民問題の解決に向けた取り 組みと課題について、具体的な事例をも とに理解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	○	○	
7月	第1編 現代世界の系統地理的 考察	第5章 生活文化、民族・宗教	第4節 現代の国家と領土問題	1 国家の領域と国境 線	202～203	1	主権説や構成員を用いて、国家の領域や国 境の概念について具体例をもとに理解す る。	教科書・映像視 聴・報告課題	○	○	
7月	第1編 現代世界の系統地理的 考察	第5章 生活文化、民族・宗教	第4節 現代の国家と領土問題	2 領土問題の要因と 解決への取り組み	204～205	1	日本を含めた領土問題の発生要因への理 解をもとに、その解決策について多面的・ 多角的に理解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	○	○	
7月	第2編 現代世界の地理的考察	第1章 現代世界の地域区分	第1節 地域区分の意義と方法	1 地域区分の意義	210～211	1	さまざまな指標によって地域を区分するこ との意義について理解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	○	○	第7回 8月31日
7月	第2編 現代世界の地理的考察	第1章 現代世界の地域区分	第1節 地域区分の意義と方法	2 さまざまな地域区 分の方法	212～213	1	さまざまな指標によって地域を区分する方 法について理解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	○	○	
7月	第2編 現代世界の地理的考察	第1章 現代世界の地域区分	第1節 地域区分の意義と方法	3 地域の考察方法	214～215	1	これから学習する世界の諸地域について、地 域の特色をとらえるために適切な地理的方 法について理解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	○	○	
8月	第2編 現代世界の地理的考察	第2章 現代世界の諸地域	第1節 東アジア―項目ごとに 整理して考察する―	1 中国の改革開放と 急速に進む工業化	216～217	1	改革・開放政策に伴い急速に進む中国の工 業化とそれによる影響について理解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	○	○	
8月	第2編 現代世界の地理的考察	第2章 現代世界の諸地域	第1節 東アジア―項目ごとに 整理して考察する―	2 中国の産業、農村 の近代化と都市化	218～219	1	改革開放政策に伴いもたらされた中国の産 業の近代化とその動向、都市の現状とそれ に伴う生じる諸問題について具体的な事例 をもとに理解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	○	○	
8月	第2編 現代世界の地理的考察	第2章 現代世界の諸地域	第1節 東アジア―項目ごとに 整理して考察する―	3 環境問題などの課 題	220～221	1	中国国内の多様な民族構成、経済成長に伴 い変化する人々の生活、深刻化する環境 問題や経済格差の現状とその取り組みにつ いて理解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	○	○	
8月	第2編 現代世界の地理的考察	第2章 現代世界の諸地域	第1節 東アジア―項目ごとに 整理して考察する―	4 経済成長により広 がる中国の影響	222～223	1	国際社会における中国の影響力について産 業や資源獲得競争、外交政策の面から理 解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	○	○	
8月	第2編 現代世界の地理的考察	第2章 現代世界の諸地域	第1節 東アジア―項目ごとに 整理して考察する―	5 韓国の経済成長と 地域構造	224～225	1	経済成長に伴う韓国の産業立地の特性や地 域構造の変化、それに伴って生じる経済格 差やグローバル化の問題、解決へ向けての 取り組みについて理解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	○	○	
8月	第2編 現代世界の地理的考察	第2章 現代世界の諸地域	第1節 東アジア―項目ごとに 整理して考察する―	6 韓国の都市、農村 の変化と生活文化	226～227	1	工業化に伴う韓国の都市化の進展と農村に おける変化の様相、国内の生活文化の特 徴と変化の動向について理解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	○	○	
8月	第2編 現代世界の地理的考察	第2章 現代世界の諸地域	第2節 東南アジア―項目ごと に整理して考察する―	1 東南アジアの多 様な文化	228～229	0.5	東南アジアの文化の多様性や共通性につ いて言語、宗教を切り口に理解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	○	○	
8月	第2編 現代世界の地理的考察	第2章 現代世界の諸地域	第2節 東南アジア―項目ごと に整理して考察する―	2 東南アジアの地 域性と農業	230～231	0.5	東南アジアの地域性の特徴とそれらによ り成立した農業的動向について理解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	○	○	
8月	第2編 現代世界の地理的考察	第2章 現代世界の諸地域	第2節 東南アジア―項目ごと に整理して考察する―	3 ASEANの政治と 経済発展	232～233	0.5	ASEANの協定の特徴と工業化の動向につ いてタイとマレーシアを事例に理解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	○	○	
8月	第2編 現代世界の地理的考察	第2章 現代世界の諸地域	第2節 東南アジア―項目ごと に整理して考察する―	4 国家間の格差など の課題	234～235	0.5	東南アジアの経済発展による先進産業の振 興一方で、国家間、民族間、都市・農村間 での格差が顕著化していることを理解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	○	○	
8月	第2編 現代世界の地理的考察	第2章 現代世界の諸地域	第3節 南アジア―経済成長に 着目する―	1 グローバル化と南 アジアの経済発展	236～237	0.5	南アジアにおける経済自由化や産業開発、工 業化の進展についてグローバル化に伴う経 済格差との関わりから理解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	○	○	
8月	第2編 現代世界の地理的考察	第2章 現代世界の諸地域	第3節 南アジア―経済成長に 着目する―	2 大都市の形成と格 差の問題	238～239	0.5	経済成長や都市化に伴うインド社会の 変化についてメリットとデメリットに区 分しながら理解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	○	○	
8月	第2編 現代世界の地理的考察	第2章 現代世界の諸地域	第3節 南アジア―経済成長に 着目する―	3 インドの人口増加 と農村の変化	240～241	0.5	インドにおける人口急増、農業の発展、農 村社会の変化の背景について多面的・多 角的に理解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	○	○	
8月	第2編 現代世界の地理的考察	第2章 現代世界の諸地域	第3節 南アジア―経済成長に 着目する―	4 南アジア世界の多 様性と統一	242～243	0.5	南アジア世界の多様性と共通性について文 化を指標に把握するとともに、地域間格 差の現状について具体的な事例をもとに理 解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	○	○	
8月	第2編 現代世界の地理的考察	第2章 現代世界の諸地域	第4節 西アジアと中央アジア 二つの地域を比較する―	1 交易の歴史と人々 の生活	244～245	0.5	シルクロードにおける交易を中心に発展し ていった西アジアと中央アジアの歴史 的経路を踏まえるとともに、両地域にお ける人々の生活の特性について農業を 軸に理解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	○	○	
8月	第2編 現代世界の地理的考察	第2章 現代世界の諸地域	第4節 西アジアと中央アジア 二つの地域を比較する―	2 乾燥地に適応した 生活文化と宗教	246～247	0.5	西アジアと中央アジアの共通点と相違 点について、生活文化と宗教を指標に理 解する。	教科書・映像視 聴・報告課題	○	○	

8月	第2編 現代世界の地誌的考察	第2章 現代世界の諸地域	第4節 西アジアと中央アジア 二つの地域の比較	3 資源開発にみられる 二つの地域の違い	248～249	0.5	西アジアと中央アジアの共通点と相違点について、資源開発と産業を指標に理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○	
9月	第2編 現代世界の地誌的考察	第2章 現代世界の諸地域	第5節 北アメリカとサハラ以南 アフリカ二つの地域を比較する一	1 多様な文化の成り立ち	250～251	0.5	北アメリカとサハラ以南アフリカの共通点と相違点について歴史、産業と文化を指標に理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○	
9月	第2編 現代世界の地誌的考察	第2章 現代世界の諸地域	第5節 北アメリカとサハラ以南 アフリカ二つの地域を比較する一	2 モノカルチャー経済の課題	252～253	0.5	北アメリカとサハラ以南アフリカの共通点と相違点について、経済、産業を指標に理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○	
9月	第2編 現代世界の地誌的考察	第2章 現代世界の諸地域	第5節 北アメリカとサハラ以南 アフリカ二つの地域を比較する一	3 アフリカの開発と新たな課題	254～255	0.5	北アメリカとサハラ以南アフリカ諸国における発展の状況や他地域との結びつきについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○	
9月	第2編 現代世界の地誌的考察	第2章 現代世界の諸地域	第6節 ヨーロッパ地域統合に着目する一	1 ヨーロッパ統合の流れ	256～257	0.5	ヨーロッパ統合が進む背景について民族と宗教との関わりから理解するとともに、統合への期待の裏面も捉えて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○	
9月	第2編 現代世界の地誌的考察	第2章 現代世界の諸地域	第6節 ヨーロッパ地域統合に着目する一	2 ヨーロッパの農業とその変容	258～259	0.5	ヨーロッパにおける農業の多様性と現状を踏まえ、EUの共通農業政策の特徴とそれがもたらした課題と見直しについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○	
9月	第2編 現代世界の地誌的考察	第2章 現代世界の諸地域	第6節 ヨーロッパ地域統合に着目する一	3 ヨーロッパの産業とその変容	260～261	0.5	ヨーロッパにおける産業の変容について工業の多様化、サービス経済化を指標に理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○	第8回 9月30日
9月	第2編 現代世界の地誌的考察	第2章 現代世界の諸地域	第6節 ヨーロッパ地域統合に着目する一	4 EUの拡大と地域格差	262～263	0.5	EUの東方拡大の背景とそれによりもたらされた課題、対外関係とそれに関わる課題について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○	
9月	第2編 現代世界の地誌的考察	第2章 現代世界の諸地域	第6節 ヨーロッパ地域統合に着目する一	5 揺らぐ「一つのヨーロッパ」	264～265	0.5	イギリスのEU離脱を切り口に、EUが抱えている課題、その克服に向けた国家間の協力を契機として理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○	
9月	第2編 現代世界の地誌的考察	第2章 現代世界の諸地域	第7節 ロシア―項目ごとと整理して考察する一	1 多様な民族と宗教	266～267	0.5	ロシア国内の多様な民族、宗教について把握するとともに、国内における民族間や周辺諸国との間に抱える領土問題について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○	
9月	第2編 現代世界の地誌的考察	第2章 現代世界の諸地域	第7節 ロシア―項目ごとと整理して考察する一	2 ポスト社会主義時代の暮らし	268～269	0.5	ロシアでの市場経済への移行に伴う経済、社会、人々の暮らしにおける変化の動向について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○	
9月	第2編 現代世界の地誌的考察	第2章 現代世界の諸地域	第7節 ロシア―項目ごとと整理して考察する一	3 周辺国との産業・資源をめぐる関係の変化	270～271	0.5	ロシアの農業、鉱工業地域の分布の特徴について把握するとともに、近年の産業地域の関わりとそれによって定着している地域格差の問題について理解を深める。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○	
10月	第2編 現代世界の地誌的考察	第2章 現代世界の諸地域	第8節 アンゴラ―項目ごとと整理して考察する一	1 アンゴラアメリカの農業	272～273	0.5	アンゴラアメリカの自然環境の多様性とそれによって形成される農業地帯の特色について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○	
10月	第2編 現代世界の地誌的考察	第2章 現代世界の諸地域	第8節 アンゴラ―項目ごとと整理して考察する一	2 多民族社会がかかえる問題	274～275	0.5	アンゴラアメリカの特色である多民族、多文化社会の形成過程について歴史的背景を踏まえて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○	
10月	第2編 現代世界の地誌的考察	第2章 現代世界の諸地域	第8節 アンゴラ―項目ごとと整理して考察する一	3 世界最大のアンゴラアメリカ経済	276～277	0.5	アンゴラアメリカの経済が世界最大と位置づけられる社会的背景について、先端技術、金融、鉱産資源の側面から理解するとともに、課題について認識を深める。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○	
10月	第2編 現代世界の地誌的考察	第2章 現代世界の諸地域	第8節 アンゴラ―項目ごとと整理して考察する一	4 先駆産業の発展と鉱工業地域の变化	278～279	0.5	アンゴラアメリカの鉱工業地域の变化について先駆産業の発展との関わりから理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○	
10月	第2編 現代世界の地誌的考察	第2章 現代世界の諸地域	第8節 アンゴラ―項目ごとと整理して考察する一	5 情報社会に移行する大都市圏	280～281	0.5	アンゴラアメリカにおける情報社会と農業・漁業の変化に伴う大都市圏の拡大と変容の相関について多面的・多角的に理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○	
10月	第2編 現代世界の地誌的考察	第2章 現代世界の諸地域	第9節 ラテンアメリカ―項目ごとと整理して考察する一	1 ラテンアメリカの成り立ち	282～283	0.5	ラテンアメリカの文化の形成の経緯について歴史的背景を踏まえて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○	
10月	第2編 現代世界の地誌的考察	第2章 現代世界の諸地域	第9節 ラテンアメリカ―項目ごとと整理して考察する一	2 ラテンアメリカの産業の発展と経済成長	284～285	0.5	ラテンアメリカの産業の発展の裏面に於いて農業、工業の両面から把握するとともに、グローバル化と地域統合が進む現在の状況について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○	
10月	第2編 現代世界の地誌的考察	第2章 現代世界の諸地域	第9節 ラテンアメリカ―項目ごとと整理して考察する一	3 森林破壊などの問題	286～287	0.5	ラテンアメリカにおける開発や都市化の現状とその発展に伴って生じる課題について把握するとともに、同地域の諸国が社会としての特徴についても多面的・多角的に理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○	
10月	第2編 現代世界の地誌的考察	第2章 現代世界の諸地域	第10節 オセアニア―項目ごとと整理して考察する一	1 多文化共生の課題	288～289	0.5	オーストラリアとニュージーランドの多文化社会の形成過程について、先住民族、ヨーロッパ移民、アジア系移民との関わりから理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○	第9回・映像視聴報告 10月31日
10月	第2編 現代世界の地誌的考察	第2章 現代世界の諸地域	第10節 オセアニア―項目ごとと整理して考察する一	2 オセアニアの資源と産業	290～291	0.5	オーストラリアとニュージーランドにおける鉱産資源や農業の特徴や位置づけとその重要性について多面的・多角的に理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○	
10月	第2編 現代世界の地誌的考察	第2章 現代世界の諸地域	第10節 オセアニア―項目ごとと整理して考察する一	3 オセアニアと他地域との結びつき	292～293	0.5	オーストラリア、ニュージーランドと東洋地域との経済的な結びつきについて貿易と観光に着目しながら理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○	
10月	第2編 現代世界の地誌的考察	第2章 現代世界の諸地域	第10節 オセアニア―項目ごとと整理して考察する一	4 南極・北極	294～295	0.5	南極と南極それぞれの地理的特徴について把握するとともに、近年の動向について国際社会との関わりから理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○	
10月	第3編 現代世界と日本の国土	第1章 持続可能な国土の探求	第1節 日本の地理的課題の探求	1 日本の地域構造	298～299	0.5	日本の地域構造の歴史的変遷について把握するとともに、現代の地域構造の特徴によって生じている地理的課題について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○	
10月	第3編 現代世界と日本の国土	第1章 持続可能な国土の探求	第1節 日本の地理的課題の探求	2 日本の国土政策	300～301	0.5	日本の国土政策の歴史的変遷について把握するとともに、今後の国土づくりのあり方について、国内における地理的課題の現状を踏まえて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○	
10月	第3編 現代世界と日本の国土	第1章 持続可能な国土の探求	第2節 持続可能な国土の探求	1 課題と仮説の設定	302～303	0.5	「主体的・対話的な学習方法」を駆使しながら、日本が抱える地理的課題の解決と持続可能な国土形成に向けた一連の探究プロセスを踏まえるとともに、課題と仮説の設定方法について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○	
10月	第3編 現代世界と日本の国土	第1章 持続可能な国土の探求	第2節 持続可能な国土の探求	2 仮説の検証と考察、さらなる探究へ	312～313	0.5	「主体的・対話的な学習方法」を駆使しながら、日本が抱える地理的課題の解決と持続可能な国土形成に向けた一連の探究プロセスを踏まえるとともに、仮説の検証と考察方法、結果をまとめる方法について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○	

計105単位時間

【学習上の注意】

- 教科書を参考にしながら、丁寧に課題へ取り組みましょう。
- 地理探究は、地球表面で行われているすべての活動に関わる重要な科目です。身近な現象から自身に置き換えて考え、学習へ取り組んでください。

【映像視聴について】

指示された所定時間、所定回数以上を視聴・学習すること。
<https://ww3.tokyo-shoseki.co.jp/api/wisus/index.php?enode=off&id=55act>



【学習評価】

*主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点	評価基準
知識・技能	○地図や地理情報システムなどの読み取りを通して、地球的な視野から地理的事象の空間的な規則性、傾向性や関連する課題の発生要因について理解することで、現代世界の諸事象の地理的認識を深めている。
思考・判断・表現	○地理的事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりすることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行う中での、また、粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。

【単位修得認定基準】

- ①報告課題（レポート）：9回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- ②面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に2単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。
- ③単位認定試験の得点：単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位数時間	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
地理歴史	日本史探究	通年	選択履修	3単位	105単位時間(50分×105)	2単位時間	東京書籍『日本史探究』 2東書 日探 701	授業者に準ずる	藤井 誉

【教科学習を通じて、育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】

日本の歴史的展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から、日本と世界に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。日本の歴史的展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究しようとする態度を養う。総合的・発展的に考察する力、物事の特徴や事象の変化を簡潔・明瞭に表現する力を養う。日本の歴史的展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする態度を養う。基礎・基本を身に付けて、日常生活や社会の事象を捉え、処理し、問題を解決することができる。

【学習目標】

- 〈知識・技能〉 日本の歴史的展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から、日本と世界に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 〈思考・判断・表現〉 日本の歴史的展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究しようとする態度を養う。総合的・発展的に考察する力、物事の特徴や事象の変化を簡潔・明瞭に表現する力を養う。
- 〈主体的に取り組む態度〉 日本の歴史的展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする態度を養う。

【学習方法】

- ①メディア授業 メディア授業を用いることで幅広い単元を学習するとともに、視覚・視聴を利用して多面的に捉えることで、より理解を深める。
- ②本校スクーリング 対面授業を実施し、歴史的な視座を日常生活や社会事象に活用するために、対話によって思考を深め、広げることで問題解決する力を養う。
- ③報告課題（レポート） 教科書に準じた内容の報告課題を利用学習することで、歴史的な事象の本質を把握・整理し、それらを歴史的視点(歴史的事象を解釈するにあたっての視点やものの見方・考え方)を用いて解決策を提案する力、問題解決のために自分が考えた道筋を他者に明確に表現できる力を養う。

- メディア箇所
- ◎ メディア視聴報告書箇所

【年間学習計画】

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位数時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導 (S)		報告課題 (R)	備考
	編	章	節	項					メディア (教科書以外)	教科書以外(教科書以外)		
4月	第1編	先史・古代の日本と東アジア	第1章	先史時代の生活と文化	旧石器時代の日本	p8~9	1	旧石器時代の日本について、諸資料から適切かつ効果的に読み取り、理解している。	教科書、映像授業、報告課題	○		
4月	第1編	先史・古代の日本と東アジア	第1章	先史時代の生活と文化	縄文文化	p10~13	1	縄文文化が生まれた背景や文化の特色について、諸資料から適切かつ効果的に読み取り、理解している。	教科書、映像授業	○		
4月	第1編	先史・古代の日本と東アジア	第1章	先史時代の生活と文化	弥生文化と小国家の形成	p14~17	1	弥生文化の特色と小国家の形成について、諸資料から適切かつ効果的に読み取り、理解している。	教科書、映像授業、報告課題	○		
4月	第1編	先史・古代の日本と東アジア	第2章	歴史資料と先史・古代の展望	先史・古代の歴史を捉え立てる資料の種類	p18~19	1	先史・古代の歴史を組み立てる資料から年代の特定方法に関する情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。	教科書、映像授業	○		
4月	第1編	先史・古代の日本と東アジア	第2章	歴史資料と先史・古代の展望	東アジアとの交流のなかでつながりあがった歴史	p20~21	1	東アジアとの交流のなかでつながりあがった歴史に関する資料から日本と東アジアとの関係に関する情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。	教科書、映像授業、報告課題	○		
4月	第1編	先史・古代の日本と東アジア	第2章	歴史資料と先史・古代の展望	木簡が語る律令国家の実態	p22~23	1	木簡を基に、資料から律令国家の実態に関する情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。	教科書、映像授業、報告課題	○		
4月	第1編	先史・古代の日本と東アジア	第3章	1節 律令国家の形成と古代文化の展開	大和政権と古墳文化	p24~29	1	「大和政権は、人々のどのように支配していたのだろうか」などの課題について、複数の資料を活用し、学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書、映像授業、報告課題	○		
4月	第1編	先史・古代の日本と東アジア	第3章	1節 律令国家の形成と古代文化の展開	飛鳥の朝廷と文化	p30~33	1	「東アジア情勢の変化のなかで、飛鳥はどのような国際関係を築こうとしたのだろうか」などの課題について、複数の資料を活用し、学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書、映像授業、報告課題	◎	○	
4月	第1編	先史・古代の日本と東アジア	第3章	1節 律令国家の形成と古代文化の展開	律令国家の形成と古風文化	p34~40	1	「律令国家とはどのような国家だったのだろうか」などの課題について、複数の資料を活用し、学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書、映像授業、報告課題	◎		
4月	第1編	先史・古代の日本と東アジア	第3章	1節 律令国家の形成と古代文化の展開	平城京と天平文化	p41~49	2	奈良時代はどのような政治がおこなわれたのだろうか」などの課題について、複数の資料を活用し、学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書、映像授業、報告課題	◎		
4月	第1編	先史・古代の日本と東アジア	第3章	2節 平安遷都と唐風文化	平安遷都と唐風文化	p50~54	2	「平安時代の初期には、どのような政治がおこなわれたのだろうか」などの課題について、複数の資料を活用し、学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書、映像授業、報告課題	◎		
5月	第1編	先史・古代の日本と東アジア	第3章	2節 平安遷都と唐風文化	貴族社会と摂関政治	p55~59	2	「藤原北家がどのようにして権力を築いたのだろうか」などの課題について、複数の資料を活用し、学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書、映像授業、報告課題	○		
5月	第1編	先史・古代の日本と東アジア	第3章	2節 平安遷都と唐風文化	国風文化	p60~64	1	「国風文化の特徴は何」などの課題について、複数の資料を活用し、学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書、映像授業、報告課題	◎		
5月	第2編	中世の日本と世界	第1章	中世社会の成立	朝廷政治の変容	p66~69	2	院政の特色や院政体制の成立について、諸資料から適切かつ効果的に読み取り、理解している。	教科書、映像授業、報告課題	○		
5月	第2編	中世の日本と世界	第1章	中世社会の成立	武士の政治進出	p70~73	2	武士の社会進出と平氏政権の誕生、日宋貿易と院政期の文化の特色について、諸資料から適切かつ効果的に読み取り、理解している。	教科書、映像授業、報告課題	○		
5月	第2編	中世の日本と世界	第2章	歴史資料と中世の展望	武家権力による日本社会の変容	p74~75	1	武家権力による日本社会の変容に関する資料から中世の権力構造に関する情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。	教科書、映像授業	○		
5月	第2編	中世の日本と世界	第2章	歴史資料と中世の展望	新しい自然環境での人々の生存戦略	p76~77	1	新しい自然環境での人々の生存戦略に関する資料から中世の人々の暮らしに関する情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。	教科書、映像授業	○		
5月	第2編	中世の日本と世界	第2章	歴史資料と中世の展望	中世日本の国際交流	p78~79	1	中世日本の国際交流に関する資料から中世の国際交流の特徴に関する情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。	教科書、映像授業	○		
5月	第2編	中世の日本と世界	第3章	中世社会の成立と朝廷	鎌倉幕府の誕生	p80~85	2	「鎌倉幕府はどのような過程を経て成立したのだろうか」などの課題について、複数の資料を活用し、学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書、映像授業、報告課題	○		
5月	第2編	中世の日本と世界	第3章	中世社会の成立と朝廷	戦乱による政治	p86~89	2	「承久の乱によって幕府と朝廷の関係はどうなったのか」などの課題について、複数の資料を活用し、学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書、映像授業	○		
5月	第2編	中世の日本と世界	第3章	中世社会の成立と朝廷	モンゴル襲来と日本の実情	p90~93	2	「モンゴル襲来に対して鎌倉幕府はどのように対応したのか」などの課題について、複数の資料を活用し、学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書、映像授業、報告課題	○		
5月	第2編	中世の日本と世界	第3章	中世社会の成立と朝廷	鎌倉の乱と文化	p94~97	1	「新たな社会の成立により、どのような文化が生まれたのだろうか」などの課題について、複数の資料を活用し、学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書、映像授業、報告課題	○		

第1回・第2回

4月30日

6月	第2編 中世の日本と世界	第3章中世社会の展開	2期 武家支配の広がりと国際交流	南北朝の動乱と室町幕府の成立	p98～101	2	「室町幕府はどのようにして政治体制をととのえていったのだろうか」などの課題について、複数の資料を活用し、学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書、映像授業、報告課題	○		第3回 5月31日
6月	第2編 中世の日本と世界	第3章中世社会の展開	2期 武家支配の広がりと国際交流	幕府と東アジア国際交流	p102～105	1	「徳川の活動は、東アジア各地にどのような影響をもたらしたのだろうか」などの課題について、複数の資料を活用し、学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書、映像授業、報告課題	○		
6月	第2編 中世の日本と世界	第3章中世社会の展開	2期 武家支配の広がりと国際交流	室町時代の社会と経済活動	p106～109	1	「室町時代に村集や都市はどのように変化したのだろうか」などの課題について、複数の資料を活用し、学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書、映像授業、報告課題	○		
6月	第2編 中世の日本と世界	第3章中世社会の展開	2期 武家支配の広がりと国際交流	自立する戦国大名	p110～115	2	「戦国時代はどのようにして始まったのか」などの課題について、複数の資料を活用し、学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書、映像授業、報告課題	○		
6月	第2編 中世の日本と世界	第3章中世社会の展開	2期 武家支配の広がりと国際交流	室町文化	p116～121	2	「室町時代のそれぞれの時期にどのような文化が生まれたのだろうか」などの課題について、複数の資料を活用し、学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書、映像授業、報告課題	○		
6月	第3編 近世の日本と世界	第1章近世社会の形成		徳川世界の形成と日本	p124～127	1	15～16世紀の日本と海外との関係について、講義資料から適切かつ効果的に読み取り、理解している。	教科書、映像授業、報告課題	◎		
6月	第3編 近世の日本と世界	第1章近世社会の形成		織豊政権による全国統一	p128～131	2	織豊政権による織豊政権の目的や意義について、講義資料から適切かつ効果的に読み取り、理解している。	教科書、映像授業、報告課題	○		
6月	第3編 近世の日本と世界	第1章近世社会の形成		桃山文化	p132～133	1	桃山文化の特色について、講義資料から適切かつ効果的に読み取り、理解している。	教科書、映像授業	○		
6月	第3編 近世の日本と世界	第2章 歴史資料と近世の展望		参勤交代と幕藩体制	p134～135	2	参勤交代と幕藩体制に関する資料から近世の支配のしくみに関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。	教科書、映像授業	○		
6月	第3編 近世の日本と世界	第2章 歴史資料と近世の展望		百姓たちの生活世界	p136～137	2	百姓たちの生活世界に関する資料から近世を生きた人々の生活に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。	教科書、映像授業	○	第4回・第5回 6月30日	
6月	第3編 近世の日本と世界	第2章 歴史資料と近世の展望		江戸時代の対外関係	p138～139	2	江戸時代の対外関係に関する資料から近世の外交の特色に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。	教科書、映像授業	○		
7月	第4編 近世の日本と世界	第3章近世社会の展開	1期幕藩体制の確立	江戸幕府と大名・領主	p140～144	2	「江戸幕府の用意は、どのように権力を確立したのだろうか」などの課題について、複数の資料を活用し、学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書、映像授業、報告課題	○		
7月	第3編 近世の日本と世界	第3章近世社会の展開	1期幕藩体制の確立	近世の身分と人々の暮らし	p145～149	1	「江戸時代の身分はどのように分かれていたのだろうか」などの課題について、複数の資料を活用し、学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書、映像授業	○		
7月	第3編 近世の日本と世界	第3章近世社会の展開	1期幕藩体制の確立	アジアのなかの幕藩体制	p150～155	2	「アジアの諸地域と向き合うなかで江戸幕府はどのような対外政策を進めていったのだろうか」などの課題について、複数の資料を活用し、学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書、映像授業、報告課題	○		
7月	第3編 近世の日本と世界	第3章近世社会の展開	1期幕藩体制の確立	武断政治から文治政治へ	p156～157	1	「17世紀後半、江戸幕府の政治はどのように変化したのだろうか」などの課題について、複数の資料を活用し、学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書、映像授業、報告課題	○		
7月	第3編 近世の日本と世界	第3章近世社会の展開	1期幕藩体制の確立	幕藩体制下の社会の発展	p158～165	2	「江戸時代の前半、どのような産業が発達し、どのような文化が生まれたのか」などの課題について、複数の資料を活用し、学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書、映像授業、報告課題	○		
7月	第3編 近世の日本と世界	第3章近世社会の展開	2期近世社会の成熟と幕藩体制の動揺	享保の改革と経済の発展	p166～169	1	「18世紀にはどのような社会の変化がもたらされたのだろうか」などの課題について、複数の資料を活用し、学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書、映像授業、報告課題	○		
7月	第3編 近世の日本と世界	第3章近世社会の展開	2期近世社会の成熟と幕藩体制の動揺	近世社会の成熟と危機の始まり	p170～174	2	「18世紀後半、人々の生活はどのように変化したのだろうか」などの課題について、複数の資料を活用し、学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書、映像授業、報告課題	○		
7月	第3編 近世の日本と世界	第3章近世社会の展開	2期近世社会の成熟と幕藩体制の動揺	幕藩体制の立て直し	p175～179	2	「化政文化はどのような特徴があるのだろうか」などの課題について、複数の資料を活用し、学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書、映像授業、報告課題	○		
7月	第3編 近世の日本と世界	第3章近世社会の展開	2期近世社会の成熟と幕藩体制の動揺	幕藩体制の動揺	p180～186	2	「幕藩体制の動揺と考えられる事例にはどのようなものがあるのだろうか」などの課題について、複数の資料を活用し、学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書、映像授業、報告課題	○		
7月	第4編 近代の地域、日本と世界	第1章近代社会の展開		開港と開港	p188～191	2	列強の東アジア進出と日本の開港と開港、それが国内に及ぼした影響などについて、講義資料から適切かつ効果的に読み取り、理解している。	教科書、映像授業、報告課題	◎		
7月	第4編 近代の地域、日本と世界	第1章近代社会の展開		幕府の崩壊と明治維新	p192～197	2	江戸幕府が崩壊する要因や、明治新政府による議院政治の発足などについて、講義資料から適切かつ効果的に読み取り、理解している。	教科書、映像授業、報告課題	○		
8月	第4編 近代の地域、日本と世界	第2章歴史資料と近代の展望		資本主義の発展と生活	p198～199	2	資本主義の発展と生活に関する資料から日本経済と人々の生活の変化に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。	教科書、映像授業	○		
8月	第4編 近代の地域、日本と世界	第2章歴史資料と近代の展望		国民国家と政治参加	p200～201	2	国民国家と政治参加に関する資料から政治と国民の関係に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。	教科書、映像授業	○		
8月	第4編 近代の地域、日本と世界	第2章歴史資料と近代の展望		世界のなかの近代日本	p202～203	1	世界のなかの近代日本に関する資料から日本の外交政策や貿易に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。	教科書、映像授業	○	第7回 8月31日	
8月	第4編 近代の地域、日本と世界	第3章 近代社会の展開	1期近代的制度の導入と新しい国際関係	制度改革と殖産興業政策	p204～206	1	「明治初期の改革にはどのようなものがあるのだろうか」などの課題について、複数の資料を活用し、学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書、映像授業、報告課題	○		
8月	第4編 近代の地域、日本と世界	第3章 近代社会の展開	1期近代的制度の導入と新しい国際関係	文明開化と教育制度の整備	p207～209	1	「欧米の文化や思想は、どのように人々のあいだに広がったのだろうか」などの課題について、複数の資料を活用し、学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書、映像授業、報告課題	◎		
8月	第4編 近代の地域、日本と世界	第3章 近代社会の展開	1期近代的制度の導入と新しい国際関係	東アジア世界のなかの明治政府	p210～213	1	「明治初期の日本はどのような関係を諸外国と結んだのだろうか」などの課題について、複数の資料を活用し、学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書、映像授業、報告課題	○		
8月	第4編 近代の地域、日本と世界	第3章 近代社会の展開	1期近代的制度の導入と新しい国際関係	政府専制への批判	p214～217	1	「政府の政治や政策への批判がもたらした理由にはどのようなものがあるのだろうか」などの課題について、複数の資料を活用し、学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書、映像授業、報告課題	○		
8月	第4編 近代の地域、日本と世界	第3章 近代社会の展開	2期国民国家と資本主義の成立	立憲政治の成立	p218～221	1	「大日本帝國憲法はどのような内容だったのだろうか」などの課題について、複数の資料を活用し、学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書、映像授業、報告課題	○		
8月	第4編 近代の地域、日本と世界	第3章 近代社会の展開	2期国民国家と資本主義の成立	対外関係の改善と日清戦争	p222～225	2	「大日本帝國憲法が制定されたころの日本の対外関係はどのようなものだったのだろうか」などの課題について、複数の資料を活用し、学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書、映像授業、報告課題	◎		
8月	第4編 近代の地域、日本と世界	第3章 近代社会の展開	2期国民国家と資本主義の成立	産業革命と資本主義の発展	p226～229	1	「それぞれの産業はどのように発展したのだろうか」などの課題について、複数の資料を活用し、学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書、映像授業、報告課題	○		
9月	第4編 近代の地域、日本と世界	第3章 近代社会の展開	2期国民国家と資本主義の成立	教育制度の整備と新しい文化	p230～233	1	「明治期にどのような文化が生まれたのだろうか」などの課題について、複数の資料を活用し、学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書、映像授業、報告課題	○		
9月	第4編 近代の地域、日本と世界	第3章 近代社会の展開	2期国民国家と資本主義の成立	日露戦争と帝國日本	p234～237	1	「日露戦争の前後に、日本はどのような対外政策を講じたのだろうか」などの課題について、複数の資料を活用し、学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書、映像授業、報告課題	○	第8回 9月30日	

9月	第3編 近現代の地域・ 日本と世界	第3章 近現代社会の展開	2期国民国家と 資本主義の成立	日露戦争後の社会と政治	p238～239	1	「日露戦争後、国内ではどのような動きがあったのだろうか」などの課題について、複数の資料を活用し、学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書、映像授業、報告課題	○		
9月	第4編 近現代の地域・ 日本と世界	第3章 近現代社会の展開	3期大戦開戦期の日本	都市化・重工業化と 生活の変化	p240～245	1	「大正期の産業や文化にはどのような動きがあったのだろうか」などの課題について、複数の資料を活用し、学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書、映像授業、報告課題	○	○	
9月	第3編 近現代の地域・ 日本と世界	第3章 近現代社会の展開	3期大戦開戦期の日本	政党政治とデモクラシー	p246～249	2	「『憲法』という言葉は何をあらわしていたのだろうか」などの課題について、複数の資料を活用し、学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書、映像授業	○		
9月	第4編 近現代の地域・ 日本と世界	第3章 近現代社会の展開	3期大戦開戦期の日本	国際社会のなかの日本	p250～253	2	「第一次世界大戦がもたらした日本はどのような国際関係を築いたのだろうか」などの課題について、複数の資料を活用し、学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書、映像授業	○		
9月	第3編 近現代の地域・ 日本と世界	第3章 近現代社会の展開	4期第二次世界大戦と 日本	昭和恐慌と立憲政治の 動向	p254～257	1	「この時期の経済政策にはどのような特徴があり、どのような結果をもたらしたのだろうか」などの課題について、複数の資料を活用し、学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書、映像授業、報告課題	○		
9月	第4編 近現代の地域・ 日本と世界	第3章 近現代社会の展開	4期第二次世界大戦と 日本	中国侵略と戦時体制への 移行	p258～261	2	「日中戦争はどのように始まり、どのように展開したのだろうか」などの課題について、複数の資料を活用し、学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書、映像授業、報告課題	○		
9月	第3編 近現代の地域・ 日本と世界	第3章 近現代社会の展開	4期第二次世界大戦と 日本	戦時体制の強化と第二次 世界大戦の展開	p262～269	2	「第二次世界大戦はどのように始まり、どのように終わったのだろうか」などの課題について、複数の資料を活用し、学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書、映像授業、報告課題	○		
9月	第4編 近現代の地域・ 日本と世界	第3章 近現代社会の展開	5期占領と改革	占領と日本国憲法の成立	p270～275	2	「戦後、政治や経済、社会など各分野でどのような改革がもたらされたのだろうか」などの課題について、複数の資料を活用し、学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書、映像授業、報告課題	○		
10月	第3編 近現代の地域・ 日本と世界	第3章 近現代社会の展開	5期占領と改革	冷戦の開始と経済復興	p276～279	1	「第二次世界大戦後、国際情勢はどのように変化したのだろうか」などの課題について、複数の資料を活用し、学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書、映像授業、報告課題	○		
10月	第4編 近現代の地域・ 日本と世界	第3章 近現代社会の展開	6期国際社会への復帰 と高度経済成長	国際社会への復帰と対米 協調	p280～285	1	「冷戦構造の中での日本はどのような立場を築き、何を果たしたのだろうか」などの課題について、複数の資料を活用し、学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書、映像授業、報告課題	○		
10月	第3編 近現代の地域・ 日本と世界	第3章 近現代社会の展開	6期国際社会への復帰 と高度経済成長	高度経済成長	p286～291	1	「日本の高度経済成長をさせた条件は何だろうか」などの課題について、複数の資料を活用し、学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書、映像授業、報告課題	○		
10月	第4編 近現代の地域・ 日本と世界	第3章 近現代社会の展開	7期アジア情勢の変化 と経済大国日本	1970年代の国際社会と 日本	p292～293	1	「国際情勢の変化に対し、日本の役割はどのように対化したのだろうか」などの課題について、複数の資料を活用し、学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書、映像授業、報告課題	○		
10月	第3編 近現代の地域・ 日本と世界	第3章 近現代社会の展開	7期アジア情勢の変化 と経済大国日本	安定成長への転換	p294～299	1	「高度経済成長はどのようにして終わり、バブル経済にいたったのだろうか」などの課題について、複数の資料を活用し、学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書、映像授業、報告課題	○		
10月	第4編 近現代の地域・ 日本と世界	第3章 近現代社会の展開	8期新しい国際秩序と 日本の課題	激変する世界と日本	p300～303	1	「冷戦の終結、世界はどのように変化したのだろうか」などの課題について、複数の資料を活用し、学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書、映像授業、報告課題	○		
10月	第3編 近現代の地域・ 日本と世界	第3章 近現代社会の展開	8期新しい国際秩序と 日本の課題	21世紀の日本	p304～307	1	「戦後日本が歩いている課題とは何だろうか」などの課題について、複数の資料を活用し、学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	教科書、映像授業、報告課題	○		
10月	第4編 近現代の地域・ 日本と世界	第4章 現代の日本の 課題の探究	社会や集団と個人 世界のなかの日本 伝統や文化の継承と創造		p308～313	1	「『社会や集団と個人』、『世界のなかの日本』、『伝統や文化の継承と創造』をテーマに、歴史的背景をふまえて、現代の日本の課題を整理している。	教科書、映像授業	○		
10月	第3編 近現代の地域・ 日本と世界	第4章 現代の日本の 課題の探究	歴史のなかの男性と女性	地震と日本人	p316～317	1	「地震と日本人」をテーマに、歴史的経緯をふまえて、現代の日本の課題を整理している。	教科書、映像授業	○		
10月	第4編 近現代の地域・ 日本と世界	第4章 現代の日本の 課題の探究	歴史のなかの男性と女性		p318～321	1	「『歴史のなかの男性と女性』をテーマに、歴史的経緯をふまえて、現代の日本の課題を整理している。	教科書、映像授業、報告課題	○		

第9回：映像視聴
報告
10月31日

計 105 単位時間

【学習上の注意】

- ▶ 歴史的な事象に目を向け、現代の諸問題を解決する方法を考える際の参考にしましょう。
- ▶ 歴史を学ぶ楽しさを実感するために粘り強く問題を解きましょう。
- ▶ ペア学習・グループ学習では他の人と積極的にコミュニケーションを取り、理解を深めましょう。

【映像視聴について】

指示された所定時間、所定回数以上を視聴・学習すること。
<https://ww3.tokyo-shoseki.co.jp/wizus/index.php?enccode=off&id=55st>



【学習評価】

*主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点	評価基準
知識・技能	日本史における基本的な知識を既習の知識と関連付け、より深く理解するとともに、日常生活や社会事象の問題発見・解決に向けての基礎となる知識が身に付いている。
思考・判断・表現	歴史的な事象を論理的に捉え、現実の課題解決に役立て、解決の過程や結果を振り返って総合的・発展的に考え、歴史的事象の特徴や変化を簡潔・明瞭に表現している。
主体的に学習に取り組む態度	歴史を学ぶ楽しさを実感し、粘り強く考え、歴史的視座(歴史的事象を解釈するにあたっての視点やものの見方・考え方)を日常生活や社会事象に活用し、歴史的な事象の過程を振り返って考察を深めたり評価している。

【単位修得認定基準】

- ①報告課題(レポート) : 9回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- ②面接指導(スクーリング) : 実施校で行われる面接指導に2単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。
- ③単位認定試験の得点 : 単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位時間	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
地理歴史	世界史探究	通年	選択	3	105時間 (50分×105)	2単位時間	東京書籍 『世界史探究』 2東書 世探701	授業者に準ずる	藤井 晋

【教科学習を通じて、育てたい生徒像(カリキュラムマネジメント)】

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

【学習目標】

- (知識・技能) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。
- (思考・判断・表現) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (主体的に取り組む態度) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通じて涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

【学習方法】

- ①メディア授業 視覚、聴覚に訴える教材を利用することで、世界の歴史の変化を多面的・多角的に考察し、表現できる。
- ②本校スタラーリング 対面授業で諸資料を活用することで、諸資料の活用方法や世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。
- ③報告課題(レポート) 基本的な世界の各地域の変化に関わる知識を包括的に得て、歴史を考察、構想する学習を通じて広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に関わる姿勢を身につける。

○メディア箇所全て
◎メディア視聴報告書箇所

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導(S)		報告課題(R)	備考
	編	章	節	項					メディア(視聴授業等)	締切期限		
4月		序章 世界史へのまなざし	1	茶と世界史	8~10	3	・「茶」を基に、日常生活が世界の歴史とつながっていることを、諸資料から読み取り、理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
4月			2	地球と人類の誕生	11~14	1	・地球の誕生や人類の出現、商人から新入への人類の歴史などについて、諸資料から読み取り、理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
4月	第1編	諸地域の歴史的特質			15~21	2	・王権と身分・階級、生活と生産、宗教、文化・思想などに関する諸資料を活用し、情報を読み取ったりまとめる技能を身につける。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
4月		第一章 古代文明の出現	1	農業と気候	22~25	0.5	・農耕と牧畜のはじまりにより人類の生活様式が大きく変わったことや、地球上のさまざまな自然環境に応じて文明が誕生したことについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
4月			2	古代オリエントとエジプト海地域	26~30	1.5	・メソポタミア文明、エジプト文明、ユーラシア文明がそれぞれの自然環境とどのように関係していったのか、それぞれの文明がのちの社会にどのような影響を与えたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
4月			3	南アジアの古代文明	31~32	0.5	・インダス文明が南アジアの自然環境とどのように関係していったのか、インダス文明やアールヤ人の定住がのちの社会にどのような影響を与えたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			第1回 5月31日
4月			4	東アジアにめばえた文明	33~34	0.5	・黄河文明が東アジアの自然環境とどのように関係していったのか、黄河文明や殷・周がのちの社会にどのような影響を与えたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
4月		第二章 西アジアと地中海周辺	1	古代オリエントの統一	35~39	1	・アッシリアとアケメネス朝ペルシアの統治の共通点と相違点を理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
4月			2	古代ギリシアとヘレニズム世界	40~43	1	・アテナの民主政と現代の民主政にどのような違いがあるのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
4月			3	ローマ帝国と地中海世界	44~49	2	・ローマがなぜ共和政から帝政に移ったのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
5月			4	古代末期の社会と地中海世界の解体	50~53	1	・ローマ帝国の政治、社会、宗教の変化やキリスト教の広まりが、その後のヨーロッパやアジアにどのような影響を与えたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
5月			5	地中海世界とアジア	54~57	1	・ローマ帝国と西アジアが、南アジアや東アジアとどのようにつながっていたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
5月			6	イスラーム世界の成立	58~60	1	・イスラームとはどのような特徴をもった宗教なのか、どのように広まったのかについて、ほかの宗教と比較するなどして理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
5月			7	中世初期の東西ヨーロッパ	61~64	1	・東西ヨーロッパはそれぞれどのような変遷をたげたのか、どのように影響を及ぼしあい、どのような共通点と相違点をもっていたのかについて、理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
5月		第三章 南アジア	1	南アジアにおける国家形成	65~68	1	・南アジアの諸宗教の特徴について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			

5月			2	インド世界の形成	69~72	1	・南アジアの国家や社会の特徴について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
5月		第四章 東南アジア	1	海の道の形成と東南アジア	73~75	1	・東南アジア地域において、国家がどのように形成されたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
5月			2	東南アジア諸国家の再編成	76~77	1	・島嶼部と大陸部の国家や文化がそれぞれどのような特徴をもっているのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
5月		第五章 東アジアと中央ユーラシア	1	古代帝国の誕生	78~84	2	・秦漢帝国や匈奴帝国はどのようにして生まれ、どのような性格をもっていたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
5月			2	中国の分裂と多様化	85~88	1	・中国と周辺地域の交流はどのようにして広がったのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
5月			3	隋唐帝国と東アジア	89~95	1	・隋唐帝国はどのようにして諸地域を統合したのか、また、日本や東アジアの国々は隋唐の文化をどのように受容したのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
5月			4	草原地帯とトルコ化イスラーム化	96~99	1	・トルコ系の民族がユーラシア大陸の広範囲に広がっていく過程について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
6月		第六章 アフリカ、オセアニア、古アメリカ	1	アフリカ	100~101	1	・ユーラシア大陸以外の地域に成立した文明の特徴について、自然環境との関わり注目しながら理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
6月			2	オセアニア	102	1	・人類が広大な太平洋に広がっていく過程を理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
6月			3	古アメリカ	103~104	1	・南北アメリカ大陸の文明の独自性について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
6月	第2編 諸地域の交流と再編	第七章 イスラーム世界の拡大と繁栄	1	イスラーム世界の発展	105~117	1	・カリフと地方政権の関係を注視して、イスラーム世界が複数の国家に分裂していく過程を理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
6月			2	イスラーム文明	118~121	1	・「商業」と「学問」をキーワードに、イスラーム文明の特徴について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
6月		第八章 中世ヨーロッパ	1	中世ヨーロッパ社会の展開	122~127	2	・ヨーロッパの封建社会はどのような背景で成立し、ヨーロッパの民族・国家・宗教はどのように結びついたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
6月			2	中世ヨーロッパ社会の成熟	128~134	2	・11世紀以降、ヨーロッパの農業、商業、都市はどのように発展したのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
6月			3	中世ヨーロッパの文化	135~136	1	・中世ヨーロッパの文化は他地域の文化やキリスト教からどのような影響を受けたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
6月			4	中世ヨーロッパ社会の再編	137~140	1	・中世後期のヨーロッパでは、社会的・政治的にどのような変動がおこったのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
6月			5	ルネサンス	141~144	1	・ルネサンスはどのような社会的背景をもち、どのような影響を後世に与えたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
6月		第九章 中世世界の変容とモンゴル帝国	1	唐の崩壊後の東アジア	145~150	1	・10世紀の東アジア諸国の大変動はどのようにおこったのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
6月			2	宋代の新展開	151~153	1	・唐宋変革とよばれる中国社会の大変革はどのようにおこったのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
6月			3	モンゴル帝国	154~156	1	・モンゴル帝国はどのようにして大帝国へと発展したのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			

第2回
5月31日

第3回
6月30日

6月			4 元の成立		157~159	1	・モンゴルの支配は、中国や朝鮮、日本の社会や文化にどのような変化をもたらしたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		
6月		第十章 インド洋海域世界の発展と東南アジア	1 イスラムのインド洋海域への浸透		160~163	1	・イスラムはインド社会にどのように広がり、どのような影響を与えたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		
6月			2 海と陸の結合——東南アジア世界の発展		164~166	1	・東南アジアにおいて国家が発展する過程が、島嶼部と大陸部で異なる要因について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		第4回 6月30日
6月		第十一章 大交易時代と世界の一体化	1 アジア交易圏の再編と活況		167~169	0.5	・アジアの交易世界は、なぜマッカを中心に再編されることになったのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		
6月			2 ポルトガルのアジア進出		170~171	0.5	・ポルトガルがアジアに進出した理由と、そのことがアジアの交易世界にどのような影響を与えたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		
6月			3 明と日本・朝鮮の動向		172~178	2	・明の国内重視の国家体制と活発な交易がいかに両立したのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		
6月			4 一体化に向かう世界		179~180	1	・スペインがアメリカやアジアに進出した理由と、そのことが世界の交易のあり方をどのようにかえたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		
6月			5 大交易時代の世界		181~185	2	・大交易時代に、なぜオランダが最も有力な交易勢力の一つになったのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		
7月		第十二章 ユーラシア諸帝国の繁栄	1 中央アジアと西アジアの繁栄		186~191	1	・ティムール朝、サファヴィー朝、オスマン帝国の相違点と共通点について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		
7月			2 インドの大国——ムガル帝国		192~194	1	・ムガル帝国の繁栄は、世界の諸地域の動きとどのように関連していたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		
7月			3 清と東アジア		195~201	2	・清はなぜ多様な文化や宗教を有する人々を、長期にわたり統治することができたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		
7月		第十三章 主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大	1 主権国家群の形成と宗教改革		202~208	1	・近世の主権国家はどのような特徴をもっているか、また国家の形成と宗教とはどのようなかかわりがあったのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		第5回 7月31日
7月			2 オランダの繁栄と英仏の国家形成		209~213	2	・オランダの繁栄と英仏の国家建設の関わり、三十年戦争がヨーロッパとドイツに与えた影響について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		
7月			3 商業覇権と植民地建設		214~217	1	・ヨーロッパ諸国の覇権と植民地建設は、ヨーロッパ、アメリカ大陸にどのような影響を与えたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		
7月			4 啓蒙専制国家の発展		218~220	2	・英仏に遠いつこうとした新興国ではどのような改革が行われたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		
7月			5 近世ヨーロッパの社会と文化		221~224	1	・自然科学、哲学、芸術などの分野でどのような新しい思想が生まれたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		
7月	第3編 一体化していく世界「一体化していく世界への問い」	第十四章 国民国家と近代社会の形成	3 産業革命と工業化		225~234	3	・18世紀半ばから19世紀半ばにかけて、欧米で産業革命や、国が政治の主体となる国家を建設しようとする動きが広がったのはなぜか。また、このような変革は、近代までどのような影響を与えているのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		
7月			2 アメリカ合衆国とラテンアメリカ諸国の独立		235~238	1.5	・北アメリカの政治変革によって、どのような権利が獲得され、権利が認められなかったのはどのような人々だったのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		
7月			3 フランス革命とウィーン体制		239~243	1.5	・フランス革命の展開と他国への影響について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		
7月			4 自由主義の台頭と新しい革命の波		244~249	1	・1848年にヨーロッパ諸国で起こった出来事の意味と、それによって明らかになった課題はどのようなものだったのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		

7月			5 19世紀後半のヨーロッパ諸国		250~255	2	・ヨーロッパ諸国における国民意識の高まりと覇権争いがどのような結果をもたらしたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		第6回 7月31日	
7月			6 南北アメリカの発展		256~258	1	・南北戦争前後の時代のアメリカ各国の社会はどのような課題をかかえていたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月		第十五章 世界市場の形成とアジア諸国の変容	1 産業資本主義の世界への波及と欧米社会		259~262	1	・「世界の工場」とよばれたイギリスの急速な工業化が、世界の結びつき方をどのようにかえたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月			2 西アジアの危機と改革のはじまり		263~265	1	・西アジア・北アフリカにおいて、ヨーロッパ諸国との関係の変化はどのような影響をもたらしたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月			3 南アジア・東南アジアの植民地化		266~269	1	・南アジアと東南アジアの各地で植民地支配が拡大した理由と、そのことが各地の社会にどのような影響を及ぼしたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月			4 清における開発の限界と二つのアヘン戦争		270~271	1	・なぜイギリスは清と争ったのか。また、アヘン戦争でのイギリスの勝利は何を意味したのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
8月		第十六章 アジア・アフリカ諸国の経済再編と世界分断の進行	1 列強の覇権争い		272~278	2	・なぜ19世紀後半にヨーロッパ列強がアフリカ内陸部を分割して支配するようになったのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		第7回 8月31日	
8月			2 西アジア・中央アジアの変革		279~282	1	・列強に対して軍事的・経済的に実効を立たされた西アジアの諸国で生じた変革とその背景について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
8月			3 南アジア・東南アジアの民族運動		283~286	1	・南アジアと東南アジアの民族運動のそれぞれの特徴について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
8月			4 清の体制転換と近代国家建設の模索		287~297	1	・経済成長の鈍化や外国の侵蝕などに、清がどのように対応したのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
8月		第十七章 第一次世界大戦の原因と諸地域の変容	1 第一次世界大戦		298~302	1	・開戦時点で殆ど戦が予想された大戦は、なぜ、どのように長期化したのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
8月			2 ギェルサイユ体制と国際秩序の再編		303~307	1	・大戦前と大戦後を比べて、国際秩序のあり方はどのように変わったのか。また、それはなぜなのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
8月			3 大戦後のアメリカ合衆国とヨーロッパ		308~311	1	・戦間期アメリカに出現した大衆社会とはどのようなものであり、それはほかの諸国や政治のあり方にどのような影響を与えたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
8月			4 アジア・アフリカでの国家形成の動き		312~317	2	・第一次世界大戦の結果は、アジア各地の独立運動や民族形成にどのような影響を与えたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
9月		第十八章 国際協調体制の動揺と第二次世界大戦	1 世界恐慌と政治経済の変容		318~321	1	・世界恐慌は、諸地域の経済体制、そして政治体制にどのような影響を与えたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		第8回 9月30日	
9月			2 国際協調体制の動揺		322~325	1	・世界恐慌が与えた政治、経済の変化は国際協調体制にどのような打撃を与えたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
9月			3 第二次世界大戦の開始と展開		326~331	2	・ヨーロッパではじまった戦争が、どのようにアジア・太平洋での戦争と連動し、「第二次世界大戦」となったのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
9月			4 戦後秩序構想と冷戦の形成		332~336	2	・大戦後半に国際秩序の再建はどのように構想され、それがどのように戦後米ソの対立を軸とする冷戦へと展開していったのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
9月		第十九章 第二次世界大戦と戦後の東アジア	1 アジア・太平洋戦争と日本の敗戦		337~339	1	・第二次世界大戦終結への過程で、連合国はどのような戦後構想をいだき、それをどのように実現しようとしたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
9月			2 帝国の解体と分断国家の形成		340~342	1	・日本の敗戦後、「帝国」はいかに解体され、日本の植民地や占領地域はどのような状況に置かれたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			

10月			3 アジア諸国の独立と脱植民地化	343~345	1	・第二次世界大戦終結後、植民地支配はどのように再開され、また独立した国はどのような課題に直面したのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		
10月			4 朝鮮戦争と東アジアの「冷戦」	346~348	1	・朝鮮戦争は東アジアにおける冷戦の形成とどのようにかわり、どのような特徴を残したのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		
10月	第4編 グローバル化と地球的課題	第二十章 冷戦の世界化と国際関係	1 冷戦と政治・経済秩序	349~354	1	・冷戦下の世界では、政治、経済、安全保障の秩序はどのように構築されたのか、また、どのような均衡がみられたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		
10月			2 アジア・アフリカ諸国の独立と第三勢力	355~359	2	・独立国となったアジア・アフリカ諸国はどのような課題に直面し、また、これらの国家の出現は国際社会にどのような影響を与えたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		
10月			3 平和共存と社会主義圏の多極化	360~362	1	・冷戦下、東西のバランスはどのように推移し、また、多極化はどのように進展したのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		
10月		第二十一章 冷戦の変容・終結と世界のグローバル化	1 アメリカ合衆国の覇権の動揺と冷戦の変容	363~367	1	・1970年代にアメリカの覇権に動揺が生じた原因は何だろうか、また、それは米ソ関係や世界にどのような影響を与えたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		
10月			2 冷戦の変容と世界の諸地域	368~371	1	・アジア、アフリカ、ラテンアメリカの各国や社会が、1970年代の冷戦の変容に対してどのような変革をして対応したのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		第9回・映像視聴報告 10月31日
10月			3 冷戦の終結とその後の世界	372~374	1	・冷戦は米ソ間やヨーロッパではどのように終結したのだろうか、また、ほかの各地域での冷戦は終結したのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		
10月			4 アメリカ合衆国の覇権とグローバル化	375~377	1	・冷戦終結後、世界秩序はどのような方向に向かったのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		
10月		第二十二章 21世紀の地球的課題と人類社会	1 グローバル化にもなう世界の変容	378~379	0.5	・グローバル化にもなう世界の変容にはどのようなものがあり、そうした課題はなぜ生みだされたのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		
10月			2 地球的諸課題	380~382	0.5	・なぜグローバル化の進展にもなう解決がいつそう困難になった地球的諸課題があるのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		
10月			3 新たな秩序変容	383~385	1	・グローバル化の進展によって生じた秩序の変容はどのようなものがあるのかについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		

【学習上の注意】

- 教科書を参考にしながら、丁寧に課題へ取り組みましょう。
- 世界史探究はグローバル化している現代において教養として重要な科目です。世界の国々がどのような歴史をたどってきたのか、各国の特色をつかみながら学習に取り組んでください。

【映像視聴について】

指示された所定時間、所定回数以上を視聴・学習すること。
<https://ww3.tokyo-shoseki.co.jp/api/wizus/index.php?encode=off&id=55st>



【学習評価】

*主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点	評価基準
知識・技能	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解している。
思考・判断・表現	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりすることができる。
主体的に学習に取り組む態度	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。

【単位認定基準】

- ①報告課題（レポート）：9回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- ②面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に2単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。
- ③単位認定試験の得点：単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位 時間	必要面接時数	教科書	副教材	担当者
地歴	歴史問題研究 I	通年	選択	2	70 時間 (50 分×70)	1 単位時間	山川出版社 「詳説日本史」 「詳説世界史」	授業者に準ず る	藤井 誉

【教科学習を通じて、育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】

諸資料から我が国と世界形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての理解を深め、社会的な見方・考え方を養い、課題を発見・追究・解決していくことで、広い視野やグローバル化する国際社会に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。

【学習目標】

<知能・技能>現代の地域的特色と日本・世界の歴史の展開に関して幅広い知識を養い、諸資料から情報を調べまとめる技能を身に着ける。

<思考・判断・表現>日本と世界の歴史を関連付けながら諸資料を考察し、現代の諸課題に対して深く考え自己表現できる力を身に着ける。

<主体的に取り組む態度>日本と世界の歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を目指し現代の諸課題を解決しようとする態度を養う。日本国民として自国を愛すること、世界を生きる一人として他国の文化や歴史に興味を持ち尊重することの大切さについて意識させる。

【学習方法】

① メディア授業

視覚・聴覚に訴える教材を利用することで、日本及び世界の地理的・歴史的な現代の諸課題を発見する観点を学びながら、情報処理能力を身に着ける。

② 本校スクーリング

対面授業を実施し、他者との協働、諸資料の利用、現代的諸課題の発見を通して日本・世界に生きる人間としての在り方・生き方を主体的に深く追究し、よりよい自己形成を目指す。

③ 報告課題（レポート）

教科書に準じた内容の報告課題を利用することで、日本及び世界の地理的・歴史的知識を深く理解し、自己表現できる力を身に着ける。

【学習評価】

*主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。

評価観点	評価基準
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・遺物、文書、図像などの諸資料を活用して情報を読み取りまとめることができる。 ・近現代の地域、日本と世界の相互関係を構造的に整理することができる。 ・諸資料を活用し、課題を追究・解決しながら、日本を含む世界の歴史が身近な生活や地域に繋がっていることを理解すること

	<p>ができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各文明や時代に関わる諸事象の歴史的特質を理解することができる。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 諸資料を活用し、課題を追究・解決しながら、歴史の変化や日本を含む世界の歴史の関連性について考察し、表現することができる。 各文明や時代に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸資料を比較したり関連付けたりしながら読み解き、主体的に考察し、表現することができる。 各時代の社会の展開について事象の意義を理解し、地域社会や身の回りの事象と関連させて主題を設定することができる。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 地理的・歴史的知識を理解し、現代的な諸課題に結び付けながら自分自身の課題認識として意識し、主体的に探究し続けることができる。

【年間学習計画】

学習月	単元及び主な学習内容	面接指導 (S)		報告課題 (R)	学習到達度目標
		メディア	スクーリング	締切期限	
4月	古代オリエント時代 中国の古代文明 朝鮮と日本	○ ○ ○	○	第1回 5月31日	オリエント文明に触れ、西アジア世界と地中海世界の形成過程を理解することができる。 東アジアの地理的特質、中華文明の起源に触れ、日本を含む東アジア世界の形成過程を理解することができる。
5月	隋の統一 イスラーム教の誕生	○ ○		第2回 6月30日	イスラーム教の成立とそれを基盤とした国家の形成を基に、西アジアの歴史的特質を理解するとともに、国家の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。
5月	ヤマト政権 平城京の時代	○ ○			律令体制や鎌倉幕府の成立過程と諸文化の形成などを基に、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の面期などを根拠にして表現することができる。

	鎌倉幕府	○			
6月	十字軍とその影響 清朝の動揺とヨーロッパの進出 ヨーロッパ世界の拡大	○ ○ ○		第3回 7月31日	ヨーロッパ封建社会、文化の特色を多面的、多角的に考察し、表現することができる。 清と日本・朝鮮の動向を基に、アジア諸国の特質を構造的に理解することができ、相互関係の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。 諸地域の交易の進展とヨーロッパの進出に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、構造的に理解することができる。
6月	応仁の乱と国一揆 江戸幕府の成立	○ ○			応仁の乱、国一揆、江戸幕府の成立を基に、様々な観点から考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠に示し表現することができる。
7月	重商主義と啓蒙思想 アメリカ独立革命	○ ○		第4回	アメリカ独立革命、重商主義政策、イギリス革命、啓蒙思想などを基に、主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大を構造的に理解することができる。
7月	交通の整備と発達 幕府の改革	○ ○		8月31日	交通の整備による社会・経済と文化の変容や幕藩体制下の諸改革について、多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠に表現することができる。
9月	ヨーロッパの再編と新統一国家の誕生	○		第5回	各革命に影響された国々による統一国家の誕生について多角的・多面的に考察し、理解することができる。

9月	立憲国家の成立	○		9月30日	大日本帝国憲法の制定から、立憲体制への移行、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容を理解することができる。
10月	石油危機と世界経済の再編	○		第6回・映像視 聴報告 10月31日	国際競争の展開と経済格差に関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりに着目し考察の上、根拠を示し表現することができる。
10月	第二次世界大戦 高度経済成長期	○ ○			第二次世界大戦の展開や高度経済成長期の日本を基に、過程や大戦中の政治、社会、国民生活の変容を理解し、我が国の再出発及びその後の政治・経済や対外関係、現代の政治や社会の枠組みなどの事象の意味と関係性を多面的・多角的に考察し根拠を示し表現することができる。

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位 時間	必要面接時数	教科書	副教材	担当者
地歴	歴史問題研究Ⅱ	通年	選択	2	70時間 (50分×70)	1単位時間	山川出版社 「詳説日本史」 「詳説世界史」	授業者に準ず る	藤井 誉

【教科学習を通じて、育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】

諸資料から我が国と世界形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての理解を深め、社会的な見方・考え方を養い、課題を発見・追究・解決していくことで、広い視野やグローバル化する国際社会に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。

【学習目標】

<知能・技能>現代の地域的特色と日本・世界の歴史の展開に関して幅広い知識を養い、諸資料から情報を調べまとめる技能を身に着ける。

<思考・判断・表現>日本と世界の歴史を関連付けながら諸資料から考察し、現代の諸課題に対して深く考え自己表現できる力を身に着ける。

<主体的に取り組む態度>日本と世界の歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を目指し現代の諸課題を解決しようとする態度を養う。日本国民として自国を愛すること、世界を生きる一人として他国の文化や歴史に興味を持ち尊重することの大切さについて意識させる。

【学習方法】

① メディア授業

視覚・聴覚に訴える教材を利用することで、日本及び世界の地理的・歴史的な現代の諸課題を発見する観点を深く学びながら、情報処理能力を身に着ける。

② 本校スクーリング

対面授業を実施し、他者との協働、諸資料の利用、現代的諸課題の発見を通して日本・世界に生きる人間としての在り方・生き方を主体的に深く追究し、よりよい自己形成を目指す。

③ 報告課題（レポート）

教科書に準じた内容の報告課題を利用することで、日本及び世界の地理的・歴史的知識を理解し、自己表現できる力を身に着ける。

【学習評価】

*主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。

評価観点	評価基準
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・遺物、文書、図像などの諸資料を活用して情報を読み取りまとめることができる。 ・近現代の地域、日本と世界の相互関係を構造的に整理することができる。 ・諸資料を活用し、課題を追究・解決しながら、日本を含む世界の歴史が身近な生活や地域に繋がっていることを理解すること

	<p>ができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各文明や時代に関わる諸事象の歴史的特質を理解することができる。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 諸資料を活用し、課題を追究・解決しながら、歴史の変化や日本を含む世界の歴史の関連性について考察し、表現することができる。 各文明や時代に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸資料を比較したり関連付けたりしながら読み解き、主体的に考察し、表現することができる。 各時代の社会の展開について事象の意義を理解し、地域社会や身の回りの事象と関連させて主題を設定することができる。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 地理的・歴史的知識を理解し、現代的な諸課題に結び付けながら自分自身の課題認識として意識し、主体的に探究し続けることができる。

【年間学習計画】

学習月	単元及び主な学習内容	面接指導 (S)		報告課題 (R)	学習到達度目標
		メディア	スクーリング	締切期限	
4月	文化の始まり 律令国家への道	○	○	第1回 5月31日	<p>集団での居住生活が始まり、近隣諸国と関わる国にまで発展する過程を理解することができる。</p> <p>律令体制の成立過程と諸文化の形成を基に、政治・社会や文化の特色を理解することができる。</p>
4月	摂関政治 蒙古襲来と幕府の衰退	○			<p>摂関政治、蒙古襲来とそれによる幕府の衰退について、当時の諸事象の関連性を考察し、根拠に示し表現することができる。</p>
5月	室町幕府の成立 織豊政権	○		第2回 6月30日	<p>室町幕府の成立について、諸事象の関連性を考察し、根拠に示し表現することができる。</p> <p>織豊政権の政治・経済政策、貿易や対外関係などを基に、中世から近世への時代の転換を理解することができる。</p>

5月	元禄時代 鎖国の動揺	○ ○			元禄時代、鎖国体制について、諸事象の関連を考察し、根拠を示し表現することができる。
6月	明治維新と富国強兵 日清戦争と日露戦争	○ ○		第3回 7月31日	明治維新、日清・日露戦争を基に、立憲体制への移行、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容を理解することができる。
6月	第一次世界大戦と日本 講和と安保条約	○ ○			第一次世界大戦と各講和条約を基に、立憲体制への移行、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容を理解することができる。
7月	ギリシア世界 アーリア人の進入とガンジス川流域への移動	○ ○		第4回 8月31日	ギリシア文明に触れ、西アジア世界と地中海世界の形成過程を理解することができる。アーリア人の移動による影響についても理解を深め、根拠を示し表現することができる。
7月	唐の動揺 ゲルマン人の大移動	○ ○			唐と近隣諸国の動向を基に、東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質を理解することができ、唐と近隣諸国との関係、遊牧民の社会の特徴と周辺地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。
9月	ムガル帝国の成立とインド＝イスラーム文化の開花 ヨーロッパ世界の拡大・ルネサンス ウィーン体制の成立	○ ○ ○		第5回 9月30日	西アジア社会の動向とアフリカ・アジアへのイスラームの伝播、大航海時代、イギリス革命、ルネサンスを基に、海域と内陸に渡る諸地域の交流の広がりを経度的に理解することができる。 自由主義とナショナリズムを基に、国民国家と近代民主主義社会の形成を構造的に理解することができる。

10月	<p>第一次世界大戦</p> <p>世界恐慌とファシズム諸国の戦略</p> <p>第二次世界大戦・第三世界の台頭</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>		<p>第6回・映像</p> <p>視聴報告</p> <p>10月31日</p>	<p>第一次世界大戦の展開とそれにかかわる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、多面的・多角的に考察し、表現することができる。</p> <p>世界恐慌とファシズムの動向、第二次世界大戦の展開と大戦後の国際秩序について理解し、多面的・多角的に考察し、表現することができる。</p>
-----	--	----------------------------	--	---	---

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位時間	必要面接時数	教科書	副教材	担当者
地理歴史	世界遺産探求	通年	選択	1	35 時間 (50 分×35)	1 単位時間	世界遺産検定事務局 『はじめて学ぶ世界遺産 50』	授業者に準ずる	藤井 誉

【教科学習を通じて、育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】

諸資料から我が国と世界形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色について理解を深め、社会的な見方・考え方を養い、課題を発見・追究・解決していくことで、広い視野やグローバル化する国際社会に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。

【学習目標】

〈知識・技能〉日本を含む世界の地域的特色と歴史の編纂に関して知識を養い、諸資料から情報を調べまとめる技能を身につける。

〈思考・判断・表現〉地理や歴史に関わる意味や意義、特色や相互の関連を諸資料から考察し、現代の諸課題に対して深く考え自己表現できる力を身につける。

〈主体的に取り組む態度〉地理・歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を目指し現代の諸課題を解決しようとする態度を養い、日本国民として自国を愛すること、世界を生きる 1 人として他国の文化や歴史に興味を持ち尊重することの大切さについて意識させる。

【学習方法】

① メディア授業

視覚、聴覚に訴える教材を利用することで、幅広い単元や現代の諸課題を発見し観点を学びながら情報処理能力を身につけることができる。

② 本校スクーリング

対面授業を実施し、諸資料を用いて、資料の活用方法を学び、また主体的に課題を追究することができる。

③ 報告課題（レポート）

教科書に準じた内容の報告課題を利用することで、世界中の世界遺産を学び、地図や地形から情報を読み取る技術を身につけることができる。

【学習評価】

*主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。

評価観点	評価基準
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・地図や地形を地図などから考察し、活用に必要な技能を身につけることができる。 ・世界遺産に関わる諸課題の解決を目指した各国や国連の取り組みや国際協力の必要性を理解することができる。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の人々の生活文化の多様性を知ること、自他の文化を尊重し国際理解を図ることができる。

	<ul style="list-style-type: none"> ・地球規模の自然環境に関わる諸課題の現状や要因、解決に向けた取り組みを理解できる。 ・それぞれの世界遺産が抱える課題の解決や未来について考え、表現することができる。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・地理的・歴史的な知識を理解し、世界遺産1つ1つを自分自身の課題認識として意識し、主体的に探究し続けることができる。

【年間学習計画】

学習月	単元及び主な学習内容	面接指導 (S)		報告課題 (R)	学習到達度目標
		メディア (映像視聴学習)	スクーリング	締切期限	
4月	世界遺産の基礎知識①：P6～15		○	第1回 6月30日	世界遺産の基礎的な知識を身につけることができる。
5月	世界遺産の基礎知識②：P6～15		○	第2回 8月31日	世界遺産の基礎的な知識を身につけたうえで、なぜ登録されない遺跡や文化財があり、登録されるために各国がどのような努力をしているのかを調べ、まとめることができる。
6月	世界の世界遺産：P126～137				モン・サン・ミシェルやヴィクトリアの滝などそれぞれの世界遺産について、歴史的背景や地理的条件に注目しながら理解することができる。
7月	日本の世界遺産：P16～41		○	第3回 10月31日	知床や日光の社寺などそれぞれの世界遺産について、歴史的背景や地理的条件に注目しながら理解することができる。
8月	日本の世界遺産：P42～73		○		小笠原諸島や法隆寺地域の仏教建造物などそれぞれの世界遺産について、歴史的背景や地理的条件に注目しながら理解することができる。

9月	日本の世界遺産：P74～105		○	原爆ドームや厳島神社などそれぞれの世界遺産について、歴史的背景や地理的条件に注目しながら理解することができる。
10月	日本の世界遺産、日本の暫定リスト、 無形文化遺産：P106～125		○	屋久島や首里城などそれぞれの世界遺産について、歴史的背景や地理的条件に注目しながら理解することができる。日本で暫定リストに載っている遺産が登録されるために、各都道府県が取り組んでいることなどを調べまとめることができる。

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位数時間	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
公民	公共	通年	選択必修	2	70単位数時間(50分×70)	1単位数時間	東京書籍『公共』 2 東書 701	授業者に準ずる	平田 正

【教科学習を通じて、育てたい生徒像(カリキュラムマネジメント)】

人間と社会の在り方について見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

【学習目標】

(知識・技能)

現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念とともに、諸資料から、論理の主体として活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けます。

(思考・判断・表現)

現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養います。

(主体的に取り組む態度)

よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して深養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民権をになう公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚を深めます。

【学習方法】

①メディア授業

視覚、聴覚に訴える教材を利用することで、幅広い単元や現代の諸課題を発見し観点を学びながら情報処理能力を身につけることができる。

②本校スクーリング

対面授業を実施し、諸資料を用いて、資料の活用方法を学び、また主体的に課題を追究することができる。

③報告課題(レポート)

教科書に準じた内容の報告課題を利用し学習することで、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民と資

【年間学習計画】

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位数時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導(S)		報告課題(R)	備考
	編	章	節	項					メディア(映像視聴学習)	本校スクーリング(対面授業)		
4月	第1部「公共」のとり	第1章 公共的な空間をつくる私たち—社会のなかの自己	(1)現代社会に生きる青年		P10~13	2	青年期の特徴や発達課題としての「アイデンティティ」の確立の理解を手がかりに、青年期に生きる自己形成の課題について理解することができる。	教科書、映像授業	○			
4月	第1部「公共」のとり	第1章 公共的な空間をつくる私たち—社会のなかの自己	(2)社会的な関係の中で生きる人間	アプローチ 現代の世界と宗教	P14~20	2	人間存在、個人としての尊厳、社会的存在、伝統と文化と人間の三つの側面から、カント、レスター、アールスト、ハーバーマス、植田謙徳、丸山眞男の考え方を手がかりに理解することができる。	教科書、映像授業	○			
4月	第1部「公共」のとり	第2章 公共的な空間における人間としての在り方—共に生きるための倫理	1 功利主義と幸福の原理		P22~23	2	行為選択の理由付けについて、目的論と義務論の考え方が異なること。また、目的論に関して、功利主義による行為選択と徳倫理学的な考え方を理解することができる。	教科書、映像授業	○			
4月	第1部「公共」のとり	第2章 公共的な空間における人間としての在り方—共に生きるための倫理	2 義務論と公正の原理	活用 生命倫理について考える 活用 環境倫理について考える	P24~29	2	義務論について、カントの道徳法則や自律の概念、社会的正義の概念について、ロールズの公正としての正義の考え方を理解することができる。また、功利主義と義務論の考え方を手がかりに、環境とエンハンスメントについて考察し議論する中で、課題を学ぶことができる。	教科書、映像授業	○			
4月	第1部「公共」のとり	第3章 公共的な空間における基本的原理—私たちの民主的な社会	1 公共的な空間における協働とは	アプローチ「囚人のジレンマ」の自発的克服	P36~38	2	社会における利害の調整のしくみとしての市場の働きと国家の役割、及びそれぞれの課題について理解することができる。	教科書、映像授業	○	○	第1回 5月31日	
5月	第1部「公共」のとり	第3章 公共的な空間における基本的原理—私たちの民主的な社会	2 民主主義とは		P40~41	2	社会における意見や利害の調整、意思決定における民主主義の意義、それらの課題について理解することができる。	教科書、映像授業	○			
5月	第1部「公共」のとり	第3章 公共的な空間における基本的原理—私たちの民主的な社会	3 立憲主義とは		P42~43	2	法の支配や近代立憲主義の意義について、歴史的背景もふまえたうえで理解し、立憲主義と民主主義の緊密な関係の意味について理解することができる。	教科書、映像授業	○	○		
5月	第1部「公共」のとり	第3章 公共的な空間における基本的原理—私たちの民主的な社会	4 人権保障の意義と展開	ゼミナール 日本国憲法の基本原理①②	P44~51	2	人権の歴史における基本的原則の一つである、人間の尊厳と平等について、その意義、歴史的展開、現代の動向について理解することができる。	教科書、映像授業	○	○		
5月	第2部 自立した主体として社会に参画する私たち	第1章 民主政治と私たち	テーマ1 民主政治と政治参加	① 私たちの民主政治 ② 地方自治のしくみと役割	P58~63	2	政治の働き、民主主義の具体的な姿について理解するとともに、現在の民主主義の課題について考察し、地方自治の原則としくみ、地方財政のしくみと課題、住民参加の形態と意義について理解することができる。	教科書、映像授業	◎			
6月	第2部 自立した主体として社会に参画する私たち	第1章 民主政治と私たち	テーマ1 民主政治と政治参加	③ 国会のしくみと役割	P68~69	2	三権分立と国会の地位、国会の役割と権限、国会の構成と運営について、実際の政治事象とも関連させながら理解し、政治のしくみと制度を前提として展開される実際の政治の運営の現状と課題について考察することができる。	教科書、映像授業	◎			
6月	第2部 自立した主体として社会に参画する私たち	第1章 民主政治と私たち	テーマ1 民主政治と政治参加	④ 内閣のしくみと役割 ゼミナール 世界の政治体制	P70~73	2	内閣と国会との関係、内閣の役割と行政組織、行政国家化と行政改革について、実際の政治事象とも関連させながら理解することができる。	教科書、映像授業	◎			
6月	第2部 自立した主体として社会に参画する私たち	第1章 民主政治と私たち	テーマ1 民主政治と政治参加	⑤ 政治参加と選挙 ⑥ 政党と利益集団	P74~77	2	政治参加のさまざまな方法、民主政治と選挙制度、日本の選挙制度と課題について、実際の事象とも関連させながら理解することができる。また、民主政治における政党や利益集団の役割、政治資金にかかわる課題について考察することができる。	教科書、映像授業	◎		第2回 6月30日	
6月	第2部 自立した主体として社会に参画する私たち	第1章 民主政治と私たち	テーマ1 民主政治と政治参加	⑦ メディアと世論 模擬選挙をやってみよう	P78~83	2	民主主義における世論の意義、メディアの世論への影響、インターネット時代の世論形成の現状と課題などについて理解することができる。また、実際に模擬選挙を行うことで選挙についての諸課題を考察することができる。	教科書、映像授業	○			
7月	第2部 自立した主体として社会に参画する私たち	第2章 法の働きと私たち	テーマ1 法や規範の意義と役割	① 法と社会規範の役割 ② 法の成立と適用	P86~89	2	法の性格や役割、法の種類、法の成立の歴史や対象などによって区分されることについて考察し、法案の作成と提出、民事裁判と刑事裁判、裁判における法の適用、法の解釈の意味などについて理解することができる。	教科書、映像授業	○			
7月	第2部 自立した主体として社会に参画する私たち	第2章 法の働きと私たち	テーマ2 市民生活と私法	① 市民生活と法	P94~95	2	市民生活における私法の役割について、民法の概要、私法の3原則、過失責任の原則、契約自由の原則や契約の種類、契約自由の原則の修正、消費者契約の特性と消費者法制、消費者市民社会の形成などの点から理解することができる。	教科書、映像授業	○			
7月	第2部 自立した主体として社会に参画する私たち	第2章 法の働きと私たち	テーマ2 市民生活と私法	② 多様な契約 ③ 消費者の権利と責任	P96~99	2	契約自由の原則、契約の種類、契約自由の原則の修正などについて理解することができる。消費者契約や消費者法制が、消費者の権利とその尊重、自立支援をめざしていることについて具体的な例について考察することができる。	教科書、映像授業	○			
7月	第2部 自立した主体として社会に参画する私たち	第2章 法の働きと私たち	テーマ3 国民の司法参加	① 司法の仕組みと役割	P104~105	2	司法権とその独立、裁判制度のしくみ、違憲審査権について理解することができる。また、司法権の独立、三審制、違憲審査権の役割について考察することができる。	教科書、映像授業	○			
7月	第2部 自立した主体として社会に参画する私たち	第2章 法の働きと私たち	テーマ3 国民の司法参加	② 刑事司法と司法参加の意味	P106~107	2	刑事司法のしくみや原則、刑事司法の課題、裁判員制度や検察審査会制度について理解することができる。	教科書、映像授業	○			
8月	第2部 自立した主体として社会に参画する私たち	第3章 経済社会で生きる私たち	テーマ1 現代の経済と市場	① 私たちと経済	P114~115	2	経済活動の意義、経済主体と経済循環、グローバル化のなかの経済活動の動きについて、実際の経済事象とも関連させながら理解することができる。	教科書、映像授業	○			
8月	第2部 自立した主体として社会に参画する私たち	第3章 経済社会で生きる私たち	テーマ1 現代の経済と市場	② 市場経済の仕組み ゼミナール 価格決定のメカニズム	P118~120	2	市場経済における価格の働き、市場の失敗と政府の役割について、実際の経済事象とも関連させながら理解することができる。	教科書、映像授業	○			
8月	第2部 自立した主体として社会に参画する私たち	第3章 経済社会で生きる私たち	テーマ1 現代の経済と市場	③ 国民所得と経済成長	P122~123	2	景気変動や物価の変動、インフレーションなどが人々の生活にどのような影響を及ぼすかを考察することができる。	教科書、映像授業	○			

8月	第2部自立した主体として社会に参画する私たち	第3章経済社会で生きる私たち	テーマ2市場経済における金融の働き	①金融の仕組みと働き	P128～129	2	金融と金融システムが日々の生活と関係にかかわっていることに気づき、貨幣の役割と通貨制度、直接金融と間接金融について理解することができる。	教科書、映像授業	○		
8月	第2部自立した主体として社会に参画する私たち	第3章経済社会で生きる私たち	テーマ2市場経済における金融の働き	②中央銀行の役割と金融環境の変化	P130～131	2	中央銀行の役割、中央銀行の行う金融政策、金融の自由化と金融商品の多様化について、実際の経済事象とも関連させながら理解することができる。	教科書、映像授業	○	第4回 8月31日	
8月	第2部自立した主体として社会に参画する私たち	第3章経済社会で生きる私たち	テーマ3財政の役割と持続可能な社会保障制度	①財政の働き	P136～137	2	財政の三つの機能、財政政策、財政のしくみや租税法律主義などについて、実際の事象とも関連させながら理解することができる。また、財政と財政政策を通じて、経済政策や福祉政策その他の政策が行われていることを理解することができる。	教科書	○		
8月	第2部自立した主体として社会に参画する私たち	第3章経済社会で生きる私たち	テーマ3財政の役割と持続可能な社会保障制度	②財政の課題	P138～139	2	財政問題については、資料を読み取りながら問題解決の方向性について考察することができる。	教科書、映像授業	○		
8月	第2部自立した主体として社会に参画する私たち	第3章経済社会で生きる私たち	テーマ3財政の役割と持続可能な社会保障制度	③社会保障の考え方や社会保障の課題とこれからの	P140～143	2	社会保障制度の意義について、多面的・多角的に考察し、少子高齢化の進展のなかで、今後の社会保障制度をどのように展望するか海外の例も参考に考えることができる。	教科書、映像授業	○		
9月	第2部自立した主体として社会に参画する私たち	第4章私たちの職業生活	テーマ1働くことの意義と職業選択	①働くということの意義と職業選択	P148～151	2	働くことの意味、産業社会の発達と職業の変化、労働市場の役割などについて、実際の職業や労働のあり方とのかかわりも含めて理解することができる。また、職業選択の機会の多様化とこれからのキャリア形成の課題について考察することができる。	教科書、映像授業	○		
9月	第2部自立した主体として社会に参画する私たち	第4章私たちの職業生活	テーマ2労働者の権利と雇用・労働問題	①労働者の権利と雇用・労働問題	P154～157	2	資本主義社会における労働契約の特性、労働者の権利と労働三法の内容、労働条件改善に向けた課題、労働問題について実際の職業や労働のあり方とのかかわりも含めて理解することができる。	教科書、映像授業	○		
9月	第2部自立した主体として社会に参画する私たち	第5章国際社会の中で生きる私たち	テーマ1国際社会のルールとしくみ	①国際社会の成り立ち	P160～163	2	国際社会の成立とその特色、国際法の意義と役割、国際社会の主体の変化などについて、実際の国際的な事象とも関連させながら理解することができる。また、日本の領域と領土をめぐる問題に対して自分の意見をまとめることができる。	教科書、映像授業	○	第5回 9月30日	
9月	第2部自立した主体として社会に参画する私たち	第5章国際社会の中で生きる私たち	テーマ1国際社会のルールとしくみ	②国際連合の役割	P164～165	1	集団安全保障としての国際連盟、国際連合の成立とそのしくみ、国際連合における安全保障、国際連合のさまざまな役割と課題について、実際の国際的な事象とも関連させながら理解することができる。	教科書、映像授業	○		
9月	第2部自立した主体として社会に参画する私たち	第5章国際社会の中で生きる私たち	テーマ2国際社会と平和主義	①日本の平和主義と冷戦	P168～169	1	平和主義と日本国憲法第9条、自衛隊と日本安全保障体制、戦後日本の防衛政策について、実際の事象とも関連させながら理解することができる。	教科書、映像授業	○		
9月	第2部自立した主体として社会に参画する私たち	第5章国際社会の中で生きる私たち	テーマ2国際社会と平和主義	②冷戦後の世界と日本	P172～173	1	冷戦後の世界の動き、冷戦終結後の日本の安全保障政策、自衛隊と海外派遣などについて、実際の事象とも関連させながら理解することができる。	教科書、映像授業	○		
9月	第2部自立した主体として社会に参画する私たち	第5章国際社会の中で生きる私たち	テーマ3国際平和への課題	①現代の紛争とその影響	P176～177	1	現代の紛争とその原因、紛争の解決に向けた取り組み、難民問題について考察することができる。	教科書、映像授業	○		
10月	第2部自立した主体として社会に参画する私たち	第5章国際社会の中で生きる私たち	テーマ3国際平和への課題	②平和な国際社会に向けて	P178～179	2	平和憲法をもつ日本として、国際平和に向けてどのような姿勢で何をなすべきか、多面的・多角的に考察し議論することができる。	教科書、映像授業	○		
10月	第2部自立した主体として社会に参画する私たち	第5章国際社会の中で生きる私たち	テーマ4グローバル化する国際経済	①貿易の仕組み	P184～185	2	自由貿易と保護貿易、自由貿易の推進に向けた体制、国際的支援の意味について、実際の経済的事象とも関連させながら理解することができる。	教科書、映像授業	○	第6回・映像視聴報告 10月31日	
10月	第2部自立した主体として社会に参画する私たち	第5章国際社会の中で生きる私たち	テーマ4グローバル化する国際経済	②国際金融の仕組みと動向	P186～187	2	為替相場の変動が貿易取引や金融の動きにも影響を及ぼすことを理解することができる。	教科書、映像授業	○		
10月	第2部自立した主体として社会に参画する私たち	第5章国際社会の中で生きる私たち	テーマ4グローバル化する国際経済	③グローバル化と今日の国際経済	P190～193	2	国際経済の秩序や動きは、経済だけでなく政治的な要因も含めて、さまざまな関係のなかで展開していることを理解し、その中の様々な課題について考察することができる。	教科書、映像授業	○		

計70単位時間

【学習上の注意】

- ☞日々の生活を結び付けて自分事化して授業を受けましょう
- ☞ペア学習やグループ学習を多く取り入れるので、積極的にコミュニケーションをとっていきましょう

【映像視聴について】

公共 教科書解説動画

指示された所定時間、所定回数以上を視聴・学習すること。
<https://www.3.tokyo-shoseki.co.jp/api/wlzus/index.php?encode=off&id=r4ko&>



【学習評価】

*主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点	評価基準
知識・技能	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解しているとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。
思考・判断・表現	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したり表現したりしている。
主体的に学習に取り組む態度	▶よりよい社会の実現を視野に、公共的な空間に生き国民主体を担う公民として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ▶知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることにかけた粘り強い取り組みを行おうとしている。また、粘り強い取り組みを行うなかで、自らの学習を深めようとしている。

【単位修得認定基準】

- ①報告課題（レポート）：6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- ②面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に1単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。
- ③単位認定試験の得点：単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

教科	科目	講義期間	履修	単位数	年間目安学習単位数	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
公民	倫理	通年	選択	2	70単位数時間 (50分×70)	1単位数時間	東京書籍 『倫理』 2 東書 倫理 701	授業者に準ずる	平田 正

【教科学習を通じて、育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】

人間としての在り方生き方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ちグローバル化する国際社会に主体的に生きる能力を育成する。

【学習目標】

- 〈知識・技能〉 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念とともに、諸資料から、倫理的主体として活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けます。
- 〈思考・判断・表現〉 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養います。
- 〈主体的に取り組む態度〉 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権をなす公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚を深めます。

【学習方法】

- ①メディア授業 視覚、聴覚に訴える教材を利用することで、幅広い単元や現代の諸課題を発見し観点を学びながら情報処理能力を身につけることができる。
- ②本校スクーリング 対面授業を実施し、諸資料を用いて、資料の活用方法を学び、また主体的に課題を追究することができる。
- ③報告課題（レポート） 視覚、聴覚に訴える教材を利用することで、幅広い単元や現代の諸課題を発見し観点を学びながら情報処理能力を身につけることができる。

○メディア箇所全

◎メディア視聴報告書箇所

【年間学習計画】

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位数	学習到達目標	学習教材	面接指導 (S)		報告課題 (R) 該当回・問題番	備考
	編	章	節	項					メディア活用 (視聴報告書参照)	本校スクーリング授業時数		
4月	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第1章 人間の心のあり方	1節 人間とは何か	1 人間の特質 2 青年期の課題	10~12	1	「倫理」の学習の導入として、さまざまな人間の定義を理解して、人間の特性について多面的・多角的に考察するとともに、「考えること」の意義について、パスカルの原典資料の読解やグループでの話し合いを通じて考察を深めます。	教科書・映像視聴	○	○		
4月	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第1章 人間の心のあり方	2節 人間の心の働き	1 認知 2 感情と個性 3 発達	13-19	1	認知活動と知覚、学習の法則、記憶のプロセス、推論と問題解決や、感情の生じ、感情と感情づけ、パーソナリティ、個性論と特性論について青年期までの発達と青年期以降の発達について、心理学の基本的な用語や考え方を理解して、自分の過去や将来にあてはめて考察し、他者との関係を通じて人間の心がどのように発達するか、話し合った意見を発表したりします。	教科書・映像視聴	○			
4月	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第1章 人間の心のあり方	思考と対話	「心」をめぐる	22~23	1	自分自身の性格について理解し、人間の心の働きについて自分自身の性格の形成と関連づけて考察することを通じて、豊かな自己形成に努める意欲を高めます。	教科書・映像視聴	○			
4月	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第2章 さまざまな人生観・倫理観・世界観	1節 哲学すること	1 人間と哲学	26~27	1	さまざまな人生観・倫理観・世界観の学習に先立って、「哲学」の意味や、「哲学すること」の意義について理解し、自己の在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方の考察に関連付けて考察します。	教科書・映像視聴	○			
4月	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第2章 さまざまな人生観・倫理観・世界観	2節 ギリシャの思想	1 哲学の誕生と自然哲学	28~30	1	ギリシャにおける哲学の誕生について、その歴史的意義をふまえて考察します。また、真理や存在などに着目して、自然哲学の思想にみられる自然と人間との関わりや、世界を捉える知の在り方について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について考察します。	教科書・映像視聴	○		第1回 5月31日	
5月	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第2章 さまざまな人生観・倫理観・世界観	2節 ギリシャの思想	2 ソクラテスとソフィスト	31~33	1	徳、真理、正義、義務、幸福などに着目して、ソフィストの活動や思想の特徴、ソクラテスの生涯や思想について多面的・多角的に考察することを通じて、自己の在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について考察します。	教科書・映像視聴	○			
5月	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第2章 さまざまな人生観・倫理観・世界観	2節 ギリシャの思想	3 プラトン	34~36	1	真理、存在、善、正義、徳、美、徳、義務などに着目して、プラトンのイデオロギイや政治学などの思想について多面的・多角的に考察することを通じて、自己の在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について考察します。	教科書・映像視聴	○			
5月	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第2章 さまざまな人生観・倫理観・世界観	2節 ギリシャの思想	4 アリストテレス	37~39	1	自然、真理、存在、幸福、徳、善、正義、義務、愛などに着目して、アリストテレスの自然観、倫理観、社会観、政治学などの思想について多面的・多角的に考察することを通じて、自己の在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について考察します。	教科書・映像視聴	○			
5月	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第2章 さまざまな人生観・倫理観・世界観	2節 ギリシャの思想	5 ヘレニズム・ローマ時代の思想	40~41	1	真理、存在、幸福、などに着目して、エピクロス派とストア派、論理学と新プラトン主義の思想について多面的・多角的に考察することを通じて、自己の在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について考察します。	教科書・映像視聴	○			
6月	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第2章 さまざまな人生観・倫理観・世界観	3節 宗教と社会	1 集団的な現象としての宗教	43-44	1	本派、愛、徳、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、人生における宗教の意義や、宗教が人間や社会に与えた影響について、先哲の考え方や歴史的な事実を手がかりにして多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について考察します。	教科書・映像視聴	○			
5月	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第2章 さまざまな人生観・倫理観・世界観	4節 キリスト教	1 『旧約聖書』の概観	45-46	1	幸福、正義、義務、真理、存在などに着目して、キリスト教の成立に影響を与えた古代ユダヤ教の特徴や『旧約聖書』に見られる人生観・倫理観・世界観について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について考察します。	教科書・映像視聴	○			
5月	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第2章 さまざまな人生観・倫理観・世界観	4節 キリスト教	2 イエスの教え	47-49	1	福、愛、善、正義、義務、真理などに着目して、イエスの説いた神の神徳や愛の教えについて、ギリシャ思想における愛の思想と比較しながら多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について考察します。	教科書・映像視聴	○			
5月	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第2章 さまざまな人生観・倫理観・世界観	4節 キリスト教	3 キリスト教の展開	50~53	1	幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、キリスト教の成立と発展についての歴史的経緯に基づいて、パウロの思想や教義、スコラ哲学に見られる人生観・倫理観・世界観について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について考察します。	教科書・映像視聴	○			
6月	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第2章 さまざまな人生観・倫理観・世界観	5節 イスラーム	1 ムハンマドとイスラームの教え	54-55	1	イスラームの誕生について、ムハンマドの生涯や歴史的背景をふまえて考察します。また、幸福、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、『クルアーン』に見られる人生観・倫理観・世界観について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について考察します。	教科書・映像視聴	○			

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単元時間	学習到達目標	学習教材	面接指導 (S)		報告課題 (R) 該当回・問題番	備考
	編	章	節	項								
6月	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第2章 ささまざまな人 生観・倫理観・世界観 I	5節 イスラーム	2 イスラームの展開	56-57	1	イスラーム世界の拡大やイスラーム文化の展開について、歴史的背景をふまえて考察します。また、幸福、善、正義、義務などに着目して、現代におけるイスラームの在り方やイスラームの社会規範・生活規範について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について考察します。	教科書・映像視聴	○			
6月	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第2章 ささまざまな人 生観・倫理観・世界観 I	6節 仏教	1 古代インドの思想	58-59	1	幸福、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、仏教の広がりや影響を与えたインドの思想、ウパニッシュド哲学やジャイナ教に見られる生観・倫理観・世界観について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について考察します。	教科書・映像視聴	○			
6月	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第2章 ささまざまな人 生観・倫理観・世界観 I	6節 仏教	2 ブッダの思想	60-62	1	幸福、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、ブッダの抱いた苦の認識や解脱の法、慈悲の実践について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について考察します。	教科書・映像視聴	○			
6月	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第2章 ささまざまな人 生観・倫理観・世界観 I	6節 仏教	3 仏教の展開	63-64	1	部派仏教や大乗仏教の成立、仏教の広がりについて、歴史的背景をふまえて考察します。また、幸福、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、部派仏教の特徴や、大乗仏教の特徴・諸思想について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について考察します。	教科書・映像視聴	○		第2回 6月30日	
6月	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第2章 ささまざまな人 生観・倫理観・世界観 I	7節 中国の思想	1 孔子と儒家の思想	67-69	1	諸子百家の代表的な思想について、歴史的背景をふまえて考察します。また、幸福、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、孔子の思想に見られる生観・倫理観・世界観について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について考察します。	教科書・映像視聴	○			
6月	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第2章 ささまざまな人 生観・倫理観・世界観 I	7節 中国の思想	2 儒教の展開	70-72	1	幸福、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、孟子や荀子、韓非子、朱子と陽明学の思想について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について考察します。	教科書・映像視聴	○			
6月	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第2章 ささまざまな人 生観・倫理観・世界観 I	7節 中国の思想	3 老荘思想	73-74	1	幸福、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、老子や荘子の思想や、道家の思想の特徴について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について考察します。	教科書・映像視聴	○			
6月	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第2章 ささまざまな人 生観・倫理観・世界観 I	8節 芸術	1 美の発見と芸術の創造・鑑賞	75-76	1	幸福、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、美を求めぬ心や、それが人生を豊かにするものであること、芸術とは何か、芸術作品と鑑賞者の関係について、芸術家の考え方や生き方、作品を手がかりにして多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について考察します。	教科書・映像視聴	○			
6月	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第2章 ささまざまな人 生観・倫理観・世界観 I	8節 芸術	2 芸術と社会	77-78	1	幸福、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、芸術が人生や社会に与える影響はどのようなものについて、多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について考察します。	教科書・映像視聴	○			
6月	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第2章 ささまざまな人 生観・倫理観・世界観 I	思考と対話	「幸福」をめぐる	78-79	1	幸福な人生のあり方について多面的・多角的に考察することを通じて、豊かな自己形成に努める意欲を高めます。	教科書・映像視聴	○			
6月	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第2章 ささまざまな人 生観・倫理観・世界観 I	思考と対話	「愛」をめぐる	80-81	1	愛とは何かについて多面的・多角的に考察することを通じて、豊かな自己形成に努める意欲を高めます。	教科書・映像視聴	○			
7月	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第3章 ささまざまな人 生観・倫理観・世界観 II	1節 近代と人間尊重の精神	1 人間主体の時代	84-90	1	幸福、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、現代の価値観に影響を与えたルネサンスや宗教改革、近代科学の諸思想について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について考察します。	教科書・映像視聴	○			
7月	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第3章 ささまざまな人 生観・倫理観・世界観 II	2節 近代思想の展開	1 新しい学問の方法	91-93	1	幸福、真理、存在などに着目して、現代の価値観に影響を与えたベコンとデカルトの思想について、両者の共通点と相違点に着目しつつ多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について考察します。	教科書・映像視聴	○			
7月	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第3章 ささまざまな人 生観・倫理観・世界観 II	2節 近代思想の展開	2 経験論と合理論の対話	94-95	1	真理、存在などに着目して、経験論と合理論の代表的な思想について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や世界の在り方について考察します。	教科書・映像視聴	○			
7月	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第3章 ささまざまな人 生観・倫理観・世界観 II	2節 近代思想の展開	3 社会契約説	96-99	1	幸福、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、現代の価値観に影響を与えた社会契約説や自然法思想、啓蒙主義に関する代表的な思想について、ホッブズ、ロック、ルソーの思想の共通点と相違点に着目しつつ多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方について考察します。	教科書・映像視聴	○			
7月	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第3章 ささまざまな人 生観・倫理観・世界観 II	3節 人格の尊厳と人権の思想	1 カント一人格の尊厳の思想	100-103	1	幸福、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、カントの批判哲学、認識論、道徳思想、人格の尊厳の思想、理想的な社会の構想について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について考察します。	教科書・映像視聴	○			
7月	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第3章 ささまざまな人 生観・倫理観・世界観 II	3節 人格の尊厳と人権の思想	2 ヘーゲル一人格の思想	104-106	1	幸福、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、ヘーゲルの弁証法、歴史観、自由と人権の思想、社会や国家の考え方について、カントの自由と道徳に関する考え方や比較したりしながら多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について考察します。	教科書・映像視聴	○			第3回 7月31日
7月	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第3章 ささまざまな人 生観・倫理観・世界観 II	4節 社会実務の思想	1 功利主義と幸福	107-109	1	幸福、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、アダム・スミス、ベンサム、J.S.ミルの倫理思想について、現代の社会生活と関連付けながら多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について考察します。	教科書・映像視聴	○			
7月	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第3章 ささまざまな人 生観・倫理観・世界観 II	4節 社会実務の思想	2 社会主義思想	110-112	1	幸福、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、現代の価値観に影響を与えた社会主義思想について、現代の社会生活と関連付けながら多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について考察します。	教科書・映像視聴	○			

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単元時間	学習到達目標	学習教材	面接指導 (S)		報告課題 (R) 該当回・問題番	備考
	編	章	節	項					○	○		
7月	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第3章 さまざまな人生観・倫理観・世界観 II	4節 社会変革の思想	3 社会の進歩と実証的思想	113~115	1	幸福、善、正義、真実、存在などに着目して、現代の価値観に影響を与えた実証主義や進化論の考え、プラグマティズムの思想について、現代の社会生活と関連付けながら多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について考察します。	教科書・映像視聴	○			
7月	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第3章 さまざまな人生観・倫理観・世界観 II	5節 理性への疑念	1 世界をとらえる知のあり方の変容	116~120	1	幸福、愛、自由、義務、真実、存在などに着目して、オルテガ、ニーチェ、フロイトの思想を手がかりに、近代の人間観や世界観がどのように変容したかについて多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について考察します。	教科書・映像視聴	○			
8月	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第3章 さまざまな人生観・倫理観・世界観 II	6節 人間観・言語観の問いなおし	1 存在への問い	121~124	1	幸福、愛、善、自由、正義、真実、存在などに着目して、ハイデッガー、ヤスパーズ、サルトルの思想や、現象学、実存主義の考え方を手がかりに、従来の人間観や世界観の問いなおしについて多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について考察します。	教科書・映像視聴	○			
8月	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第3章 さまざまな人生観・倫理観・世界観 II	6節 人間観・言語観の問いなおし	2 新たな知の枠組み	125~128	1	幸福、善、自由、正義、真実、存在などに着目して、ソシュール、レヴィエストロース、フーコーの思想を手がかりに、従来の人間観や世界観、言語観の問いなおしについて多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について考察します。	教科書・映像視聴	○			
8月	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第3章 さまざまな人生観・倫理観・世界観 II	6節 人間観・言語観の問いなおし	3 現代思想の展開	129~130	1	幸福、善、自由、正義、真実、存在などに着目して、ドゥルーズ、フリス、ポストモダンの思想を手がかりに、従来の人間観や世界観、言語観の問いなおしについて多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について考察します。	教科書・映像視聴	○			
8月	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第3章 さまざまな人生観・倫理観・世界観 II	7節 他者・自然とのかわり	1 他者と言語	132~135	1	幸福、愛、善、自由、正義、真実、存在などに着目して、他者とのかわりや言語活動について、レヴィナス、ベンヤミン、アレント、フランクフルト学派、ワイトゲンシュタインの考え方を手がかりに多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について考察します。	教科書・映像視聴	○			
8月	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第3章 さまざまな人生観・倫理観・世界観 II	7節 他者・自然とのかわり	2 民主社会の成熟のために	136~137	1	幸福、愛、善、自由、正義、真実などに着目して、民主社会の成熟や公共性の問題について、ロールズやセン、リパタリアニズムとコミュニタリアニズムの考え方を手がかりに多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について考察します。	教科書・映像視聴	○			
8月	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第3章 さまざまな人生観・倫理観・世界観 II	7節 他者・自然とのかわり	3 社会参加と善社	138	1	幸福、愛、善、自由、正義、真実などに着目して、マザー・テレサの活動やこれまでで学習した社会参加の思想を手がかりに人間相互依存性やボランティアの意義について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方について、自らの問題として考察します。	教科書・映像視聴	○			
8月	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第3章 さまざまな人生観・倫理観・世界観 II	7節 他者・自然とのかわり	4 自然と人間とのかわり	139	1	幸福、愛、善、自由、正義、真実、存在などに着目して、ゲーテ、シュアアイトワ、ベルクソン、その他の人物や自然の自然観を手がかりに、人間が自然をどのようにとらえ、どのように自然とかわるべきか、多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について考察します。	教科書・映像視聴	○		第4回 8月31日	
8月	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第3章 さまざまな人生観・倫理観・世界観 II	8節 思考と対話	「自由」をめぐって	142~143	1	「自由に生きること」について多面的・多角的に考察することを通じて、豊かな自己形成に努める意欲を高めます。	教科書・映像視聴	○			
8月	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第3章 さまざまな人生観・倫理観・世界観 II	8節 思考と対話	「正義」をめぐって	144~145	1	「なぜ、正しく生きるべきなのか」について多面的・多角的に考察することを通じて、豊かな自己形成に努める意欲を高めます。	教科書・映像視聴	○			
8月	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第3章 さまざまな人生観・倫理観・世界観 II	8節 思考と対話	「真実」をめぐって	146~147	1	「世界の始まり」や「真実」について多面的・多角的に考察することを通じて、豊かな自己形成に努める意欲を高めます。	教科書・映像視聴	○			
8月	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第4章 国際社会に生きる日本人としての自覚	1節 日本人の精神風土	1 日本人の自然観	150~152	1	日本人の伝統的な自然観の特徴について、「おのずから」の働きや、「自然記」と和辻哲朗の著作などを記述に着目しながら、自己との関わりにおいて多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方について考察します。	教科書・映像視聴	○			
8月	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第4章 国際社会に生きる日本人としての自覚	1節 日本人の精神風土	2 日本人の宗教観	153~154	1	日本人の伝統的な宗教観の特徴について、「八百万神」や「神々の共存」、「豊饒的文化」などの考え方に着目しながら、自己との関わりにおいて多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について考察します。	教科書・映像視聴	○			
8月	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第4章 国際社会に生きる日本人としての自覚	1節 日本人の精神風土	3 日本人の倫理観	155~156	1	日本人の伝統的な倫理観の特徴について、清き心、正直、誠、いきまよ、やさしさなどの考え方に着目しながら、自己との関わりにおいて多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について考察します。	教科書・映像視聴	○			
9月	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第4章 国際社会に生きる日本人としての自覚	2節 仏教と日本人の思想形成	1 仏教の受容	157~160	1	日本の古代史に関する基本的な理解のもとで、日本人は外来思想である仏教をどのように理解し受容させたのか、また、仏教思想は日本人の思想形成にどのような影響を与えたのか、仏教の由来と宗派、平安仏教の展開、神仏習合の考え方を手がかりとして、古来の自然観に対する信仰との共存・重層という観点から多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について考察します。	教科書・映像視聴	○			
9月	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第4章 国際社会に生きる日本人としての自覚	2節 仏教と日本人の思想形成	2 仏教の日本の展開	161~165	1	日本の中世史に関する基本的な理解のもとで、日本人は外来思想である仏教をどのように理解し受容させたのか、また、仏教思想は日本人の思想形成にどのような影響を与えたのか、浄土信仰、神、【書経】信仰を手がかりとして、古来の自然観や神に対する信仰との共存・重層という観点から多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について考察します。	教科書・映像視聴	○			
9月	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第4章 国際社会に生きる日本人としての自覚	2節 仏教と日本人の思想形成	3 仏教と日本文化	166~168	1	日本の伝統文化に関する基本的な理解のもとで、日本人は外来思想である仏教をどのように理解し受容させたのか、また、仏教思想は日本人の思想形成にどのような影響を与えたのか、無常観や美意識に着目して、さまざまな古典作品や芸術・文化、評論などを手がかりとして、古来の自然や神に対する信仰との共存・重層という観点から多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について考察します。	教科書・映像視聴	○			
9月	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第4章 国際社会に生きる日本人としての自覚	3節 儒教と日本人の思想形成	1 儒教の受容	169~171	1	日本の伝統文化に関する基本的な理解のもとで、日本人は外来思想である儒教をどのように理解し受容させたのか、また、儒教思想は日本人の思想形成にどのような影響を与えたのか、無常観や美意識に着目して、さまざまな古典作品や芸術・文化、評論などを手がかりとして、古来の自然や神に対する信仰との共存・重層という観点から多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について考察します。	教科書・映像視聴	○			

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単元時間	学習到達目標	学習教材	面接指導 (S)		報告課題 (R) 該当回・問題番	備考
	編	章	節	項								
9月	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第4章 国際社会に生きる日本人としての自覚	3節 儒教と日本人の思想形成	2 儒教の日本的展開	172~175	1	日本の近世史に関する基本的な理解にもとづき、日本や他国に展開した儒教思想の特徴や、日本人の思想形成に儒教が与えた影響について、日本の儒学や古文辞学の手がかりとして、中国の儒教や日本の仏教の思想傾向と比較しながら自己との関わりにおいて多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方、世界の在り方について思案します。	教科書・映像視聴	○			
9月	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第4章 国際社会に生きる日本人としての自覚	4節 国学の思想	1 国学の形成と展開	175~176	1	日本の近世史に関する基本的な理解にもとづき、国学が見出した人間性や、国学の思想がその後の日本に及ぼした影響について、代表的な国学者の思想を手がかりとして、儒教や仏教の思想傾向と比較しながら、自己との関わりにおいて多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思案します。	教科書・映像視聴	○			
9月	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第4章 国際社会に生きる日本人としての自覚	5節 庶民の思想	1 庶民の思想の広がり	177~179	1	日本の近世史に関する基本的な理解にもとづき、町人や農民などの庶民が考えた諸思想について、代表的な思想家の考え方を手がかりとして、現代の国際社会に生きる自己との関わりにおいて多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思案します。	教科書・映像視聴	○		第5回 9月30日	
9月	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第4章 国際社会に生きる日本人としての自覚	5節 庶民の思想	2 幕末の思想	180~181	1	日本の近世史、幕末に関する基本的な理解にもとづき、近代精神の形成や萌芽に至った幕末の思想的背景について、西洋文化との接触過程や日本の精神的変遷、代表的な思想家の考え方を手がかりとして、現在の国際社会に生きる自己との関わりにおいて多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思案します。	教科書・映像視聴	○			
9月	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第4章 国際社会に生きる日本人としての自覚	6節 西洋思想と日本人の近代化	1 近代化と啓蒙思想	183~185	1	日本の近代史に関する基本的な理解にもとづき、日本人の近代化における思想形成に影響を与えた啓蒙思想や自由権思想に着目して、国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思案します。	教科書・映像視聴	○			
9月	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第4章 国際社会に生きる日本人としての自覚	6節 西洋思想と日本人の近代化	2 キリスト教の受容	186~187	1	日本の近代史に関する基本的な理解にもとづき、キリスト教を主体的に受容し広めた近代人物の思想や在り方に着目して、国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思案します。	教科書・映像視聴	○			
9月	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第4章 国際社会に生きる日本人としての自覚	6節 西洋思想と日本人の近代化	3 社会思想の展開	188~189	1	日本の近代史に関する基本的な理解にもとづき、日本人の国家意識や社会思想の形成に影響を与えた近代人物の思想や在り方に着目して、国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思案します。	教科書・映像視聴	○			
9月	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第4章 国際社会に生きる日本人としての自覚	6節 西洋思想と日本人の近代化	4 近代的な自己の追求	190~193	1	日本の近代史や文学史に関する基本的な理解にもとづき、近代的な自己の在り方について思案した近代の文学者などの思想や在り方に着目して、国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思案します。	教科書・映像視聴	○			
9月	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第4章 国際社会に生きる日本人としての自覚	6節 西洋思想と日本人の近代化	5 近代日本の創造的な思想	194~197	1	日本の近代史に関する基本的な理解にもとづき、西洋思想を主体的に摂取しつつ東洋や日本の伝統的思想と対話させて独自の新しい思想を形成した近代人物の思想に着目して、国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思案します。	教科書・映像視聴	○			
10月	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第4章 国際社会に生きる日本人としての自覚	7節 国際社会に生きる日本人の自覚	1 戦後思想の動向	199~201	1	第二次世界大戦後の日本の社会状況に関する基本的な理解にもとづき、第4章で学んだ伝統的な日本人の心情や考え方をふり返りながら、現代において自覚的につくべきものや、今後問いなおすべき課題について、多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思案します。	教科書・映像視聴	○			
10月	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第4章 国際社会に生きる日本人としての自覚	7節 国際社会に生きる日本人の自覚	2 グローバル化と日本人	202~203	1	世界の中で現在の日本が置かれているさまざまな状況をふまえて、これまでの学習をふり返りながら、高度経済成長やそれに続く低迷する日本経済にあって、改めて問わなければならない日本人の在り方生き方の問題点について、多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思案します。	教科書・映像視聴	○			
10月	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第4章 国際社会に生きる日本人としての自覚	思考と対話	「日本人の心情」をめぐって	204~205	1	日本人の心情をめぐって、別領域の心構えや別言葉に着目して、「おのずら」や「民」について多面的・多角的に考察することを通じて、豊かな自己形成に努める意欲を高めます。	教科書・映像視聴	○			
10月	第2編 現代の諸課題と倫理		1節 生命		208~212	1	生命科学や医療技術の発達を踏まえ、生命の誕生、老いや病、死との問題などを通じて、「生まれることの意味」について思案できるようにします。	教科書・映像視聴	○			
10月	第2編 現代の諸課題と倫理		2節 自然		213~217	1	人間の生命が自然の生態系の中で、植物や他の動物との相互依存関係において維持されており、調和的な共存関係が大切であることについて思案できるようにします。	教科書・映像視聴	○		第6回・映像視聴報告 10月31日	
10月	第2編 現代の諸課題と倫理		3節 科学技術		218~222	1	近年の飛躍的な情報技術の進展を踏まえ、AIをはじめとした先端科学技術の利用と人間生活や社会の在り方について思案できるようにします。	教科書・映像視聴	○			
10月	第2編 現代の諸課題と倫理		4節 福祉		223~226	1	多様性を前提として、協働、ケア、共生の視点から、だれにとっても住みやすい社会について思案できるようにします。	教科書・映像視聴	○			
10月	第2編 現代の諸課題と倫理		5節 文化と宗教		227~230	1	文化や宗教が過去を継承する人種の坳点であることを踏まえ、それらを尊重し、異なる文化や宗教をもつ人々を理解し、共生に向けて思案できるようにします。	教科書・映像視聴	○			
10月	第2編 現代の諸課題と倫理		6節 戦争と平和		231~235	1	人類全体の福祉の向上という視点から、平和な世界の実現について、考察、構想できるようにします。	教科書・映像視聴	○			

計70単位時間 70

【学習上の注意】

- 教科書を参考にしながら、丁寧に課題へ取り組みましょう。
- 倫理は人間としての在り方生き方に関わる重要な科目です。自身の生活に置き換えて考え、学習へ取り組んでください。

【映像視聴について】

指示された所定時間、所定回数以上を視聴・学習すること。

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導 (S)		報告課題 (R)		備考
	編	章	節	項					メディア① (事後指導学習)	本校スタンダード課題②(指導)	該当回	問題番	

<https://www3.tokyo-shoseki.co.jp/api/wizus/index.php?encode=off&id=5kaz>



【学習評価】

*主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。**再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。**

評価観点	評価基準
知識・技能	古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付けている。
思考・判断・表現	自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や、現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりする力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	問としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりする態度を

【単位修得認定基準】

- ①報告課題 (レポート) : 6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- ②面接指導 (スクーリング) : 実施校で行われる面接指導に1単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。
- ③単位認定試験の得点: 単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間学習単位数時間	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
公民	政治経済	通年	選択	2	70単位時間 (50分×70)	1単位時間	東京書籍 『政治経済』 2 東書 倫理701	授業者に準ずる	平田 正

【教科学習を通じて、育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】

政治・経済に関する概念や理論などを活用し、社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための資質・能力を養うことができる。また、諸資料から、社会のあり方に関する情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる。

【学習目標】

- 〈知識・技能〉 民主主義の本質を思索するとともに、諸資料から現代における政治、経済、国際関係などに対する基礎知識を養いまとめる力を育成する。
- 〈思考・判断・表現〉 現代における政治・経済での制度や法律等を広い視野を持って深く考え、良識のある公民として公正な判断力を養い、自己表現できる力を身につける。
- 〈主体的に取り組む態度〉 民主主義における政治・経済に関する諸課題を主体的に考察し、日々変わりゆく現代で学び続けることができる。

【学習方法】

- ①メディア授業 視覚、聴覚に訴える教材を利用することで、幅広い単元や現代の諸課題を発見し観点を学びながら情報処理能力を身につけることができる。
- ②本校スクリーニング 対面授業を実施し、諸資料を用いて、資料の活用方法を学び、また主体的に課題を追究することができる。
- ③報告課題（レポート） 視覚、聴覚に訴える教材を利用することで、幅広い単元や現代の諸課題を発見し観点を学びながら情報処理能力を身につけることができる。

- メディア箇所全て
- ◎メディア視聴報告書箇所

【年間学習計画】

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位数時間	学習到達目標	学習教材	面接指導 (S)		報告課題 (R)	備考
	編	章	節	項					メディア (映像視聴学習)	本校スクリーニング (個別指導)		
4月	第1編 現代日本の政治と経済	第1章 現代日本の政治	1節 民主政治の基本原理	1 民主政治の成立	6-9	1	○政治の役割や、社会的契約における政府と国民との関係性について理解します。 ○民主政治にとって権力分立がなぜ重要かを考察します。	教科書・映像視聴	◎			
4月	第1編 現代日本の政治と経済	第1章 現代日本の政治	1節 民主政治の基本原理	2 法と民主政治	10-13	1	法の意義や、「法の支配」が民主主義に不可欠であることについて理解します。	教科書・映像視聴	◎			
4月	第1編 現代日本の政治と経済	第1章 現代日本の政治	1節 民主政治の基本原理	18歳からの社会参加① 18歳になることができること	14	1	○成年年齢が変更された背景について理解します。 ○成年年齢を下げたことによる留意点があるかを考察します。	教科書・映像視聴	◎			
4月	第1編 現代日本の政治と経済	第1章 現代日本の政治	1節 民主政治の基本原理	3 基本的人権の確立	15-17	1	○基本的人権が確立した過程と人権保障の歴史的展開について理解します。 ○人権の国際化のなかで、日本の人権保障はどうあるべきかを考察します。	教科書・映像視聴	◎			
4月	第1編 現代日本の政治と経済	第1章 現代日本の政治	1節 民主政治の基本原理	4 現代の民主政治	18-20	1	○ファンズムが生まれ出された背景や、多数決原理にもとづく民主政治の課題について理解します。 ○よりよい民主政治のあり方について考察します。	教科書・映像視聴	◎		第1回 5月31日	
5月	第1編 現代日本の政治と経済	第1章 現代日本の政治	1節 民主政治の基本原理	5 世界のおもな政治体制	21-25	1	○議院内閣制と大統領制の違いや、旧社会主義圏や旧植民地国家における政治体制について理解します。 ○民主主義の諸原理が各国の政治体制にどのように反映されているかを考察します。	教科書・映像視聴	◎			
5月	第1編 現代日本の政治と経済	第1章 現代日本の政治	2節 日本国憲法の基本原則	1 日本国憲法の制定と基本原則	26-30	1	○大日本帝国憲法および日本国憲法の特徴について理解します。 ○憲法改正に関する議論について考察します。	教科書・映像視聴	○			
5月	第1編 現代日本の政治と経済	第1章 現代日本の政治	2節 日本国憲法の基本原則	2 基本的人権の保障	31-41	2	○基本的人権と自分の生活との関係、「新しい人権」の確立が求められている背景について理解します。 ○「公共の福祉」はどのような場合に適用されるべきかを考察します。	教科書・映像視聴	○			
5月	第1編 現代日本の政治と経済	第1章 現代日本の政治	2節 日本国憲法の基本原則	3 平和主義	42-47	1	○憲法第9条をめぐる意思の対立や、日本の安全保障体制の変化について理解します。 ○平和主義の下、今後の日本の安全保障はどうあるべきかを考察します。	教科書・映像視聴	○			
5月	第1編 現代日本の政治と経済	第1章 現代日本の政治	3節 日本の政治機構	1 国会と立法	48-51	1	○国会の権限や組織、選挙について理解します。 ○日本の国会にはどのような課題があり、それをどのように解決すべきかを考察します。	教科書・映像視聴	○	○		
5月	第1編 現代日本の政治と経済	第1章 現代日本の政治	3節 日本の政治機構	2 内閣と行政	52-55	1	○内閣の権限や内閣と国会の関係について理解します。 ○日本の行政にはどのような課題があり、それをどのように解決すべきかを考察します。	教科書・映像視聴	○	○		
5月	第1編 現代日本の政治と経済	第1章 現代日本の政治	3節 日本の政治機構	3 裁判所と司法	56-61	1	○司法権の独立の必要性や裁判のしくみ、裁判員制度について理解します。 ○日本の司法にはどのような課題があり、それをどのように解決すべきかを考察します。	教科書・映像視聴	○	○		
5月	第1編 現代日本の政治と経済	第1章 現代日本の政治	3節 日本の政治機構	4 地方自治	62-65	1	○憲法における地方自治の規定や、地方自治における住民の権利について理解します。 ○日本の地方自治にはどのような課題があり、それをどのように解決すべきかを考察します。	教科書・映像視聴	○			
6月	第1編 現代日本の政治と経済	第1章 現代日本の政治	4節 現代政治の特質と課題	1 戦後政治と政党	66-69	1	○議院制民主主義において政党が必要な理由や、戦後日本の政治発展について理解します。 ○現代の日本の政治にはどのような課題があるかを考察します。	教科書・映像視聴	○			

6月	第1編 現代日本の政治と経済	第1章 現代日本の政治	4節 現代政治の特質と課題	2 選挙と政治参画	70-73	1	○日本の選挙制度の特徴や選挙の課題について理解します。 ○日本の選挙における低投票率を改善するにはどうすればよいか考察します。	教科書・映像視聴	○	
6月	第1編 現代日本の政治と経済	第1章 現代日本の政治	4節 現代政治の特質と課題	3 世論と政治参加	74-77	1	○世論の形成過程、世論の政治への反映のしかた、NPOやインターネットが政治に与える影響について理解します。 ○日本の政治における争点や政治的意見を踏まえ、自分が賛同する政治的立場について考察します。	教科書・映像視聴	○	
6月	第1編 現代日本の政治と経済	第1章 現代日本の政治	4節 現代政治の特質と課題	18歳からの社会参加② 選挙権の行使に向けて	78-79	1	○選挙権年齢引き下げの背景や選挙権を行使する意味について理解します。 ○選挙権の行使に向けて、政党や候補者の主張をどのように検討すべきか考察します。	教科書・映像視聴	○	
6月	第1編 現代日本の政治と経済	第2章 現代日本の経済	1節 現代の資本主義経済	1 経済活動の意義	82-83	1	○少子化やトレードオフなど経済活動の基本原則について理解します。 ○経済体制にはどのようなものがあるか考察します。	教科書・映像視聴	○	
6月	第1編 現代日本の政治と経済	第2章 現代日本の経済	1節 現代の資本主義経済	2 資本主義経済の発展と変容	84-89	2	○資本主義経済と社会主義経済の成立と発展について理解します。 ○今日の資本主義経済にはどのような課題があるか考察します。	教科書・映像視聴	○	
6月	第1編 現代日本の政治と経済	第2章 現代日本の経済	2節 現代経済のしくみ	1 経済主体と経済の循環	90-91	1	○家計および企業の経済活動や、各経済主体の相互関係について理解します。 ○なぜ経済は循環するのか考察します。	教科書・映像視聴	○	
6月	第1編 現代日本の政治と経済	第2章 現代日本の経済	2節 現代経済のしくみ	2 生産のしくみと企業	92-95	1	○企業の活動や、株式会社の特徴について理解します。 ○現代の企業に求められているものは何か考察します。	教科書・映像視聴	○	
6月	第1編 現代日本の政治と経済	第2章 現代日本の経済	2節 現代経済のしくみ	3 市場経済の機能と競争	96-100	1	○市場における価格の役割や、独占禁止法による規制の必要性について理解します。 ○市場は必ずしも万能ではないといわれる理由について考察します。	教科書・映像視聴	○	
6月	第1編 現代日本の政治と経済	第2章 現代日本の経済	2節 現代経済のしくみ	4 国民所得と経済成長	101-104	1	○経済活動の規模や変化をとらえる指標や、景気変動のしくみについて理解します。 ○インフレーションやデフレーションが国民生活にどのような影響を与えるか考察します。	教科書・映像視聴	○	
6月	第1編 現代日本の政治と経済	第2章 現代日本の経済	2節 現代経済のしくみ	5 金融のしくみと機能	105-111	1	○金融の役割や、金融政策の手段について理解します。 ○なぜ金融の自由化が進められ、それは日本経済にどのような影響を与えたか考察します。	教科書・映像視聴	○	
6月	第1編 現代日本の政治と経済	第2章 現代日本の経済	2節 現代経済のしくみ	18歳からの社会参加③ ライフプランと金融	112-113	1	○自分のライフプランを立て、それをもとにどの時期にどの程度の資金が必要か理解します。 ○金融商品を購入する際にリスクとリターンをどちらを重視すべきか考察します。	教科書・映像視聴	○	
7月	第1編 現代日本の政治と経済	第2章 現代日本の経済	2節 現代経済のしくみ	6 財政のしくみと機能	114-118	1	○財政の役割や、公平な税制のあり方について理解します。 ○日本の財政の課題を抱える課題や、持続可能な財政および税制のあり方について考察します。	教科書・映像視聴	○	
7月	第1編 現代日本の政治と経済	第2章 現代日本の経済	3節 日本経済の発展と現状	1 戦後日本経済の発展	119-123	1	○戦後復興から高度経済成長の終焉までの日本経済の変遷と産業構造の変化について理解します。 ○バブル経済が発生した理由と終わりを迎えた理由について考察します。	教科書・映像視聴	○	
7月	第1編 現代日本の政治と経済	第2章 現代日本の経済	3節 日本経済の発展と現状	2 日本経済の現状	124-128	2	○バブル経済崩壊後の日本経済の状況や、2000年代以降に試みられた経済政策が日本社会に与えた影響について理解します。 ○日本経済が抱える課題を解決するにはどうすればよいか考察します。	教科書・映像視聴	○	
7月	第1編 現代日本の政治と経済	第2章 現代日本の経済	4節 福祉社会と日本経済の課題	1 公害と環境保全	128-130	1	○公害問題が発生する理由や、公害を防止する方法について理解します。 ○持続可能な社会の形成のために自分たちができることは何か考察します。	教科書・映像視聴	○	
7月	第1編 現代日本の政治と経済	第2章 現代日本の経済	4節 福祉社会と日本経済の課題	2 農業・食料問題	131-133	1	○戦後日本の農業政策の展開や、林業や漁業が抱える課題について理解します。 ○これからの日本の農業と食料はどうか考察します。	教科書・映像視聴	○	
7月	第1編 現代日本の政治と経済	第2章 現代日本の経済	4節 福祉社会と日本経済の課題	3 中小企業の現状と課題	134-135	1	○日本経済における中小企業の地位や、日本の中小企業が抱える課題について理解します。 ○日本経済の活性化のためにどのような中小企業政策が必要か考察します。	教科書・映像視聴	○	
7月	第1編 現代日本の政治と経済	第2章 現代日本の経済	4節 福祉社会と日本経済の課題	4 情報化の進展と社会の変化	136-137	1	○情報化の進展が社会にもたらしているイノベーションや、「第四次産業革命」が社会生活にもたらす変化について理解します。 ○デジタル社会においてどのようなことに注意すべきか考察します。	教科書・映像視聴	○	
7月	第1編 現代日本の政治と経済	第2章 現代日本の経済	4節 福祉社会と日本経済の課題	5 消費者問題	138-139	1	○消費者問題が発生する理由や、消費者保護のために行われている施策について理解します。 ○消費社会において、自分たち消費者にはどのような知識や行動が求められるか考察します。	教科書・映像視聴	○	

第2回
6月30日

第3回
7月31日

7月	第1編 現代日本の政治と経済	第2章 現代日本の経済	4節 福祉社会と日本経済の課題	18歳からの社会参加型消費者市民社会の実現に向けて	140-141	1	○契約を結ぶ際に関与すべきことや、消費者トラブルにあった際の対応について理解します。 ○持続可能な社会の形成のために消費生活でできることは何か考察します。	教科書・映像視聴	○	
7月	第1編 現代日本の政治と経済	第2章 現代日本の経済	4節 福祉社会と日本経済の課題	6 雇用と労働問題	142-147	1	○労働問題が発生する理由や、憲法や労働三法が保障する労働者の権利について理解します。 ○雇用・労働問題を取り巻く状況と、これからの日本の雇用のあり方について考察します。	教科書・映像視聴	○	
8月	第1編 現代日本の政治と経済	第2章 現代日本の経済	4節 福祉社会と日本経済の課題	18歳からの社会参加型働き方について考える	148-149	1	○自分に合った働き方を実現するためにはどのようなことに考慮すべきか理解します。 ○社会全体の労働条件を向上させるにはどうすればよいか考察します。	教科書・映像視聴	○	
8月	第1編 現代日本の政治と経済	第2章 現代日本の経済	4節 福祉社会と日本経済の課題	7 社会保障と福祉	160-155	1	○社会保障制度の発展と変化や、日本の社会保障制度の特徴と課題について理解します。 ○少子高齢社会においてどのような福祉社会を築いていけばよいか考察します。	教科書・映像視聴	○	
8月	第1編 現代日本の政治と経済	第3章 現代日本の課題		1 少子高齢社会における社会保障	158-159	1	○日本の子育て支援の現状について理解します。 ○少子高齢社会における子育て支援はどうあるべきか考察し、表現します。	教科書・映像視聴	○	
8月	第1編 現代日本の政治と経済	第3章 現代日本の課題		2 地域社会の活性化	160-161	1	○地域社会の現状について理解します。 ○地域社会の独自性を活かしながら活性化を図るにはどうすべきか考察し、表現します。	教科書・映像視聴	○	
8月	第1編 現代日本の政治と経済	第3章 現代日本の課題		3 多様な働き方・生き方の実現	162-163	1	○労働におけるジェンダー平等の現状について理解します。 ○性別にかかわらず働きやすい労働環境はどのように実現できるか考察し、表現します。	教科書・映像視聴	○	
8月	第1編 現代日本の政治と経済	第3章 現代日本の課題		4 中小企業の意義と課題	164-165	1	○日本の中小企業の強みと課題について理解します。 ○中小企業の強みを活かすにはどうすればよいか考察し、表現します。	教科書・映像視聴	○	
8月	第1編 現代日本の政治と経済	第3章 現代日本の課題		5 日本の財政の健全化	166-167	1	○日本の財政の現状について理解します。 ○日本はどのような「福祉国家」をめざすべきか考察し、表現します。	教科書・映像視聴	○	
8月	第1編 現代日本の政治と経済	第3章 現代日本の課題		6 持続可能な食料・農業の実現	168-169	1	○日本の農業の動向について理解します。 ○農業を魅力ある産業にするにはどうすればよいか考察し、表現します。	教科書・映像視聴	○	
8月	第1編 現代日本の政治と経済	第3章 現代日本の課題		7 防災と安全・安心な社会の実現	170-171	1	○日本が直面する災害とその対策の現状について理解します。 ○自分が暮らす地域の防災・減災対策はどうあるべきか考察し、表現します。	教科書・映像視聴	○	
8月	第2編 グローバル化する国際社会	第1章 現代の国際政治	1節 国際政治のしくみ	1 国際政治の特質	174-175	1	○主権国家と国際社会の形成過程や、国際社会の特徴について理解します。 ○現代の国際社会には主権国家以外にどのような主体があるか考察します。	教科書・映像視聴	○	
8月	第2編 グローバル化する国際社会	第1章 現代の国際政治	1節 国際政治のしくみ	2 国際社会と国際法	176-177	1	○国際社会の秩序維持の要因や、国内法と比較した国際法の特徴について理解します。 ○国際司法機関がどのような役割を果たしているか考察します。	教科書・映像視聴	○	
8月	第2編 グローバル化する国際社会	第1章 現代の国際政治	1節 国際政治のしくみ	3 国際連合の役割と課題	178-181	1	○集団安全保障のしくみが必要とされた背景や、平和と安全を維持するための国際連合の取り組みについて理解します。 ○国際連合が抱える課題について考察します。	教科書・映像視聴	○	
8月	第2編 グローバル化する国際社会	第1章 現代の国際政治	2節 複雑化する国際政治と日本	1 戦後国際関係の展開と日本	182-185	1	○第二次世界大戦後の国際関係や、冷戦体制の変化について理解します。 ○日本はどのようにして国際社会に復帰し、どのような立場で行動してきたか考察します。	教科書・映像視聴	○	
9月	第2編 グローバル化する国際社会	第1章 現代の国際政治	2節 複雑化する国際政治と日本	2 冷戦後の国際関係と日本	186-189	1	○冷戦終結後の国際関係の変化や、現在の国際社会が抱える課題について理解します。 ○日本は国際平和や安全保障のためにどのように行動していくべきか考察します。	教科書・映像視聴	○	
9月	第2編 グローバル化する国際社会	第1章 現代の国際政治	2節 複雑化する国際政治と日本	3 地域主義の動き	190-192	1	○世界や地域主義が進んでいる理由や、EUの成立過程および特徴について理解します。 ○地域主義の動きは日本はどのように関わっているか考察します。	教科書・映像視聴	○	
9月	第2編 グローバル化する国際社会	第1章 現代の国際政治	2節 複雑化する国際政治と日本	4 軍縮の動向と課題	193-195	1	○核抑止体制の問題点や、軍縮をめぐる現在の動向について理解します。 ○日本は唯一の核兵器被爆国として、軍縮に向けてどのように取り組むべきか考察します。	教科書・映像視聴	○	
9月	第2編 グローバル化する国際社会	第1章 現代の国際政治	2節 複雑化する国際政治と日本	5 紛争・難民・テロリズム	196-199	1	○近年、国境を越えたテロリズムが多発している理由について理解します。 ○地域紛争を予防し解決するためにはどうすればよいか、また日本は難民問題に対してどのように向き合っていくべきか考察します。	教科書・映像視聴	○	

第4回
8月31日

9月	第2編 グローバル化する国際社会	第1章 現代の国際政治	2節 複雑化する国際政治と日本	6 国際社会における日本の役割	200-203	1	○日本の外交や安全保障が直面している課題や、今日の国際社会において日本に求められている役割について理解します。 ○日本の国際協力や開発援助はどうかあるべきかを考察します。	教科書・映像視聴	○	第5回 9月30日
9月	第2編 グローバル化する国際社会	第2章 現代の国際経済	1節 国民経済と国際経済	1 貿易と国際収支	205-210	1	○貿易の意義や、国際収支の各項目に反映される経済取引引きについて理解します。 ○為替レートがどのような要因によって変動するかを考察します。	教科書・映像視聴	○	
9月	第2編 グローバル化する国際社会	第2章 現代の国際経済	1節 国民経済と国際経済	2 戦後国際経済体制の展開	211-216	1	○現代の国際通貨体制の変遷や、近年経済政策の分野で各国の政策協調が必要になっている理由について理解します。 ○地域経済圏やFTA・EPAが自由貿易の進展にどのような影響を与えるかを考察します。	教科書・映像視聴	○	
9月	第2編 グローバル化する国際社会	第2章 現代の国際経済	1節 国民経済と国際経済	3 発展途上国の経済	217-219	1	○南北問題の解消に向けた国際社会の取り組みや、新興経済諸国の現状について理解します。 ○中国の台頭によって世界経済にはどのような変化が起きているかを考察します。	教科書・映像視聴	○	
9月	第2編 グローバル化する国際社会	第2章 現代の国際経済	2節 世界経済の現状と課題	1 グローバル化する世界経済	220-222	1	○経済のグローバル化の進展や、近年の国際金融の変化について理解します。 ○現在の世界経済はどのような課題を抱えているかを考察します。	教科書・映像視聴	○	
9月	第2編 グローバル化する国際社会	第2章 現代の国際経済	2節 世界経済の現状と課題	2 地球環境問題	223-225	1	○地球環境問題や、地球環境問題への対応をめぐる国際社会の利害対立について理解します。 ○脱炭素社会の構築に向けて各国政府や自分自身はどのような取り組みができるかを考察します。	教科書・映像視聴	○	第6回・映像視聴報告 10月31日
9月	第2編 グローバル化する国際社会	第2章 現代の国際経済	2節 世界経済の現状と課題	3 資源・エネルギー問題	226-229	1	○資源・エネルギーに関する課題や、原子力発電に関する日本および各国の政策について理解します。 ○日本のこれからのエネルギー供給はどうかあるべきかを考察します。	教科書・映像視聴	○	
9月	第2編 グローバル化する国際社会	第2章 現代の国際経済	2節 世界経済の現状と課題	4 人口・貧困・感染症	230-235	1	○21世紀の世界人口の変動予想や、貧困の発生要因について理解します。 ○持続可能な社会の形成に向けて国際社会はどのように取り組むべきかを考察します。	教科書・映像視聴	○	
9月	第2編 グローバル化する国際社会	第3章 国際社会の諸課題		1 グローバル化にもたらした社会変容	238-239	1	○日本の多文化共生をめぐる状況について理解します。 ○多文化共生社会を実現するにはどうすればよいかを考察し、表現します。	教科書・映像視聴	○	
10月	第2編 グローバル化する国際社会	第3章 国際社会の諸課題		2 地球環境と資源・エネルギー問題	240-241	1	○地球温暖化とその対策の現状について理解します。 ○地球温暖化を食い止めるにはどうすればよいかを考察し、表現します。	教科書・映像視聴	○	
10月	第2編 グローバル化する国際社会	第3章 国際社会の諸課題		3 国際的な経済格差の是正	242-243	1	○貧困と開発援助の現状について理解します。 ○貧困削減のためにはどのような開発援助が有効かを考察し、表現します。	教科書・映像視聴	○	
10月	第2編 グローバル化する国際社会	第3章 国際社会の諸課題		4 インベーションの促進と成長市場	244-245	1	○産業のインベーションの現状について理解します。 ○産業のインベーションを促すにはどうすればよいかを考察し、表現します。	教科書・映像視聴	○	
10月	第2編 グローバル化する国際社会	第3章 国際社会の諸課題		5 民族問題と紛争の解決	246-247	1	○パレスチナ問題の経緯と現状について理解します。 ○パレスチナ問題を解決するために何が必要かを考察し、表現します。	教科書・映像視聴	○	
10月	第2編 グローバル化する国際社会	第3章 国際社会の諸課題		6 持続可能な社会の実現	248-249	2	○SDGsの達成に向けた取り組みの現状について理解します。 ○SDGsの達成に向けて自分たちに何が出来るかを考察し、表現します。	教科書・映像視聴	○	

計70単位時間 70

政治経済は現代社会の諸課題に関わる重要な科目です。自身の生活に置き換えて考え、学習へ取り組んでください。

【映像視聴について】

指示された所定時間、所定回数以上を視聴・学習すること。

<https://www3.tokyo-shoseki.co.jp/api/wjvus/index.php?enode=off&id=5ksk>



【学習評価】

*主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点	評価基準
------	------

知識・技能	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手がかりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。
思考・判断・表現	国家および社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や、政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身につけた判断基準を根拠に社会の在り方などについて構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力が身につけている。
主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、日本および国際社会において国家および社会の形成

【単位修得認定基準】

- ①報告課題（レポート）：6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- ②面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に1単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。
- ③単位認定試験の得点：単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

教科	科目	単位数	必要面接時数	教科書	副教材	担当者
公民	時事研究 I	1	1 単位時間	日本ニュース時事能力検定協会 公式テキスト基礎編「時事力」(3・4 級対応)	授業者に準ずる	平田 正

【教科学習を通じて、育てたい生徒像 (カリキュラムマネジメント)】

※教科共通

先人の知恵や他者との協働、諸資料の情報処理能力の修得を通じて、現代社会を生きる自己の在り方を学ぶ。また、身の回りの社会変化に対して、主体的に様々な情報を発信・受信し、課題解決の力を身につける。

【学習目標】

<知識・技能>日本の社会だけでなく国際的な情勢の知識を身に着けることができる。

<思考・判断・表現>領土問題や地球環境などの諸課題について諸資料などを用いて考察し、自己表現することができる。

<主体的に取り組む態度>社会の日々の変化に順応し、現代社会の諸課題について解決するために行動することができる。

【学習方法】

① メディア授業

ニュースや映像を見るという力を身に着け、現代の諸課題について考える力を身につける。

② 本校スクーリング

対面授業を通して諸資料から課題を発見し、日々変化していく社会について自分の意見を発表力、他者の意見を尊重する力を身につける。

③ 報告課題 (レポート)

教科書に準じた内容の報告課題を利用し現代社会に必要な知識をつける。

【学習評価】

*主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。

評価観点	評価基準
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・国際的な政治や外交について知識を身に着け諸課題について考えることができる。 ・グラフを読み取り経済の移り変わりや世界情勢の流れを読み解くことができる。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・現代における政治・経済などの課題について一つの観点からだけではなく広い視野を持って考えることができる。 ・現代における領土問題や環境などの諸課題を良識のある公民として判断し自己表現ができるようになる。
主体的に学習に取り組む態度	変化し続ける現代社会の課題をニュースなどから捉え、自主的に対策を考え実行に移すことができる。

【年間学習計画】

学習月	単元及び主な学習内容	面接指導 (S)		報告課題 (R)	学習到達度目標
		メディア (映像視聴学習)	本校スクーリング (面接指導)	締切期限	
4月	私たちの民主主義			第1回 4月30日	民主主義における選挙の重要性を理解し、現代社会が抱える選挙の諸課題について考えることができる。
5月	日本国憲法の行方				日本国憲法と大日本帝国憲法の違いを考察し、憲法改正案について自分の意見を発信することができる。
5月	どうなる外交と防衛				日本が抱える領土問題についての知識を身に付け、近隣の国々との関係の諸課題を調べまとめることができる。
6月	地方自治のいま				日本国内の経済活動についての政策を学び、新型コロナウイルスはGDPにどのような影響を与えたのかを考えることができる。
7月	転換期迎えたエネルギー				これからのエネルギーとして登場してくる再生可能エネルギーについて、考えることができる。また、原発再稼働について自分の意見を持つことができる。
8月	社会保障のこれから		○	第2回 6月30日	少子高齢化が進むにつれて「社会保障」はどのように変化していくかを考える。また、社会保障制度を持続していくにはどうすればいいのかを学び、まとめることができる。
9月	働くということ		○		働き方について正しい知識をつけ、働く目的を考えることができる。また消費者を守る法律を学び、消費者の権利と義務をについて考えることができる。

9月	地球環境を守るために			第3回 8月31日	地球温暖化の現状を知り、パリ協定などの世界各国が力を合わせて削減に取り組んでいることを理解することができる。
10月	核兵器と向き合う世界				核兵器を巡る二つの条約について学び、核兵器の存在価値を世界で唯一の被爆国としての目線から考えることができる。

教科	科目	単位数	必要面接時数	教科書	副教材	担当者
公民	時事研究Ⅱ	1	1 単位時間	日本ニュース時事能力検定協会 公式テキスト基礎編「時事力」(3・4 級対応)	授業者に準ずる	平田 正

【教科学習を通じて、育てたい生徒像 (カリキュラムマネジメント)】

※教科共通

先人の知恵や他者との協働、諸資料の情報処理能力の修得を通じて、現代社会を生きる自己の在り方を学ぶ。また、身の回りの社会変化に対して、主体的に様々な情報を発信・受信し、課題解決の力を身につける身につける。

【学習目標】

<知識・技能>日本の社会だけでなく国際的な情勢の知識を身に着けることができる。

<思考・判断・表現>人口減少や地球環境などの諸課題について諸資料などを用いて考察し、自己表現することができる。

<主体的に取り組む態度>社会の日々の変化に順応し、現代社会の諸課題について解決するために行動することができる。

【学習方法】

① メディア授業

ニュースや映像を見るという力を身に着け、現代の諸課題について考える力を身につける。

② 本校スクーリング

対面授業を通して諸資料から課題を発見し、日々変化していく社会について自分の意見を発表力、他者の意見を尊重する力を身につける。

③ 報告課題 (レポート)

教科書に準じた内容の報告課題を利用し現代社会に必要な知識をつける。

【学習評価】

*主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。

評価観点	評価基準
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 日々変化していく社会の諸課題について知識を身につけ解決することができる。 グラフを読み取り経済の移り変わりや世界情勢の流れを読み解くことができる。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 現代における政治・経済などの課題について一つの観点からだけではなく広い視野を持って考えることができる。 現代における労働や環境などの諸課題を良識のある公民として判断し自己表現ができるようになる。
主体的に学習に取り組む態度	変化し続ける現代社会の課題をニュースなどから捉え、自主的に対策を考え実行に移すことができる。

【年間学習計画】

学習月	単元及び主な学習内容	面接指導 (S)		報告課題 (R)	学習到達度目標
		メディア (映像視聴学習)	本校スクーリング (面接指導)	締切期限	
4月	私たちの民主主義			第1回 4月30日	天皇の日本における地位を知り、その中で実際にどのような公務をしているかを理解することができる。
5月	どうなる外交と防衛				日米安全保障条約について考え、日本とアメリカの軍事面での関係性を学び、それについて自分の考えをまとめることができる。
5月	先行き不透明な世界経済				保護貿易と自由貿易についての知識を学び、メリットとデメリットを考える。また、コロナウイルスの影響によって停滞していた世界の経済活動がどのように変化しているのかを考察することができる。
6月	日本産業のいま				日本を支える様々な産業について学び、そこでの諸課題について考えることができる。
7月	減り続ける日本の人口		○	第2回 6月30日	少子高齢化社会の現状について資料からまとめ、諸課題について日本が取り組んでいる対策を学んだうえで自分の意見を発表することができる。
8月	共に生きる社会へ				社会の発展により様々な人達が共生をしていく社会が必要になることを理解することができる。また、そのためにどのような配慮をしているのかをまとめることができる。
9月	司法と私たちの社会				司法の役割を知り、人権について考えることができる。また、司法への国民参加や死刑制度について自分の意見を持つことができる

9月	いのちと科学を考える			第3回	若者を中心に問題視されている薬物乱用や依存症の影響を理解し、自分の意見を持つことができる。また新型コロナウイルスに対する世界の動きを学び、様々な医療技術についての課題や応用について考えることができる。
10月	平和な世界どうやって			8月31日	難民、移民についての現状を理解し世界各国の対応について考えることができる。また、中東地域の民主化の現状について理解することができる。

教科	科目	単位数	必要面接時数	教科書	副教材	担当者
公民	時事研究Ⅲ	1	1 単位時間	日本ニュース時事能力検定協会 公式テキスト「時事力」発展編 (1・2・準2 級対応)	授業者に準ずる	平田 正

【教科学習を通じて、育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】

※教科共通

先人の知恵や他者との協働、諸資料の情報処理能力の修得を通じて、現代社会を生きる自己の在り方を学ぶ。また、身の回りの社会変化に対して、主体的に様々な情報を発信・受信し、課題解決の力を身に着ける。

【学習目標】

<知識・技能>情報技術の進歩により目まぐるしい速さで移り変わる現代社会を、政治や経済、暮らしなど様々な分野について知識を身につける。

<思考・判断・表現>現代における政治・経済など様々な分野を広い視野を持って深く考え、良識のある公民として公正な判断力を養い、自己表現できる力を身につける。

<主体的に取り組む態度>自分が生きている社会についていけるように、自ら様々な問題や課題について調べ、対策を考える。

【学習方法】

① メディア授業

ニュースや現代の課題を映像により実際に見るという力を養い、そこから自分の意見をまとめる力を身に着けることを目指す。

② 本校スクーリング

現代のあらゆる課題に向き合い、対面授業を通し自分の意見を発表し、他者の意見を尊重する力を身に着けさせ正しい判断ができるようにする。

③ 報告課題（レポート）

教科書に準じた内容の報告課題を利用することで、政治や経済に対する専門的知識を身につけ、社会で生かし自己表現できるようにする。

【学習評価】

*主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。

評価観点	評価基準
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 憲法や社会福祉に関わることなど社会における基本的な知識をつけ日々の生活に関連付けていくことができる。 グラフを読み取り経済の移り変わりや世界情勢の流れを読み解くことができる。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 現代における政治・経済などの課題について一つの観点からだけではなく広い視野を持って考えることができる。 現代における労働や環境などの諸課題を良識のある公民として判断し自己表現ができるようになる。

主体的に学習に取り組む態度	ニュースから変化し続ける現代社会の課題を発見し、主体性をもって対策を考え行動することができる。
---------------	---

【年間学習計画】

学習月	単元及び主な学習内容	面接指導 (S)		報告課題 (R)	学習到達度目標
		メディア (映像視聴学習)	本校スクーリング (面接指導)	締切期限	
4月	民意はどこに			第1回 4月30日	日本の民主主義を支えている選挙の在り方や歴史・現状について学び、選挙に参加する意味・意義を理解することができる。
5月	流動する日本政治				2024年10月、新たに首相に就任した石破茂氏がこだわる地方創生や防災について学び、これまでの政権との違いや背景、現在の政治状況について考えることができる。
6月	先行き不透明な日本経済				GDPの基礎知識について理解し、2024年4～9月にかけて2四半期連続してGDPの成長率が上がった理由を考えることができる。また、日本銀行の様々な顔を理解し、役割を学ぶ。
7月	リスク抱える世界経済				ようやく落ち着きつつあるインフレに対する、各国の経済の動向について学び、世界の金融政策やその変動について理解することができる。
8月	より働きやすく		○	第2回 6月30日	最低賃金の引き上げや様々なハラスメントへの対策、育児休暇の取得について学び、その課題を考えることができる。また、昨今の不当な働き方について学び働き方改革関連法について理解することができる。
9月	消費生活のルール				なりすまし広告や口コミを装うステマの実情や対策を学び、自分の意見をまとめることができる。また、保健機能食品の意味や課題について理解することができ

					る。
10月	司法と人権保障				改正少年法の施行によって18歳、19歳の立場が変化した。そのメリット・デメリットを自分事化して考え、自分の意見をまとめることができる。
10月	情報社会に生きる			第3回	情報技術が大きく発展したことによって現れたシステムなどを学ぶ。また、個人情報の保護についても自分で出来ることを考え、まとめることができる。
10月	核兵器と向き合う世界			8月31日	核に関する様々な条約について学ぶ。核を保有している世界の国についても考え、平和を求めるためにはどのようなことができるのかを考えることができる。

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位数	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
数学	数学Ⅰ	通年	必修	3単位	105単位数(50分×105)	2単位数	東京書籍『新数学Ⅰ』 2 東書 数1 704	授業者に準ずる	橋竹 有哉

【数科学習を通じて、育てたい生徒像(カリキュラムマネジメント)】

数学の基礎・基本を身に付けて、日常生活や社会の事象を数理的に捉え、数理的に処理し、問題を解決することができる。

【学習目標】

(知識・技能)

数学における基本的な概念や原理・法則を既習の知識と関連付け、より深く理解するとともに、日常生活や社会事象の問題発見・解決に向けての基礎となる技能を身に付ける。

(思考・判断・表現)

様々な事象を数理的に捉え、数学的な推論によって問題を解決し、解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察する力、物事の特徴や事象の変化を抽象し簡潔・明瞭に表現する力を使う。

(主体的に取り組む態度)

数学の学ぶ楽しさを実感し粘り強く考え、数学を日常生活や社会事象に活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり評価・改善したりしようとする態度を使う。

【学習方法】

①メディア授業

メディア授業を用いることで幅広い単元を学習するとともに、数量や図形、データの分析などを視覚・聴覚を利用して多面的に捉えることで「数学のよさ」を認識し、理解を深める。

②本校スクーリング

対面授業を実施し、数学を日常生活や社会事象に活用するために、ペア学習・グループ学習を取り入れ、対話によって思考を深め、広げることで問題解決する力を使う。

③報告課題(レポート)

教科書に準じた内容の報告課題を利用し学習することで、問題の本質を数学的な考え方で把握・整理し、それらを数学の概念を用いて定式化する力、問題解決のために自分の考えた道筋を他者が明確に理解できる表現する力を使う。

○メディア面全て
◎メディア視聴報告書面所

学習目安月	単元及び主な学習内容			教科書該当頁	学習目安単位数	学習到達度目標	学習教材	面接指導(S)		報告課題 締切期限	備考
	編	章	節					メディア(教科書標準)	視聴レポート(視聴報告書)		
4月		数の計算		p4-30	5	これから数学の学習を進めるときに必要な基礎知識の理解を確認する。	教科書、映像授業	○		第1回 第2回 4月30日	
4月	第1章	数と式	1節 文字と式	p32,33	1	数の代わりに文字を使って数量や数量の間の関係を表し、文字を使って表すよさや、表し方の利点などについて理解する。	教科書、映像授業、報告課題	○			
4月	第1章	数と式	1節 文字と式	p34,35	2	単項式、単項式の加減、係数、多項式、積、定数項、同類項、多項式の次数、n次式など、式についての用語の意味を理解し、多項式を理解する中で、式について見方を豊かにする。	教科書、映像授業、報告課題	○			
4月	第1章	数と式	1節 文字と式	p36,37	2	多項式と数のかけ算、多項式の加法・減法の仕組みを理解し、その計算をすることが出来る。	教科書、映像授業、報告課題	○			
4月	第1章	数と式	1節 文字と式	p38,39	2	指数法則、単項式の乗法について理解し、さらに分配法則を用いて多項式を展開することができる。	教科書、映像授業、報告課題	○			
4月	第1章	数と式	1節 文字と式	p40,41	2	式を展開するとき利用する公式を学び、それを利用して式を展開することができるようになる。	教科書、映像授業、報告課題	○			
4月	第1章	数と式	1節 文字と式	p42,43	2	分配法則や乗法公式を用いて因数分解することについて理解し、因数分解の公式を利用することができる。	教科書、映像授業、報告課題	○			
4月	第1章	数と式	1節 文字と式	p44,45	2	x^2 の係数が以上多項式の因数分解ができる。	教科書、映像授業、報告課題	○			
5月	第1章	数と式	1節 文字と式	p46,47	2	式の一部分をひとかたまりと見て公式を利用して展開したり因数分解したりする方法について理解する。	教科書、映像授業	○			
5月	第1章	数と式	2節 実数	p48,49	1	2乗して2になる数、根号を使った平方根の表し方について理解する。	教科書、映像授業、報告課題	○			
5月	第1章	数と式	2節 実数	p50-53	2	根号を含む式の計算の方法や、分母に根号を含まない数である有理化の方法について理解する。	教科書、映像授業、報告課題	○			
5月	第1章	数と式	2節 実数	p54,55	1	自然数、整数、有理数、無理数の意味を理解して、それを区分できる。さらに、実数について理解するとともに、数を拡張することに留意する。	教科書、映像授業、報告課題	○			
5月	第1章	数と式	2節 実数	p56,57	1	有限小数、循環小数について理解し、有限小数になる分数を判断できる。また、循環小数を記号を用いて表すことができる。	教科書、映像授業、報告課題	○			
5月	第1章	数と式	3節 方程式と不等式	p58,59	1	1次方程式について理解し、1次方程式を解くことができる。また、1次方程式を利用して身近な問題を解決することができる。	教科書、映像授業、報告課題	◎	○		第3回 5月31日
5月	第1章	数と式	3節 方程式と不等式	p60,61	2	不等式の意味を理解し、数量の大小関係を表す不等式で表すことができる。	教科書、映像授業、報告課題	◎			
5月	第1章	数と式	3節 方程式と不等式	p62,63	2	不等式を調べることによって、不等式の性質を用いて解くことができる。	教科書、映像授業、報告課題	◎			
5月	第1章	数と式	3節 方程式と不等式	p64,65	2	不等式の解の意味を理解し、不等式の性質を用いて不等式を解くことができる。	教科書、映像授業	◎			
5月	第1章	数と式	3節 方程式と不等式	p66,67	2	不等式の性質を用いて不等式を变形し、解くことができる。また、1次不等式を利用して、文章題を解くことができる。	教科書、映像授業、報告課題	◎			
5月	第1章	数と式	3節 方程式と不等式	p68,69	2	2次方程式を平方根の等式や因数分解を利用して解く方法を理解する。	教科書、映像授業、報告課題	◎			
6月	第1章	数と式	3節 方程式と不等式	p70,71	2	2次方程式を解の公式を使って解く方法を学び、理解する。	教科書、映像授業、報告課題	◎			
6月	第1章	数と式	3節 方程式と不等式	課題学習	1	身近な問題を解決することに、不等式を活用することができる。	教科書、映像授業	○			
6月	第2章	2次関数	1節 2次関数とそのグラフ	p74,75	1	変化する2つの数量の関係を表す方法として関数について学び、理解する。	教科書、映像授業、報告課題	○			
6月	第2章	2次関数	1節 2次関数とそのグラフ	p76,77	1	1次関数のグラフをかいて、変化のようすを捉え、特徴を理解する。	教科書、映像授業、報告課題	○			
6月	第2章	2次関数	1節 2次関数とそのグラフ	p78-81	2	2次式で表される関数について、その関数のグラフの特徴や、グラフの書き方について学び、理解する。	教科書、映像授業、報告課題	○			
6月	第2章	2次関数	1節 2次関数とそのグラフ	p82-85	2	$y=ax^2$ のグラフをx軸方向(y軸方向)に平行したグラフについて学び、理解する。	教科書、映像授業、報告課題	○			
6月	第2章	2次関数	1節 2次関数とそのグラフ	p86-91	3	$y=ax^2$ のグラフと $y=ax^2+bx+c$ のグラフを比較し、関係性について考察する。	教科書、映像授業、報告課題	○		第4回 第5回 6月30日	
6月	第2章	2次関数	2節 2次関数の値の変化	p92-95	3	2次関数の最大値や最小値をグラフを利用して調べ、どんなときに最大値や最小値をもつか考察する。	教科書、映像授業、報告課題	○			
6月	第2章	2次関数	2節 2次関数の値の変化	p96,97	2	2次関数のグラフと2次方程式の関係について考察する。	教科書、映像授業、報告課題	○			

7月	第2章 2次関数	2節 2次関数の値の変化	3 2次関数のグラフと2次不等式	p98,99	2	2次関数のグラフと関連させて、両辺が2次式となる不等式について学び、理解する。	教科書、映像授業、報告課題	○		
7月	第2章 2次関数	2節 2次関数の値の変化	4 いろいろな2次不等式	p100,101	2	2次関数のグラフと軸の共有点が1つの場合や共有点をもたない場合の2次不等式の解について学び、理解する。	教科書、映像授業、報告課題	○		
7月	第2章 2次関数	2節 2次関数の値の変化	課題学習		1	身近な問題を関数の問題として捉え、2次関数の最大値・最小値を活用して解決することができる。	教科書、映像授業	○		
7月	第3章 三角比	1節 鋭角の三角比	1 三角形	p104,105	1	相似な三角形、三角形の定理について学習し、理解する。	教科書、映像授業、報告課題	○	○	第6回 7月31日
7月	第3章 三角比	1節 鋭角の三角比	2 タンジェント	p106,107	2	相似な直角三角形の両方の辺をそれぞれ2辺の比について学び、理解する。	教科書、映像授業、報告課題	○		
7月	第3章 三角比	1節 鋭角の三角比	3 サインとコサイン	p108,109	2	相似な直角三角形の斜辺をふくむ2辺の比について学び、理解する。	教科書、映像授業、報告課題	○		
7月	第3章 三角比	1節 鋭角の三角比	4 三角比の利用	p110~113	3	$\tan A$ や $\sin A$ 、 $\cos A$ を利用して、いろいろな長さや高さを求めることができる。	教科書、映像授業、報告課題	○		
7月	第3章 三角比	1節 鋭角の三角比	5 三角比の相互関係	p114,115	2	三角比の相互関係について理解し、1つの三角比から他の2つの三角比の値を求めることができる。	教科書、映像授業、報告課題	○		
9月	第3章 三角比	1節 鋭角の三角比	6 90° - Aの三角比	p116	2	サインとコサインの間に成り立つ関係を調べ、90° - Aの三角比を求めることができる。	教科書、映像授業、報告課題	○		
9月	第3章 三角比	2節 三角比の応用	1 三角形の面積	p117	2	2辺の長さとその間のサインの値から、△ABCの面積を求めることができる。	教科書、映像授業、報告課題	○		
9月	第3章 三角比	2節 三角比の応用	2 正弦定理	p118,119	2	三角形の3つの角のサインの値と、3つの辺の長さの間に成り立つ関係について考察し、正弦定理について理解する。	教科書、映像授業、報告課題	○		
9月	第3章 三角比	2節 三角比の応用	3 余弦定理	p120,121	2	三角形の1つの角と、3辺の長さの間に成り立つ関係について考察し、余弦定理について理解する。	教科書、映像授業、報告課題	○		
9月	第3章 三角比	2節 三角比の応用	4 鋭角の三角比	p122,123	2	三角比を鋭角まで広げ、図から三角比の値を求めることができる。三角比の相互関係が成り立つことを理解する。	教科書、映像授業、報告課題	○		
9月	第3章 三角比	2節 三角比の応用	5 三角比の相互関係	p124,125	2	鋭角の場合でも、三角比の相互関係が成り立つことを利用して、1つの三角比から他の2つの三角比の値を求めることができる。	教科書、映像授業、報告課題	○		
9月	第3章 三角比	2節 三角比の応用	6 鋭角の三角比の利用	p126,127	2	三角形が鋭角の場合でも、三角形の面積の公式、正弦定理、余弦定理を利用して、面積や辺の長さを求めることができる。	教科書、映像授業	○		
9月	第3章 三角比	2節 三角比の応用	課題学習		1	三角比を利用して、素数の素数をみよす螺旋図のこう配について考察することができる。	教科書、映像授業	○		
9月	第4章 データの分析	1節 データの分析	1 データにもとづく問題解決の考え方	p130,131	1	日常生活や社会事象にあるデータを用いて、問題を解決するときの方法について学び、理解する。	教科書、映像授業	○		
9月	第4章 データの分析	1節 データの分析	2 データの特徴の調べ方	p132~135	2	身近なデータを扱い、目的やデータに応じたデータの分析の方法について学び、理解する。	教科書、映像授業、報告課題	○		
10月	第4章 データの分析	1節 データの分析	3 代表値	p136,137	2	データ全体の特徴を表す数値の求め方や選び方を学び、理解する。	教科書、映像授業、報告課題	○		
10月	第4章 データの分析	1節 データの分析	4 四分位数と箱ひし图	p138,139	2	中央値をもとにして、データの散らばりや大きい値や小さい値を表す方法について学び、数値や図から読み取れることを考察する。	教科書、映像授業、報告課題	○		第8回 9月31日
10月	第4章 データの分析	1節 データの分析	5 分散と標準偏差	p140,141	2	平均値をもとにして、データの散らばりや大きい値や小さい値を表す方法について学び、数値や図から読み取れることを考察する。	教科書、映像授業、報告課題	○		
10月	第4章 データの分析	1節 データの分析	6 相関関係	p142,143	1	2つのデータの間の関係を図で表す方法について学び、図から読み取れることを考察する。	教科書、映像授業、報告課題	○		
10月	第4章 データの分析	1節 データの分析	7 相関係数	p144,145	2	散布図の書き方に影響されます。客観的な判断ができるよう、相関関係を数値で表すことを考察する。	教科書、映像授業、報告課題	○		
10月	第4章 データの分析	1節 データの分析	8 データにもとづく考え方	p146,147	2	不確実なことから起こりやすさに着目し、法則の妥当性をデータにもとづいて判断し、考察する。	教科書、映像授業	○		
10月	第4章 データの分析	1節 データの分析	課題学習		1	確立、交点、割合について、それぞれの相関関係を調べ、上位の成績を誇るために有効な闘い方を考察することができる。	教科書、映像授業	○		
10月	第5章 集合と論証	1節 集合と論証	1 集合	p150~153	2	日常生活で使われる「集合」と数学での「集合」の違いについて具体例をあげて学び、理解する。	教科書、映像授業、報告課題	◎		
10月	第5章 集合と論証	1節 集合と論証	2 命題と集合	p154~157	3	あることがら、正しいか正しくないかを具体例をあげながら調べ、方法と用語について学び、理解する。	教科書、映像授業、報告課題	◎		第9回 映像授業 報告 10月31日
10月	第5章 集合と論証	1節 集合と論証	3 集合と証明	p158~160	2	命題が真であることを論理的に証明する方法について学び、理解する。	教科書、映像授業、報告課題	◎		

105

【学習上の注意】

- ☞日常生活や社会の事象に目を向け、数学的に解決する方法を考えよう。
- ☞数学の学ぶ楽しさを実感するために粘り強く問題を解きましょう。
- ☞ペア学習・グループ学習では他の人と積極的にコミュニケーションを取り、理解を深めよう。

【映像視聴について】

指示された所定時間、所定回数以上を視聴・学習すること。



【学習評価】

*主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点	評価基準
知識・技能	数学における基本的な概念や原理・法則を既習の知識と関連付け、より深く理解するとともに、日常生活や社会事象の問題発見・解決に向けての基礎となる技能が身についている。
思考・判断・表現	様々な事象を数理的に捉え、数学的な推論によって問題を解決し、解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考え、物事の特徴や事象の変化を抽象し簡潔・明確に表現している。
主体的に学習に取り組む態度	数学の学ぶ楽しさを実感し粘り強く考え、数学を日常生活や社会事象に活用し、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり評価・改善している。

【単位修得認定基準】

- ①報告課題（レポート）：9回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- ②面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に2単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。
- ③単位認定試験の得点：単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

教科	科目	開講期間	履修 選択科目	単位数	年間目安学習単位数時間	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
数学	数学Ⅱ	通年		4単位	140単位数時間(50分×140)	2 単位数時間	東京書籍『新数学Ⅱ』 東書 数Ⅱ 717・718	授業者に準ずる	植竹 有哉

【教科学習を通して、育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】

数学の基礎・基本を身につけて、現実の世界へ落とし込み活用し、問題解決できる。

【学習目標】

(知識・技能)

- いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。
- 事象を数値化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。

(思考・判断・表現)

- 数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力を身に付けている。
- 座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察する力を付けている。
- 関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力を付けている。また、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合・発展的に考察したりする力を身に付けている。

(主体的に取り組む態度)

- 数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断したりしている。
- 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価改善したりしようとしている。

【学習方法】

①メディア授業

メディア授業を用いることで幅広い単元を学習するとともに、数量や図形、データの分析などを視覚・聴覚を利用して多面的に捉えることで「数学のよさ」を認識し、理解を深める。

②本校スクーリング

対面授業を実施し、数学を日常生活や社会事象に活用するために、ペア学習・グループ学習を取り入れ、対話によって思考を深め、広げることで問題解決する力を養う。

③報告課題（レポート）

教科書に準じた内容の報告課題を利用し学習することで、問題の本質を数学的な考え方で把握・整理し、それらを数学の概念を用いて定式化する力、問題解決するために自分の考えた道筋を他者が明確に理解できる表現する力を養

○メディア面所全て

◎ メディア視聴報告書箇所

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位数時間	学習到達目標	学習教材	面接指導 (S)		報告課題 締切期限	備考
	編	章	節	項					メディア (映像/音声)	教材(プリント/ワークシート)		
4月	1章	方程式・式と証明	1節	式の計算	1 3次乗法公式と因数分解	p4,5	2	3次の乗法公式と因数分解の公式について理解し、それらを用いて計算することができる。	教科書、映像授業、放送視聴、報告課題	○		
4月	1章	方程式・式と証明	1節	式の計算	2 二項定理	p6,7	2	パスカルの三角形について考察し、二項定理を利用して式を展開することができる。	教科書、映像授業、放送視聴、報告課題	○		
4月	1章	方程式・式と証明	1節	式の計算	3 分数式とかけ算とわり算	p8,9	2	分数式とその約分、わり算、かけ算について理解し、その計算ができる。	教科書、映像授業、報告課題	○		
4月	1章	方程式・式と証明	1節	式の計算	4 分数式とたし算とひき算	p10,11	2	分数式とその通分、たし算、ひき算について理解し、その計算ができる。	教科書、映像授業、報告課題	○		
4月	1章	方程式・式と証明	2節	2次方程式	1 複素数	p12,13	2	虚数単位を理解するとともに、数を実数から複素数に広げることの意味をもち、従来解けなかった2次方程式にも解があることを理解する。	教科書、映像授業、報告課題	◎	○	第1回 第2回 4月30日 映像視聴報告 10月31日
4月	1章	方程式・式と証明	2節	2次方程式	2 複素数の計算	p14,15	2	複素数の演算や共役な複素数について理解する。	教科書、映像授業、報告課題	◎	○	
4月	1章	方程式・式と証明	2節	2次方程式	3 2次方程式の解	p16,17	2	すべての2次方程式を解くことができる。また、2次方程式の判別式について理解し、解を判別することができる。	教科書、映像授業、報告課題	◎	○	
4月	1章	方程式・式と証明	2節	2次方程式	4 解と係数の関係	p18,19	2	2次方程式の解と係数の間に成り立つ関係について興味をもって調べ、2次方程式への理解を深める。	教科書、映像授業、報告課題	◎	○	
4月	1章	方程式・式と証明	3節	高次方程式	1 多項式のわり算	p20,21	2	多項式のわり算について理解し、商と余りの関係を表すことができる。	教科書、映像授業、報告課題	◎		
4月	1章	方程式・式と証明	3節	高次方程式	2 因数定理	p22,23	2	剰余の定理と因数定理について理解し、多項式のわり算や因数分解に用いてそれらを利用することができる。	教科書、映像授業、報告課題	◎		
4月	1章	方程式・式と証明	3節	高次方程式	3 高次方程式	p24~27	3	高次方程式について、理解し、因数分解、因数定理を用いて高次方程式を解くことができる。また、身近な問題を解決するために高次方程式を活用することができる。	教科書、映像授業、報告課題	○		
5月	1章	方程式・式と証明	4節	式と証明	1 等式の証明	p28,29	3	左辺と右辺をそれぞれ計算することで、等式を証明し、論理的な思考力を養う。	教科書、映像授業、報告課題	○		
5月	1章	方程式・式と証明	4節	式と証明	2 不等式の証明	p30,31	2	左辺と右辺の差をとることで、不等式を証明し、論理的な思考力を養う。また、相対平均と相対平均の間に成り立つ関係について理解し、それらを用いて不等式を証明することができる。	教科書、映像授業、報告課題	○		
5月	1章	方程式・式と証明	4節	式と証明	課題学習	p134	2	身近な問題を解決するために、高次方程式を活用することができる。	教科書	○		第3回 第4回 5月31日
5月	2章	図形と方程式	1節	座標と直線の方程式	1 直線上の点の座標	p34~37	4	直線上の2点間の距離を求めることができる。また、直線の内分・外分の意味を理解し、直線上の内分点・外分点の座標を求めることができる。	教科書、映像授業、報告課題	◎		
5月	2章	図形と方程式	1節	座標と直線の方程式	2 平面上の点の座標	p38~43	4	座標平面について理解する。座標平面上で、2点間の距離や内分点、外分点の座標を求めることができる。また、三角形の重心の座標を求めることができる。	教科書、映像授業、報告課題	◎		
5月	2章	図形と方程式	1節	座標と直線の方程式	3 直線の方程式	p44~47	3	直線の傾きと切片について理解し、1点と傾きや、2点を与えられたときの直線の方程式を求めることができる。	教科書、報告課題	○		
5月	2章	図形と方程式	1節	座標と直線の方程式	4 2直線の関係	p48~51	3	2直線の交点の座標が方程式を連立して求めることを理解する。また、平行・垂直な2直線の方程式間に成り立つ関係について理解し、それらを用いて直線の方程式を求めることができる。	教科書、報告課題	○		
5月	2章	図形と方程式	2節	円の方程式	1 円の方程式	p52~54	3	与えられた条件から円の方程式を求めたり、円の方程式から中心の座標と半径を求めたりすることができる。	教科書、報告課題	◎		
6月	2章	図形と方程式	2節	円の方程式	2 円と直線	p55,56	2	円の直線の共有点の座標を求めることができる。また、円の直線の共有点の個数について、2次方程式の判別式の符号と対応していることを理解する。	教科書、報告課題	○		
6月	2章	図形と方程式	3節	軌跡と領域	1 軌跡	p57	2	軌跡について理解し、与えられた条件から軌跡を求めることができる。	教科書、報告課題	◎		
6月	2章	図形と方程式	3節	軌跡と領域	2 不等式の表す領域	p58~61	3	不等式が表す領域を示したり、領域を不等式に表したりすることができる。	教科書、報告課題	○		
6月	2章	図形と方程式	3節	軌跡と領域	3 連立不等式の表す領域	p62,63	2	連立不等式が表す領域を示すことができる。	教科書	○		
6月	2章	図形と方程式	3節	軌跡と領域	課題学習	p135	2	身近な問題を解決するために、不等式の表す領域を活用することができる。	教科書	○		第5回 第6回 6月30日
6月	3章	三角関数	1節	三角関数	1 一般角	p66,67	2	角の概念を一般角まで拡張することについて理解する。	教科書、報告課題	○		

6月	3章 三角関数	1節 三角関数	2 三角関数	p68,69	2	三角関数の定義を理解し、一般角の三角関数の値を求めることができる。	教科書、報告課題	○	○
6月	3章 三角関数	1節 三角関数	3 三角関数の相互関係	p70,71	3	一般角の三角関数についても三角関数の相互関係が成り立ちことを理解する。	教科書、報告課題	○	○
6月	3章 三角関数	1節 三角関数	4 三角関数のグラフ	p72~75	4	三角関数のグラフの特徴を理解し、そのグラフをかくことができる。	教科書、報告課題	○	
7月	3章 三角関数	1節 三角関数	5 三角関数の性質	p76,77	3	三角関数の性質を用いて三角関数の値を求めることができる。	教科書、報告課題	○	
7月	3章 三角関数	2節 加法定理	1 加法定理	p78,79	3	三角関数の加法定理を理解し、それらを用いて三角関数の値を求めることができる。	教科書、報告課題	○	
7月	3章 三角関数	2節 加法定理	2 加法定理の応用	p80,81	3	加法定理の簡単な応用として2倍角の公式を導き利用できる。また、加法定理の逆として三角関数の合成を理解する。	教科書、報告課題	○	
7月	3章 三角関数	2節 加法定理	3 弧度法	p82,83	2	弧度法の意味を理解し、弧度法による扇形の弧の長さや面積を求めることができる。	教科書、報告課題	○	
7月	3章 三角関数	2節 加法定理	課題学習	p136	2	身近な問題を解決することに、三角関数を活用することができる。	教科書	○	
7月	4章 指数関数と対数関数	1節 指数関数	1 整数の指数	p86,87	2	指数の範囲を整数全体に拡張した指数法則について理解し、指数法則を用いて計算することができる。	教科書、報告課題	○	
7月	4章 指数関数と対数関数	1節 指数関数	2 乗乗略	p88,89	2	乗乗略の意味を理解し、簡単な計算をすることができる。	教科書、報告課題	○	
7月	4章 指数関数と対数関数	1節 指数関数	3 分数の指数	p90,91	3	指数の範囲を分数に拡張した指数法則について理解し、指数法則を用いて計算することができる。	教科書、報告課題	○	
9月	4章 指数関数と対数関数	1節 指数関数	4 指数関数とそのグラフ	p92,93	3	指数関数の定義とそのグラフの性質を理解し、対数関数のグラフをかいたり、大小比較することができる。	教科書、報告課題	○	
9月	4章 指数関数と対数関数	1節 指数関数	5 指数関数の利用	p94,95	3	身近な問題を解決することに、指数関数を活用する。	教科書、報告課題	○	
9月	4章 指数関数と対数関数	2節 対数関数	1 対数	p96,97	2	対数の意味を理解し、簡単な対数の値を求めることができる。	教科書、報告課題	○	
9月	4章 指数関数と対数関数	2節 対数関数	2 対数の性質	p98,99	3	対数の性質を理解し、それらを用いて対数の計算をすることができる。	教科書、報告課題	○	
9月	4章 指数関数と対数関数	2節 対数関数	3 対数関数とそのグラフ	p100,101	3	対数関数の定義とそのグラフの性質を理解し、対数関数のグラフをかいたり、大小比較をしたりすることができる。	教科書、報告課題	○	
9月	4章 指数関数と対数関数	2節 対数関数	4 常用対数	p102,103	3	常用対数の意味と常用対数表の使い方を理解し、それらを用いて整数の累乗の桁数を求めることができる。	教科書、報告課題	○	
9月	4章 指数関数と対数関数	2節 対数関数	課題学習	p137	2	身近な問題を解決することに、対数関数を活用することができる。	教科書	○	
9月	5章 関数と積分	1節 関数と導関数	1 平均変化率	p106,107	2	関数の平均変化率が曲線上の2点を通る直線の傾きに等しいことを理解し、平均変化率を求めることができる。	教科書、報告課題	○	
9月	5章 関数と積分	1節 関数と導関数	2 微分係数	p108,109	2	極限値や微分係数の意味を理解し、微分係数を定義に基づいて求めることができる。	教科書、報告課題	○	
9月	5章 関数と積分	1節 関数と導関数	3 導関数	p110,111	2	導関数の意味を理解する。	教科書、報告課題	○	
10月	5章 関数と積分	1節 関数と導関数	4 導関数の計算	p112,113	3	簡単な導関数の計算ができる。また、導関数を利用して、微分係数を求めることができる。	教科書、報告課題	○	
10月	5章 関数と積分	1節 関数と導関数	5 接線	p114,115	3	曲線上のある点における接線の方程式を求めることができる。また、与えられた曲線の方程式から曲線上のある点における接線の方程式を求めることができる。	教科書、報告課題	○	
10月	5章 関数と積分	2節 導関数の応用	1 関数の増加・減少	p116~118	3	導関数の符号を利用して、関数の増減を調べることができる。	教科書、報告課題	○	
10月	5章 関数と積分	2節 導関数の応用	2 関数の極大・極小	p119~121	3	関数の極大・極小の意味を理解し、極大値・極小値を求めたり、そのグラフをかいたりすることができる。	教科書、報告課題	○	
10月	5章 関数と積分	2節 導関数の応用	3 関数の最大・最小	p122,123	3	ある定義域における関数の最大値・最小値を、増減を調べることによって求めることができる。また、それらを利用して身近な問題を解決することができる。	教科書、報告課題	○	
10月	5章 関数と積分	3節 積分	1 不定積分	p124~127	3	不定積分の意味を理解し、公式を用いて不定積分を求めることができる。	教科書、報告課題	○	
10月	5章 関数と積分	3節 積分	2 定積分	p128,129	3	定積分の意味を理解し、公式を用いて定積分を求めることができる。	教科書、報告課題	○	
10月	5章 関数と積分	3節 積分	3 面積	p130~132	3	定積分を利用して、直線や曲線で囲まれた図形の面積を求めることができる。	教科書、報告課題	○	
10月	5章 関数と積分	3節 積分	課題学習	p138	2	身近な問題を解決することに、積分を活用することができる。	教科書	○	

第7回 第8回
7月31日

第9回 第10回
8月31日

第11回 第12回
9月30日

【学習上の注意】

- ☞日常生活や社会の事象に目を向け、数学的に解決する方法を考えましょう。
- ☞数学の学ぶ楽しさを実感するために粘り強く問題を解きましょう。
- ☞ペア学習・グループ学習では他の人と積極的にコミュニケーションを取り、理解を深めましょう。

【映像視聴について】

指示された所定時間、所定回数以上を視聴・学習すること。
<https://ww3.tokyo-shoseki.co.jp/api/wizus/index.php?encode=off&id=5msy>



【学習評価】

*主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点	評価基準
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数式化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力を身に付けている。 ・座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察する力を身に付けている。 ・関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力を身に付けている。また、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合・発展的に考察したりする力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・数学のよさを認識し数学を活用しようとしていたり、粘り強く柔軟に考え数学的論議に基づき判断したりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価改善したりしている。

【単位修得認定基準】

- ①報告課題（レポート）：12回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- ②面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に2単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。
- ③単位認定試験の得点：単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位数時間	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
数学	数学Ⅲ	通年	選択科目	3単位	105単位数時間(50分×105)	2単位数時間	東京書籍『新数学Ⅲ』 東書 数Ⅲ 702	授業者に準ずる	植竹 宥哉

【教科学習を通じて、育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】

数学の基礎・基本を身につけて、現実の世界へ落とし込み活用し、問題解決できる。

【学習目標】

〈知識・技能〉

- ・極限、微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解する。
- ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。
- ・数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり、関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりする力を身に付けている。

〈思考・判断・表現〉

- ・いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察する力を身に付けている。
- ・関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力を身に付けている。また、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付けている。

〈主体的に取り組む態度〉

- ・数学のよさを認識し数学を活用しようとして、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断したりしている。
- ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価改善しようとしている。

【学習方法】

- ①メディア授業
- ②本校スクーリング
- ③報告課題（レポート）

メディア授業を用いることで幅広い単元を学習するとともに、関数と極限、微分などを視覚・視聴を利用して多面的に捉えることで「数学のよさ」を認識し、理解を深める。

対面授業を実施し、数学を日常生活や社会事象に活用するために、ペア学習・グループ学習を取り入れ、対話によって思考を深め、広げることで問題解決する力を養う。

教科書に準じた内容の報告課題を利用し学習することで、問題の本質を数学的な考え方で把握・整理し、それらを数学の概念を用いて定式化する力、問題解決するために自分の考えた道筋を他者が明確に理解でき

- メディア箇所全て
- ◎メディア視聴報告書箇所

【年間学習計画】

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位数時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導 (S)		報告課題 締切期限	備考	
	編	章	節	項					メディア (映像授業学習)	スクーリング (対面授業)			
4月		1章 関数と極限	1節 関数	1 分数関数とそのグラフ	p10-13	3	分数式で表された関数のグラフと、その特徴について理解する。分数関数のグラフを描くことができる。	教科書、映像授業、報告課題	◎		第1回 第2回 4月30日		
4月		1章 関数と極限	1節 関数	2 無理関数とそのグラフ	p14-18	3	根号の中に文字を含む式で表された関数をグラフで描くことができる。	教科書、映像授業、報告課題	◎				
4月		1章 関数と極限	1節 関数	3 逆関数と合成関数	p19-22	3	逆関数について理解することができる。逆関数のグラフの性質について理解することができる。合成関数について理解し合成関数を求めることができる。	教科書、映像授業、報告課題		○			
4月		1章 関数と極限	2節 数列の極限	1 数列の極限	p24-30	4	無限数列の極限値を求めることができる。はまみうちの原理を用いて三角関数の極限値を求めることができる。	教科書、映像授業、報告課題	◎	○			
4月		1章 関数と極限	2節 数列の極限	2 無限等比数列	p31-35	3	無限等比数列について収束・発散について理解することができる。	教科書、映像授業、報告課題	◎	○			
5月		1章 関数と極限	2節 数列の極限	3 無限級数	p36-43	4	様々な無限等比級数について収束・発散や和の性質などを理解する。	教科書、映像授業、報告課題	○	○			
5月		1章 関数と極限	3節 関数の極限	1 いろいろな関数と極限	p45-57	4	関数の極限について、右側からの極限と左側からの極限について理解することができる。指数、対数、三角関数などについて極限を求めることができる。	教科書、映像授業、報告課題	○	○	第3回 5月31日		
5月		1章 関数と極限	3節 関数の極限	2 関数の連続性	p58-62	4	関数の連続性について学ぶことができ、連続な関数の性質についても理解することができる。	教科書、映像授業、報告課題	○	○			
5月		1章 関数と極限	3節 関数の極限	課題学習	p66.67	2	三角形の中心を次々と作っていったときこの点に到達するか理解することができる。また、四面体の問題について解くことができる。	教科書	○				
5月		2章 微分	1節 微分法	1 導関数	p70-73	3	微分可能について数学的に理解することができる。導関数の公式を理解することができる。	教科書、映像授業、報告課題	○	○			
6月		2章 微分	1節 微分法	2 積・商の微分法	p74-76	3	積・商の導関数について導くことができる。指数が負の数の関数について導関数を導くことができる。	教科書、映像授業、報告課題	○	○			
6月		2章 微分	1節 微分法	3 合成関数の微分法	p77-80	3	合成関数の微分について数学的に理解することができる。逆関数の微分を行うことができる。	教科書、映像授業、報告課題	○	○			
6月		2章 微分	2節 いろいろな関数の導関数	1 三角関数の導関数	p82.83	3	三角関数の公式を覚えることができる。三角関数の微分を数学的に理解することができる。	教科書、映像授業、報告課題	○				
6月		2章 微分	2節 いろいろな関数の導関数	2 対数関数・指数関数の導関数	p84-88	3	対数関数の導関数を導くことができる。指数関数の微分を行うことができる。	教科書、映像授業、報告課題	○		第4回 第5回 6月30日		
6月		2章 微分	2節 いろいろな関数の導関数	3 高次導関数	p89.90	2	高次導関数について数学的に理解することができる。第n次導関数を導くことができる。	教科書、映像授業、報告課題	○				
6月		2章 微分	2節 いろいろな関数の導関数	課題学習	p94.95	2	3個以上の関数の積として表される関数の微分について理解し導くことができる。	教科書、映像授業	○				
7月		3章 微分の応用	1節 関数の増減	1 接線の方程式	p98-107	4	曲線や楕円、サイクロイドの接線を求めることができる。	教科書、映像授業、報告課題	○				
7月		3章 微分の応用	1節 関数の増減	2 関数の増減	p108-113	3	平均値の定理について理解することができる。いろいろな関数の極値を求めることができる。	教科書、映像授業、報告課題	○				
7月		3章 微分の応用	1節 関数の増減	3 第2次導関数とグラフ	p114-119	3	第2次導関数を用いてグラフを描くことができる。第2次導関数を用いて極値を求めることができる。	教科書、映像授業、報告課題	○				
7月		3章 微分の応用	2節 微分のいろいろな応用	1 最大・最小	p121.122	2	三角関数の最大値、最小値を求めることができる。	教科書、映像授業、報告課題	○				
7月		3章 微分の応用	2節 微分のいろいろな応用	2 方程式・不等式への応用	p123-125	3	微分法をもちいて不等式の証明や方程式の実数解の個数を求めることができる。平均値の定理を応用して不等式の証明を行うことができる。	教科書、映像授業、報告課題	○		第6回 7月31日		
7月		3章 微分の応用	2節 微分のいろいろな応用	3 速度・加速度	p126-130	3	微分法を応用して、速度や加速度の問題を解くことができる。等速円運動の速度や加速度を求めることができる。	教科書、映像授業、報告課題	○				

9月		3章 微分の応用	2節 微分のいろいろな応用	4 近似式	p131,132	2	微分法を用いて近似値を求めることができる。	教科書、映像授業、報告課題	○		
9月		3章 微分の応用	2節 微分のいろいろな応用	課題学習	p136,137	2	円錐の体積が最大になるにはどのような円錐になればよいか理解することができる。	教科書	○		
9月		4章 積分とその応用	1節 不定積分	1 不定積分	p140~144	3	三角関数や指数関数の不定積分を求めることができる。	教科書、映像授業、報告課題	○		
9月		4章 積分とその応用	1節 不定積分	2 置換積分法	p145~148	3	置換積分について理解することができる。置換積分を用いて三角関数の不定積分を求めることができる。	教科書、映像授業、報告課題	○		
9月		4章 積分とその応用	1節 不定積分	3 部分積分法	p149,150	2	部分積分について理解することができる。関数の積で表された関数の不定積分を求めることができる。	教科書、映像授業、報告課題	○		
第7回											
8月31日											

9月		4章 積分とその応用	1節 不定積分	4 いろいろな関数の不定積分	p151-153	3	いろいろな関数の不定積分を求めることができる。積を初等関数に直す公式を用いて積分を求めることができる。	教科書、映像授業、報告課題	○		
9月		4章 積分とその応用	2節 定積分	1 定積分	p155-157	3	定積分の性質について数学的に理解することができる。絶対値のついた関数の定積分を求めることができる。	教科書、映像授業、報告課題	○		
10月		4章 積分とその応用	2節 定積分	2 定積分の置換積分法と部分積分法	p158-164	4	定積分の置換積分法について理解することができる。偶関数、奇関数の積分や定積分の部分積分を用いた問題を解くことができる。	教科書、映像授業、報告課題	○		第8回 9月30日
10月		4章 積分とその応用	2節 定積分	3 定積分で表された関数	p165-167	2	定積分で表された関数を積分することができる。	教科書、映像授業、報告課題	○		
10月		4章 積分とその応用	2節 定積分	4 定積分と区分求積法	p168-172	3	区分求積法について数学的に理解することができる。定積分の考え方をを用いて不等式の証明をすることができる。	教科書、映像授業、報告課題	○		
10月		4章 積分とその応用	3節 面積・体積・長さ	1 面積	p175-179	3	様々な曲線や楕円の面積を求めることができる。	教科書、映像授業、報告課題	○		
10月		4章 積分とその応用	3節 面積・体積・長さ	2 体積	p180-185	3	空間図形の体積を積分を用いて求めることができる。回転体の体積を求めることができる。	教科書、映像授業、報告課題	○		第9回 映像視聴報告 10月31日
10月		4章 積分とその応用	3節 面積・体積・長さ	3 曲線の長さとのり	p186-190	3	積分を用いて曲線の長さを求めることができる。	教科書、映像授業、報告課題	○		
10月		4章 積分とその応用	3節 面積・体積・長さ	課題学習	p192,193	2	身近な問題として大さじ2分の1の量を数学を用いて解決することができる。	教科書、映像授業	○		

【学習上の注意】

- ☞日常生活や社会の事象に目を向け、数学的に解決する方法を考えましょう。
- ☞数学の学ぶ楽しさを実感するために粘り強く問題を解きましょう。
- ☞ペア学習・グループ学習では他の人と積極的にコミュニケーションを取り、理解を深めましょう。

【映像視聴について】

指示された所定時間、所定回数以上を視聴・学習すること。
<https://ww3.tokyo-shoseki.co.jp/api/wizus/index.php?encode=off&id=r6msz>



知識・技能	・極限、微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。
思考・判断・表現	・数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり、関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりすることができる。 ・関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりすることができる。
主体的に学習に取り組む態度	・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとして、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしていたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

【単位修得認定基準】

- ①報告課題（レポート）：9回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- ②面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に2単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。
- ③単位認定試験の得点：単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位数	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
数学	数学A	通年	選択	2単位	70単位数(50分×70)	1単位数	東京書籍『新数学A』 東書数A 704・705	授業者に準ずる	橋本 有哉

【教科学習を通じて、育てたい生徒像(カリキュラムマネジメント)】
 数学の基礎・基本を身につけ、現実の世界に落とし込み活用し問題解決できる

【学習目標】

- (知識・技能)
- 図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。
 - 数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。
- (思考・判断・表現)
- 図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力を身につけている。
 - 不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力を身につけている。
 - 数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を身につけている。
- (主体的に取り組む態度)
- 数学のよさを認識し数学を活用しようとしている。
 - 粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。
 - 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

【学習方法】

- ①メディア授業 メディア授業を用いることで幅広い単元を学習するとともに、数量や図形、データの分析などを視覚・視聴を利用して多面的に捉えることで「数学のよさ」を認識し、理解を深める。
- ②本校スクーリング 対面授業を実施し、数学を日常生活や社会事象に活用するために、ペア学習・グループ学習を取り入れ、対話によって思考を深め、広げることで問題解決する力を養う。
- ③報告課題(レポート) 教科書に準じた内容の報告課題を利用し学習することで、問題の本質を数学的な考え方で把握・整理し、それらを数学の概念を用いて定式化するため問題解決する力、問題解決するために自分の考えた道筋を他者が明確に理解できる表現する力を養う。

○メディア箇所全て
 ◎メディア視聴報告書箇所

【年間学習計画】

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位数	学習到達目標	学習教材	面接指導(S)		報告課題 締切期限	備考	
	編	章	節	項					メディア(授業時数)	対面スクーリング(授業時数)			
4月	1章	場合の数と確率	1節	場合の数	p4.5	1	部分集合、全体集合、補集合、共通部分、和集合などの集合の表し方、用語、記号を用いて理解し、記号を使って表すことができる。	教科書、映像授業、報告課題	◎	○	第1回 5月31日		
4月	1章	場合の数と確率	1節	場合の数	p6.7	1	積集合、和集合について、集合の要素の個数を求めることができる。	教科書、映像授業、報告課題	◎	○			
4月	1章	場合の数と確率	1節	場合の数	p8.9	1	具体的な事象に関する場合の数を樹形図や表に整理して調べることができる。	教科書、映像授業	○	○			
4月	1章	場合の数と確率	1節	場合の数	p10.11	2	和の法則や積の法則など数え上げの原則について具体例を用いて理解し、場合の数を効率的に求めることができる。	教科書、映像授業、報告課題	◎	○			
4月	1章	場合の数と確率	1節	場合の数	p12.13	1	樹形図を利用して順列の意味を理解し、その総数を求めることができる。	教科書、映像授業、報告課題	○	○			
4月	1章	場合の数と確率	1節	場合の数	p14.15	2	順列の考え方をいろいろな場面に利用して、条件のついた順列の総数を求めることができる。	教科書、映像授業、報告課題	◎	○			
4月	1章	場合の数と確率	1節	場合の数	p16.17	1	重複順列、円順列の意味を理解し、その総数を求めることができる。	教科書、映像授業、報告課題	○	○			
4月	1章	場合の数と確率	1節	場合の数	p18.19	1	組合せの意味や性質を理解し、その総数を求めることができる。	教科書、映像授業、報告課題	◎	○			
4月	1章	場合の数と確率	1節	場合の数	p20.21	2	組合せの考え方をいろいろな場面に利用して、組合せの総数を求めることができる。	教科書、映像授業	○	○			
5月	1章	場合の数と確率	2節	確率	p22.23	2	試行と事象、事象の確率について学び、確率の意味を知り、基本的な確率を求めることができる。	教科書、映像授業、報告課題	○	○	第2回 6月30日		
5月	1章	場合の数と確率	2節	確率	p24.25	1	場合の数をもとに、確率を求めることができる。	教科書、映像授業、報告課題	○	○			
5月	1章	場合の数と確率	2節	確率	p26.27	2	確率の加法定理を理解し、相反事象の確率を求めることができる。	教科書、映像授業、報告課題	○	○			
5月	1章	場合の数と確率	2節	確率	p28.29	1	余事象の確率を求めることができる。	教科書、映像授業、報告課題	○	○			
5月	1章	場合の数と確率	2節	確率	p30.31	2	独立な試行の意味を理解し、簡単な独立な試行の確率を求めることができる。	教科書、映像授業、報告課題	○	○			
5月	1章	場合の数と確率	2節	確率	p32.33	1	反復試行について理解し、簡単な反復試行の確率を求めることができる。	教科書、映像授業、報告課題	○	○		第3回 7月31日	
5月	1章	場合の数と確率	2節	確率	p34.35	2	条件つき確率の意味を理解する。また、確率の乗法定理を理解し、活用できる。	教科書、映像授業、報告課題	○	○			
5月	1章	場合の数と確率	2節	確率	p36.37	1	期待値を求めることができる。また、期待値を意思決定に活用することができる。	教科書、映像授業、報告課題	○	○			
6月	2章	図形の性質	1節	平面図形の基礎	1 直線と角	p40.41	1	平行線と角の関係を理解し、これらを利用して角の大きさを求めることができる。	教科書、映像授業、報告課題	○		○	第4回 8月31日
6月	2章	図形の性質	1節	平面図形の基礎	2 多角形の角	p42.43	1	多角形の内角、外角の性質を理解し、これらを利用して角の大きさを求めることができる。	教科書、映像授業、報告課題	○	○		
6月	2章	図形の性質	1節	平面図形の基礎	3 三角形の合同と相似	p44.45	2	三角形の合同条件、相似条件を理解し、これらを利用して辺の長さや角の大きさを求めることができる。	教科書、映像授業、報告課題	○	○		
6月	2章	図形の性質	1節	平面図形の基礎	4 基本の作図	p46.47	1	垂直二等分線、角平分線、角の二等分線の作図方法を理解し、その性質がわかる。	教科書、映像授業、報告課題	○	○		
6月	2章	図形の性質	1節	平面図形の基礎	5 作図の利用	p48.49	1	図形の性質を利用して平行線やいろいろな大きさの角を作図する方法を理解し、目的に合った図形を作図することができる。	教科書、映像授業	○	○		
6月	2章	図形の性質	2節	三角形の性質	1 三角形と比	p50.51	1	三角形と比の性質や中点連結定理を理解し、それらを用いて線分の長さを求めることができる。	教科書、映像授業、報告課題	○	○		
6月	2章	図形の性質	2節	三角形の性質	2 三角形の重心	p52.53	1	三角形の重心の性質を利用して、線分の長さや角の大きさを求めることができる。	教科書、映像授業、報告課題	○	○		
6月	2章	図形の性質	2節	三角形の性質	3 三角形の外心・内心	p54.55	2	三角形の外心、内心の性質を利用して、線分の長さや角の大きさを求めることができる。	教科書、映像授業、報告課題	○	○		
6月	2章	図形の性質	2節	三角形の性質	4 角の二等分線と線分の比	p56.57	1	三角形の角の二等分線と線分の比に関する定理を理解し、それらを用いて線分の長さを求めることができる。	教科書、映像授業、報告課題	○	○		
7月	2章	図形の性質	3節	円の性質	1 円の接線	p58.59	1	円の接線の性質、接線の長さについて理解し、それらを利用して、接線の長さや三角形の辺の長さを求めることができる。	教科書、映像授業、報告課題	○	○		

7月	2章 図形の性質	3節 円の性質	2 円周角の定理	p60,61	1	円周角の定理を理解し、それを利用して角の大きさを求めることができる。また、円周角の定理の逆を導出し、4点が同一円周上にあるかどうかを判断することができる。	教科書、映像授業、報告課題	○		
7月	2章 図形の性質	3節 円の性質	3 円に内接する四角形	p62,63	2	円に内接する四角形の性質を理解し、それを利用して角の大きさを求めることができる。また、四角形が円に内接する条件を利用して、四角形が円に内接するかどうかを判断する。	教科書、映像授業、報告課題	○		
7月	2章 図形の性質	3節 円の性質	4 接線と弦のつくる角	p64,65	1	接線と弦のつくる角の定理を理解し、それを利用して、角の大きさを求めることができる。	教科書、映像授業、報告課題	○		第5回 9月30日
7月	2章 図形の性質	3節 円の性質	5 方べきの定理	p66,67,68	2	円と2本の直線がつくる線分の長さの関係を考察し、方べきの定理が成り立つことを理解し、長さを求めることができる。	教科書、映像授業、報告課題	○		
7月	2章 図形の性質	3節 円の性質	6 2つの円	p69	1	2つの円の位置関係を考察できる。	教科書、映像授業、報告課題	○		
7月	2章 図形の性質	4節 空間図形	1 直線や平面の位置関係	p70,71,72,73	2	直線、2平面、直線と平面の位置関係を理解する。	教科書、映像授業、報告課題	○		
7月	2章 図形の性質	4節 空間図形	2 多面体	p74,75	2	多面体、正多面体を理解し、オイラーの多面体定理に照らし、空間図形に対する見方を豊かにする。	教科書、映像授業	○		
9月	3章 数学と人間の活動	1節 数や位置を表す	1 数を表す	p78,79	1	近代の人々の記数法や漢数字による記数法について理解する。	教科書、映像授業、報告課題	○		
9月	3章 数学と人間の活動	1節 数や位置を表す	2 数の表し方としくみ	p80,81	1	10進法、2進法の数の表し方について調べ、法則を見つけることができる。	教科書、映像授業、報告課題	○		
9月	3章 数学と人間の活動	1節 数や位置を表す	3 2進法	p82,83	1	2進法と10進法の変換を行うことや2進法と10進法を対比してみることで、記数法に対する理解を深めることができる。また、2進法で表された数の計算ができる。	教科書、映像授業、報告課題	○		
9月	3章 数学と人間の活動	1節 数や位置を表す	4 曲線を表す	p84,85	1	平面上の点の位置を表す図解の考え方を理解する。また、その考えを空間内の図解へ拡張し、空間内の点の位置を表すことができる。	教科書、映像授業、報告課題	○		
9月	3章 数学と人間の活動	2節 数のつくり方を調べる	1 約数と倍数	p86,87	1	約数、倍数、素因数分解などの整数に関する基本的概念について理解し、約数、倍数を求めたり、素因数分解したりすることができる。	教科書、映像授業	○		
9月	3章 数学と人間の活動	2節 数のつくり方を調べる	2 最大公約数と最小公倍数	p88,89	2	素因数分解を利用して最大公約数、最小公倍数を求めることができる。	教科書、映像授業、報告課題	○		第6回 映像視聴 報告 10月31日
9月	3章 数学と人間の活動	2節 数のつくり方を調べる	3 ユークリッドの互除法	p90,91	2	ユークリッドの互除法を理解し、これを用いて2つの正の整数の最大公約数を求めることができる。	教科書、映像授業、報告課題	○		
9月	3章 数学と人間の活動	3節 はかる	1 測る	p92,93,94	2	長さや面積の単位を調べることで、また、メソレスのピラミッドの高さの測量を通して、図形の性質や三角比を用いた測量の方法について考察することができる。	教科書、映像授業、報告課題	○		
9月	3章 数学と人間の活動	3節 はかる	2 量る	p95	2	体積や重さの単位を調べることで、	教科書、映像授業、報告課題	○		
10月	3章 数学と人間の活動	3節 はかる	3 計る	p96,97	2	近代の人々の時計や、暦(うるう年)について理解する。また、うるう年を決めた理由を考察することができる。	教科書、映像授業、報告課題	○		
10月	3章 数学と人間の活動	4節 数学で遊ぶ	1 数で遊ぶ(魔方陣)	p98,99	2	魔方陣のしくみや解き方を創造して考えることができる。また、魔方陣をつくることができる。	教科書、映像授業、報告課題	○		
10月	3章 数学と人間の活動	4節 数学で遊ぶ	2 図形で遊ぶ	p100,101	2	これまで学んだことを用いて図形の不思議を解明する。また、新しい図形をつくることことができる。	教科書、映像授業	○		
10月	3章 数学と人間の活動	4節 数学で遊ぶ	3 規則性で遊ぶ	p102,103	1	パノイの箱の問題を解くことで、規則性を考えることよきを知ることができる。	教科書、映像授業	○		
10月	3章 数学と人間の活動	4節 数学で遊ぶ	4 論理で遊ぶ(帽子の色で)	p104,105	1	帽子の色でパズルを解くことで、論理的に考えることよきを知ることができる。	教科書、映像授業	○		
10月	3章 数学と人間の活動	4節 数学で遊ぶ	5 和算で遊ぶ(虚勢記)	p106,107,108	2	【虚勢記】の問題を通して、数学と文化の人間との関わりについての認識を深めることができる。	教科書、映像授業	○		

70

【学習上の注意】

- ☞日常生活や社会の事象に目を向け、数学的に解決する方法を考えましょう。
- ☞数学の学ぶ楽しさを実感するために粘り強く問題を解きましょう。
- ☞ペア学習・グループ学習では他の人と積極的にコミュニケーションを取り、理解を深めましょう。

【映像視聴について】

指示された所定時間、所定回数以上を視聴・学習すること。
<https://ww3.tokyo-shoseki.co.jp/ap/wizus/index.php?encode=off&id=r4msa>



【学習評価】

*主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点	評価基準
知識・技能	・図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・数学と人間の活動の関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。
思考・判断・表現	・図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見いだし、論理的に考察する力を身につけている。 ・不確実な事象に着目し、確率の性質などに基いて事象の起こりやすさを判断する力を身につけている。 ・数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察する力を身につけている。
主体的に学習に取り組む態度	・数学のよさを認識し数学を活用しようとしている。 ・粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

【単位修得認定基準】

- ①報告課題(レポート)：6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- ②面接指導(スクーリング)：実施校で行われる面接指導に1単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。
- ③単位認定試験の得点：単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位数	必要面接回数	使用教科用図書	副教材	担当者
数学	数学B	通年	選択科目	2単位	70単位時間(50分×70)	1単位時間	東京書籍『数学B』 数B 702	授業者に準ずる	植竹 有哉

【教科学習を通じて、育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを目指す。

【学習目標】

(知識・技能)

- ・数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。
- ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。

(思考・判断・表現)

- ・離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力を身に付けている。
- ・確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力を身に付けている。
- ・日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を身に付けている。

(主体的に取り組む態度)

- ・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとし、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとし、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

【学習方法】

- ①メディア授業
- ②本校スクーリング
- ③報告課題（レポート）

メディア授業を用いることで幅広い単元を学習するとともに、数列や統計的な推測についてなどを視覚・視聴を利用して多面的に捉えることで「数学のよさ」を認識し、理解を深める。対面授業を実施し、数学を日常生活や社会事象に活用するために、ペア学習・グループ学習を取り入れ、対話によって思考を深め、広げることで問題解決する力を養う。

教科書に準じた内容の報告課題を利用し学習することで、問題の本質を数学的な考え方で把握・整理し、それらを数学の概念を用いて定式化するため、問題解決するために自分の考えた道筋を他者が明確に理解できる表現する力を養う。

- メディア箇所全て
- ◎メディア視聴報告書箇所

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位数	学習到達目標	学習教材	面接指導 (S)		報告課題	備考	
	編	章	節	項					メディア (映像授業)	対面スクーリング (報告書)			
4月	1章	数列	1節	1 数列	p10、11	2	数列という概念について理解し、初項から末項までを求めることができる。	教科書、映像視聴、報告課題	◎	◎			
4月	1章	数列	1節	2 等差数列	p12-15	3	等差数列の一般項の公式を理解し一般項から各項の値を求めることができる。	教科書、映像視聴、報告課題	◎	◎			
4月	1章	数列	1節	3 等差数列の和	p16-19	3	等差数列の和の公式を理解し和を求めるだけでなく和の条件から第何項までの和であるか求めることができる。	教科書、映像視聴、報告課題	◎	◎			
5月	1章	数列	1節	3 等比数列	p20-22	3	等比数列の一般項の公式を理解し一般項から各項の値を求めることができる。	教科書、映像視聴、報告課題	◎	◎		第1回 5月31日	
5月	1章	数列	1節	3 等比数列の和	p23-25	3	等比数列の和の公式を理解し和を求めるだけでなく和の条件から第何項までの和であるか求めることができる。	教科書、映像視聴、報告課題	◎	◎			
5月	1章	数列	2節	いろいろな数列	1 数列の和と記号Σ	4	Σの記号の意味や公式、性質を理解しΣの計算をすることができる。数列からΣの式を導くことができ、計算をすることができる。	教科書、映像視聴、報告課題	○				
6月	1章	数列	2節	いろいろな数列	2 いろいろな数列	4	階差数列や群数列など複雑な数列について一般項や和の値を求めることができる。和の式から一般項を求めることができる。	教科書、映像視聴、報告課題	○				
6月	1章	数列	3節	漸化式と数学的帰納法	1 漸化式	4	漸化式の意味を理解し与えられた条件から一般項を求めることができる。	教科書、映像視聴、報告課題	○			第2回 6月30日	
6月	1章	数列	3節	漸化式と数学的帰納法	2 数学的帰納法	4	数学的帰納法の考え方を理解し、等式や不等式の証明問題を解くことができる。	教科書、映像視聴、報告課題	○				
7月	1章	数列	2節	いろいろな数列	課題学習	p56,57	2	階差を利用した数列の和を考えることで途中の値を導くことで和を求めることができる。数列についてどのような特徴があるか理解する。	教科書	○			
7月	2章	統計的な推測	1節	標本調査	1 母集団と標本	2	集団の一部分の特徴から集団全体の特徴を推測することができる。	教科書、映像視聴、報告課題	○				
7月	2章	統計的な推測	2節	確率分布	1 確率分布	4	数学で学んだ確率について見直しさせることができ、確率分布を求めることができる。分数や標準偏差を求めることができる。	教科書、映像視聴、報告課題	○				
7月	2章	統計的な推測	2節	確率分布	2 確率変数の平均と分散の性質	3	確率変数の平均や分散の性質を数学的に理解することができる。確率変数X+Yの平均、分散、標準偏差について求めることができる。	教科書、映像視聴、報告課題	○			第3回 7月31日	
7月	2章	統計的な推測	2節	確率分布	3 確率変数の和と積	3	2つの確率変数の和について理解し、独立な確率変数についても和や積の分散を求めることができる。	教科書、映像視聴	○				
9月	2章	統計的な推測	2節	確率分布	4 二項分布	3	確率変数が二項分布に従うときの条件下で確率を求めることができる。二項分布の平均と分散を求めることができる。	教科書、映像視聴、報告課題	○				
9月	2章	統計的な推測	3節	正規分布	1 正規分布	4	正規分布についての定義を理解し正規分布の平均と標準偏差を求めることができる。二項分布の正規分布による近似を求めることができる。	教科書、映像視聴、報告課題	○			第4回 8月31日	
9月	2章	統計的な推測	4節	統計的な推測	1 母平均の推定	4	母集団分布の平均や分散を求めることができる。母平均に対する信頼区間を用いた問題について理解できる。	教科書、映像視聴、報告課題	○			第5回 9月30日	
9月	2章	統計的な推測	4節	統計的な推測	2 仮定検定	3	母集団分布の平均や分散を求めることができる。母平均に対する信頼区間を用いた問題について理解できる。	教科書、映像視聴、報告課題	○				
9月	3章	数学と社会生活	1節	数学的モデル化	1 数学的モデルを用いた予測	3	数学的モデルについて理解することができる。数学的モデル化について理解し身の回りの事象において数学的モデルを用いた予測をすることができる。	教科書、映像視聴、報告課題	○				
10月	3章	数学と社会生活	2節	関数モデル	1 関数モデルを用いた予測	2	関数モデルについて理解することができる。関数モデルを用いた予測した結果についての意味を理解することができる。	教科書、映像視聴、報告課題	○				
10月	3章	数学と社会生活	3節	確率モデル	1 確率モデルを用いた予測	2	確率を用いた数学的モデルについて理解することができる。身の回りの事象において数学的モデルを用いることができる。	教科書、映像視聴、報告課題	○			第6回 映像視聴報告 10月31日	
10月	3章	数学と社会生活	4節	幾何モデル	1 幾何モデルを用いた予測	2	事象を平面図形の空間図形を用いて表現することができる。	教科書、映像視聴、報告課題	○				
10月	3章	数学と社会生活	5節	フェルミ推定	1 フェルミ推定による推定	3	フェルミ推定について理解することができる。フェルミ推定を用いて概数を推定することができる。	教科書、映像視聴、報告課題	○				

【学習上の注意】

- ☞日常生活や社会の事象に目を向け、数学的に解決する方法を考えましょう。
- ☞数学の学ぶ楽しさを実感するために粘り強く問題を解きましょう。
- ☞ペア学習・グループ学習では他の人と積極的にコミュニケーションを取り、理解を深めましょう。

【映像視聴について】

指示された所定時間、所定回数以上を視聴・学習すること。

<https://ww3.tokyo-shoseki.co.jp/api/wizus/index.php?encode=off&id=r5msh>



【学習評価】

*主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点	評価基準
知識・技能	・数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数値化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。
思考・判断・表現	・離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力を身に付けている。 ・確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力を身に付けている。 ・日常の事象や社会の事象を数値化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

【単位修得認定基準】

- ①報告課題（レポート）：6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- ②面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に1単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。
- ③単位認定試験の得点：単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位数	必要面接回数	使用教科用図書	副教材	担当者
数学	数学C	通年	選択科目	2単位	70単位時間(50分×70)	1単位時間	東京書籍『数学CStandard』 東書 数C 702	授業者に準ずる	植竹 有哉

【教科学習を通じて、育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】

日常生活や社会の事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理をしたりする力を身に付ける。また、問題に対して粘り強く、柔軟に考え問題解決を振り返って考察を深めることができる。

【学習目標】

(知識・技能)

ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

(思考・判断・表現)

大きさと向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を総合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明確・的確に表現する力を養う。

(主体的に取り組む態度)

数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論議に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

【学習方法】

- ①メディア授業
- ②本校スクーリング
- ③報告課題（レポート）

メディア授業を用いることで幅広い単元を学習するとともに、数量や図形、データの分析などを視覚・視聴を利用して多面的に捉えることで「数学のよさ」を認識し、理解を深める。

対面授業を実施し、数学を日常生活や社会事象に活用するために、ペア学習・グループ学習を取り入れ、対話によって思考を深め、広げることによって問題解決する力を養う。

教科書に準じた内容の報告課題を利用し学習することで、問題の本質を数学的な考え方で把握・整理し、それらを数学の概念を用いて定式化する力、問題解決のために自分の考えた道筋を他者が明確に理解できる

- メディア箇所全
- ◎メディア視聴報告書箇所

【年間学習計画】

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位数	学習到達度目標	学習教材	面接指導 (S)		報告課題 締切期限	備考
	編	章	節	項					メディア (映像授業学習)	本校スクーリング (対面授業)		
4月	1章	ベクトル	章導入	Introduction	p8,9	1	幅はぶつかる？ぶつからない？の考察を通して、ベクトルについて興味・関心を高める。	教科書、映像授業	○			
4月	1章	ベクトル	1節 平面上のベクトル	1 平面上のベクトル	p10-16	2	平面上のベクトルを図示する活動などを通して、ベクトルの意味、相等、和、差、実数倍、ベクトルの平行及び単位ベクトルについて理解する。また、実数の演算法則と関係付けてベクトルの演算法則が成り立つことを考察することができる。	教科書、映像授業、報告課題	○			
4月	1章	ベクトル	1節 平面上のベクトル	2 ベクトルの分解	p17,18	1	具体的な図形における考察を通して、ベクトルの分解とその一意性について理解する。	教科書、映像授業	○		第1回 5月31日	
4月	1章	ベクトル	1節 平面上のベクトル	3 ベクトルの成分	p19-24	2	平面上のベクトル2つの実数の組で表されることを平面上の点の座標と関係付けて理解する。また、成分表示を用いてベクトルの大きさを求めることや、傾斜角と方向角の関係を考察することができる。さらに、ベクトルの垂直や平行・分解などについての理解を深める。	教科書、映像授業、報告課題	○			
4月	1章	ベクトル	1節 平面上のベクトル	4 ベクトルの内積	p25-31	2	2つのベクトルのなす角や成分表示に関連付けて、ベクトルの内積の意味やその基本的な性質について理解し、それらの性質を用いてベクトルのなす角や大きさを求めることができる。	教科書、映像授業、報告課題	○			
4月	1章	ベクトル	1節 平面上のベクトル	Training	p33	1	ベクトルの取や差についての理解を確認する。また、平面上のベクトル2つの実数の組で表された時のなす角の求め方を確認する。	教科書、映像授業	○			
4月	1章	ベクトル	2節 ベクトルの応用	1 位置ベクトル	p34-39	2	平面上の点の位置ベクトルについて理解し、ベクトルの演算や成分表示、内積の基本的な性質などを用いて、平面図形の性質を見いだしたり、多面的に考察したりすることができる。	教科書、映像授業、報告課題	○			
4月	1章	ベクトル	2節 ベクトルの応用	2 ベクトル方程式	p40-46	2	ベクトルの演算や内積の基本的な性質及び位置ベクトルの考え方を活用し、平面上の直線や円をベクトル方程式で表現する方法について考察したり、与えられた条件を満たす点が図形について考察したりする力を高める。	教科書、映像授業、報告課題	○			
4月	1章	ベクトル	2節 ベクトルの応用	Training		1	ベクトルの内分点や外分点、重心をベクトル方程式の表し方で確認する。また、あるベクトルに垂直な直線や平面上の円を表すベクトル方程式について確認する。	教科書、映像授業	○			
5月	1章	ベクトル	3節 空間におけるベクトル	1 空間のベクトル	p48-50	1	空間におけるベクトルの定義や平行条件、ベクトルの分解とその一意性について、平面上のベクトルの考えを空間に拡張できることを理解する。	教科書、映像授業、報告課題	○		第2回 6月30日	
5月	1章	ベクトル	3節 空間におけるベクトル	2 空間座標と空間のベクトル	p51-55	2	空間座標の概念及びその意味や表し方を理解し、それらを用いて空間におけるベクトルを成分表示することができる。また、空間のベクトルでも平面上のベクトルと同様に演算法則が成り立つことを理解し、	教科書、映像授業、報告課題	○			
5月	1章	ベクトル	3節 空間におけるベクトル	3 空間のベクトルの内積	p56-58	2	平面上のベクトルの内積の考えを空間に拡張して空間のベクトルの内積について理解する。また、そのことを利用して空間のベクトルのなす角や大きさを求めることができる。	教科書、映像授業、報告課題	○			
5月	1章	ベクトル	3節 空間におけるベクトル	4 位置ベクトルと空間の図形	p59-66	2	平面における位置ベクトルの考えを拡張して空間における位置ベクトルについて理解する。また、それらを用いて空間図形の性質について多面的に考察したり、空間における図形のベクトル方程式を求めたりする力を高める。	教科書、映像授業、報告課題	○			
5月	1章	ベクトル	3節 空間におけるベクトル	Training	p67	1	平面上のベクトルだけでなく、空間におけるベクトルの成分表示について確認する。	教科書、映像授業	○			
5月	1章	ベクトル	3節 空間におけるベクトル	Level Up	p68,69	1	平面上のベクトルと空間におけるベクトルの基本から応用まで復習をする。	教科書、映像授業	○			
5月	1章	ベクトル	章末	Investigation	p70,71	1	“ケプラーと正多面体”の問題について、本家で学んだことを活用して解決に取り組み、問題解決力を高める。	教科書、映像授業	○			
5月	2章	平面上の曲線	章導入	Introduction	p72,73	1	境界線は？の考察を通して、平面上の曲線について興味・関心を高める。	教科書、映像授業	○			
6月	2章	平面上の曲線	1節 2次曲線	1 放物線、楕円、双曲線	p74-87	3	放物線、楕円、双曲線の定義とその方程式について、条件を満たす点の軌跡の考え方を活用して考察し、それらの曲線の基本的な性質について理解する。	教科書、映像授業、報告課題	◎	○		
6月	2章	平面上の曲線	1節 2次曲線	2 2次曲線と平行移動	p88-90	1	2次曲線を平行移動して得られる曲線の方程式について、条件を満たす点の軌跡の考え方を活用して考察することができる。また、平行移動したときの2次曲線の方程式の表し方について理解する。	教科書、映像授業、報告課題	◎		第3回 7月31日	
6月	2章	平面上の曲線	1節 2次曲線	3 2次曲線と直線	p91-93	1	2次曲線と直線の共有点について、2次方程式の実数解の考え方を活用して考察することができる。また、2次方程式の判別式を用いて、2次曲線と直線の共有点の個数を求めたり、2次曲線の接線の方程式	教科書、映像授業、報告課題	◎			
6月	2章	平面上の曲線	1節 2次曲線	4 2次曲線と離心率	p94,95	1	放物線、楕円、双曲線を、離心率の考え方を活用することで相互に関連付けて捉えて考察することができる。	教科書、映像授業	◎			
6月	2章	平面上の曲線	1節 2次曲線	Training	p96	1	放物線、楕円、双曲線の定義とそれぞれの方程式の表し方について確認する。	教科書、映像授業	◎			
6月	2章	平面上の曲線	2節 媒介変数表示と極座標	1 曲線の媒介変数表示	p97-101	2	曲線の媒介変数表示について理解する。また、媒介変数表示された曲線の方程式を求めたり、サイクロイドなどの様々な曲線の媒介変数表示について理解する。	教科書、映像授業、報告課題	◎		第4回 8月31日	

6月		2章 平面上の曲線	2節 媒介変数表示と極座標	2 極座標と極方程式	p102-108	2	複文座標と極座標の関係及び極方程式について理解する。また、複文座標で表された図形の方程式を極方程式で表すことやその逆のことができる。	教科書、映像授業、報告課題	◎				
7月		2章 平面上の曲線	2節 媒介変数表示と極座標	Training	p109	1	曲線の媒介変数表示と複文座標、極座標の関係及び極方程式について理解を深める。	教科書、映像授業	◎				
7月		2章 平面上の曲線	2節 媒介変数表示と極座標	Level Up	p110,111	1	曲線の媒介変数表示や極座標、極方程式の応用問題を通じて理解を深める。	教科書、映像授業	◎				
7月		2章 平面上の曲線		章末	Investigation	p112,113	1	「アトラクションの動きを調べてみよう」の問題について、本章で学んだことを活用して解決に取り組み、問題解決力を高める。	教科書、映像授業	○			
7月		3章 複素数平面		章導入	Introduction	p114,115	1	複素数の和や差を指示しようの考察を通して、複素数平面について興味・関心を高める。	教科書、映像授業	○			
7月		3章 複素数平面	1節 複素数平面	1 複素数平面	p116-120	2	複素数平面上の点が複素数を表していることを理解する。また、複素数の実数倍や、和と差が複素数平面上でどのように表されるかを理解する。	教科書、映像授業、報告課題	○				
7月		3章 複素数平面	1節 複素数平面	2 複素数の極形式	p121-127	2	複素数の極形式を理解し、 $a+bi$ の形の複素数を極形式で表すことができる。また、複素数の積・商と複素数平面上の回転移動との関係を理解する。	教科書、映像授業、報告課題	○				
9月		3章 複素数平面	1節 複素数平面	3 ド・モアブルの定理	p128-130	2	ド・モアブルの定理について理解する。また、ド・モアブルの定理を用いて $z^n=a$ の解を求めることができる。さらに、その解を複素数平面上に図示することができる。	教科書、映像授業、報告課題	○				
9月		3章 複素数平面	1節 複素数平面	Training	p131	1	複素数平面上の点が複素数を表していることを確認する。また、複素数の和や差、積、商の表し方を確認する。	教科書、映像授業、報告課題	○				
9月		3章 複素数平面	2節 図形への応用	1 2直線のなす角	p132-135	2	偏角を用いることにより、複素数平面上の2直線がなす角の大きさが求められることを理解する。また、複素数平面上の三角形の形状を調べることができる。	教科書、映像授業、報告課題	○				
9月		3章 複素数平面	2節 図形への応用	2 複素数平面上の図形	p136-140	2	内分点や外分点、円、軌跡を、複素数を用いて表現することができる。	教科書、映像授業、報告課題	○				
9月		3章 複素数平面	2節 図形への応用	Training	p141	1	偏角と2直線のなす角の表し方を確認する。また、複素数を用いての内分点や外分点の表し方を確認する。	教科書、映像授業	○				
9月		3章 複素数平面	2節 図形への応用	Level Up	p142	1	複素数平面上の応用問題を解くことで理解を深める。	教科書、映像授業	○				
9月		3章 複素数平面		章末	Investigation	p144,145	1	「類似条件と複素数」の問題について、本章で学んだことを活用して解決に取り組み、問題解決力を高める。	教科書、映像授業	○			

4/2/2021

第5回
9月30日

10月	4章 数学的な表現の工夫	1節 統計グラフに表す	1 適切なグラフの選択	p146~152	2	データの種類に応じて適切な図、表、統計グラフなどの表現方法を選択することができる。	教科書、映像授業、報告課題	○		第6回 映像視聴報告 10月31日
10月	4章 数学的な表現の工夫	1節 統計グラフに表す	2 様々な表やグラフ	p153~156	2	既知の図、表、統計グラフでは読み取りにくい情報がないかを考察し、複数の図表を組み合わせた、新たな表現方法を検討したりして、表現の改善点や改善方法を思いだすことができる。	教科書、映像授業、報告課題	○		
10月	4章 数学的な表現の工夫	2節 行列に表す	1 行列とその加法・減法	p157~161	3	アンケート調査の結果を簡単に表現する方法に関する考察を通して行列を定義し、行列の加法・減法を用いることで体系的に調査結果を処理することができる。	教科書、映像授業、報告課題	○		
10月	4章 数学的な表現の工夫	2節 行列に表す	2 行列の乗法とその性質	p162~167	3	行列の積を定義し、それを用いて事象を考察するとともに、行列の乗法の性質について理解を深める。	教科書、映像授業、報告課題	○		
10月	4章 数学的な表現の工夫	2節 行列に表す	3 行列の乗法の活用	p168~169	1	行列の積を用いてベクトルの変化を観察し、原点を中心とする回転を表す行列について考察することができる。	教科書、映像授業、報告課題	○		
10月	4章 数学的な表現の工夫	3節 離散グラフに表す	1 離散グラフとその活用	p170~173	2	具体的な事象を離散グラフで表して考察することを通して、その意義や良さを理解する。	教科書、映像授業、報告課題	○		
10月	4章 数学的な表現の工夫	3節 離散グラフに表す	2 離散グラフと行列	p174~178	3	離散グラフについて隣接行列とその演算を用いて考察する活動を通して、このような表現の工夫によって体系的に処理したり、事象の様子を的確に伝えたりすることができることを認識できるようにする。	教科書、映像授業	○		

70

【学習上の注意】

- ☞日常生活や社会の事象に目を向け、数学的に解決する方法を考えましょう。
- ☞数学の学ぶ楽しさを実感するために粘り強く問題を解きましょう。
- ☞ペア学習・グループ学習では他の人と積極的にコミュニケーションを取り、理解を深めましょう。

【映像視聴について】

指示された所定時間、所定回数以上を視聴・学習すること。

【学習評価】

*主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点	評価基準
知識・技能	ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。数学的な表現の工夫について認識を深めている。事象を数値化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。
思考・判断・表現	大きさや向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力を身に付けている。図形や図形の構造に着目し、それらの性質を総合的・発展的に考察する力を身に付けている。数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとして、粘り強く柔軟に考え数学的論議に基づき判断しようとしていたりしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

【単位修得認定基準】

- ①報告課題（レポート）：6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- ②面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に1単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。
- ③単位認定試験の得点：単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

教科	科目	単位数	教科書	副教材	担当者
数学	実践数学Ⅰ	2	実用数学技能検定要点整理3級	授業者に準ずる	楠竹 有成

【教科学習を通じて、育てたい生徒像(カリキュラムマネジメント)】

数学の基礎・基本を身につけて、現実の世界へ落とし込み活用し、問題解決できる。

【学習目標】

日常生活や義務で生じる課題や問題を合理的に処理するために必要な数学技能を習得することを目指す。また数学的な見方や考え方の良さを認識し、活用できるようにする。計算技能(基礎的な計算や各公式の性質の理解など)や数理解能(公式を的確に問題に活用できるか、各図形の特徴や公式を理解し活用することができる)の修得を目指す。

【学習方法】

① メディア授業

「数学のよさ」を認識し、理解を深める。

② 本校スクーリング

対面授業で他の生徒と意見を共有することで、数学と日常生活の繋がりを理解する。

③ 報告課題(レポート)

公式を理解し、基本的な計算を定着させる。

【学習評価】

*主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。

評価観点	評価基準
知識・技能	・数学の基本的な計算を身につけ、活用することができる。
思考・判断・表現	・多面的かつ論理的に考察することができる。 ・目的に応じて適切に判断することができる。
主体的に学習に取り組む態度	・粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めることができる。

【年間学習計画】

学習月	単元及び主な学習内容	面接指導(S)		報告課題(R)	備考
		メディア(映像視聴学習)	本校スクーリング(面接指導)	締切期限	
4月	正の数・負の数 文字を用いた式	○	○	第1回 5月31日	「正の数・負の数の計算」「文字式の計算」「文字式の利用」について理解する。
5月	1次方程式 連立方程式	○		第3回 7月31日	「1次方程式の解き方」「連立方程式の解き方」について理解する。
5月	式の展開と因数分解 平方根	◎		第2回 6月30日	「式の展開」「因数分解」「平方根」「 $\sqrt{\quad}$ を含む式の乗法・除法・加法・減法」について理解する。
6月	2次方程式 比例・反比例	○		第3回 7月31日 第4回 8月31日	「2次方程式の解き方と解の公式」「因数分解を使った解き方」「比例」「反比例」について理解する。
6月	1次関数 関数 $y=ax^2$	○		第4回 8月31日	「1次関数の式とグラフ」「1次関数の式の求め方」「関数 $y=ax^2$ 」「関数 $y=ax^2$ のグラフと値の変化」について理解する。
7月	平面図形 空間図形	○		第2回 6月30日	「図形の移動」「基本の作図」「おうぎ形の弧の長さや面積」「空間内の直線の位置関係」「立体の表面積と体積」について理解する。
7月	平行線と角・多角形の角 三角形の合同	○		第5回 9月30日 第6回 10月31日	「平行線と角」「多角形と角」「三角形の合同条件」について理解する。
8月	三角形・四角形 図形の相似	◎		第6回 10月31日	「三角形」「平行四辺形」「図形の相似」「三角形の相似条件」「平行線と比」について理解する。
9月	円周角と中心角 三平方の定理	○		第5回 9月30日	「円周角の定理」「円周角と作図」「三平方の定理」「三平方の定理の利用」について理解する。
9月	簡単な資料の統計 確率の基礎	○		第1回 5月31日 第5回 9月30日	「統計表」「度数分布表」「代表値」「確率の求め方」について理解する。
10月	標本調査	○		第1回 5月31日 映像視聴 10月31日	「全数調査と標本調査」「標本調査の利用」について理解する。

教科	科目	単位数	教科書	副教材	担当者
数学	実践数学Ⅱ	2	実用数学技能検定要点整理準2級	授業者に準ずる	植竹 有哉

【教科学習を通じて、育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】

数学の基礎・基本を身につけて、現実の世界へ落とし込み活用し、問題解決できる。

【学習目標】

日常生活や義務で生じる課題や問題を合理的に処理するために必要な数学技能を習得することを目指す。また数学的な見方や考え方の良さを認識し、活用できるようにする。計算技能（基礎的な計算や各公式の性質の理解など）や数理技能（公式を的確に問題に活用できるか、各図形の特徴や公式を理解し活用することができる）の修得を目指す。

【学習方法】

① メディア授業

「数学のよさ」を認識し、理解を深める。

② 本校スクーリング

対面授業で他の生徒と意見を共有することで、数学と日常生活の繋がりを理解する。

③ 報告課題（レポート）

公式を理解し、基本的な計算を定着させる。

【学習評価】

*主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。

評価観点	評価基準
知識・技能	・数学の基本的な計算を身につけ、活用することができる。
思考・判断・表現	・多面的かつ論理的に考察することができる。 ・目的に応じて適切に判断することができる。
主体的に学習に取り組む態度	・粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとするすることができる。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めることができる。

【年間学習計画】

学習月	単元及び主な学習内容	面接指導 (S)		報告課題 (R)	学習到達度目標
		メディア (映像視聴学習)	本校スクーリング (面接指導)		
4月	平方根 整数の性質	○		第1回 5月31日	根号を含む式の計算、根号の中の数の求め方、1次不定方程式、循環小数、2進法について理解することができる。
4月	式の展開と因数分解 2次方程式	◎			展開、因数分解、2次方程式について理解し、活用することができる。
5月	1次不等式 集合と命題	○			1次不等式の解き方、集合、命題について基本を理解することができる。
5月	関数 2次関数のグラフ	◎	○	第2回 6月30日	関数の考え方を理解し、2次関数に活用できるようになる。
6月	2次関数の最大・最小 2次不等式	◎			2次関数の最大・最小の求め方、2次不等式の解き方を理解することができる。
6月	場合の数 順列・組合せ	○		第3回 7月31日	様々な事象の総数を求めることができるようになる。
7月	確率とその基本性質 独立な試行の確率	○			様々な事象の確率を求めることができるようになる。
9月	相似 三平方の定理	○		第4回 8月31日	相似、三平方の定理の考え方を理解し、活用できるようになる。
10月	鋭角の三角比 鈍角の三角比	◎		第5回 9月30日	様々な角度の三角比の求め方を理解する。
10月	正弦定理と余弦定理 図形の面積・立体の体積	○			正弦定理と余弦定理、図形の面積・立体の体積の考え方、求め方を理解する。
10月	三角形の性質 円の性質	○		第6回・映像視聴報告 10月31日	様々な図形の性質を理解することができる。

教科	科目	単位数	教科書	副教材	担当者
数学	実践数学III	2	実用数学技能検定要点整理2級	授業者に準ずる	植竹 宥哉

【教科学習を通じて、育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】

数学の基礎・基本を身につけて、現実の世界へ落とし込み活用し、問題解決できる。

【学習目標】

日常生活や義務で生じる課題や問題を合理的に処理するために必要な数学技能を習得することを目指す。また数学的な見方や考え方の良さを認識し、活用できるようにする。計算技能（基礎的な計算や各公式の性質の理解など）や数理技能（公式を的確に問題に活用できるか、各図形の特徴や公式を理解し活用することができる）の修得を目指す。

【学習方法】

- ① メディア授業
「数学のよさ」を認識し、理解を深める。
- ② 本校スクーリング
対面授業で他の生徒と意見を共有することで、数学と日常生活の繋がりを理解する。
- ③ 報告課題（レポート）
公式を理解し、基本的な計算を定着させる。

【学習評価】

*主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。

評価観点	評価基準
知識・技能	・数学の基本的な計算を身につけ、活用することができる。
思考・判断・表現	・多面的かつ論理的に考察することができる。 ・目的に応じて適切に判断することができる。
主体的に学習に取り組む態度	・粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めることができる。

【年間学習計画】

学習月	単元及び主な学習内容	面接指導 (S)		報告課題 (R)	学習到達度目標
		メディア (映像視聴学習)	本校スクーリング (面接指導)	締切期限	
4月	数と式	◎		第1回 5月31日	「実数」「3次式の乗法公式と因数分解」「2重根号」について理解する。
5月	等式・不等式の証明 集合と命題	○	○	第1回 5月31日	「恒等式の利用」「等式の証明」「不等式の証明」「集合とその表し方」「命題」「対偶・背理法を利用した命題の証明」について理解する。
5月	複素数 高次方程式	○		第1回 5月31日	「複素数とその四則計算」「2次方程式の複素数の解」「剰余の定理・因数定理」「高次方程式」について理解する。
6月	点と直線 2次関数	◎		第2回 6月30日	「内分点・外分点と三角形の重心」「点と直線の距離」「2次関数のグラフ（放物線）」「2次関数の最大・最小」について理解する。
7月	2次関数 円と直線	○		第2回 6月30日	「2次不等式」「円の方程式」「円と直線の共有点」「円の接線」について理解する。
8月	三角比 正弦定理と余弦定理	○		第2回 6月30日 第3回 7月31日	「三角比の定義と相互関係」「三角比の拡張」「正弦定理と余弦定理の利用」「三角形の面積」について理解する。
8月	三角関数の加法定理	◎		第3回 7月31日	「一般角と三角関数」「加法定理と2倍角の公式」「三角関数の合成」について理解する。
9月	指数と指数関数 対数と対数関数	○		第4回 8月31日	「累乗根と指数法則」「指数関数」「指数と対数」「対数関数」について理解する。
9月	導関数 導関数の応用	○		第5回 9月30日	「導関数」「接線の方程式」「関数の増減 極大・極小」について理解する。
10月	不定積分と定積分 積分法の応用	○		第5回 9月30日	「不定積分」「定積分」「定積分と面積」について理解する。
10月	ベクトル 場合の数と確率	○		第6回・映像視聴報告 10月31日	「ベクトルの加法、減法、実数倍」「ベクトルの成分と大きさ」「内積」「順列」「組合せ」「確率の性質」について理解する。

科目コード							第一学院高等学校 養父校			
種別	科目	期間	履修	単位数	学習目標	単位数	授業時間	使用教科用図書	副教材	担当
選択	科学と人間生活	2年	選択必修	2	70単位時間(50分×70)	4単位時間	東京書籍「科学と人間生活」(科入70) 2巻書 701	(科入70) 2巻書 701	授業者に準ずる	前田尚希

【教科学習を通して、育てたい資質・能力(学習者目録参照)】
 ・自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けた生徒
 ・観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力をついた生徒
 ・自然の事物・現象に感心し、科学的に探究しようとする態度を養った生徒

【学習目標】
 (知識・技能)
 ・自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。
 ・観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。
 (思考・判断・表現)
 ・自然の事物・現象に感心し、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

【学習方法】
 ①メディア授業
 ②本校スタッキング
 ③報告課題(レポート)
 ・自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。
 ・対面授業を通して、メディア授業や学んだ知識や技能をさらに深める。
 ・メディア授業で学んだ自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解の度合いを確認する。

○メディア活用全て
 ◎メディア活用が主

学習日	単元	学習内容	単元目標	単元時間	単元単位数	学習目標	学習教材	学習指導(5)		報告課題(R)	備考
								メディア(映像授業)	本校スタッキング授業		
5月	1巻 科学技術の発展	科学技術の発展	・科学技術の歴史と発展 ・エネルギーや情報技術の発展 ・持続可能な未来のために	6-13	1	科学技術の発展が社会生活に与える影響を明らかにし、科学技術が人類生活に与える影響を考察し、人類生活に与える影響を考察する。 エネルギーや情報技術の発展について調べ、それらが科学技術とどのように関係しているかを説明する。 持続可能な未来のために、科学技術の発展に貢献する役割を考察する。	教科書・映像授業・報告課題	○			
5月	1巻 生命の科学	1章 動物とその仲間	1 さまざまな動物	14-19	1	動物は多岐にわたる種類があり、動物はどのような環境に生きていくのか。 動物の体のつくりや生活様式について調べ、動物の体のつくりや生活様式が環境とどのように関係しているかを説明する。 動物の体のつくりや生活様式が環境とどのように関係しているかを説明する。	教科書・映像授業・報告課題	○	○		
5月			2 私たちの暮らしへの動物の利用	20-21	1	動物は人間の生活にさまざまな役割を果たしている。 動物の体のつくりや生活様式が人間の生活とどのように関係しているかを説明する。 動物の体のつくりや生活様式が人間の生活とどのように関係しているかを説明する。	教科書・映像授業・報告課題	○	○		
5月			C 動物と植物のはたらき	22-23	1	動物と植物は互いに依存し合っている。 動物の体のつくりや生活様式が植物とどのように関係しているかを説明する。 動物の体のつくりや生活様式が植物とどのように関係しているかを説明する。	教科書・映像授業・報告課題	○	○		
5月			D 水中の動物と植物のはたらき	24-25	1	水中の動物と植物は互いに依存し合っている。 水中の動物の体のつくりや生活様式が水中の環境とどのように関係しているかを説明する。 水中の動物の体のつくりや生活様式が水中の環境とどのように関係しているかを説明する。	教科書・映像授業・報告課題	○	○		
5月			2 私たちの暮らしへの動物の利用	26-27	1	動物は人間の生活にさまざまな役割を果たしている。 動物の体のつくりや生活様式が人間の生活とどのように関係しているかを説明する。 動物の体のつくりや生活様式が人間の生活とどのように関係しているかを説明する。	教科書・映像授業・報告課題	○	○		
5月			B 昆虫と動物	28-29	1	動物は多岐にわたる種類があり、動物はどのような環境に生きていくのか。 動物の体のつくりや生活様式について調べ、動物の体のつくりや生活様式が環境とどのように関係しているかを説明する。 動物の体のつくりや生活様式が環境とどのように関係しているかを説明する。	教科書・映像授業・報告課題	○	○		
5月			C 鳥獣のしくみ	30-33	1	鳥獣は多岐にわたる種類があり、鳥獣はどのような環境に生きていくのか。 鳥獣の体のつくりや生活様式について調べ、鳥獣の体のつくりや生活様式が環境とどのように関係しているかを説明する。 鳥獣の体のつくりや生活様式が環境とどのように関係しているかを説明する。	教科書・映像授業・報告課題	○	○		
5月			D 草食動物と動物	34-36	1	動物は多岐にわたる種類があり、動物はどのような環境に生きていくのか。 動物の体のつくりや生活様式について調べ、動物の体のつくりや生活様式が環境とどのように関係しているかを説明する。 動物の体のつくりや生活様式が環境とどのように関係しているかを説明する。	教科書・映像授業・報告課題	○	○		
5月			B 魚	36-37	1	動物は多岐にわたる種類があり、動物はどのような環境に生きていくのか。 動物の体のつくりや生活様式について調べ、動物の体のつくりや生活様式が環境とどのように関係しているかを説明する。 動物の体のつくりや生活様式が環境とどのように関係しているかを説明する。	教科書・映像授業・報告課題	○	○		
6月		2巻 ヒトの生命現象	1 ヒトの観察と光による影響	38-41	1	ヒトは多岐にわたる種類があり、ヒトはどのような環境に生きていくのか。 ヒトの体のつくりや生活様式について調べ、ヒトの体のつくりや生活様式が環境とどのように関係しているかを説明する。 ヒトの体のつくりや生活様式が環境とどのように関係しているかを説明する。	教科書・映像授業・報告課題	○	○		
6月			B 植物の働きとからだ	42-45	1	植物は多岐にわたる種類があり、植物はどのような環境に生きていくのか。 植物の体のつくりや生活様式について調べ、植物の体のつくりや生活様式が環境とどのように関係しているかを説明する。 植物の体のつくりや生活様式が環境とどのように関係しているかを説明する。	教科書・映像授業・報告課題	○	○		
6月			2 血液循環を調節するしくみ	46-47	1	動物は多岐にわたる種類があり、動物はどのような環境に生きていくのか。 動物の体のつくりや生活様式について調べ、動物の体のつくりや生活様式が環境とどのように関係しているかを説明する。 動物の体のつくりや生活様式が環境とどのように関係しているかを説明する。	教科書・映像授業・報告課題	○	○		
6月			B 血液循環の調節	48-51	1	動物は多岐にわたる種類があり、動物はどのような環境に生きていくのか。 動物の体のつくりや生活様式について調べ、動物の体のつくりや生活様式が環境とどのように関係しているかを説明する。 動物の体のつくりや生活様式が環境とどのように関係しているかを説明する。	教科書・映像授業・報告課題	○	○		
6月			3 体を支える骨のしくみ	52-55	1	動物は多岐にわたる種類があり、動物はどのような環境に生きていくのか。 動物の体のつくりや生活様式について調べ、動物の体のつくりや生活様式が環境とどのように関係しているかを説明する。 動物の体のつくりや生活様式が環境とどのように関係しているかを説明する。	教科書・映像授業・報告課題	○	○		
6月			B 免疫のしくみと日常生活	56-57	1	動物は多岐にわたる種類があり、動物はどのような環境に生きていくのか。 動物の体のつくりや生活様式について調べ、動物の体のつくりや生活様式が環境とどのように関係しているかを説明する。 動物の体のつくりや生活様式が環境とどのように関係しているかを説明する。	教科書・映像授業・報告課題	○	○		
6月			4 生命現象の元となる遺伝子の働き	58-59	1	動物は多岐にわたる種類があり、動物はどのような環境に生きていくのか。 動物の体のつくりや生活様式について調べ、動物の体のつくりや生活様式が環境とどのように関係しているかを説明する。 動物の体のつくりや生活様式が環境とどのように関係しているかを説明する。	教科書・映像授業・報告課題	○	○		
6月			B DNA遺伝情報からタンパク質	60-61	1	動物は多岐にわたる種類があり、動物はどのような環境に生きていくのか。 動物の体のつくりや生活様式について調べ、動物の体のつくりや生活様式が環境とどのように関係しているかを説明する。 動物の体のつくりや生活様式が環境とどのように関係しているかを説明する。	教科書・映像授業・報告課題	○	○		
6月			C 体内ではたらくタンパク質	62-63	1	動物は多岐にわたる種類があり、動物はどのような環境に生きていくのか。 動物の体のつくりや生活様式について調べ、動物の体のつくりや生活様式が環境とどのように関係しているかを説明する。 動物の体のつくりや生活様式が環境とどのように関係しているかを説明する。	教科書・映像授業・報告課題	○	○		
6月			B 魚	64-65	1	動物は多岐にわたる種類があり、動物はどのような環境に生きていくのか。 動物の体のつくりや生活様式について調べ、動物の体のつくりや生活様式が環境とどのように関係しているかを説明する。 動物の体のつくりや生活様式が環境とどのように関係しているかを説明する。	教科書・映像授業・報告課題	○	○		
7月	2巻 物質の科学	1章 材料とその再利用	1 リサイクルとは何か	66-69	1	動物は多岐にわたる種類があり、動物はどのような環境に生きていくのか。 動物の体のつくりや生活様式について調べ、動物の体のつくりや生活様式が環境とどのように関係しているかを説明する。 動物の体のつくりや生活様式が環境とどのように関係しているかを説明する。	教科書・映像授業・報告課題	○	○		
7月			2 金属の性質とその再利用	70-71	1	動物は多岐にわたる種類があり、動物はどのような環境に生きていくのか。 動物の体のつくりや生活様式について調べ、動物の体のつくりや生活様式が環境とどのように関係しているかを説明する。 動物の体のつくりや生活様式が環境とどのように関係しているかを説明する。	教科書・映像授業・報告課題	○	○		
7月			B 異なる金属の区別	72-75	1	動物は多岐にわたる種類があり、動物はどのような環境に生きていくのか。 動物の体のつくりや生活様式について調べ、動物の体のつくりや生活様式が環境とどのように関係しているかを説明する。 動物の体のつくりや生活様式が環境とどのように関係しているかを説明する。	教科書・映像授業・報告課題	○	○		
7月			C 金属の製造と日常生活	76-79	1	動物は多岐にわたる種類があり、動物はどのような環境に生きていくのか。 動物の体のつくりや生活様式について調べ、動物の体のつくりや生活様式が環境とどのように関係しているかを説明する。 動物の体のつくりや生活様式が環境とどのように関係しているかを説明する。	教科書・映像授業・報告課題	○	○		
7月			D 金属の再生利用	80-81	1	動物は多岐にわたる種類があり、動物はどのような環境に生きていくのか。 動物の体のつくりや生活様式について調べ、動物の体のつくりや生活様式が環境とどのように関係しているかを説明する。 動物の体のつくりや生活様式が環境とどのように関係しているかを説明する。	教科書・映像授業・報告課題	○	○		
7月		3 プラスチックの性質と再利用	A プラスチックの性質と分類	82-85	1	動物は多岐にわたる種類があり、動物はどのような環境に生きていくのか。 動物の体のつくりや生活様式について調べ、動物の体のつくりや生活様式が環境とどのように関係しているかを説明する。 動物の体のつくりや生活様式が環境とどのように関係しているかを説明する。	教科書・映像授業・報告課題	○	○		
7月			B プラスチックはどのようにつくられるのか	86-89	1	動物は多岐にわたる種類があり、動物はどのような環境に生きていくのか。 動物の体のつくりや生活様式について調べ、動物の体のつくりや生活様式が環境とどのように関係しているかを説明する。 動物の体のつくりや生活様式が環境とどのように関係しているかを説明する。	教科書・映像授業・報告課題	○	○		
7月			C プラスチックの再生利用	90-91	1	動物は多岐にわたる種類があり、動物はどのような環境に生きていくのか。 動物の体のつくりや生活様式について調べ、動物の体のつくりや生活様式が環境とどのように関係しているかを説明する。 動物の体のつくりや生活様式が環境とどのように関係しているかを説明する。	教科書・映像授業・報告課題	○	○		

第1回
5月31日

第2回
6月30日

7月				期末	92-93	1	「2021年度中期報告」に於ける「経営方針」の進捗状況について記載しております。（第20頁～21頁）を参照してください。	財務部・株主総務部・経営企画部	○	
----	--	--	--	----	-------	---	--	-----------------	---	--

第20頁
7月31日



7月	2期 史料と食品	1 史料の科学	A 繊維の性質と質	94-99	1	「糸」の由来と繊維の種類、その性質、繊維に由来する繊維製品の製造工程について解説する。 繊維の種類と糸の構造について解説する。 繊維の種類と糸の構造について解説する。 繊維の種類と糸の構造について解説する。 繊維の種類と糸の構造について解説する。	教科書・映像授業・報告課題	○	
7月			B 糸からつくられる天然繊維	100-101	1	天然繊維の種類と性質について解説する。 天然繊維の種類と性質について解説する。 天然繊維の種類と性質について解説する。 天然繊維の種類と性質について解説する。	教科書・映像授業・報告課題	○	
7月			C 化学からつくられる合成繊維	102-103	1	合成繊維の種類と性質について解説する。 合成繊維の種類と性質について解説する。 合成繊維の種類と性質について解説する。 合成繊維の種類と性質について解説する。	教科書・映像授業・報告課題	○	
7月		2 食品の科学	A 体に必要な栄養素	104-107	1	人間の体に必要な栄養素の種類と働きについて解説する。 人間の体に必要な栄養素の種類と働きについて解説する。 人間の体に必要な栄養素の種類と働きについて解説する。 人間の体に必要な栄養素の種類と働きについて解説する。	教科書・映像授業・報告課題	○	
7月			B 腸内の性質	108-109	1	腸内環境の種類と性質について解説する。 腸内環境の種類と性質について解説する。 腸内環境の種類と性質について解説する。 腸内環境の種類と性質について解説する。	教科書・映像授業・報告課題	○	
7月			C 炭水化物の性質	110-111	1	炭水化物の種類と性質について解説する。 炭水化物の種類と性質について解説する。 炭水化物の種類と性質について解説する。 炭水化物の種類と性質について解説する。	教科書・映像授業・報告課題	○	
7月			D タンパク質の性質	112-113	1	タンパク質の種類と性質について解説する。 タンパク質の種類と性質について解説する。 タンパク質の種類と性質について解説する。 タンパク質の種類と性質について解説する。	教科書・映像授業・報告課題	○	
7月			果実	114-115	1	果実の種類と性質について解説する。 果実の種類と性質について解説する。 果実の種類と性質について解説する。 果実の種類と性質について解説する。	教科書・映像授業・報告課題	○	
8月	3期 光や熱の科学	1章 光の性質とその利用	A 光の進み方とその基本的な性質	116-119	1	光の進み方とその基本的な性質について解説する。 光の進み方とその基本的な性質について解説する。 光の進み方とその基本的な性質について解説する。 光の進み方とその基本的な性質について解説する。	教科書・映像授業・報告課題	○	
8月			B 光の波としての性質①	120-123	1	光の波としての性質①について解説する。 光の波としての性質①について解説する。 光の波としての性質①について解説する。 光の波としての性質①について解説する。	教科書・映像授業・報告課題	○	
8月			C 光の波としての性質②	124-125	1	光の波としての性質②について解説する。 光の波としての性質②について解説する。 光の波としての性質②について解説する。 光の波としての性質②について解説する。	教科書・映像授業・報告課題	○	
8月		2 目に見える光の色	A ままざまなスペクトル	126-127	1	ままざまなスペクトルについて解説する。 ままざまなスペクトルについて解説する。 ままざまなスペクトルについて解説する。 ままざまなスペクトルについて解説する。	教科書・映像授業・報告課題	○	
8月			B 光の3原色と色	128-129	1	光の3原色と色について解説する。 光の3原色と色について解説する。 光の3原色と色について解説する。 光の3原色と色について解説する。	教科書・映像授業・報告課題	○	
8月		3 目に見えない光とその利用	A 電磁波の利用①	130-133	1	電磁波の種類と性質について解説する。 電磁波の種類と性質について解説する。 電磁波の種類と性質について解説する。 電磁波の種類と性質について解説する。	教科書・映像授業・報告課題	○	
8月			B 電磁波の利用②	134-135	1	電磁波の種類と性質について解説する。 電磁波の種類と性質について解説する。 電磁波の種類と性質について解説する。 電磁波の種類と性質について解説する。	教科書・映像授業・報告課題	○	
8月			果実	136-137	1	果実の種類と性質について解説する。 果実の種類と性質について解説する。 果実の種類と性質について解説する。 果実の種類と性質について解説する。	教科書・映像授業・報告課題	○	
9月	2章 熱の性質とその利用	1 熱とは何か	A 分子や分子の熱運動	138-141	1	熱の種類と性質について解説する。 熱の種類と性質について解説する。 熱の種類と性質について解説する。 熱の種類と性質について解説する。	教科書・映像授業・報告課題	○	○
9月			B 熱容量と比熱	142-145	1	熱容量と比熱について解説する。 熱容量と比熱について解説する。 熱容量と比熱について解説する。 熱容量と比熱について解説する。	教科書・映像授業・報告課題	○	○
9月			C 熱の伝わり方	146-147	1	熱の伝わり方について解説する。 熱の伝わり方について解説する。 熱の伝わり方について解説する。 熱の伝わり方について解説する。	教科書・映像授業・報告課題	○	○
9月		2 エネルギーの仲間とエネルギー	A 力学エネルギーと熱エネルギー	148-149	1	力学エネルギーと熱エネルギーについて解説する。 力学エネルギーと熱エネルギーについて解説する。 力学エネルギーと熱エネルギーについて解説する。 力学エネルギーと熱エネルギーについて解説する。	教科書・映像授業・報告課題	○	○
9月			B ほかにエネルギーから熱エネルギーへ	150-151	1	ほかにエネルギーから熱エネルギーへについて解説する。 ほかにエネルギーから熱エネルギーへについて解説する。 ほかにエネルギーから熱エネルギーへについて解説する。 ほかにエネルギーから熱エネルギーへについて解説する。	教科書・映像授業・報告課題	○	○
9月			C 熱エネルギーから仕事へ	152-153	1	熱エネルギーから仕事へについて解説する。 熱エネルギーから仕事へについて解説する。 熱エネルギーから仕事へについて解説する。 熱エネルギーから仕事へについて解説する。	教科書・映像授業・報告課題	○	○
9月			D エネルギーの有効利用	154-155	1	エネルギーの有効利用について解説する。 エネルギーの有効利用について解説する。 エネルギーの有効利用について解説する。 エネルギーの有効利用について解説する。	教科書・映像授業・報告課題	○	○
9月			果実	156-157	1	果実の種類と性質について解説する。 果実の種類と性質について解説する。 果実の種類と性質について解説する。 果実の種類と性質について解説する。	教科書・映像授業・報告課題	○	○
10月	4期 宇宙や地球の科学	1章 太陽と地球	1 太陽と月がくまらず	158-161	1	太陽と月の動きについて解説する。 太陽と月の動きについて解説する。 太陽と月の動きについて解説する。 太陽と月の動きについて解説する。	教科書・映像授業・報告課題	○	
10月			B 高度と緯度と経度の違い	162-165	1	高度と緯度と経度の違いについて解説する。 高度と緯度と経度の違いについて解説する。 高度と緯度と経度の違いについて解説する。 高度と緯度と経度の違いについて解説する。	教科書・映像授業・報告課題	○	
10月		2 太陽が動かす大気と水	A 太陽の放射エネルギー	166-169	1	太陽の放射エネルギーについて解説する。 太陽の放射エネルギーについて解説する。 太陽の放射エネルギーについて解説する。 太陽の放射エネルギーについて解説する。	教科書・映像授業・報告課題	○	
10月			B 大気の循環と気象	170-173	1	大気の循環と気象について解説する。 大気の循環と気象について解説する。 大気の循環と気象について解説する。 大気の循環と気象について解説する。	教科書・映像授業・報告課題	○	
10月			C 1年を通じた大気の運動と気象	174-177	1	1年を通じた大気の運動と気象について解説する。 1年を通じた大気の運動と気象について解説する。 1年を通じた大気の運動と気象について解説する。 1年を通じた大気の運動と気象について解説する。	教科書・映像授業・報告課題	○	
10月			果実	178-179	1	果実の種類と性質について解説する。 果実の種類と性質について解説する。 果実の種類と性質について解説する。 果実の種類と性質について解説する。	教科書・映像授業・報告課題	○	
10月	4期 宇宙や地球の科学	2章 自然現象と自然災害	1 身近な自然現象の成り立ち	180-183	1	身近な自然現象の成り立ちについて解説する。 身近な自然現象の成り立ちについて解説する。 身近な自然現象の成り立ちについて解説する。 身近な自然現象の成り立ちについて解説する。	教科書・映像授業・報告課題	○	○
10月			B 山や谷の成り立ち	184-185	1	山や谷の成り立ちについて解説する。 山や谷の成り立ちについて解説する。 山や谷の成り立ちについて解説する。 山や谷の成り立ちについて解説する。	教科書・映像授業・報告課題	○	
10月			C 火山がくもる雲	186-187	1	火山がくもる雲について解説する。 火山がくもる雲について解説する。 火山がくもる雲について解説する。 火山がくもる雲について解説する。	教科書・映像授業・報告課題	○	

第4期
8月31日

第5期
9月30日

第6期
10月31日

10月			D 太陽のエネルギーが与える影響	188-189	1	「太陽は昼中に放射してあるエネルギー、夜中に宇宙空間へ放射していることが分かる。太陽放射や大気放射のエネルギーの差が、地球の気候について理解する。 太陽放射や大気放射のエネルギーの差が、地球の気候について理解する。 太陽放射や大気放射のエネルギーの差が、地球の気候について理解する。」	教科書・映像視聴・報告課題	○	
10月		2	A 自然災害とは	190-191	1	「自然災害と人間生活の関わりについて理解する。自然災害やそれに対する対策について理解する。 自然災害と人間生活の関わりについて理解する。 自然災害と人間生活の関わりについて理解する。」	教科書・映像視聴・報告課題	○	
10月			B 地震による災害	192-195	1	「プレート境界や断層の構造と内部で起こる地震のメカニズムを理解する。 プレート境界や断層の構造と内部で起こる地震のメカニズムを理解する。 プレート境界や断層の構造と内部で起こる地震のメカニズムを理解する。」	教科書・映像視聴・報告課題	○	○
10月			C 火山による災害	196-197	1	「火山の構造と噴火のメカニズムを理解する。 火山の構造と噴火のメカニズムを理解する。 火山の構造と噴火のメカニズムを理解する。」	教科書・映像視聴・報告課題	○	
10月			D 気象災害・土砂災害と防災	198-201	1	「気象や地質災害の成因と防災の重要性について理解する。 気象や地質災害の成因と防災の重要性について理解する。 気象や地質災害の成因と防災の重要性について理解する。」	教科書・映像視聴・報告課題	○	○
10月			E 自然災害との付き合い方	202-205	1	「自然災害を軽減するための取組むべきことについて理解する。 自然災害を軽減するための取組むべきことについて理解する。 自然災害を軽減するための取組むべきことについて理解する。」	教科書・映像視聴・報告課題	○	
10月			職業	206-207	1	「職業や学業との関係について理解する。 職業や学業との関係について理解する。 職業や学業との関係について理解する。」	教科書・映像視聴・報告課題	○	
10月	5編 課題研究		課題や授業の状況、課題研究の立案、観察・実験などの実施、結果の整理と発表	210-221	1	「これまでの学習を振り返り、課題研究をもったことでもと振り返ることが出来ることである。 課題研究をもったことでもと振り返ることが出来ることである。 課題研究をもったことでもと振り返ることが出来ることである。」	教科書・映像視聴・報告課題	○	

70

【学習上の注意】

その事象がどうしてそうなるのか、考えながら取り組みましょう。

【映像視聴について】

NHK高校講座「科学と人間生活」

指示された所定時間、所定回数以上を視聴・学習すること。

<https://www3.tokyo-shoseki.co.jp/aoi/wizus/index.php?encod=off&id=474n>

【学習評価】

*主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点	評価基準
知識・技能	自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに際する技能を身に付ける。
思考・判断・表現	観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	自然の事象・現象に惹き込まれ、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

【単位取得認定基準】

①報告課題（レポート）：6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。

②面接指導（スクーリング）：実務校で行われる面接指導に4単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。

③単位認定試験の得点：単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位数	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
理科	物理基礎	通年	選択必修	2	70単位数時間 (50分×70)	4単位数時間	東京書籍 『新編 物理基礎』 東京書籍 物理702	授業者に準ずる	前田 尚希

【教科学習を通じて、育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】

物体の運動と様々なエネルギーを科学的に探究するために必要な資質・能力を身に付ける。

【学習目標】

(知識・技能) 日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。
 (思考・判断・表現) 観察、実験などを通して、科学的に探究する力を身に付けている。
 (主体的に取り組む態度) 物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

【学習方法】

- ①メディア授業 物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。
- ②本校スクーリング 観察、実験などを通して、科学的に探究しようとする態度を身に付ける。
- ③報告課題（レポート） 物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。

○メディア面所全て
◎メディア視聴報告書箇所

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位数	学習到達目標	学習教材	面接指導 (S)		報告課題 締切期限	備考
	編	章	節	項					メディア① (映像視聴等)	メディア② (レポート等)		
4月	物体の運動とエネルギー	直線運動の世界	運動の表し方		10～11	2	・運動している物体のようすを表すに必要な物理量のうち、時刻や位置を理解する。 ・運動している物体のようすを表すに必要な物理量のうち、速さについて理解する。	教科書・映像授業・報告課題	○		第1回 5月31日	
4月			変位と速度		12～13	1	・物体の運動を表すには、時刻や位置、速さだけでなく、向きが必要であることを理解する。	教科書・映像授業・報告課題	○			
4月			等速直線運動		14～15	1	・等速直線運動のx-tグラフやv-tグラフの特徴について理解する。	教科書・映像授業・報告課題	◎	○		
4月			合成速度と相対速度		16～17	1	・合成速度とその求め方について理解する。 ・相対速度とその求め方について理解する。	教科書・映像授業・報告課題	◎			
4月			速度が変わる運動		18～23	2	・加速度が一定である直線運動を等加速度直線運動ということを知り、等加速度直線運動のx-tグラフやv-tグラフの特徴について理解する。	教科書・映像授業・報告課題	◎			
4月			等加速度直線運動		24～25	1	演習を通して、等加速度直線運動の式やグラフの扱い方を理解する。	教科書・映像授業・報告課題	◎	○		
5月			自由落下		26～27	1	・自由落下運動の特徴について理解する。	教科書・映像授業・報告課題	◎	○		
5月			鉛直投射		28～29	1	物体の運動のようすを式やグラフで表す方法について理解する。	教科書・映像授業・報告課題	◎	○		
5月			水平投射		30～31	1	物体の運動のようすを式やグラフで表す方法について理解する。	教科書・映像授業・報告課題	◎	○		
5月			まとめ		32～33	2	・1章で学習した内容を振り返り、整理する。 ・1章について、『章末確認テスト』を使い、問題を解いて理解を深める。	教科書・映像授業・報告課題	○			
5月		力と運動の法則	力のつり合い		34～35	1	・力の3要素について理解する。	教科書・映像授業・報告課題	○		第2回 6月30日	
5月			力の合成と分解		36～37	2	・力の分解のしかたと成分について理解する。	教科書・映像授業・報告課題	○			
5月			垂直抗力と弾性力		40～41	1	・斜面上に置かれている物体を例に、抗力について理解する。 ・ばねの伸びや縮みとばねにはたらく力の大きさの関係（フックの法則）を理解する。	教科書・映像授業・報告課題	○			
5月			慣性の法則		42～23	1	・身近な例をもとに、慣性の法則について理解する。	教科書・映像授業・報告課題	○			
6月			『運動の変化』と『力』		44～49	1	・物体にはたらく力と物体に生じる加速度の関係を理解する。	教科書・映像授業・報告課題	◎			
6月			作用・反作用の法則		50～53	2	・作用・反作用の法則について理解する。	教科書・映像授業・報告課題	○			
6月			動摩擦力和その性質		60～61	1	・動摩擦力の性質について理解する。	教科書・映像授業・報告課題	○			

6月			静止摩擦力とその性質		62～63	1	- 静止摩擦力について知る。	教科書・映像授業・総合課題	○		
6月			空気の抵抗力		64～65	1	- 空気中の物体が運動しているとき、物体は空気の抵抗力を受けることを理解する。	教科書・映像授業・総合課題	◎		
6月			水圧と浮力		66～69	2	- 水深と水圧の関係、大気圧について理解する。 - 水中の物体にはたらく浮力の大きさと向きについて理解する。	教科書・映像授業・総合課題	◎		
6月			まとめ		70～73	2	- 1冊2章で学習した内容を振り返り、整理する。 - 1冊2章について、「読末確認テスト」を使い、問題を通して理解を深める。	教科書・映像授業・総合課題	○		
7月		力学的エネルギー	仕事		74～75	1	- 仕事と仕事の原理について理解する。	教科書・映像授業・総合課題	◎		
7月			仕事率		76～77	1	- 力の向きと仕事の関係について理解する。	教科書・映像授業・総合課題	◎		
7月			運動エネルギー		78～79	1	- 運動エネルギーを定量的に表す方法を理解する。	教科書・映像授業・総合課題	◎		
7月			位置エネルギー		80～81	1	- 重力による位置エネルギーを定量的に表す方法を理解する。 - 弾性力による位置エネルギーを定量的に表す方法を理解する。	教科書・映像授業・総合課題	◎		
7月			力学的エネルギーの保存		82～85	1	- 運動エネルギー、位置エネルギー、力学的エネルギーの関係について理解する。 - 力学的エネルギー保存の法則と、力学的エネルギーが保存される条件について理解する。	教科書・映像授業・総合課題	◎		
7月			いろいろな運動でみる力学的エネルギー		86～89	1	- 力学的エネルギーの変化と仕事の関係について理解する。	教科書・映像授業・総合課題	◎		
7月			まとめ		90～91	1	- 1冊3章で学習した内容を振り返り、整理する。 - 1冊3章について、「読末確認テスト」を使い、問題を通して理解を深める。	教科書・映像授業・総合課題	○		
8月	さまざまな物理現象とエネルギー	熱	温度と熱		94～95	1	- 温度が熱運動の激しさを表すことを理解する。 - 絶対温度とセルシウス温度の関係について理解する。	教科書・映像授業・総合課題	◎	○	
8月			熱と物質		96～97	1	- 熱がエネルギーであることについて理解する。 - 物質の三態と物質の分子の状態を関連付けて理解する。	教科書・映像授業・総合課題	◎	○	
8月			熱の移動と保存		98～101	2	- 熱量の保存について理解する。 - 熱量の保存を用いて比熱容量を求める方法について理解する。	教科書・映像授業・総合課題	◎	○	
8月			熱と仕事		102～103	1	- 内部エネルギーと仕事の関係（熱力学第1法則）について理解する。	教科書・映像授業・総合課題	◎	○	
8月			熱機関と不可逆変化		104～105	1	- 熱効率について理解する。	教科書・映像授業・総合課題	◎		
8月			まとめ		106～107	1	- 2冊1章で学習した内容を振り返り、整理する。 - 2冊1章について、「読末確認テスト」を使い、問題を通して理解を深める。	教科書・映像授業・総合課題	○		
9月		波	いろいろな波		108～109	1	- 振動が伝わっていく現象を波ということを知り、波源や媒質について理解する。 - 波が波源の振動のエネルギーを伝えていく現象であることを理解する。	教科書・映像授業・総合課題	○		
9月			波の表し方		110～111	1	- 波形のy-xグラフで表せることを理解する。 - 波の速さ、波長、周期、振動数の関係を理解する。	教科書・映像授業・総合課題	○	○	
9月			横波と縦波		112～113	1	- 縦波と横波について理解し、その違いについて理解する。 - 縦波が横波と同じようにy-xグラフとして表すことができることを理解する。	教科書・映像授業・総合課題	○	○	
9月			波の重ね合わせ		114～115	1	- 波の独立性、波の重ね合わせの原理について理解する。	教科書・映像授業・総合課題	○	○	
9月			定在波		116～117	1	- 定在波とよびの進行波の関係を知り、定在波の腹と節について理解する。	教科書・映像授業・総合課題	○	○	

第3回
7月31日

第4回
8月31日

9月			波の反射	118～121	2	・波の反射について理解し、固定端反射と自由端反射の違いについて理解する。	教科書・映像授業・報告課題	○	○	第5回 9月30日	
9月			音波	122～123	1	・音の3要素について理解する。	教科書・映像授業・報告課題	○	○		
9月			弦の固有振動	124～127	2	・固有振動、共振（共鳴）について理解する。 ・弦に強制をよぶて固有振動を駆動し、固有振動の周波数と固有振動の振動数の関係について見いだして理解する。	教科書・映像授業・報告課題	○	○		
9月			気柱の固有振動	128～131	2	・気柱の共鳴を利用して、気柱内に定在波が生じていることを理解する。 ・閉管、開管の気柱にできる定在波の振動数、気柱の長さ、波長、音速の関係について理解する。	教科書・映像授業・報告課題	○	○		
9月			まとめ	132～133	1	・2編2章で学習した内容を振り返り、整理する。 ・2編2章について、「章末確認テスト」を使い、問題を通して理解を深める。	教科書・映像授業・報告課題	○			
10月		電気	動いていない電気、動いている電気	134～135	1	・静電気の静電気力について理解する。また、原子の構造について理解する。 ・電流の向きと電流の向きと電子の移動の向きとの関係を理解する。	教科書・映像授業・報告課題	○	○	第6回・映像視聴報告 10月31日	
10月			電流と電気抵抗	136～139	2	・オームの法則について理解する。 ・電気抵抗を、抵抗値、導線の長さ、断面積で表す方法について理解する。	教科書・映像授業・報告課題	○	○		
10月			直列接続と並列接続	140～143	2	・2つの抵抗を直列接続、並列接続したときの電流や電圧がどうなるかを理解する。	教科書・映像授業・報告課題	○			
10月			電力と電力量	144～145	1	・電気エネルギーについて理解する。 ・電力量とジュールの法則がどのように表されるかを理解する。	教科書・映像授業・報告課題	○			
10月			電流が作る磁場	146～147	1	・磁力や磁場、磁場の向きと磁力線について理解する。 ・電流が磁場から力を受けることを理解する。	教科書・映像授業・報告課題	○			
10月			発電機の仕組み	148～149	1	・電磁誘導の法則について理解する。	教科書・映像授業・報告課題	○			
10月			直流と交流	150～151	1	・直流と交流について理解する。	教科書・映像授業・報告課題	○			
10月			電磁波	152～153	1	・電磁波にはさまざまな種類があり、その性質に応じて利用されていることを理解する。 ・電磁波は波長によって分類され、さまざまな利用されていることを理解する。	教科書・映像授業・報告課題	○			
10月			まとめ	154～155	1	・2編3章で学習した内容を振り返り、整理する。 ・2編3章について、「章末確認テスト」を使い、問題を通して理解を深める。	教科書・映像授業・報告課題	○			
10月		エネルギーとその利用	エネルギーの変換と保存	156～157	1	・エネルギーが何をすることができるかを理解する。 ・エネルギー保存の法則について理解する。	教科書・映像授業・報告課題	◎	○		
10月			原子核のエネルギー	158～159	1	・原子の構造、同位体、核エネルギーについて理解する。 ・核融合と核融合発電について理解する。	教科書・映像授業・報告課題	◎	○		
10月			放射線の利用と安全性	160～161	1	・放射能と放射線の単位、放射線の人体への影響について理解する。	教科書・映像授業・報告課題	◎	○		
10月			エネルギーの利用と課題	162～165	1	・生命のエネルギーの源が太陽からたらされる光エネルギーであることを理解する。 ・持続可能な社会に向けて、どのような取り組みが行われているかを理解する。	教科書・映像授業・報告課題	◎	○		

計70単位時間

【学習上の注意】

- 教科書を参考にしながら、丁寧に課題へ取り組みましょう。
- 物理基礎は身の回りの多くの物体の動きや現象に関わる重要な科目です。自身の身近なものに置き換えて考え、学習へ取り組んでください。

【映像視聴について】

指示された所定時間、所定回数以上を視聴・学習すること。

<https://www3.tokyo-shoseki.co.jp/wjplus/index.php?encod=0f6&id=147&k>

【学習評価】

*主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点	評価基準
知識・技能	・日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。
思考・判断・表現	・観察、実験などを通して、科学的に探究する力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	・物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

【単位認定基準】

- ①報告課題（レポート）：6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- ②面接指導（スクリーニング）：実施校で行われる面接指導に4単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。
- ③単位認定試験の得点：単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位時間	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
理科	化学基礎	通年	選択必修	2	70単位時間 (50分×70)	4 単位時間	東京書籍 『新編 化学基礎』 東京書籍 化基702	授業者に準ずる	前田 尚希

【教科学習を通じて、育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】

化学現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を身に付ける。

【学習目標】

- 《知識・技能》 ・日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。
- 《思考・判断・表現》 ・観察、実験などを通して、科学的に探究する力を身に付けている。
- 《主体的に取り組む態度》 ・物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

【学習方法】

- ①メディア授業 ・日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。
- ②本校スタラーリング ・観察、実験などを通して、科学的に探究する力を身に付けている。
- ③報告課題（レポート） ・物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

【年間学習計画】

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導 (S)		報告課題 (R)	備考
	編	章	節	項					メディア (映像視聴学習)	本校スタラーリング課題(発表)	締切期限	
4月	化学と人間生活	化学とは何か			6-11	2	身のまわりの物や製品が物質でできていることに気づく。 身のまわりの製品には、その物質の性質がうまく利用されていることに気づく。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
4月		物質の成分と構成元素	物質の成分		12-17	2	・純物質と混合物の性質を理解する。 ・混合物から成分となる物質を分離する方法があり、それは物質の性質によるものであることを理解する。 ・物質の溶解度は温度によって変化することについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎		第1回 5月31日	
4月			物質の構成元素		18-23	2	・物質は元素からつくられていることに気づく。 ・元素を確認する方法に、炎色反応や沈殿の生成があることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
4月			物質の三態		24-27	1	・物理変化と化学変化、状態変化の違いを理解する。 ・状態変化には粒子の熱運動が関係していることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
5月	物質の構成	原子の構造と元素の周期表	原子の構造		36-39	2	・原子の構造から陽子、中性子、電子の性質を理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○	第2回 6月30日	
5月			電子配置と周期表		40-45	3	・電子配置で電子殻への電子の入り方を知る。 ・電子配置は原子番号の順に規則正しく変化することを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
5月		化学結合	イオンとイオン結合		48-55	4	・電子配置からイオンの生成を理解する。 ・イオン結合の形成について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
6月			分子と共有結合		56-67	6	・共有結合の形成、分子式や構造式について理解する。 ・結合の極性を知り、極性分子と非極性分子について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○	第3回 7月31日	
6月			金属と金属元素		68-71	2	・自由電子のふるまいがわかり、金属結合の仕組みを理解する。 ・金属の性質について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
6月			化学結合と物質の分類		72-73	2	・結合の種類から物質の大まかな性質について分類し理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
6月	物質の変化	物質と化学反応式	原子量・分子量・式量		82-85	2	・天然に存在する多くの元素には一定割合で同位体が存在するため、原子量はその加重平均の値であることを理解する。 ・原子量、分子量、式量のそれぞれが表す値を理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
7月			物質量		86-91	2	・物質量とその単位molの関係、さらに原子量・分子量・式量との関係やモル質量との関係がわかり、それらの単位変換を理解する。 ・物質量と気体の体積との関係がわかり、それらの単位変換を理解する。気体の密度と分子量、空気の平均分子量について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
7月			溶液の濃度		92-93	2	・モル濃度による溶液の濃度の表し方を理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○	第4回 8月31日	
7月			化学反応の表し方		94-95	2	・化学反応式やイオン反応式の書き方やそれが表している内容を理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
7月			化学反応式の表す量的関係		96-101	2	反応に関わる物質量の比が化学反応式の係数の比を表していることを見いだして理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導 (S)		報告課題 (R)	備考	
	編	章	節	項					メディア (映像視聴学習)	その他 (スクーリング課題等)	締切期限		
7月		酸と塩基	酸と塩基		106-111	4	・酸と塩基の性質について理解する。 ・アレキシアスの酸・塩基の定義を理解する。 ・ブレンステッド・ローリーの酸・塩基の定義を理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○	第5回 9月30日		
8月			水素イオン濃度とpH		112-119	4	・水溶液の水素イオン濃度は広い範囲で変化するため、pHでも表せることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○			
8月			中和反応と塩の生成		120-123	4	・酸と塩基が完全に中和するときの化学変化を化学反応式で理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○			
8月			中和滴定		124-131	4	・中和滴定に用いる器具の使い方がわかり、中和滴定の実験操作を理解する。 ・標準溶液に用いられる試薬のもつ特徴を知る。	教科書・映像視聴・報告課題	○				
9月		酸化還元反応	酸化と還元		136-139	3	・酸化と還元は常に同時に起こることを知る。 ・酸素原子や水素原子が関係していない反応についても、酸化還元が電子の授受によって統一的に説明できることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎		第6回・映像視聴報告 10月31日		
9月			酸化剤と還元剤		140-147	4	・代表的な酸化剤、還元剤を知り、それらの水溶液中での反応を理解する。 ・酸化還元反応の化学反応式の作ることができ、この反応の量的関係を理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎				
9月			金属の酸化還元		148-151	3	・金属と空気、水、酸などの反応性の違いは、金属のイオン化傾向と深い関係があることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎				
10月			酸化還元反応の応用		152-161	3	・実験観察を通して、金属のイオン化傾向と電流の流れる向きを比較し関係性を考える。 ・Daniell電池のしくみを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○				
10月		化学が拓く世界			168-173	5	・観察実験や調査を通して、化学基礎で学んできたことが日常生活や社会生活を支えている科学技術と結びついていることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○				

70

計70単位時間

【学習上の注意】

- 教科書を参考にしながら、丁寧に課題へ取り組みましょう。
- 化学基礎は身の回りの多くの現象関わる重要な科目です。自身の視点に置き換えて考え、学習へ取り組んでください。

【映像視聴について】

指示された所定時間、所定回数以上を視聴・学習すること。

<https://ww3.tokyo-shoseki.co.jp/api/wjzus/index.php?encod=off&id=r4kk>

【学習評価】

*主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点	評価基準
知識・技能	・日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。
思考・判断・表現	・観察、実験などを通して、科学的に探究する力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	・物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

【単位修得認定基準】

- ①報告課題（レポート）：6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- ②面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導4単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。
- ③単位認定試験の得点：単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位数	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
理科	生物基礎	通年	選択必修	2	70単位数時間 (50分×70)	4単位数時間	東京書籍 『新編 生物基礎』 東京書籍 生基702	授業者に準ずる	前田 尚希

【教科学習を通じて、育てたい生徒像(カリキュラムマネジメント)】

生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を身に付ける。

【学習目標】

(知識・技能) 生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。
(思考・判断・表現) 観察、実験などを通して、科学的に探究する力を身に付ける。
(主体的に取り組む態度) 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

【学習方法】

①メディア授業 生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。
②本校スクーリング 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付ける。
③報告課題(レポート) 基本的な生物基礎の知識を得て、生物や生物現象について理解する。

○メディア箇所全て
◎メディア視聴報告書箇所

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位数	学習到達目標	学習教材	面接指導(S)		報告課題(R)	備考	
	編	章	節	項					メディアA (映像視聴学習)	メディアB (レポート課題)			
4月	生物の特徴	生物の多様性と共通性	生物の多様性		10-13	2	・地球上にすむ生物の種類が膨大であることに気づき、地球上に多様な種がみられるのになぜか考える。 ・地球上で生活する生物の多様性は、進化の結果生じたものであることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○	第1回 5月31日		
4月	生物の特徴	生物の多様性と共通性	生物の共通性		14-17	2	・生物と非生物の違いが何を考えることを通じて、生物と非生物を分ける基準の存在することについて気づかせる。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○			
4月	生物の特徴	生物の多様性と共通性	細胞の特徴		18-21	3	・すべての生物のもつDNAが細胞のどこにあるかを考える。 ・真核細胞の構造について理解する。 ・原核細胞の構造について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎				
4月	生物の特徴	生物の多様性と共通性	まとめ		22-23	1	・1編1章で学習した内容を生物用語で振り返る。 ・1編1章で学習した内容を図で振り返る。	教科書・映像視聴・報告課題	○				
4月	生物の特徴	生物とエネルギー	主体とATP		24-27	2	・生命活動にエネルギーが必要であることを理解する。 ・ATPが呼吸や光合成など生体内でエネルギーの受け渡しに必ず関係していることを理解する。 ・ATPの構造やリン酸どうしの結合にエネルギーが費やされていることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○			
5月	生物の特徴	生物とエネルギー	酵素のはたらき		28-31	2	・酵素の基本的な特徴を理解する。 ・酵素の基質特異性が何によってもたらされているのかについて理解する。 ・酵素の生成分がタンパク質であることから、最適温度と最適pHという性質が生じることを知る。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○			
5月	生物の特徴	生物とエネルギー	呼吸と光合成		32-35	3	・呼吸におけるグルコースの分解反応について理解する。 ・光合成におけるグルコースの合成反応について理解する。 ・細胞内発生について理解を深める。	教科書・映像視聴・報告課題	◎				
5月	生物の特徴	生物とエネルギー	まとめ		36-37	1	・1編2章で学習した内容を生物用語で振り返る。 ・1編2章で学習した内容を図で振り返る。	教科書・映像視聴・報告課題	○				
5月	遺伝子とそれのほたらき	遺伝情報とDNA	生物とDNA		42-45	2	・親の形質が子に引き継がれることを遺伝といい、遺伝は遺伝情報であるDNAによって行われていることを理解する。 ・真核生物では、DNAが染色体の構成として存在することを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎				
5月	遺伝子とそれのほたらき	遺伝情報とDNA	DNAの構造		46-51	2	・DNAの二重らせん構造の特徴を理解する。 ・塩基配列の違いによって、異なるタンパク質が異なることを理解する。 ・DNAの構造の解明に尽力した科学者について知る。	教科書・映像視聴・報告課題	○				
6月	遺伝子とそれのほたらき	遺伝情報とDNA	DNAの複製と分配		52-55	2	・塩基の相補性によりDNAが正確に複製されることを理解する。 ・DNAの複製は正確に行われることを理解する。 ・細胞周期の概要を理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎				
6月	遺伝子とそれのほたらき	遺伝情報とDNA	まとめ		56-57	1	・2編1章で学習した内容を生物用語で振り返る。 ・2編1章で学習した内容を図で振り返る。	教科書・映像視聴・報告課題	○				
6月	遺伝子とそれのほたらき	遺伝情報とタンパク質の合成	タンパク質		58-59	2	・タンパク質はアミノ酸がつながった分子であることを理解する。 ・アミノ酸の種類と並び方によって、多様なタンパク質が生じることが理解する。 ・生命活動には多種多様なタンパク質が関与していることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		第2回 6月30日	
6月	遺伝子とそれのほたらき	遺伝情報とタンパク質の合成	タンパク質と遺伝子		60-67	3	・DNAの遺伝情報は、まずmRNAに転写された後、アミノ酸に翻訳されることで発現するという流れ(セントラルドグマ)を理解する。 ・アミノ酸の構造と塩基について理解を深める。 ・RNAの特徴とDNAの違いを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○			
6月	遺伝子とそれのほたらき	遺伝情報とタンパク質の合成	細胞の分化と遺伝子の発現		68-69	2	・1つの細胞がさまざまな分化して細胞をつくらせていることを理解する。 ・細胞ごとに異なる遺伝子が発現すること、多様な細胞に分化することを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○			
6月	遺伝子とそれのほたらき	遺伝情報とタンパク質の合成	まとめ		70-71	1	・2編2章で学習した内容を生物用語で振り返る。 ・2編2章で学習した内容を図で振り返る。	教科書・映像視聴・報告課題	○				
7月	ヒトの体の調節	ヒトの体を調節するしくみ	体内環境		76-79	2	・体内環境と体液の関係について理解する。 ・消化管や気管は体外にありながら、その内部が外界との境界であることから体内環境として分類されることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○				
7月	ヒトの体の調節	ヒトの体を調節するしくみ	神経系による情報伝達		80-85	2	・体内環境の維持と自律神経系による調節を関連付けて理解する。 ・交感神経と副交感神経の違いについて神経伝達物質の違いに着目して理解を深める。	教科書・映像視聴・報告課題	○				

7月	ヒトの体の調節	ヒトの体を調節するしくみ	内分泌系による情報伝達	86-89	4	<ul style="list-style-type: none"> ・内分泌腺と分泌されるホルモン、その作用について取り、ホルモンが受容されるしくみを理解する。 ・細胞の視床下部がホルモン分泌の中枢として機能することを理解する。 ・ホルモン分泌量のフィードバックによって調節されていることを理解する。 	教科書・映像視聴・報告課題	○		第3回 7月31日
7月	ヒトの体の調節	ヒトの体を調節するしくみ	血糖濃度の調節	90-97	2	<ul style="list-style-type: none"> ・血糖濃度の調節機構による体内環境の維持とホルモンの関係について見直しを促す。 ・血糖濃度の調節における存在するホルモンの種類と、それぞれの働きについて理解する。 ・インスリンの作用と糖尿病の発症について理解する。 	教科書・映像視聴・報告課題	○		
7月	ヒトの体の調節	ヒトの体を調節するしくみ	まとめ	98-99	1	<ul style="list-style-type: none"> ・3編1章で学習した内容を生物用語で振り返る。 ・3編1章で学習した内容を図で振り返る。 	教科書・映像視聴・報告課題	○		
8月	ヒトの体の調節	免疫のはたらき	免疫の仕組み	100-105	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒトは免疫のしくみによって、病原体などの異物から体を守り、健康を維持していることを理解する。 ・自然免疫について分類や性質を理解する。 ・適応免疫をえるリンパ球の種類と役割を理解する。 ・体内環境の維持の観点から血液凝固について理解する。 	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○	第4回 8月31日
8月	ヒトの体の調節	免疫のはたらき	免疫の応用	106-111	2	<ul style="list-style-type: none"> ・免疫記憶と二次応答について理解する。 ・免疫グロブリンのはたらきや特徴を理解する。 ・予防接種のしくみを理解する。 	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○	
8月	ヒトの体の調節	免疫のはたらき	免疫とさまざまな疾患	112-115	2	<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギーの定義や症状について理解する。 ・免疫抑制剤のしくみを例にアレルギーの発症について理解を深める。 ・1型糖尿病などの自己免疫疾患について理解する。 ・AIDSを例に免疫細胞の低下による状態について理解する。 	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○	
8月	ヒトの体の調節	免疫のはたらき	まとめ	116-117	1	<ul style="list-style-type: none"> ・3編2章で学習した内容を生物用語で振り返る。 ・3編2章で学習した内容を図で振り返る。 	教科書・映像視聴・報告課題	○		
8月	ヒトの体の調節	免疫のはたらき	まとめ	116-117	1	<ul style="list-style-type: none"> ・3編2章で学習した内容を生物用語で振り返る。 ・3編2章で学習した内容を図で振り返る。 	教科書・映像視聴・報告課題	○		
9月	生物の多様性と生態系	種生と遷移	身のまわりの種生	122-125	3	<ul style="list-style-type: none"> ・環境要因と環境形成作用の関係について理解する。 ・森林の環境構造と光環境の関係について理解する。 ・環境要因としての土壌の構造や成り立ちについて理解する。 	教科書・映像視聴・報告課題	○		第5回 9月30日
9月	生物の多様性と生態系	種生と遷移	種生の遷移	126-131	3	<ul style="list-style-type: none"> ・種生の遷移に関する資料に基づいて、遷移の要因として土壌や気候について見直しを促す。 ・種生の遷移についてモデル的な過程に基づいて理解する。 ・種生間でも起きる種生の変化について、ウェブに着目して理解する。 	教科書・映像視聴・報告課題	○		
9月	生物の多様性と生態系	種生と遷移	遷移とバイオーム	132-141	2	<ul style="list-style-type: none"> ・世界のさまざまな地域の気候と種生の関係を調べ、バイオームが遷移を経て成り立っていることを見直しを促す。 ・環境に適応した種生が成立し、種生を構成する種生と生態系によってバイオームが成り立っていることを理解する。 	教科書・映像視聴・報告課題	○		
9月	生物の多様性と生態系	種生と遷移	まとめ	142-143	1	<ul style="list-style-type: none"> ・4編1章で学習した内容を生物用語で振り返る。 ・4編1章で学習した内容を図で振り返る。 	教科書・映像視聴・報告課題	○		
9月	生物の多様性と生態系	種生と遷移	まとめ	142-143	1	<ul style="list-style-type: none"> ・4編1章で学習した内容を生物用語で振り返る。 ・4編1章で学習した内容を図で振り返る。 	教科書・映像視聴・報告課題	○		
10月	生物の多様性と生態系	生態系と生物の多様性	生態系における生物の多様性	144-149	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ビトフェルトフラップから生態系における種の多様性を見直しを促す。 ・季節について理解する。 ・バイオームと種多様性の関係について理解する。 	教科書・映像視聴・報告課題	○		第6回・映像視聴報告 10月31日
10月	生物の多様性と生態系	生態系と生物の多様性	生態系における生物間の関係	150-153	3	<ul style="list-style-type: none"> ・生態系から特定の生物を除去したときの影響から、彼らと関係にある生物どうしのつながりに気づき、生物の関係性が種多様性に及ぼす影響を見直しを促す。 ・食網について理解する。 ・ネットワークについて理解する。 ・種多様性の高さが生態系全体のバランスを保つことを理解する。 	教科書・映像視聴・報告課題	◎		
10月	生物の多様性と生態系	生態系と生物の多様性	生態系と人為的攪乱	154-157	2	<ul style="list-style-type: none"> ・生態系の河川への流入の例から、人為的攪乱による生態系への影響を見直しを促す。 ・人為的攪乱について、生物多様性と関係を理解する。 ・絶滅多様性の例から、日本の生態が大きな環境問題とながっていることを知る。 ・台風や大雨などの自然攪乱について理解する。 	教科書・映像視聴・報告課題	◎		
10月	生物の多様性と生態系	生態系と生物の多様性	生態系の保全	158-163	2	<ul style="list-style-type: none"> ・環境アセスメントの具体的な事例を基に、生態系の保全の重要性を見直しを促す。 ・生物多様性の保全にはそれぞれの立場からの努力や協力が必要であることを理解する。 	教科書・映像視聴・報告課題	◎		
10月	生物の多様性と生態系	生態系と生物の多様性	まとめ	164-165	1	<ul style="list-style-type: none"> ・4編2章で学習した内容を生物用語で振り返る。 ・4編2章で学習した内容を図で振り返る。 	教科書・映像視聴・報告課題	○		
10月	生物の多様性と生態系	生態系と生物の多様性	まとめ	164-165	1	<ul style="list-style-type: none"> ・4編2章で学習した内容を生物用語で振り返る。 ・4編2章で学習した内容を図で振り返る。 	教科書・映像視聴・報告課題	○		

計70単位時間

【学習上の注意】

☞教科書を参考にしながら、丁寧に課題へ取り組みましょう。

【映像視聴について】

指示された所定時間、所定回数以上を視聴・学習すること。

<https://ww3.tokyo-shoseki.co.jp/api/wizus/index.php?encode=off&id=r37rsk>

【学習評価】

*主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点	評価基準
知識・技能	・日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。
思考・判断・表現	・観察、実験などを通して、科学的に探究する力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	・生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

【単位認定基準】

①報告課題（レポート）：6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。

②面接指導（スクーリング）：要履校で行われる面接指導に4単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。

③単位認定試験の得点：単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位時間	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
理科	地学基礎	通年	選択必修	2	70単位時間 (50分×70)	4単位時間	東京書籍 『新編 地学基礎』 東京書籍 地基702	授業者に準ずる	前田 尚希

【教科学習を通じて、育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】

地球や地球を取り巻く環境を科学的に探究するために必要な資質・能力を身に付ける。

【学習目標】

- 《知識・技能》 日常生活や社会との関連を図りながら、科学的に探究するために必要な観察・実験に関する基本的な技能を身に付ける。
- 《思考・判断・表現》 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- 《主体的に取り組む態度》 地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

【学習方法】

- ①メディア授業 日常生活や社会との関連を図りながら、科学的に探究するために必要な観察・実験に関する基本的な技能を身に付ける。
- ②本校スタラーリング 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- ③報告課題（レポート） 地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

【年間学習計画】

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導 (S)		報告課題 該当回・問題	備考	
	編	章	節	項					メディア (映像視聴学習)	本校スタラーリング課題(発表)			
5月	私たちの大地	大地とその動き	地球の形と大きさ		14~17	3	・地球の形について、地球が赤道方向に膨らんだ回転楕円体であることを理解する。 ・地球の形について、地球が赤道方向に膨らんだ回転楕円体であることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎		第1回 5月31日		
5月			地球の構造		18~19	1	・地球の内部は構成物質や状態の違いから、地殻、マントル、内核、内核に分かれた層構造をしていることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○			
5月			地球内部の動きとプレート		20~23	2	・地震や地殻変動などの原因をプレートの動きで説明できることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○			
5月			大地形の形成と地質構造		24~27	2	・発露境界がある場所を知るとともにその特徴を理解する。 ・すれ違う境界の特徴を理解する。 ・地殻変動によって生じる地質構造（シゅう曲、断層、変質帯）について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○			
5月			変成岩と変成作用		28~31	1	・広域変成作用と片岩の特徴、接触変成作用とホルンフェルス、結晶質石灰岩の特徴を知る。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○			
5月			火山活動と地震		32~37	2	・マグマの粘り気はマグマの温度とSiO ₂ の含有量によって異なり、粘り気の違いによって噴火現象やその結果に違いが表れることを理解する	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○			
5月			火成岩		38~41	2	・火成岩は、岩石の組織と化学的組成によって分類されることを理解する。 ・火成岩について、火成岩や鉱物の観察を通じて、その特徴を整理する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○			
5月			地震の発生		42~43	1	・震源と震源域の違いについて理解する。また、大地震ほど震源域が大きいことを理解する。 ・地震とプレート運動の関係性を理解し、プレート運動の違いによって地震によって生じる断層が異なることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○			
5月			地震が起こる場所		44~47	2	・地震の発生について、地震現象の特徴を理解する。 ・震源と震源域の違いについて理解する。また、大地震ほど震源域が大きいことを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○			
6月	私たちの空と海	地球の熱収支	地球大気の構造		52~55	2	・大気の組成を知るとともに、大気圧は大気の高さによる圧力であることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○			
6月			地球の大気で起こる現象		56~57	1	・対流圏での大気の対流によってさまざまな現象が起こっていることを理解する。 ・成層圏では上層ほど温度が高くなっていることを理解する。 ・中間圏・熱圏で起こる現象、特徴を理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○			
6月			地球の熱収支		58~59	1	・地球の大気現象を引き起こすエネルギーの源は太陽放射であり、その量は太陽定数から求められることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○			
6月		大気と海水の運動	大気や海水の運動の原因		60~63	2	・熱の運び方には、輻射輸送と潜熱輸送があることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		第2回 6月30日	
6月			大気の大循環		64~67	2	・低緯度ではハドレー循環によって、中緯度では偏西風によって、高緯度では極循環による大気の大循環があることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○			
6月			海水とその運動		68~69	1	・海は深さとともに温度によって、3つの層に分けることができることを理解する。 ・大気の大循環における貿易風と偏西風によって環流が起こっていることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○			
6月			大気と海洋の相互作用		70~71	1	大気と海洋は、低緯度と高緯度の熱収支のバランスをとるように循環していることを理解する。 ・深層循環が地球規模の気候の安定や変動に影響を与えていることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○			

7月	私たちの宇宙の誕生	宇宙の構造と進化	宇宙の誕生と宇宙の姿		76~83	3	・宇宙が誕生してからどのような過程を経て現在の状態になったのか整理し理解する。 ・天の川銀河の構造を理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○	第3回 7月31日
7月			太陽系の誕生		84~85	2	・太陽と太陽系を構成する惑星は天の川銀河に漂っていた星間物質が集まって誕生したことを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○	
7月			太陽系の構成		86~89	2	地球型惑星と木星型惑星の特徴を整理することができる。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○	
7月			太陽の特徴		90~91	1	・太陽のエネルギーは水素核融合反応によって生じていることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○	
7月			地球の特徴		92~93	1	・地球の特徴を整理し、なぜ、地球で生命が生まれ、繁栄できたのかを話し合い発表する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○	
8月	私たちの地球の歴史	地層と化石の観察	地層の形成		98~101	2	・地層の形成について、地層の積み方や堆積物の形成のしくみを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		第4回 8月31日
8月			地層からわかる情報		102~105	2	・地層や岩体の層序関係を理解する。 ・地層に見られるかき層について理解する。 ・地層に見られる化石からわかることを整理し理解する。 ・地質年代の区分について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		
8月		古生物の変遷と地球環境	地球史の最初期		106~107	1	・地球の形成について理解する。 ・初期の地球のようすについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○	
8月			先カンブリア時代		108~109	1	・先カンブリア時代について、地球環境とその環境下における生物の特徴を整理する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○	
8月			古生代		110~113	2	・古生代の生物の変遷について、自然環境の変化と結びつけて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○	
8月			中生代		114~115	2	・ジュラ紀、白亜紀の海中では、多様な動物が息巻いたことを理解する。 ・恐竜が大型化したこと、恐竜のグループから鳥類が派生したことを理解する。白亜紀中期以降に被子植物が繁栄したことが、昆虫類などの爆発的進化に繋がったと考えられることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○	
8月			新生代		116~119	2	・第四期には少なくとも7回の氷期があったこと、縄文海進があったことを知る。 ・化石などに含まれる酸素同位体比を分析することで、その当時の気候の様子がわかることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○	
8月			人類の進化		120~121	1	・人類と類人猿の違いについて理解する。 ・人類の進化の過程について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○	
8月			地球環境の変化による生物の変遷		122~125	2	・これまで地球上で起こった生物の大量絶滅について整理する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		
9月	地球に生きる私たち	日本の自然の恵みと防災	日本の自然環境の特徴		130~131	2	・日本列島は多様な気候区分があり、垂直方向の温度変化が大きいことを理解する。 ・日本列島はいくつもの時代の付加体が集積してできていること、河川の平均勾配が急であるという特徴があることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		
9月			日本の自然の恵み		132~135	2	・日本の自然の恵みについて、自然景観として私たちに楽しませてくれたり、火山がさまざまな恵みをもたらしてくれたりしていることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		
9月			気象災害と防災		136~139	2	・日本の四季の特徴と季節ごとの気象災害を理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		
9月			地震による災害と防災		140~143	2	地震が起こったときに、どのようにすれば被害を減らすことができるようになるか理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		
9月			火山による災害と防災		144~147	2	・ハザードマップに示されている内容について理解し、ハザードマップが読めるようになる。	教科書・映像視聴・報告課題	○		
10月		地球環境の考え方	地球環境の考え方		148~151	2	・地球は1つのシステム「地球システム」として見ることができ、大気圏、水圏、雪氷圏、圏体圏、生物圏などのサブシステムによって構成され、自然現象には複数のサブシステムが関与していることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		

10月		自然環境の変動	自然環境の変化		152~155	2	・自然環境の変化は、外的要因と内的要因、人間活動によるものがあり、それらは時間スケールが異なることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		第6回・映像視聴 報告 10月31日
10月			人間活動がもたらす自然環境の変化		156~161	2	・人間活動が自然環境に変化を与えた例として、オゾン層の破壊について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		
10月		これからの地球環境	世界の取り組み		162~163	1	・気候変動に関する様々な世界の取り組みについて整理し理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		
10月			代替エネルギー		164~165	2	・化石燃料に代わるエネルギーとして、再生可能エネルギーや代替エネルギーとして水素エネルギーなどがあることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		
10月			持続可能な発展へ		166~167	1	・地球環境を考えるときに「持続可能性」という視点があることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		

計70単位時間

【学習上の注意】

☞教科書を参考にしながら、丁寧に課題へ取り組みましょう。

☞地学基礎は私たちが暮らしている地球や身の回りの多くの現象に関わる重要な科目です。自身の身近なもの捉えて考え、学習へ取り組んでください。

【映像視聴について】

指示された所定時間、所定回数以上を視聴・学習すること。

<https://ww3.tokyo-shusseki.co.jp/api/wjzus/index.php?encode=off&id=4rck>

【学習評価】

*主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点	評価基準
知識・技能	地学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察・実験に関する基本的な技能を身に付ける。
思考・判断・表現	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

【単位認定基準】

①報告課題（レポート）：6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。

②面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に4単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。

③単位認定試験の得点：単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位数	必要直接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
理科	物理	通年	選択	4	140単位数 (50分×140)	7単位時間	東京書籍 『物理』 東京書籍 物理701	授業者に準ずる	前田 尚希

【教科学習を通じて、育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】

「物理基礎」との関連を図りながら、更に進んだ物理的な方法で自然の事象・現象を取り扱い、物理学的に探究する能力と態度を身に付け、物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深めさせ、科学的な自然観を育み、観測・測定された量の間の関係からより普遍的な法則を見だし、さらに、その法則から新しい事象・現象を予測したり、説明したりすることができる。

【学習目標】

(知識・技能) 「物理基礎」の学習を踏まえて、物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深める。
 (思考・判断・表現) 科学の方法を適用しながら問題を解決していくという探究の過程物理学的に探究する能力と態度を育てる。
 (主体的に取り組む態度) 物理的な事象・現象に対する探究心を高め、科学的な自然観を育成する。

【学習方法】

- ①メディア授業 物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。
- ②本校スクーリング 観察、実験などを通して、科学的に探究しようとする態度を身に付ける。
- ③報告課題（レポート） 物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。

○メディア箇所全て
 ◎メディア視聴報告書箇所

【年間学習計画】

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位数	学習到達目標	学習教材	面接指導 (S)		報告課題 締切期限	備考	
	編	章	節	項					メディア (映像授業等)	紙面レポート (授業時等)			
4月	さまざまな運動	平面内の運動	平面内の運動	変位 速度 加速度 ベクトルの成分表示 平面内の合成速度と相対速度 運動の法則	9-16	3	・ジェットコースターのような曲線上を運動する物体の運動 (加速) はどのように表現すればよいか考える。 ・平面内を運動している物体のようする表すのに必要な物理量のうち、位置ベクトルや変位 (ベクトル) について理解する。	教科書・映像授業・報告課題	◎	○	第1回 4月30日		
4月			放物運動	水平投射 斜方投射 空気抵抗	17-22	3	・水平投射された物体の運動を水平方向と鉛直方向に分解し、どのように成分表示されるか理解する。 ・斜方投射された物体の運動を水平方向と鉛直方向に分解し、どのように成分表示されるか理解する。	教科書・映像授業・報告課題	◎	○			
4月			章末問題		24	1			○				
4月			剛体のつり合い	剛体のつり合い 剛体の力のモーメント	26-40	6	・「物理基礎」で学習した質点と異なり、大きさと質量をもつ物体 (剛体) があること、その運動のようすについて理解する。 ・中心質量の「 G 」および重心 (回転軸) とときと傾かない (回転しない) ときの条件を理解する。	教科書・映像授業・報告課題	◎	○			
4月			章末問題		42	1							
4月			運動量	力積と運動量	44-49	2	・物体に加える力の大きさと時間の関係について考え、力と時間の積を力積とすることを理解する。 ・質量と速度の積を運動量とすることを理解する。 ・物体に与えた力積と物体の運動量の関係について理解する。 ・運動量という物理量について理解する。	教科書・映像授業・報告課題	◎	○			
4月			運動量の保存	直線上での力積と運動量の保存 衝突や分裂 直線上での運動量の保存 運動量の保存	50-56	4	・直線上で物体が衝突するときのどの物理量がどのような関係になっているか、図表などで検証方法を考える。 ・実験結果をもとに、速度や運動エネルギー、運動量の関係が衝突の前後でどのように変わっているか理解する。 ・直線上で物体が衝突するとき、運動量が保存されることを文字式から導き、理解する。	教科書・映像授業・報告課題	◎	○			
4月			反発係数	衝突や壁との衝突 直線上での物体の衝突 運動量と力学的エネルギー	57-68	3	・さまざまなボールを使って、弾み方の違いが何によるのか、1つのボールを弾ませるときに高さや衝突する面を変えたときの弾み方に規則性があるか考える。	教科書・映像授業・報告課題	◎	○			
4月			章末問題		70	1			◎			第2回 4月30日	
4月			円運動	円運動	72-77	2	・等速円運動を表す量として、周角や回転数、速度について、その表し方や関係を理解する。 ・円運動を表す量として、角速度について表し方や速度との関係について理解する。 ・等速円運動する物体の加速度がどのように表されるか、考え方とともに理解する。 ・円運動の角速度で用いる角度の表し方について理解する。	教科書・映像授業・報告課題	○				
4月			慣性力	直線運動における慣性力 円運動における慣性力	78-82	1	・直線運動における地面で静止している人から見た運動する物体のようすを、物体とともに運動する人が見た物体のようすについて比較しながら考え、慣性力について理解する。 ・慣性系と非慣性系について知る。	教科書・映像授業・報告課題	○				
4月			章末問題		84	1			○				
5月			単振動	単振動	86-89	2	・物体が行う往復運動 (振動) が身のまわりでどこにも見られるか、単純な形で表すことができる振動がどのような振動か考える。 ・単振動する物体の変位の時間変化が正弦曲線で表されることを理解する。	教科書・映像授業・報告課題	◎				
5月			さまざまな単振動	ばね振り子 単振動を引き起こす力と単振動の周期 振り子	90-102	4	・振動がばね振り子の周期がどのように表されるか偏微分方程式を導き出して理解する。 ・水平ばね振り子の周期がどのように表されるか理解する。 ・物体が単振動するときにはたらく力を復元力ということ、復元力の表し方について理解する。 ・一般的な単振動の周期の表し方について理解する。	教科書・映像授業・報告課題	◎				
5月			単振動のエネルギー	単振動のエネルギー	103-104	1	・弾力定数のしくみについて考える。 ・単振動する物体が持つエネルギーについて、その表し方とともに理解する。	教科書・映像授業・報告課題	◎				
5月			章末問題		106	2			○		第3回 5月31日		
5月			万有引力	惑星の運動	108-110	1	・火星の動きのシミュレーションから、どのような運動をしているのか考える。 ・惑星の軌道や惑星の決定数から、惑星の運動にどのような規則性があるのか考え、ケプラーの法則について理解する。	教科書・映像授業・報告課題	◎				
5月			万有引力	重力 人工衛星 万有引力による位置エネルギー	111-118	2	・地球上の物体の質量を知ることと比較して、地球そのものの質量を知る方法について考える。 ・2つの物体間にはたらく万有引力の法則について理解する。 ・万有引力の法則から重力がどのように表されるか理解する。 ・人工衛星の動きが、地表からの高さの違いによってどのように表されるか理解する。 ・万有引力による位置エネルギーについて理解する。	教科書・映像授業・報告課題	◎				

5月				基本問題		120	1												
5月		気体分子の運動	気体の性質	気体の性質 ボイル・シャルルの法則 理想気体の状態方程式	122-129		2												
5月			気体分子の運動と状態方程式	気体分子の運動と圧力 気体分子の運動と絶対温度 気体分子の運動と気体の内部エネルギー	130-136		3												
5月			熱力学第1法則と気体の状態変化	熱力学第1法則 気体の仕事 熱力学第1法則と気体の状態変化 気体のモル熱容量 気体の状態変化のまとめ	137-147		4												
5月			熱力学第2法則と熱機関	熱力学第2法則と熱効率 熱力学第2法則と可逆変化、不可逆変化 熱力学第2法則の別の表し方	148-153		2												
5月			基本問題		155-157		1												
6月		波	波の伝わり方	波の表し方	161-164		1												
6月			波の伝わり方	波と反射 回折 反射 回折 ホイヘンスの原理 干渉	165-172		3												
6月			基本問題		174		1												
6月		音	音の性質	音の性質	176-178		1												
6月			ドップラー効果	音源または観測者のどちらかが動く場合 音源と観測者がともに動く場合 音の反射とドップラー効果	179-186		3												
6月			基本問題		188		1												
6月		光	光の伝わり方	ものが見えるということ 光の速さ 反射と屈折 全反射 分散光散乱	190-200		3												
6月			光の回折と干渉	光の回折と干渉 回折格子 薄膜による干渉 空気層による干渉	201-213		5												
6月			レンズと鏡	レンズを通る光の進み方 凸レンズによる像 凹レンズによる像 組み合わせたレンズ レンズの式/平面鏡と球面鏡/凹面鏡による像/球面鏡の式	214-226		4												
6月			基本問題		155-157		1												
7月		電気と磁気	電場と電位	静電気 電気量保存の法則 クーロンの法則	233-237		1												
7月			電場 (電界)	電場 (電界) 点電荷がつくる電場 電力線 電気力線と電場の強さ	238-245		3												
7月			電位	静電気力による位置エネルギー 電位と電位差 点電荷の周りの電位	246-255		2												
7月			電場の中の物体	電場の中の導体 電場の中の不導体	256-259		2												
7月			コンデンサー	電気を蓄える コンデンサーの電気容量 コンデンサーに蓄えられるエネルギー コンデンサーの接続	260-271		4												

第4回
5月31日

第5回
6月30日

第6回
6月30日

第7回
7月31日

9月			反応の 等価性と結合エネルギー 分崩壊 核融合	416-422	2	・大層で起きている反応やこれと同等のエネルギーを取り出す方法について調べ、安全に利用し続けていくことについて考える。 ・核反応について理解する。 ・エネルギーと質量の等価性について理解する。 ・核反応におけるエネルギーについて理解する。 ・核分裂について理解する。 ・核融合について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○	
9月			物質の相変遷 素粒子の分類 4つの基本的な力 素粒子の反応 標準模型 素粒子と宇宙	423-430	1	・物質の構成要素について理解する。 ・素粒子の種類や性質について理解する。 ・自然界に存在する基本的な4つの力について、その力を媒介する粒子とともに理解する。 ・素粒子の反応について理解する。 ・標準模型という素粒子理論について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○	
10月			章末問題	432-433	1		教科書・映像視聴・報告課題	◎		映像視聴報告 10月31日

計140単位時間

【学習上の注意】

- ⇒教科書を参考にしながら、丁寧に課題へ取り組みましょう。
- ⇒物理基礎は身の回りの多くの物体の動きや現象に関わる重要な科目です。自身の身近なものに置き換えて考え、学習へ取り組んでください。

【映像視聴について】

指示された所定時間、所定回数以上を視聴・学習すること。

<https://ww3.tokyo-shoseki.co.jp/api/wizus/index.php?encode=off&id=4rbk>

【学習評価】

*主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点	評価基準
知識・技能	・日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技術を身に付けている。
思考・判断・表現	・観察、実験などを通して、科学的に探究する力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	・物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

【単位認定基準】

- ①報告課題（レポート）：12回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- ②面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に7単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。
- ③単位認定試験の得点：単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位時間	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
理科	化学	通年	選択	4	140単位時間 (50分×140)	7 単位時間	東京書籍 『化学 Vol.1 理論編』『化学 Vol.2 物質編』 東京書籍 化学701・化学702	授業者に準ずる	前田 尚希

【教科学習を通じて、育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】

・化学現象を科学的に探究する能力を身に付け、身の回りや未来に関わる課題に対して科学的に探究しようとしている。

【学習目標】

- （知識・技能）
 - ・化学的な事象・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察・実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- （思考・判断・表現）
 - ・化学的な事象・現象を観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- （主体的に取り組む態度）
 - ・日常生活や社会の化学的な事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

【学習方法】

- ①メディア授業
 - ・映像資料を用いて化学的な事象・現象を観察し、理解を深めるとともに、観察や実験などに関する基本的な技能を身に付ける。
- ②本校スクーリング
 - ・化学と生活の結びつきを学び、対話を通して科学的な探究を深める。
- ③報告課題（レポート）
 - ・化学的な事象・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を養う。

○メディア箇所全て
◎ メディア視聴報告書箇所

学習目安月	単元及び主な学習内容			教科書該当頁	学習目安単位数	学習到達度目標	学習教材	面接指導 (S)		報告課題 (R)	備考
	編	章	節 項					メディア (映像視聴学習)	本校スクーリング(対話指導)		
4月	0 編 人間生活の中の化学			6-8	1	中学校や化学基礎での学習を参考に、日常生活の中の物質について考える。 中学校や化学基礎の知識を元に、性質や特徴を理解する。 社会の中で化学が果たす役割について、自分なりの意見を踏まえて表現する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
4月	1 編 物質の状態	1 章 物質の状態	1 節 物質の三態	9-15	2	固体、液体、気体の3つの状態を整理し、粒子のふるまいを説明する。 融解、凝縮、昇華、凝縮を粒子の熱運動と距離から説明できることを理解する。 物質の融点、沸点を粒子間に働く引力と関連付けて考える。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
4月			2 節 気体・液体間の状態変化	16-25	2	気圧間の平衡や、沸騰について状態変化を用いて説明する。 蒸気圧曲線の見方を理解する。 協定を立てて、実験の過程を注意深く観察し、それに伴う変化を科学的に考察する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
4月		2 章 気体の性質	1 節 気体	26-29	2	気球が浮かぶ理由を、気体の性質から考える。 ボイルの法則とシャルルの法則を理解する。 ボイル・シャルルの法則が、ボイルの法則とシャルルの法則から導かれることを考える、表現する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
4月			2 節 気体の状態変化	30-43	4	水が1日目の法則とボイル・シャルルの法則が結びつけられることを考える。 気体の状態方程式を理解する。 気体の状態方程式を、気体の質量とモル質量を用いて変換する。 理想気体と実在気体の違いを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
4月		3 章 溶液の性質	1 節 溶解	44-53	4	溶解のしくみを性質の有無から見いだす。 気圧間の平衡と同様に、溶解平衡の仕組みについて見いだす。 飽和・過飽和・過飽和、モル濃度、質量モル濃度について、その計算方法を理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
4月			2 節 希薄溶液の性質	54-61	4	蒸気圧について理解し、溶液の凝固、沸点降下が起こることを説明する。 気圧降下からの沸点と露点を説明し、凝縮点降下についても保護を立てて考える。 溶液的な組成と浸透圧について理解しまとめる。 ファン・トフの法則から分子量を求める方法を理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		第1回・第2回 4月30日
4月			3 節 コロイド	62-71	2	コロイド粒子について、その特徴を理解する。 コロイド溶液の実験を元に、その性質と現象について考察する。 懸濁コロイドと分散コロイド、保護コロイドについてそれぞれの特徴をまとめ、科学的に理解しようとする。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
4月		4 章 固体の構造	1 節 結晶	72-73	1	結晶の種類についてその特徴とともに説明する。 単方格子と配位数について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
4月			2 節 金属結晶の構造	74-77	1	金属結晶の構造について、それぞれの配列、配位数、充填率について理解する。 面心立方格子と体心立方格子をモデルから、その特徴について理解しようとする。 単方格子の一方の長さとも格子半径の関係について、数式的に考える。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
4月			3 節 イオン結晶の構造	79-81	1	金属結晶とイオン結晶の違いについて構成粒子から考える。 イオン結晶の単位格子に含まれるイオンの数と配位数について理解する。 イオン半径と結晶の安定性について科学的に考える。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
4月			4 節 分子結晶と共有結合の結晶	82-88	1	分子結晶や共有結合の結晶について、金属結晶やイオン結晶との違いを考える。 共有結合の結晶の例としてダイヤモンドの単位格子と型式、充填率について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
5月	2 編 化学反応とエネルギー	1 章 化学反応と熱・光変化	1 節 反応とエンタルピー変化	89-97	3	反応エンタルピーとその符号について表し方を説明する。 反応エンタルピーの表し方をもとに、状態変化について表す。 反応エンタルピーの種類を説明する。 反応エンタルピーの値から反応エンタルピーの求め方を考える。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
5月			2 節 ヘスの法則	98-105	2	ヘスの法則を説明する。 ヘスの法則を利用して実際の新しい反応エンタルピーを求める方法を考える。 反応エンタルピーについて説明する。 ヘスの法則を利用して、結合エンタルピーから反応エンタルピーを求める方法について考えることができる。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
5月			3 節 光とエネルギー	106-111	1	光が波であることを理解している。 化学発光について例を挙げて説明できる。	教科書・映像視聴・報告課題	○			第3回・第4回 5月31日
5月		2 章 電池と電気分解	1 節 電池	112-119	2	電池の基本的な仕組みを理解し、ダニエル電池の仕組みについて説明できる。 主な商用電池の構造について、電極の反応式をもとに説明することができる。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
5月			2 節 電気分解	120-132	3	電池と電気分解の違いについて説明し、電気分解の反応式について説明する。 各電極の反応式を表し、電極の質量変化について考える。 ファラデー定数を使って電気量と物質量の関係について説明する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
6月	3 編 化学反応の速さと平衡	1 章 化学反応の速さ	1 節 反応の速さ	133-139	2	反応物、生成物それぞれの反応の速さの表し方を理解する。 反応物の分解速度と生成物の生成速度の正しい表し方を表す。 反応速度に関する実験を行うことで、分解速度を計算し、反応速度と濃度の関係を科学的に探究する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			

学習目安月	単元及主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導 (S)		報告課題 (R)	備考
	編	章	節	項					メディア (映像・録音・学習)	本校メカテック学習指導要領		
6月			2節 反応速度を速くする条件		140-145	2	反応速度を速くする条件を理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
6月			3節 反応のしくみ		146-155	1	反応速度が実験によって求められることを理解する。 活性化エネルギーと化学反応の経路について説明する。 触媒が化学工業の発展に関わった歴史について学習したことを元に考えようとする。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
6月		2章 化学平衡	1節 可逆反応と化学平衡		156-161	2	可逆反応、不可逆反応などの用語を正しく使用して説明する。 平衡定数 K の表し方と使い方を説明する。 気体物質の平衡状態にある場合、気体の状態方程式を定式して、圧平衡定数と濃度平衡定数の関係式をつくる。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○	第5回・第6回 6月30日	
6月			2節 平衡の移動		162-173	2	ルシャトリエの原理を理解する。 温度一定で、化学反応が平衡状態にあるとき、ある成分の濃度を変化させたときの平衡状態を説明し、その平衡定数は前後で等しくなることを説明できるようにする。 圧力変化による平衡移動や、濃度変化における平衡の移動を説明する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
6月		3章 水溶液中の化学平衡	1節 電離平衡		174-179	3	酸の電離定数について、数値を用いて電離平衡の式を使って説明する。 弱酸の電離度が1よりかなり小さい場合の近似を理解することができる。 近似した式を使って、電離度 α 、水素イオン濃度を表し、弱塩基についての式変形も同様に説明することができる。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
6月			2節 塩の水への溶解		180-194	5	正塩の水溶液の性質を、科学的に説明する。 酸塩基についてその特徴を説明する。 酢酸水溶液と水酸化ナトリウム水溶液の中和反応からpH変化を緩衝作用という言葉を導入して説明する。 緩衝液が沈殿生成に寄与していることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月	4編 無機物質	1章 周期表と元素	1節 周期表と元素		7-9	1	周期表中の元素を正しく分類する。 IUPACの分類方法を知る。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月		2章 非金属元素の単体と化合物	1節 水素とその化合物		10-11	1	水素の製法・性質・用途を正しく理解する。 周期表の族を元に水素化合物の分子の形を理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月			2節 貴ガス		12	1	18族の特徴を理解し、その性質を正しく説明する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月			3節 酸素とその化合物		13-15	1	酸素の製法・性質・用途を正しく理解する。 ヨウ化カリウムデンプン紙が酸化作用の確認に使われることを説明する。 オゾン酸の特徴を理解し、その性質を正しく説明する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月			4節 ハロゲンとその化合物		16-23	3	ハロゲンの単体について正しく理解する。 ハロゲンの酸化力の違いについて理解する。 フッ化水素が他のハロゲン化水素と性質が異なる理由を考える。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
7月			5節 硫黄とその化合物		24-27	2	硫黄の単体、および化合物の製法・性質を正しく理解する。 二酸化硫黄に関する実験を通して、酸化還元反応について説明する。 溶媒法の特徴を理解する。 亜硫酸の調製方法を理由とともに説明する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
7月			6節 窒素・リンとその化合物		28-33	2	アンモニアの製法と性質を正しく理解する。 ハーバー・ボッシュ法について説明する。 オストワルト法を理解し、1つの式でまとめられる。 リンの同素体の特徴を正しく理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月			7節 炭素・ケイ素とその化合物		34-43	1	炭素の同素体の特徴を正しく理解する。 炭素の化合物について、正しく理解する。 身近に利用されているシリカゲルの製法・性質について正しく理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		第7回・第8回 7月31日	
7月		3章 典型金属元素の単体と化合物	1節 アルカリ金属とその化合物		44-49	3	アルカリ金属について、製法と性質をこれまでの学習を元正しく説明する。 過酸化ナトリウムの製法・性質を正しく理解する。 アルミニウムが空気についてその特徴を正しく理解し、原料と生成物を確認して問1を解く。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
7月			2節 アルカリ土類金属とその化合物		50-53	3	アルカリ土類金属の特徴を正しく理解する。 アルカリ土類金属の化合物の特徴・用途を正しく理解する。 アルカリ土類金属に関する実験を行い、その性質を理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月			3節 1, 2族以外の典型金属元素とその化合物		54-65	3	アルミニウムの単体の製法・性質・用途を正しく理解し、アルミニウムイオンの反応について正しく説明する。 アルミニウムの単体と化合物に関する実験を行い、その性質をまとめるとする。 鉛 (II) イオンを含む水溶液の反応を正しく理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月		4章 遷移元素の単体と化合物	1節 遷移元素の特徴		66-67	1	遷移元素と典型元素の違いを説明する。 錯イオンの基本的な表記法について正しく理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
7月			2節 遷移元素とその化合物		68-87	7	鉄とその化合物、銅イオンの反応について、正しく理解する。 Cu^{2+} の反応について、正しく理解する。 Ag^{+} の反応について、正しく理解する。 アルミニウムと亜鉛の特徴について、比較しながら理解する。 Zn^{2+} の反応について、正しく理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
7月		5章 金属イオンの分離と確認	1節 金属イオンが検出できる反応		88-91	1	金属イオンの沈殿反応について、これまでの学習を元に、まとめ理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
7月			2節 金属イオンの系統分離と確認		92-100	2	複数の金属イオンの混合溶液から金属イオンを効率よく分離する方法について、その手順を考える。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
8月	5編 有機化合物	1章 有機化合物の特徴と構造	1節 有機化合物の特徴		101-107	2	有機化合物の特徴を無機物質との違いを比較する。 有機化合物の特徴を正しく理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		

学習日・月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導 (S)		報告課題 (R)	備考
	編	章	節	項					メディア (映像授業等)	本校オンライン学習(録画)		
8月			2節 有機化合物の構造式の決定		108-117	1	有機化合物の構造式決定の手順を理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○	第9回・第10回 8月31日	
8月		2章 炭化水素	1節 飽和炭化水素		118-123	2	有機化合物の基礎となる直鎖状アルカンの名称を正しく理解する。 アルカンの構造異性体について理解する。 アルカンの性質を正しく説明する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
8月			2節 不飽和炭化水素		124-139	3	アルカンを元にアルケンやアルキンについて理解する。 システマチックな性質の特徴を正しく理解する。 アルケンの反応を理解する。 アルキンの反応や構造を理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
8月		3章 アルコールと関連化合物	1節 アルコールとエーテル		140-147	3	アルコールの構造と分類方法を正しく説明する。 アルコールの構造的特徴を元に反応を正しく説明する。 アルコールの酸化反応について、正しく理解し、生成物を考えられるようになる。 脱水反応とは何か説明でき、反応温度による、生成物の違いを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
8月			2節 アルデヒドとケトン		148-153	3	アルデヒドとケトンの生成についてアルコールの学習から正しく考える。また、ヨードホルム反応を生じる化合物の構造的特徴について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
8月			3節 カルボン酸		154-159	3	これまでの学習を元に、カルボン酸について理解する。 カルボン酸の生成について、アルコールの学習から正しく考える。 カルボン酸の酸化について、理解する。 天然由来分子とは何かを知り、分子構造を作ることで構造異性体の関係について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
8月			4節 エステル・油酸・セッケン		160-171	2	エステルの構造と特徴について、正しく理解する。 油酸とは何か、構造とともに正しく説明する。 xà 鹸化と xà 垢の形成について理解する。 セッケンの特徴をこれまでの学習を元に、理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
9月		4章 芳香族化合物	1節 芳香族炭化水素		172-177	2	ベンゼンの構造について、炭素環状化合物の学習を元に理解する。 ベンゼンの構造式について、その歴史を知る。 芳香族化合物とは何か理解し、代表的な芳香族炭化水素を挙げる。また、その反応について、正しく理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
9月			2節 フェノール類と芳香族カルボン酸		178-187	4	フェノール類の性質について、同じ OH 基を持つアルコールと比較したり、酸の強弱を考えたりするなどして、正しく理解する。 フェノールのさまざまな製法、使用する試薬とともに考える。 芳香族カルボン酸の性質を正しく理解し、サリチル酸の反応の特徴を考える。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○		
9月			3節 芳香族アミンとアゾ化合物		188-191	3	アミンが塩基性である理由を考える。 アゾリンの合成方法を正しく理解する。 アゾ化合物とその特徴について理解する。 アゾカップリングについてその構造と用途について正しく理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
9月			4節 芳香族化合物の分離		192-208	2	これまでの学習を元に、複数の芳香族化合物の混合を分離する方法を、化合物の知識から考える。 芳香族化合物の性質の別を加え試薬とそれぞれの反応について考える。 実験手順を考え、意見交換し、操作について考える。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
9月	6編 高分子化合物	1章 高分子化合物とは何か	1節 高分子化合物の分類と特徴		209-215	2	高分子化合物とは何か、正しく説明する。 重合と重合剤について理解し、その重合について考える。 天然高分子化合物の構造について、正しく理解する。 平均分子量の概念を理解し、結晶構造や融点について考える。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
9月		2章 天然高分子化合物	1節 単糖類と二糖類		216-221	3	糖に関する実験を行い、構造の特徴について考える。 糖の基本的な表し方、構造、特徴について正しく理解する。 糖鎖との関係を考えながら分子式を考える。 それぞれの構造を理解し、還元性を示さない糖の特徴を説明する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		第11回・第12回 9月30日	
9月			2節 多糖類		222-229	3	デンプンの構造について正しく理解する。 デンプンに関する実験を行い、糖の加水分解について正しく理解する。 セルロースとデンプンの相違について考える。 ニトロセルロースについて正しく理解する。 両性糖について正しく理解する。 支链糖鎖についてそれぞれの糖を知る。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
9月			3節 アミノ酸		230-235	3	α-アミノ酸について、正しく理解する。 アミノ酸とタンパク質についての関係を理解する。 アミノ酸の電気泳動について、理解する。 アミノ酸の電離平衡と等電点について、考える。 アミノ酸の反応について、その構造から説明する。 ペプチドについて正しく理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
9月			4節 タンパク質		236-249	3	タンパク質の分類と分類について正しく説明する。 タンパク質の性質について、その特徴から考える。 タンパク質の定性の身近な利用について理解する。 タンパク質の定性反応について正しく理解する。 タンパク質の性質について、無機物との違いを考える。 すべての生物の細胞に含まれている細胞について、その構造とはたらきを知る。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
9月		3章 合成高分子化合物	1節 合成繊維		250-255	3	ナイロンの構造について、正しく理解する。 ポリエステルテレフタレートについて、正しく理解する。 ビニロンの製法について、これまでの学習から正しく理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
9月			2節 合成樹脂		256-261	2	熱可塑性樹脂について、正しく理解する。 熱硬化性樹脂について、熱可塑性樹脂との違いを元々考える。 フェノール樹脂の製法について正しく理解する。 イオン交換樹脂について正しく説明する。 イオン交換樹脂の利用と再生について、構造から説明する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
9月			3節 ゴム		262-273	2	天然ゴムについて、その特徴を正しく理解する。 合成ゴムについて、その構造も合わせて正しく理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
10月	7編 化学が果たす役割	1章 化学的性質の利用と工業的製法	1節 ハロゲン化水素と酸化還元反応の応用		274-278	1	身近にある化学物質についてその方法を考える。 酸化還元反応から、考え方を説明する。 これまでの学習と、生活の中の学習を結びつけて考える。 ヨウジメトリーという方法を理解する。 この節を通して、様々な物質がそれぞれの特徴を生かして人間生活の中で利用され、日常生活が安全で豊かな	教科書・映像視聴・報告課題	○		映像視聴報告 10月31日	
10月			2節 物質の工業的製法		279-283	1	これまでの学習を元に、化学と社会との関わりを養つた内容を振り返る。発見してきた知識や科学的技術の発展について、科学的な眼差しに基づいて考察する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
10月		2章 未来を創る化学	1節 物質を通して未来を創る		284-288	1	物質の機能について、学習したものを整理として、様々なものがあることを知り、これまでに発見してきた問題や、未来への課題について考える。	教科書・映像視聴・報告課題	○			

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導 (S)		報告課題 (R)	備考
	編	章	節	項					メディア (映像視聴学習)	本校スクリーン指導時間	総切期限	
10月			2節 物質を通して未来を 考える		299-298	1	ハンバー・ポッシュ法の改善点について考える。 ハンバー・ポッシュ法だけでなく、様々な課題について自分なりに考え、まとめる。	教科書・映像視 聴・報告課題	○			

140

【学習上の注意】

- ☞「化学基礎」で学んだことも考慮しながら取り組んでください。
- ☞教科書のQRコードで実験等の動画を見ることができるので、積極的に活用してください。

【映像視聴について】

指示された所定時間、所定回数以上を視聴・学習すること。
<https://www3.tokyo-shoseki.co.jp/api/wjrus/index.php?encode=off&id=5tka>

【学習評価】

*主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点	評価基準
知識・技能	・化学的な事象・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察・実験などに関する基本的な技能を身に付けている。
思考・判断・表現	・化学的な事象・現象を観察、実験などを行い、科学的に探究する力が身につけている。
主体的に学習に取り組む態度	・日常生活や社会の化学的な事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。

【単位修得認定基準】

- ①報告課題（レポート）：12回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- ②面接指導（スクリーング）：実施校で行われる面接指導に7単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。
- ③単位認定試験の得点：単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位数	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
理科	生物	通年	選択科目	4	140単位数時間 (50分×140)	7単位数時間	東京書籍『生物』 東京書籍生物701	授業者に準ずる	前田 尚希

【教科学習を通じて、育てたい生徒像(カリキュラムマネジメント)】
生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を身に付ける。

【学習目標】
(知識・技能) 生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。
(思考・判断・表現) 観察、実験などを通して、科学的に探究する力を身に付ける。
(主体的に取り組む態度) 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

【学習方法】
①メディア授業 生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。
②本校スクーリング 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付ける。
③報告課題(レポート) 基本的な生物基礎の知識を得て、生物や生物現象について理解する。

○メディア箇所全て
◎メディア視聴報告書箇所

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位数時間	学習到達目標	学習教材	面接指導(S)		報告課題(R) 締切期限	備考	
	編	章	節	項					メディアA (録音視聴学習)	メディアB (録音スクーリング学習)			
4月	生物の進化	生命の起源と細胞の進化	共通性と多様性をつなぐ進化		8-11	2	地球上で生息する生物の多様性は、進化の結果生じたものであることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		第1回 4月30日		
4月	生物の進化	生命の起源と細胞の進化	生命の誕生		12-15	3	無機物から有機物であるアミノ酸が合成できることを理解する。 実験から無機物から有機物が合成できることを理解する。 細胞の起源について理解し、生命の誕生について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○			
4月	生物の進化	生命の起源と細胞の進化	生物の多様性と地球環境の変化		16-23	2	初期の生物の特徴について理解する。 シニアバクテリアの誕生と酸素発生上昇についての関係を理解する。 大気中の酸素濃度の上昇はどのような生物の活動によるものであるかを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○			
4月	生物の進化	生命の起源と細胞の進化	まとめ		24-25	1	1編1章で学習した内容を生物用語で振り返る。 1編1章で学習した内容を図で振り返る。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○			
4月	生物の進化	遺伝子の変化と進化のしくみ	遺伝的変異		26-29	2	DNAの複製時に変化が生じるとともに、形質に変異が起こるしくみを理解する。 DNAの複製時にエラーが生じることがあることを理解する。 遺伝子レベルと染色体レベルで起こる突然変異の違いを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○				
4月	生物の進化	遺伝子の変化と進化のしくみ	多様な遺伝的変異をもたらす有性生殖		30-39	3	有性生殖の特徴について理解する。 遺伝的変異について理解する。 減数分裂について理解する。 減数分裂では多様な配子を生み出すため、生物の多様性を生み出すことと理解する。 遺伝子の連鎖と独立について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○				
4月	生物の進化	遺伝子の変化と進化のしくみ	進化の定義と自然選択による進化		40-43	2	自然選択による進化が起こる条件について理解する。 自然選択についてダーウィンの考えを説明する。 適応進化について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○				
4月	生物の進化	遺伝子の変化と進化のしくみ	遺伝子レベルでの進化		44-51	2	遺伝子プールについて理解する。 遺伝子プールと遺伝子頻度について理解する。 遺伝子頻度について理解する。 分子進化と中立説の違いを理解する。 ハーディ・ワインベルグの法則を理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		第2回 4月30日		
4月	生物の進化	遺伝子の変化と進化のしくみ	種分化		52-55	1	種分化のしくみについて理解する。 ここまでで学習した用語を使って、遺伝子の変化と進化のしくみについて整理する。 種多様性のしくみ、共通祖先および適応放射について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○				
4月	生物の進化	遺伝子の変化と進化のしくみ	まとめ		56-57	1	1編2章で学習した内容を生物用語で振り返る。 1編2章で学習した内容を図で振り返る。	教科書・映像視聴・報告課題	○				
5月	生物の進化	生物の系統と進化	生物の系統		58-63	2	生物の系統関係の解明方法について理解する。 系統樹に基づき系統関係について理解する。 分子時計についての理解を深める。 形態的比較、化石の研究から系統の解明について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○			
5月	生物の進化	生物の系統と進化	生物の系統分類		64-71	2	種と属名、階級分類について理解する。 ドメインについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○			
5月	生物の進化	生物の系統と進化	霊長類のなかのヒト		72-75	2	霊長類の系統について理解する。 ヒトと類人猿の違いを理解する。 ゴリラとヒトの骨格の違いを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○	第3回 5月31日		
5月	生物の進化	生物の系統と進化	人類の出現と変遷		76-79	2	初期の人類の特徴について理解する。 原人、直立人について理解する。 人類という概念について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○				
5月	生物の進化	生物の系統と進化	まとめ		80-81	1	1編3章で学習した内容を生物用語で振り返る。 1編3章で学習した内容を図で振り返る。	教科書・映像視聴・報告課題	○				
5月	生命現象と物質	細胞と物質	細胞を構成する成分		88-91	2	細胞を構成する成分について理解する。 細胞が、水、タンパク質、核酸、炭水化物、脂質、無機物などの成分によって構成されていることを理解する。 化学の基礎知識について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○			
5月	生命現象と物質	細胞と物質	生体膜のはたらき		92-95	2	生体膜のはたらきと構造について理解する。 界面活性剤の構造と作用について理解する。 生体膜の透過について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○			
5月	生命現象と物質	細胞と物質	細胞の構造		96-102	2	真核細胞の構造とはたらきについて理解する。 動物細胞に特有な構造について理解する。 エネルギーの変換にかかわる構造について理解する。 タンパク質の合成にかかわる構造について理解する。 細胞分裂について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○			

5月	生命現象と物質	細胞と物質	タンパク質の構造	103-109	1	・アミノ酸の構造、タンパク質の構造について理解する。 ・タンパク質の構造の表方法について理解する。 ・タンパク質のフォールディングと変性について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			第4回 5月31日	
5月	生命現象と物質	細胞と物質	酵素として働くタンパク質	110-119	2	・活性化エネルギーと酵素について理解する。 ・活性化エネルギーと反応速度について理解する。 ・基質濃度と反応速度の関係について理解する。 ・酵素の反応速度の特性について理解する。 ・酵素反応の阻害について理解する。 ・酵素反応の阻害について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○				
5月	生命現象と物質	細胞と物質	生命現象とタンパク質	120-123	2	・生体内での物質の輸送について理解する。 ・チャネル、担体、ポンプのはたらきについて理解する。 ・細胞間で情報伝達が行われるようにおこなわれるものを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○				
5月	生命現象と物質	細胞と物質	まとめ	124-125	1	・2編1章で学習した内容を生物用語で振り返る。 ・2編1章で学習した内容を図で振り返る。	教科書・映像視聴・報告課題	○				
6月	生命現象と物質	代謝とエネルギー	代謝とエネルギー	128-131	1	・化学反応とエネルギーについて理解する。 ・代謝とATPについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		○		
6月	生命現象と物質	代謝とエネルギー	呼吸	132-140	3	・呼吸の反応経路と反応の場について理解する。 ・解糖系、クエン酸回路、電子伝達系について理解する。 ・解糖系でどのようにATPが合成されるか理解する。 ・解糖系の流れを理解し、またどのような基質があるかを理解する。 ・解糖系におけるエネルギーの変化を理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		○		
6月	生命現象と物質	代謝とエネルギー	発酵	141-144	1	・発酵と呼吸の違いについて理解する。 ・発酵の種類について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		○	第5回 6月30日	
6月	生命現象と物質	代謝とエネルギー	光合成	145-153	2	・光合成反応の過程と反応の場について理解する。 ・チクロイド膜の反応について理解する。 ・光合成の反応について理解する。 ・光合成の反応とエネルギーについて理解する。 ・呼吸における電子伝達系との相違と共通点を考え、まとめる。	教科書・映像視聴・報告課題	○				
6月	生命現象と物質	代謝とエネルギー	まとめ	154-155	1	・2編2章で学習した内容を生物用語で振り返る。 ・2編2章で学習した内容を図で振り返る。	教科書・映像視聴・報告課題	○				
6月	遺伝情報の発現と発現	遺伝情報とその発現	DNAの構造	162-163	1	・DNAの二重らせん構造について理解する。 ・DNAの方向性について理解する。 ・DNAの本鎖は互いに逆向き並び、塩基対を形成し、二重らせん構造をとっていることを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		○		
6月	遺伝情報の発現と発現	遺伝情報とその発現	DNAの複製	164-167	2	・メセルソンとスタールの実験からDNAの半保存的複製についての理解を深める。 ・DNAの複製の過程について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		○		
6月	遺伝情報の発現と発現	遺伝情報とその発現	遺伝情報の流れ	168-169	1	・セントラルドグマについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		○		
6月	遺伝情報の発現と発現	遺伝情報とその発現	RNAと転写	170-175	2	・RNAの構造と種類、おもなはたらきについて理解する。 ・転写のしくみについて理解する。 ・セントラルドグマと異なる遺伝情報の流れについての理解を深める。 ・真核生物の遺伝子の構造とRNAの加工について理解する。 ・逆転写スクリプティングについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○			第6回 6月30日	
6月	遺伝情報の発現と発現	遺伝情報とその発現	翻訳のしくみ	176-181	2	・コドンと遺伝情報について理解する。 ・tRNAのはたらきについて理解する。 ・翻訳の過程について理解する。 ・原核生物のタンパク質合成について理解する。 ・これまで学習した用語を使って、セントラルドグマについて図で整理する。	教科書・映像視聴・報告課題	○				
6月	遺伝情報の発現と発現	遺伝情報とその発現	遺伝情報の変化	182-185	1	・突然変異とアミノ酸配列について理解する。 ・DNA多型について理解する。 ・DNAを傷つけるものについて理解する。 ・DNAの修復と突然変異について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○				
6月	遺伝情報の発現と発現	遺伝情報とその発現	まとめ	186-187	1	・3編1章で学習した内容を生物用語で振り返る。 ・3編1章で学習した内容を図で振り返る。	教科書・映像視聴・報告課題	○				
7月	遺伝情報の発現と発現	発生と遺伝子発現	原核生物の遺伝子発現の調節	190-195	2	・本題と塩基について理解する。 ・本題の塩基に対する応答を理解する。 ・原核生物の基本的転写調節について理解する。 ・オロン阻害の機構をつなぐ大腸菌変異株の発現について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○				
7月	遺伝情報の発現と発現	発生と遺伝子発現	真核生物の遺伝子発現の調節	196-198	2	・真核生物の遺伝子発現の調節について理解する。 ・細胞外の環境に応じた遺伝子発現の調節について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		○		
7月	遺伝情報の発現と発現	発生と遺伝子発現	近代的遺伝子発現と細胞分化	199-201	1	・分化した細胞の遺伝子発現について理解する。 ・遺伝子発現調節の決定と細胞の分化について理解する。 ・遺伝子発現の考え方について理解を深める。 ・IPS細胞の発生について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		○		
7月	遺伝情報の発現と発現	発生と遺伝子発現	動物の発生	202-211	2	・動物の胚発生について理解する。 ・卵と精子について理解する。 ・受精について理解する。 ・受精後から胚発生について理解する。 ・原腸形成から胚発生について理解する。 ・発生から成体になるまでについて理解する。 ・受精から胚発生について理解する。 ・原腸形成について理解する。 ・神経線維から胚発生について理解する。 ・胚発生から成体になるまでについて理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		○		第7回 7月31日
7月	遺伝情報の発現と発現	発生と遺伝子発現	胚の形成の発生と遺伝子発現	212-215	1	・胚形成での細胞の動きと発生調節について理解する。 ・発生分布と細胞分化について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		○		
7月	遺伝情報の発現と発現	発生と遺伝子発現	発生現象と遺伝子発現の調節	216-225	2	・細胞決定因子について理解する。 ・カミルの実験で示される細胞の決定と遺伝子の決定について理解する。 ・発生は調節因子で制御される遺伝子について理解する。 ・ショウジョウバエの発生調節について理解する。 ・調節について理解する。 ・中胚葉誘導と遺伝子発現について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○				

7月	遺伝情報の発現と発生	発生と遺伝子発現	動物の形と調節遺伝子の発現		226-231	2	<ul style="list-style-type: none"> 動物の体の形を決める遺伝子について理解する。 ホモオティック遺伝子とホウオス遺伝子について理解する。 動物の形づくりとホウオス遺伝子について理解する。 	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月	遺伝情報の発現と発生	発生と遺伝子発現	まとめ		232-233	1	<ul style="list-style-type: none"> 3編2章で学習した内容を生物用語で振り返る。 3編2章で学習した内容を図で振り返る。 	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月	遺伝情報の発現と発生	遺伝子を扱う技術	遺伝子を増殖する技術		238-239	1	<ul style="list-style-type: none"> 制限酵素によるDNAの切断について理解する。 DNAクローニングについて理解する。 ポリマーゼ連鎖反応について理解する。 	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月	遺伝情報の発現と発生	遺伝子を扱う技術	塩基配列を解読する技術		240-243	1	<ul style="list-style-type: none"> 電気泳動のしくみについて理解する。 サンダー法について理解する。 ゲムアジュエクトについて理解する。 塩基多型 (SNP) を利用した医療について理解する。 	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月	遺伝情報の発現と発生	遺伝子を扱う技術	遺伝子組換え技術の利用		244-251	2	<ul style="list-style-type: none"> 大腸菌への遺伝子導入について理解する。 増殖した細菌細胞を用いた医薬品の生産について理解を深める。 動物体への遺伝子導入について理解する。 ノックアウトマウスについて理解する。 	教科書・映像視聴・報告課題	○		第8回 7月31日	
7月	遺伝情報の発現と発生	遺伝子を扱う技術	遺伝子や細胞を扱う技術の課題		252-255	2	<ul style="list-style-type: none"> 遺伝子や細胞を扱う技術の課題について理解する。 遺伝子を扱う技術の光と影について理解を深める。 遺伝子や細胞を扱う技術の課題について、自分の考えをまとめる。 	教科書・映像視聴・報告課題	○			
7月	遺伝情報の発現と発生	遺伝子を扱う技術	まとめ		256-257	1	<ul style="list-style-type: none"> 3編3章で学習した内容を生物用語で振り返る。 3編3章で学習した内容を図で振り返る。 	教科書・映像視聴・報告課題	○			
8月	生物の環境応答	動物の刺激の受容と反応	刺激の受容から反応への流れ		264-266	1	<ul style="list-style-type: none"> 情報の伝達と反応について理解する。 ニューロンについて理解する。 	教科書・映像視聴・報告課題	○			
8月	生物の環境応答	動物の刺激の受容と反応	ニューロンの興奮		267-270	2	<ul style="list-style-type: none"> 静止電位と活動電位について理解する。 伝わりやすさの調節について理解する。 	教科書・映像視聴・報告課題	○			
8月	生物の環境応答	動物の刺激の受容と反応	興奮の伝導		271-273	1	<ul style="list-style-type: none"> 興奮の伝導について理解する。 神経伝達について理解する。 	教科書・映像視聴・報告課題	○			
8月	生物の環境応答	動物の刺激の受容と反応	興奮の伝達		274-277	2	<ul style="list-style-type: none"> シナプスと情報の伝達のしくみを理解する。 電気シナプスと化学シナプスについて理解する。 	教科書・映像視聴・報告課題	○			
8月	生物の環境応答	動物の刺激の受容と反応	刺激の受容と感覚		278-285	2	<ul style="list-style-type: none"> 動物が、さまざまな刺激を受容器によって受容していることを理解する。 光刺激の受容と夜視について理解する。 音刺激について理解する。 	教科書・映像視聴・報告課題	○			
8月	生物の環境応答	動物の刺激の受容と反応	中枢神経系での情報処理		286-289	2	<ul style="list-style-type: none"> 中枢神経系について理解する。 反射について理解する。 	教科書・映像視聴・報告課題	○		第9回 8月31日	
8月	生物の環境応答	動物の刺激の受容と反応	効果器		290-293	1	<ul style="list-style-type: none"> 筋肉の構造について理解する。 筋収縮のコントロールについて理解する。 	教科書・映像視聴・報告課題	○			
8月	生物の環境応答	動物の刺激の受容と反応	まとめ		294-295	1	<ul style="list-style-type: none"> 4編1章で学習した内容を生物用語で振り返る。 4編1章で学習した内容を図で振り返る。 	教科書・映像視聴・報告課題	○			
8月	生物の環境応答	動物の行動	動物の行動とは		298-301	2	<ul style="list-style-type: none"> 動物の行動をめぐり4つなげについて理解する。 行動発生のしくみについて理解する。 行動の生物学的意義と習得的意義について理解する。 	教科書・映像視聴・報告課題	○			
8月	生物の環境応答	動物の行動	刺激の受容と行動		302-308	2	<ul style="list-style-type: none"> 行動の神経メカニズムについて理解する。 カギトを提示してメカニズムについて理解する。 遺伝子工学による神経系の遺伝子操作について理解する。 神経科学における脳動ロボットの利用について理解する。 	教科書・映像視聴・報告課題	○			
8月	生物の環境応答	動物の行動	学習のしくみ		309-315	2	<ul style="list-style-type: none"> 習得の神経メカニズムについて理解する。 記憶と学習について理解する。 古典的条件付けについて理解する。 	教科書・映像視聴・報告課題	○			
8月	生物の環境応答	動物の行動	まとめ		316-317	1	<ul style="list-style-type: none"> 4編2章で学習した内容を生物用語で振り返る。 4編2章で学習した内容を図で振り返る。 	教科書・映像視聴・報告課題	○			
8月	生物の環境応答	植物の環境応答	被子植物の生殖と発生		318-321	2	<ul style="list-style-type: none"> 被子植物の配子形成と受精について理解する。 被子植物の胎生の発生について理解する。 	教科書・映像視聴・報告課題	○			
8月	生物の環境応答	植物の環境応答	植物の一生の出来事と環境の影響		322-323	1	<ul style="list-style-type: none"> 植物を取り巻く環境要因について理解する。 	教科書・映像視聴・報告課題	○			
8月	生物の環境応答	植物の環境応答	植物ホルモンの光受容体		324-327	2	<ul style="list-style-type: none"> 植物ホルモンの作用について理解する。 光受容体について理解する。 	教科書・映像視聴・報告課題	○			

8月	生物の種構成答	植物の種構成答	環境要因による発芽の 調節		328～333	2	<ul style="list-style-type: none"> ・種子の休眠と発芽について理解する。 ・光による発芽の調節について理解する。 ・温度による発芽の調節について理解する。 	教科書・映像視 聴・報告課題	○	
----	---------	---------	------------------	--	---------	---	---	-------------------	---	--



8月	生物の環境応答	植物の環境応答	茎や根の成長と環境要因の影響	334～341	2	・茎の伸長成長と根の成長の調節について理解する。 ・根の成長の調節について理解する。 ・湿度と根性について理解する。	教科書・映像視聴 ・報告課題	○		第10回 8月31日	
8月	生物の環境応答	植物の環境応答	気孔の開閉の調節と環境要因の影響	342～345	1	・気孔の開閉のしくみと環境の変化について理解する。 ・青色光による気孔開閉の調節の上昇について理解を深める。	教科書・映像視聴 ・報告課題	○			
8月	生物の環境応答	植物の環境応答	花芽形成と環境要因の影響	346～353	2	・花芽形成と日長の関係について理解する。 ・高温赤モシとその関係について理解する。 ・低温赤モシの実体の解明について理解する。 ・花芽形成に影響を及ぼすその他の要因について理解する。	教科書・映像視聴 ・報告課題	○			
8月	生物の環境応答	植物の環境応答	果実の形成と成熟のしくみ	354～356	1	・果実の形成、成長と植物ホルモンについて理解する。 ・果実の成熟と植物ホルモンについて理解する。 ・植物ホルモンの農業への応用について理解する。	教科書・映像視聴 ・報告課題	○			
8月	生物の環境応答	植物の環境応答	器官の老化と脱落のしくみ	357～359	1	・葉の老化と脱落について理解する。	教科書・映像視聴 ・報告課題	○			
8月	生物の環境応答	植物の環境応答	まとめ	360～361	1	・4編3章で学習した内容を生物用語で振り返る。 ・4編3章で学習した内容を図で振り返る。	教科書・映像視聴 ・報告課題	○			
9月	生態と環境	個体群と生物群落	生態系からみた生物	370～371	1	・日本及び世界の個体群が属している生物について理解する。 ・個体群の密度が多様性の維持にとって重要であることを理解する。 ・人間活動の影響により、個体群が属している生物はかつては多く、減少している生物が存在することを理解する。	教科書・映像視聴 ・報告課題	○		第11回 9月30日	
9月	生態と環境	個体群と生物群落	個体群と環境	372～375	2	・個体群のなかに個体どうしの関係や、種と個体群どうしの関係があることについて理解する。 ・個体群密度の考え方とその測定方法について理解する。 ・個体群のなかに個体の分布様式は、集中分布、一様分布、ランダム分布があることを理解する。 ・個体の分布様式によって、個体群の大きさの測定方法に違いがあることを理解する。	教科書・映像視聴 ・報告課題	○			
9月	生態と環境	個体群と生物群落	個体群の構造と成長	376～383	2	・個体群の成長は成長曲線の形をとることを理解する。 ・個体群密度によって個体の性質が異なるのは、密度効果による影響であることを理解する。 ・集中分布する生物について、個体の移動が個体群の維持に役立っていることを理解する。	教科書・映像視聴 ・報告課題	○			
9月	生態と環境	個体群と生物群落	個体群の相互作用	384～389	2	・動物のなかに競争関係をもつ生物がいることを理解する。 ・競争をもつことによる利点を理解する。 ・群れをつくることによる利益と利点を理解する。 ・社会性昆虫の特徴について理解する。 ・アリ-菌類について理解する。	教科書・映像視聴 ・報告課題	○			
9月	生態と環境	個体群と生物群落	種間の相互作用	390～395	2	・競争の経緯について理解する。 ・競争物が光をめぐる競争を回避する生態的特徴をもっていることを理解する。 ・種間関係のうち、両方に利益をもたらす関係を相利共生ということを理解する。	教科書・映像視聴 ・報告課題	○			
9月	生態と環境	個体群と生物群落	生物群落の成り立ちと多種の共存	396～401	2	・物理的・空間的なすみ分けについて理解する。 ・多種の生物の共存とすみわけの関係を理解する。 ・競争者の存在によって、多種の生物が共存できなくなることを理解する。 ・ネストン種について理解する。 ・中規模種理論について理解する。	教科書・映像視聴 ・報告課題	○			
9月	生態と環境	個体群と生物群落	まとめ	402～403	1	・5編1章で学習した内容を生物用語で振り返る。 ・5編1章で学習した内容を図で振り返る。	教科書・映像視聴 ・報告課題	○			
9月	生態と環境	生態系の物質生産と物質循環	実物観と物質生産	406～411	3	・物質生産について理解する。 ・生態系全体のエネルギーの調節について理解する。 ・炭素は生態系を循環していることを理解する。 ・生態系全体の物質の循環について理解する。 ・生態系全体の物質の循環について理解する。 ・窒素固定について理解する。	教科書・映像視聴 ・報告課題	○	○	第12回 9月30日	
9月	生態と環境	生態系の物質生産と物質循環	生態系の物質収支と生態ピラミッド	412～417	3	・生産者の物質収支について、周囲の条件と関係を理解する。 ・森林の物質収支の特徴を理解する。 ・生産者の物質収支について理解する。 ・植物の形状と生態系生産との関係について理解を深める。 ・バイオームごとの生態系生産量と収容量の関係や特徴を理解する。 ・年降水量や年平均気温と生態系生産との関係を理解する。	教科書・映像視聴 ・報告課題	○	○		
9月	生態と環境	生態系の物質生産と物質循環	まとめ	418～419	1	・5編2章で学習した内容を生物用語で振り返る。 ・5編2章で学習した内容を図で振り返る。	教科書・映像視聴 ・報告課題	○			
9月	生態と環境	生態系と人間生活	生物多様性	420～423	2	・種の多様性の定義について理解する。 ・絶滅速度について理解する。 ・遺伝的多様性の定義について理解する。 ・生態系の多様性の定義について理解する。	教科書・映像視聴 ・報告課題	○			
9月	生態と環境	生態系と人間生活	人類社会の文化と生態系	424～429	2	・環境中のリンや窒素の濃度が高くなった場合の影響を理解する。 ・地球温暖化とその原因及び影響について理解する。 ・人間が環境中に放出した化学物質による、生態系への影響について理解する。	教科書・映像視聴 ・報告課題	○			
9月	生態と環境	生態系と人間生活	生態系の復元	430～435	2	・外来生物と在来生物について理解する。 ・外来生物がもたらす影響について理解する。 ・外来生物の駆除がもたらす影響について理解する。	教科書・映像視聴 ・報告課題	○			
10月	生態と環境	生態系と人間生活	人間は自然とどう付き合っていたらよいか	436～439	2	・社会の高度が生態系や環境にもたらした影響について理解する。 ・生物多様性の回復について理解する。 ・生態系回復の利得について理解する。 ・自然と共生する社会の実現に向けて、私たちが取らねばならないことを理解する。	教科書・映像視聴 ・報告課題	○		映像視聴報告 10月31日	
10月	生態と環境	生態系と人間生活	まとめ	440～441	1	・5編3章で学習した内容を生物用語で振り返る。 ・5編3章で学習した内容を図で振り返る。	教科書・映像視聴 ・報告課題	○			

計140単位時間

【学習上の注意】

☞教科書を参考にしながら、丁寧に課題へ取り組みましょう。

【映像視聴について】

指示された所定時間、所定回数以上を視聴・学習すること。

<https://www3.tokyo-shoeki.co.jp/aoi/wjwq/index.php?mancode=nh&id=5rak>

【学習評価】

*主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点	評価基準
知識・技能	・日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。
思考・判断・表現	・観察、実験などを通して、科学的に探究する力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	・生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

【単位認定基準】

- ①報告課題（レポート）：12回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- ②面接指導（スクーリング）：委託校で行われる面接指導に7単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。
- ③単位認定試験の得点：単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間自主学習単位数	必要面接回数	使用教科用図書	副教材	担当
保健体育	保健1	適年	必修	1	35単位数時間 (50分×35)	1単位数時間	現代保健体育 大修館書店 保体701	授業者に準ずる	安住 章市

【教科学習を通じて、育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】

生涯において、健康について正しく理解し、自分の健康的な姿を考えることができる。また、日常生活に活かすことができる。

【学習目標】

- (知識・技能) 自他や社会の健康・安全について理解を深めることができる。
- (思考・判断・表現) 心身の健康・安全についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断することができ、目的や状況に応じて他者に伝えと自ら行動することができる。
- (主体的に取り組む態度) 健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。

【学習方法】

- ①本校スクーリング 運動と健康との関わりについて理解し、実生活で活かせるようにする。
- ②報告課題（レポート） 心身の健康や安全についての知識の理解を深め、自ら行動する力につながる土台を作る。

【年間学習計画】

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位数	学習到達目標	学習教材	面接指導 (S)	報告課題	備考
	編	章	節	項							
4月	保健編	現代社会と健康		健康の考え方と成り立ち	p.6,7	2	健康についての理解を深め、自身の健康について考えることができる。	教科書、映像授業、報告課題			
4月	保健編	現代社会と健康		私たちの健康の姿	p.8,9	1	自他や社会が健康問題について理解し、課題解決に向けて自分の考えを言えることができる。	教科書、映像授業、報告課題			
4月	保健編	現代社会と健康		生活習慣病の予防と回復	p.12,13	2	生活習慣病について理解し、自分のできる予防策を考えることができる。	教科書、映像授業、報告課題			
4月	保健編	現代社会と健康		がんの原因と予防	p.14,15	1	がんの発生や原因について理解し、がんの予防について説明できるようにする。	教科書、映像授業、報告課題			
4月	保健編	現代社会と健康		がんの治療と回復	p.16,17	2	がんの治療法について説明できるようにする。	教科書、映像授業、報告課題			
4月	保健編	現代社会と健康		運動と健康	p.20,21	2	運動と健康の関係性について理解し、日常生活で活かす方法を考えることができる。	教科書、映像授業	○	第1回 4月30日	
5月	保健編	現代社会と健康		食事と健康	p.22,23	1	食事と健康の関係性について理解し、健康的な食生活が送れるようになる。	教科書、映像授業			
5月	保健編	現代社会と健康		休養・睡眠と健康	p.24,25	1	休養・睡眠と健康の関係性について理解し、健康に良い睡眠について説明できるようにする。	教科書、映像授業、報告課題			
5月	保健編	現代社会と健康		喫煙と健康	p.28,29	1	喫煙が自身の健康に及ぼす影響について理解し、自身の対策を考えることができる。	教科書、映像授業、報告課題			
5月	保健編	現代社会と健康		飲酒と健康	p.30,31	2	飲酒が及ぼす影響について理解し、その対策について説明することができる。	教科書、映像授業、報告課題			
5月	保健編	現代社会と健康		薬物乱用と健康	p.32,33	1	薬物乱用が健康に及ぼす影響について理解し、対策を学び、自分自身の身を守ることをできるようにする。	教科書、映像授業、報告課題			
6月	保健編	現代社会と健康		精神疾患の特徴	p.36,37	1	精神疾患の特徴を学び、発病の原因と治療法について説明できる。	教科書、映像授業、報告課題			
6月	保健編	現代社会と健康		精神疾患の予防	p.38,39	2	精神疾患の予防について理解し、日常生活で活かすことができるようになる。	教科書、映像授業、報告課題			
6月	保健編	現代社会と健康		精神疾患からの回復	p.40,41	1	精神疾患から回復するために必要な環境について自分の考えをまとめることができる。	教科書、映像授業、報告課題			
6月	保健編	現代社会と健康		現代の感染症	p.44,45	2	現代の感染症の種類について理解し、感染予防対策について説明できるようにする。	教科書、映像授業、報告課題			
7月	保健編	現代社会と健康		感染症の予防	p.46,47	1	感染症の予防について理解を深め、日常生活の中でどのように活かすかを考えることができる。	教科書、映像授業、報告課題		第2回 6月30日	
7月	保健編	現代社会と健康		性感染症・エイズとその予防	p.48,49	1	性感染症と性感染症の予防について理解し、日常生活での対策を考えることができる。	教科書、映像授業、報告課題			
7月	保健編	現代社会と健康		健康に関する意思決定・行動選択	p.52,53	2	意思決定・行動選択について理解し、自分なりの考えとしていくための具体的な場面事例に考えることができる。	教科書、映像授業、報告課題			
7月	保健編	現代社会と健康		健康に関する関わり	p.54,55	1	健康の保持増進していくための環境にはどのようなものがあるのかを説明できるようにする。	教科書、映像授業、報告課題			
8月	保健編	安全な社会生活		事故の現状と発生要因	p.60,61	1	事故の発生について理解し、人的要因と環境要因の違いを具体的に挙げ説明できるようにする。	教科書、映像授業、報告課題			
9月	保健編	安全な社会生活		安全な社会の形成	p.62,63	1	安全な社会が送れるように個人の行動として必要なことを具体的に挙げ説明できる。	教科書、映像授業			
9月	保健編	安全な社会生活		交通における安全	p.64,65	2	交通安全について理解を深め、危険予測・危険回避能力を身につける。	教科書、映像授業、報告課題			
10月	保健編	安全な社会生活		応急手当ての意義とその基本	p.68,69	1	応急手当ての重要性について理解し、その必要性について説明することができる。	教科書、映像授業、報告課題		第3回 10月31日	
10月	保健編	安全な社会生活		日常的な応急手当て	p.70,71	1	日常的な応急手当ての手順について学び、実際にできるようにする。	教科書、映像授業、報告課題			
10月	保健編	安全な社会生活		心臓蘇生法	p.72,73	2	心臓蘇生法の順序を学び、日常生活で自分のできることは何かを考えることができる。	教科書、映像授業、報告課題			

【学習評価】

*主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点	評価基準
知識・技能	社会生活における自他の健康・安全について理解することができる。その技能も獲得することができる。
思考・判断・表現	自他や社会における課題を発見し、合理的・計画的に解決するよう、自ら考えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	健康の保持増進について理解し、明るく豊かで活力ある生活を目指す姿が見られる。積極的に話し合いに参加し、自他の課題解決に取り組む姿勢がある。

【単位修得認定基準】

- ①報告課題（レポート）：3回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- ②面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に1単位数以上出席することが必要。出席認定基準については別記。
- ③単位認定試験の得点：単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

社会に参画する際に選択・判断するための手がかりとなる概念や理論および公共的空間における基本的原理を習得する。

「人間と社会の在り方についての見方・考え方」を働かせ、考察、構想する学習する。

社会とのかかわりを意識した「主題」や「問い」を主体的に設け、追究し探究を重視した学びを行う。

教科	科目	開講時期	履修	単位数	年間目安学習時間	必要前修科目	使用教科用図書	副教材	担当者
保健体育	保健2	通年	必修	1	35単位時間 (50分×35)	1単位時間	現代保健体育 大修館書店 保体701	授業者に準ずる	安住 章市

【教科学習を通じて、育てたい生徒像(カリキュラムマシメント)】

ライフステージについて正しく理解し、自分自身で生涯について考えることができる。
また健康と環境等、外部的な影響や地域などで行われている政策等を理解することができる。

【学習目標】

(知識・技能) 自他や社会の健康・安全について理解を深めることができる。
(思考・判断・表現) 心身の健康・安全についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断することができる。目的や状況に応じて他者に伝えると共に自ら行動することができる。
(主体的に取り組む態度) 健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。

【学習方法】

- ①本校スクーリング
 - ②報告課題(レポート)
- 食品の安全性に関する課題について考え、安全な食生活を送られるよう学習する。
生涯における健康や政策についての知識の理解を深める。

【年間学習計画】

学習目安月	単元及び主な学習内容	教科書章頁	学習目安単位数	学習到達目標	学習教材	面接指導(S)	報告課題 提出期限	備考
4月	生涯を通じる健康 ライフステージと健康	P76.77	1	ライフステージと健康の関係について説明できる。 各ライフステージで消費できる食量から栄養について考えあがることができる。	教科書・映像視聴 、報告課題			
4月	生涯を通じる健康 身体と健康	P78.79	2	「年齢層における体の変化、女性と男性について説明できる。」 「自身の心の発達にかかわって起こる問題について例をあげることができる。」	教科書・映像視聴 、報告課題			
5月	生涯を通じる健康 健康と行動の選択	P80.81	2	「自身の将来について例をあげて説明できる。」 「年齢層別の行動の選択に影響を及ぼす例をあげることができる。」	教科書・映像視聴 、報告課題			
5月	生涯を通じる健康 健康と健康	P82.83	1	「健康・生活の選択における健康課題について説明できる。」 「健康・生活の選択に関する自己学習サービスの利用をあげることができる。」	教科書・映像視聴 、報告課題		第1回 2025/4/30	
5月	生涯を通じる健康 健康と健康	P84.85	2	「健康課題の発見と適切な対応について説明できる。」 「人工知能がもたらす影響について説明できる。」	教科書・映像視聴 、報告課題			
5月	生涯を通じる健康 健康と健康	P88.89	1	「心身の発達と健康課題の関係について説明できる。」 「健康課題を積極的にとらえるために必要な考え方の行動をあげることができる。」	教科書・映像視聴 、報告課題			
6月	生涯を通じる健康 健康と健康	P90.91	2	「年齢にかかわらず体の変化について例をあげて説明できる。」 「年齢層に必要な社会的な取り組みについて例をあげて説明できる。」	教科書・映像視聴 、報告課題			
6月	生涯を通じる健康 働くことと健康	P92.93	2	「働くことの意義と働き方について説明できる。」 「働き方や働く人の健康課題の変化について説明できる。」	教科書・映像視聴 、報告課題			
6月	生涯を通じる健康 労働と健康	P94.95	1	「労働災害の種類とその原因について例をあげて説明できる。」 「労働災害を防止するために必要なことをあげることができる。」	教科書・映像視聴 、報告課題			
7月	生涯を通じる健康 健康的な食生活	P96.97	2	「健康のおとこや健康に関する取り組みについて例をあげて説明できる。」 「健康課題の発見と適切な対応について説明できる。」	教科書・映像視聴 、報告課題			
7月	健康を支える環境づくり 大気汚染と健康	P100.101	2	「大気汚染の原因と健康への影響について例をあげて説明できる。」 「大気汚染の軽減と健康課題の関係について例をあげて説明できる。」	教科書・映像視聴 、報告課題		第2回 2025/6/30	
7月	健康を支える環境づくり 水質汚染、土壌汚染の軽減と健康	P102.103	1	「水質汚染、土壌汚染の軽減と健康への影響について例をあげて説明できる。」 「水質汚染、土壌汚染の軽減と健康課題の関係について例をあげて説明できる。」	教科書・映像視聴 、報告課題			
7月	健康を支える環境づくり 環境と健康にかかわる対策	P104.105	1	「環境と健康にかかわる対策について例をあげて説明できる。」 「環境と健康にかかわる対策の推進について例をあげて説明できる。」	教科書・映像視聴 、報告課題			
9月	健康を支える環境づくり ごみの処理と下水道の整備	P106.107	2	「ごみの処理の現状とその課題について例をあげて説明できる。」 「下水道の整備と健康課題の関係について例をあげて説明できる。」	教科書・映像視聴 、報告課題			
9月	健康を支える環境づくり 食品の安全性	P110.111	2	「食品の安全性と健康との関係について例をあげて説明できる。」 「食品の安全性に関する学習課題について例をあげて説明できる。」	教科書・映像視聴 、報告課題	○		
9月	健康を支える環境づくり 食品の安全性	P112.113	2	「食品の安全性を確保するための取り組みについて例をあげて説明できる。」 「食品の安全性を確保するための取り組みについて例をあげて説明できる。」	教科書・映像視聴 、報告課題			
9月	健康を支える環境づくり 健康サービスとその活用	P116.117	2	「健康サービスの活用について例をあげて説明できる。」 「健康サービスの活用を促す取り組みについて例をあげて説明できる。」	教科書・映像視聴 、報告課題			
10月	健康を支える環境づくり 健康サービスとその活用	P118.119	1	「介護における健康課題のしくみについて例をあげて説明できる。」 「さまざまな健康課題の予防について例をあげて説明できる。」	教科書・映像視聴 、報告課題		第3回 2025/10/31	
10月	健康を支える環境づくり 健康サービスの活用	P120.121	2	「健康サービスの活用について例をあげて説明できる。」 「健康サービスの活用を促す取り組みについて例をあげて説明できる。」	教科書・映像視聴 、報告課題			
10月	健康を支える環境づくり さまざまな健康課題や社会的課題	P124.125	1	「健康課題・健康課題などの健康課題について例をあげて説明できる。」 「健康課題・健康課題などの健康課題について例をあげて説明できる。」	教科書・映像視聴 、報告課題			
10月	健康を支える環境づくり 健康に関する環境づくりと健康政策	P126.127	3	「健康に関する環境づくりについて例をあげて説明できる。」 「健康に関する環境づくりと健康政策について例をあげて説明できる。」	教科書・映像視聴 、報告課題			

【学習上の注意】

教科書を参考にしながら、丁寧に課題へ取り組みましょう。

【学習評価】

*主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点	評価基準
知識・技能	社会生活における自他や社会の健康・安全について理解することができ、その技能も獲得することができる。
思考・判断・表現	自他や社会における課題を発見し、合理的・計画的に解決するよう、自ら考えることができる。
主体的に取り組む態度	健康の保持増進について理解し、明るく豊かで活力ある生活を目指す姿が見られる。

【その他留意事項】

- ①報告課題(レポート)：3回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- ②面接指導(スクーリング)：実施校で行われる面接指導に1単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。
- ③単位認定試験の得点：単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位数	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
保健体育	体育1	通年	必修	2	70単位数時間(50分×70)	4単位数時間	現代保健体育 大修館書店 保体701	授業者に準ずる	安住 章市

【教科学習を通じて、育てたい生徒像(カリキュラムマネジメント)】

生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。

【学習目標】

〈知識・技能〉 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、概念と自己の状況を関連付けたりして、自己や社会についての課題を発見すること。

〈思考・判断・表現〉 環境の異なる場所や変化を想定して、危険を予見し回避するための自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えること。

〈主体的に取り組む態度〉 運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に、主体的に取り組もうとしている。

【学習方法】

- ①メディア授業 映像授業、放送授業を視聴してレポートを作成して提出してもらいます。
- ②本校スクーリング 対面授業において、運動に対し善悪意識をもってたり運動は嫌いと思っている生徒が多い。できる、できないではなく、一生懸命やろうと取り組む姿勢を重視する。
- ③報告課題(レポート) 運動・スポーツの文化的特徴についての知識の理解を深める。レポートを2枚、教科書を参考にレポートを作成して提出してもらいます。

【年間学習計画】

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位数	学習到達目標	学習教材	面接指導(S)		報告課題 締切期限	備考	
	編	章	節	項					メディア(映像授業等)	対面スクーリング(対面授業)			
4月	体育編	運動・スポーツの学び方	スポーツにおける技術と体力		p.158-159	2	・技能と体力の関係について説明できる。 ・技能や体力を高めるときに気をつけるべき点をあげることができる。	教科書	◎		第1回 6月30日		
4月				卓球	実技	2			○	○			
4月		運動・スポーツの学び方	スポーツにおける技術と観戦		p.160-163	2	・技能の型の違いやそれぞれの練習のしかたを説明できる。 ・用具の改良やメディアの発達などによる技術や観戦、ルールの変化を説明できる。	教科書	◎				
4月				体づくり運動	実技(インディアカ)	5	・インディアカを通じてコミュニケーションの楽しさと重要性について学ぶ。 ・ニュースポーツについて理解し、日常生活でスポーツに触れるよう考えることができる。						
5月		運動・スポーツの学び方	技術の上達過程と練習		p.164-167	2	・技能がどのようなステップを経て上達するが説明できる。 ・練習によって技能が上達すると、どのような特徴がみられるかをあげることができる。	教科書	◎				
5月				体づくり運動	実技(インディアカ)	5	実技						
6月		運動・スポーツの学び方	効果的な動きのメカニズム		p.168-171	2	・体の動きはどのようなしくみで開始され、持続していくのか説明できる。 ・よい動きを支える調整力について例をあげて説明できる。	教科書	◎				
6月				卓球	実技	5			○				
7月		運動・スポーツの学び方	体力トレーニング		p.172-175	2	・目的に応じたさまざまなトレーニングの方法を説明できる。 ・筋力、持久力、調整力、柔軟性を高める具体的な方法をあげることができる。	教科書	◎		第2回 8月31日		
7月				卓球	実技	5			○				
8月		運動・スポーツの学び方	運動やスポーツでの安全の確保		p.176-180	2	・スポーツ外傷とスポーツ障害の違いを説明できる。 ・スポーツ活動中に起きる重大な事故をあげ、その発生原因と予防方法を説明できる。 ・スポーツと環境の関係性について理解できる。 ・自分ができることと環境への影響を合せて説明できる。	教科書	◎				
8月		運動・スポーツの学び方	スポーツと環境			2		教科書	◎				
9月				バドミントン	実技	6			○		視聴報告 映像視聴報告 10月31日		
9月				バドミントン	実技	6			○				
10月				バスケットボール	実技	10			○				
10月				バスケットボール	実技	10			○				
10月				バレーボール	実技	2			○	○			

70

報告課題提出締切日(4月学習開始例)

第1回	第2回	映像視聴報告
2025年6月30日	2025年8月31日	2025年10月31日

【学習上の注意】

- ☞身体を動かすことの楽しさを学べるよう、積極的に参加しましょう。
- ☞教科書を参考に、しっかりと報告課題に取り組みましょう。

【映像視聴について】

指示された所定時間、所定回数以上を視聴・学習すること。
<https://ww3.tokyo-shoseki.co.jp/api/wizus/index.php?encode=off&id=4tsh>



【学習評価】

*主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点	評価基準
知識・技能	決められたルールを正しく理解し、取り組んでいる。
思考・判断・表現	指示されたことに対し、そのまま実行するのではなく、自らの考えで動きを理解し行動している。
主体的に学習に取り組む態度	積極的に参加している様子がみられ、何事にもチャレンジしている。

【単位修得認定基準】

- ①報告課題(レポート)：2回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- ②面接指導(スクーリング)：実施校で行われる面接指導に4単位数以上出席することが必要。出席認定基準については別記。
- ③単位認定試験の得点：単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

社会に参画する際に選択・判断するための手がかりとなる概念や理論および公共的空間における基本的原理を習得する。

「人間と社会の在り方についての見方・考え方」を働かせ、考察、構想する学習する。

社会とのかかわりを意識した「主題」や「問い」を主体的に設け、追究し探究を重視した学びを行う。

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位数時間	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
保健体育	体育2	通年	必修履修	3	105単位数時間 (50分×105)	6単位時間	現代保健体育 大修館書店 保体701	授業者に準ずる	安住 章市

【教科学習を通じて、育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】

運動の楽しさや達成感を味わい、生涯にわたって豊かなスポーツライフを過ごせるようになる。

【学習目標】

- 〈知識・技能〉 運動の楽しさを学び、各種目の動きについて理解する。
- 〈思考・判断・表現〉 正しいルールの中で、どのようにしたら勝てるのかなどの戦略が考えられる。
- 〈主体的に取り組む態度〉 各種目において、積極的に運動に参加し、様々なことに挑戦できる。

【学習方法】

- ①メディア授業 映像授業、放送授業を視聴してレポートを作成して提出してもらいます。
- ②本校スクーリング 対面授業において、運動に対し苦手意識をもっていたり運動は嫌いと思っている生徒が多い。できる、できないではなく、一生懸命やろうと取り組む姿勢を重視する。
- ③報告課題（レポート） 運動・スポーツの文化的特徴についての知識の理解を深める。レポートを3枚、教科書を参考にレポートを作成して提出してもらいます。

○メディア箇所全て
◎メディア視聴報告書箇所

【年間学習計画】

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位数時間	学習到達目標	学習教材	面接指導 (S)		報告課題 (R)	備考	
	編	章	節	項					メディア (映像授業等)	本校スクーリング (対面授業)			
4月	体育編	スポーツの発祥と発展	スポーツの始まりと変遷		p.136～137	3	・スポーツがどのように始まったのかを説明できる。 ・なぜスポーツが世界中に広まったのかを説明できる。	教科書	◎		第1回 4月30日		
4月				体つくり運動 ニュースポーツ		10	スポーツ実技		○	○			
4月	体育編	スポーツの発祥と発展	文化としてのスポーツ		p.140～141	5	・運動との比較から文化としてのスポーツの特徴を説明できる。 ・多様なかわり方によるスポーツ文化の変遷について例をあげて説明できる。	教科書	◎				
4月				バレーボール		12	スポーツ実技		○	○			
5月	体育編	スポーツの発祥と発展	オリンピックとパリンピクの意義		p.144～145	5	・オリンピックとパリンピクの価値について説明できる。 ・パリンピクの価値について具体例をあげながら、パリンピクの意義について説明で価値の美しさを語り、自分の置ったところに行えるようになる。	教科書	◎		第2回 6月30日		
5月				剣道	実技	12	スポーツ実技		○				
6月	体育編	スポーツの発祥と発展	スポーツが経済に及ぼす効果		p.148～149	6	・スポーツが経済活動でどのように重要な役割を果たしているかを説明できる。 ・スポーツにかかわる業種について例をあげて説明できる。	教科書	◎				
6月				ハンドボール		12	スポーツ実技		○				
7月	体育編	スポーツの発祥と発展	スポーツの高潔さとドーピング		p.150～151	5	・スポーツの高潔さを脅かす要因について例をあげて説明できる。 ・ドーピングがなぜスポーツを破壊する行為になるのかを具体的に説明できる。	教科書	◎		第3回 8月31日		
8月				バスケットボール		13	スポーツ実技		○				
9月	体育編	スポーツの発祥と発展	スポーツと環境		p.154～155	5	・スポーツにおける環境問題について例をあげて説明できる。 ・スポーツは環境とどのように調和していけばよいかを説明できる。	教科書	◎				
9月				卓球		14	スポーツ実技		○	○			
10月				実技テスト		3	スポーツ実技		○	○	視聴報告 映像視聴報告 10月31日		

105

報告課題提出締切日 (4月学習開始例)

第1回	第2回	第3回	映像視聴報告
2025年4月30日	2025年6月30日	2025年8月31日	2025年10月31日

【学習上の注意】

- ☞身体を動かすことの楽しさを学べるよう、積極的に参加しましょう。
- ☞教科書を参考に、しっかりと報告課題に取り組みましょう。

【映像視聴について】

指示された所定時間、所定回数以上を視聴・学習すること。

<https://ww3.tokyo-shoseki.co.jp/api/wizus/index.php?encode=off&id=r4tsh>



【学習評価】

*主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点	評価基準
知識・技能	決められたルールを正しく理解し、取り組んでいる。
思考・判断・表現	指示されたことに対し、そのまま実行するのではなく、自らの考えで動きを理解し行動している。
主体的に学習に取り組む態度	積極的に参加している様子が見れ、何事にもチャレンジしている。

【単位修得認定基準】

- ①報告課題（レポート）：3回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- ②面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に6単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。
- ③単位認定試験の得点：単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

社会に参画する際に選択・判断するための手がかりとなる概念や理論および公共的空間における基本的原理を習得する。

「人間と社会の在り方についての見方・考え方」を働かせ、考察、構想する学習する。

社会とのかかわりを意識した「主題」や「問い」を主体的に設け、追究し探究を重視した学びを行う。

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位数時間	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
保健体育	体育3	通年	必修	2	70単位数時間(50分×70)	4単位数時間	現代保健体育 大修館書店 保体701	授業者に準ずる	安住 章市

【教科学習を通して、育てたい生徒像(カリキュラムマネジメント)】

生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を意識して、合理的・計画的な活力ある生活を目指すことができる。

【学習目標】

- (知識・技能) スポーツが生徒にどのような影響があるのかを具体的に説明でき、日常生活にて実践することができる。
- (思考・判断・表現) 健康の保持増進のために、自ら適した運動を発見して、自他共に課題解決に向けて具体的な道筋を立てることができる。
- (主体的に取り組む態度) 他者と協力をして、健康保持増進のために互いに助け合い、学習に主体的に取り組もうとする。

【学習方法】

- ①メディア授業 映像授業、放送授業を視聴してレポートを作成して提出してもらいます。
- ②本校スクーリング 対面授業において、運動に対し苦手意識をもっていたり運動は嫌いと思っている生徒が多い。できる、できないではなく、一生懸命やろうと取り組む姿勢を重視する。
- ③報告課題(レポート) 豊かなスポーツライフの設計についての知識の理解を深める。レポートを2枚、教科書を参考にレポートを作成して提出してもらいます。

○メディア箇所全て

◎メディア視聴報告書箇所

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位数時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導(S)		報告課題(R)	備考
	編	章	節	項					メディア(映像授業等)	本校スクーリング(対面授業)		
4月				卓球	実技	2			○	○	第1回 2025年6月31日	
4月				体づくり運動	実技	6	・体を動かす楽しさや心ゆよさを味わい、共に運動をする仲間と交流して運動ができる。 ・運動を継続する意義を理解し、自身に適した運動計画を立てることができる。		○			
5月	体育編	豊かなスポーツライフの設計	生涯スポーツの考え方		p.182-184	4	・社会的変化にも関わらずスポーツの役割がどのように変化しているかを理解することができる。 ・ライフスタイルに応じたスポーツの楽しみ方を説明できる。	教科書	◎			
5月				ダンス	実技	6	・自由に選んだりする楽しさや喜びを仲間と共に味わい、交流することができる。 ・自分の動きや仲間との動きを観察して、練習を修正し他者と共有して技術・体力を高めることができる。		○			
5月				ダンス	実技	6			○			
6月	体育編	豊かなスポーツライフの設計	ライフスタイルに応じたスポーツ		p.186-189	4	・「する」スポーツライフスタイルについて例をあげ説明できる。 ・現在の自分のスポーツライフの課題を整理し、今後の豊かな設計のための課題や工夫のしかたの例をあげられる。	教科書	◎			
6月				ソフトボール	実技	6	・チーム内での役割に応じてボール投げや内投、身体に動作を判断できる。 ・仲間と協力して学習を行うことができ、積極的に意見を話し合い、改善を促すことができる。		◎			
6月				ソフトボール	実技	6			◎			
7月	体育編	豊かなスポーツライフの設計	スポーツを推進する取り組み		p.190-193	4	・国内外でスポーツを推進してきた歴史的取り組みを説明できる。 ・自分が関心している身近な地域におけるスポーツ推進の取り組みについて例をあげられる。	教科書	◎			
7月				サッカー	実技	5	・状況に応じたボール操作と、守りに対して攻守を仲間と掛け合い理解することができる。 ・チームで自分の課題を整理して「見る」「支える」「知る」の観点からも意見を話し合うことができる。		◎			
9月				サッカー	実技	5			◎			
9月	体育編	豊かなスポーツライフの設計	豊かなスポーツライフの創造		p.194-195	4	・これまでとこれからのスポーツライフの違いを説明できる。 ・豊かなスポーツライフを創造していくための課題について例をあげて説明できる。	教科書	◎			
9月				バレーボール	実技	5	・ゲーム中の相手の動きやボールの動きを予測して、身体を操作できる。 ・体力や技術的側面から、仲間とともに技術を高めしむための意見を話し合い調整をして、試合ができる。		○	○		
10月				バレーボール	実技	5			○	○		
10月				実技テスト	実技	2			○			

【学習上の注意】

- ☞身体を動かすことの楽しさを学べるよう、積極的に参加しましょう。
- ☞教科書を参考に、しっかりと報告課題に取り組みましょう。

【映像視聴について】

指示された所定時間、所定回数以上を視聴・学習すること。

<https://ww3.tokyo-shoseki.co.jp/api/wizus/index.php?encode=off&id=r4tsh>



【学習評価】

*主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点	評価基準
知識・技能	決められたルールを正しく理解し、取り組んでいる。
思考・判断・表現	指示されたことに対し、そのまま実行するのではなく、自らの考えで動きを理解し行動している。
主体的に学習に取り組む態度	積極的に参加している様子が見れ、何事にもチャレンジしている。

【単位修得認定基準】

- ①報告課題(レポート)：2回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- ②面接指導(スクーリング)：実態校で行われる面接指導に4単位数以上出席することが必要。出席認定基準については別記。
- ③単位認定試験の得点：単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

社会に参画する際に選択・判断するための手がかりとなる概念や理論および公共的空間における基本的原理を習得する。

「人間と社会の在り方についての見方・考え方」を働かせ、考察、構想する学習する。

社会とのかかわりを意識した「主題」や「問い」を主体的に設け、追究し探究を重視した学びを行う。

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位数	必要面接回数	使用教科用図書	副教材	担当者
芸術	書道Ⅰ	通年	選択必修	2	70単位時間 (50分×70)	4単位時間	東京書籍『書道Ⅰ』 2 本書 書701	授業者に準ずる	吉田 豊

【教科学習を通じて、育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力が育成される。

【学習目標】

(知識・技能)

書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付ける。

(思考・判断・表現)

書のみよや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書のみを味わい捉えたりすることができるようにする。

(主体的に取り組む態度)

主体的に書の幅広い活動に取り組む、生活にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

【学習方法】

①メディア授業

映像を通して書風や表現を感じ取り、書に対する感性を高めながら学ぶ。

②本校スクーリング

理論を通して書の知識を習得し、鑑賞や実技を通して書の表現方法や多様性について感じ取る。

③報告課題（レポート）

書の変遷・用具用材の使い方・古典作品・書家など、書に関する基礎知識を学ぶ。

○メディア箇所全

◎メディア視聴報告書箇所

【年間学習計画】

学習目安月	編	章	節	項	教科書該当頁	学習目安学習時間	学習到達目標	学習教材	面接指導 (S)		報告課題 (R)	備考
									面	接		
5月	書写から書道へ	書写で学んできたこと	用具・用材・筆勢・執筆法		2~9	3	用筆・運筆から生み出される書の表現性とその表現効果との関係について理解している。書を構成する要素について、それら相互の関係もたずあきと関わらせて理解している。	教科書・映像視聴	◎		第1回 5月31日	
6月	漢字の書	漢字の成立と変遷 古典に基づく学習			12~15	3	漢字の成立と変遷について理解している。臨書の意味や方法を理解し、関連する書道用語について学習している。	教科書・映像視聴	○	○		
6月	漢字の書	楷書の特徴 表現を比べよう			16~19	3	楷書の用筆、運筆、結構や字形の取り方について理解し、それを実践できる。	教科書・映像視聴	○	○		
6月	漢字の書	楷書	「九成宮醜泉帖」 「孔子廟堂碑」		18~25	3	楷書の古典の概要を理解し、用筆、運筆、字形の取り方などについて学び、「表現の特徴」を手がかりとして臨書できる。	教科書・映像視聴	○	○	第2回 6月30日	
6月	漢字の書	楷書	「庫塔聖教序」 「自書告身」		26~31	3	楷書の古典の概要を理解し、用筆、運筆、字形の取り方などについて学び、「表現の特徴」を手がかりとして臨書できる。	教科書・映像視聴	○	○		
6月	漢字の書	楷書	唐の四大家 「牛嶽造像記」 「開寺心經」		32~37	3	楷書の古典の概要を理解し、用筆、運筆、字形の取り方などについて学び、「表現の特徴」を手がかりとして臨書できる。楷書小字作品としての写経について理解している。	教科書・映像視聴	○	○		
7月	漢字の書	行書	行書の特徴 コラム：王羲之		38~39	3	行書の用筆、運筆、字形の取り方、特徴を理解する。	教科書・映像視聴	○	○		
7月	漢字の書	行書	「蘭亭序」		40~48	3	行書の古典の概要を理解し、用筆、運筆、字形の取り方などについて学び、「表現の特徴」を手がかりとして臨書している。	教科書・映像視聴	○	○	第3回 7月31日	
7月	漢字の書	行書	「風信帖」 三筆から三跡へ		52~58	3	行書の古典の概要を理解し、用筆、運筆、字形の取り方などについて学び、「表現の特徴」を手がかりとして臨書している。	教科書・映像視聴	◎	○		
8月	漢字の書	草書	草書の特徴 「真草千字文」		59~61	3	草書が成立する過程や草書の特徴、「真草千字文」の臨書を通して、草書の用筆、運筆、字形の取り方などについて理解している。	教科書・映像視聴	○	○		
8月	漢字の書	隷書	隷書の特徴 「曹全碑」		62~65	2	隷書が成立する過程や篆書の特徴、「曹全碑」の臨書を通して、隷書の用筆、運筆、字形の取り方などについて理解している。	教科書・映像視聴	○	○	第4回 8月31日	
8月	漢字の書	篆書	篆書の特徴 始皇帝と文字 「泰山刻石」		66~69	2	篆書が成立する過程や篆書の特徴、「泰山刻石」の臨書を通して、隷書の用筆、運筆、字形の取り方などについて理解している。	教科書・映像視聴	○	○		
8月	漢字の書	鑑賞	書のみや風趣を味わおう		72~73	3	近現代の作品を鑑賞し、自分の書に活かすことができる。	教科書・映像視聴	○	○		
8月	漢字の書	創作	古典を生かそう		70~71	3	創作の手順に従い、漢字の書で学んだ古典の特徴や技法を生かして、創作し、相互評価できる。	教科書・映像視聴	○	○		
9月	仮名の書	仮名の成立			76~77	3	仮名の成立と変遷について理解している。	教科書・映像視聴	○	○		
9月	仮名の書	仮名を書く準備 平仮名の単体			78~81	3	仮名の用具・用材の特徴について理解している。仮名の基本的な線、平仮名の単体の特徴について理解し、練習できる。	教科書・映像視聴	○	○		
9月	仮名の書	変体仮名 連絡			81~85	3	筋書をもとに推察して、よりよい文章に仕上げる。	教科書・映像視聴	○	○		
9月	仮名の書	「高野切第三種」			88~91	3	平安時代の代表的な古書を鑑賞する意義について理解している。	教科書・映像視聴	◎	○	第5回 9月30日	
9月	仮名の書	全体構成	三色紙の敷らし書き		94~97	3	行書きの構成、敷らし書きの構成について理解し、練習する。三色紙について鑑賞し、それぞれの特徴について理解している。	教科書・映像視聴	○	△		
9月	仮名の書	鑑賞	書のみや風趣を味わおう		100~103	3	近現代の作品を鑑賞し、古筆の形態の違いについて理解している。	教科書・映像視聴	○	○		
9月	仮名の書	創作	古典を生かそう		98~99	3	創作の手順に従い、仮名の書で学んだ古筆の特徴や技法を生かして、行を構成し、創作、相互評価できる。	教科書・映像視聴	○	○		
10月	漢字かな交じりの書	漢字かな交じりの書の変遷			106~107	3	書き方の工夫によってさまざまな表現ができることを理解し、どのような表現をしたいかという意図に合うかどうか考えることができる。	教科書・映像視聴	○	○	第6回・映像視聴 報告 10月31日	
10月	漢字かな交じりの書	鑑賞	書のみや風趣を味わおう		122~123	3	近現代の作品を鑑賞し、自分の書に活かすことができる。	教科書・映像視聴	◎	○		
10月	漢字かな交じりの書	創作	古典を生かそう		120~121	3	創作の手順に従い、表現の工夫で学んだ技法を生かして、意図に基づいて創作し、相互評価している。	教科書・映像視聴	○	△		

計70単位時間

【学習上の注意】

自分の考え方を広めるために、筆者の気持ちの変化や考え方を意識して学習に取り組ましよう。

【映像視聴について】

指示された所定時間、所定回数以上を視聴・学習すること。

<https://www3.tokyo-shoseki.co.jp/gn/wizus/index.php?mode=off&id=443>



【学習評価】

*主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点	評価基準
知識・技能	・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。・書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けている。
思考・判断・表現	・書のみよや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書のみを味わい捉えている。
主体的に学習に取り組む態度	・主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

【単位修得認定基準】

①報告課題（レポート）：6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。

②面接指導（スクーリング）：実務校で行われる面接指導に4単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。

③単位認定試験の得点：単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位数	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
芸術	美術Ⅰ	通年	選択必修	2	70単位時間(50分×70)	2単位時間	光村図書 『美術Ⅰ』 38 光村 美 1 701	授業者に準ずる	福井 さやか

【教科学習を通じて、育てたい生徒像(カリキュラムマネジメント)】

美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力が育成されている。

【学習目標】

- 〈知識及び技能〉 造形的な視点を豊かにするために必要な知識と、表現における創造性に表す技能に関する力を身に付ける。
- 〈思考力・判断力・表現力等〉 表現における発想や構想と、鑑賞における見方や感じ方を身に付ける。
- 〈学びに向かう力、人間性等〉 学習に主体的に取り組む態度や生涯にわたって美術を愛好する心情、豊かな感性などを身に付ける。

【学習方法】

- ①メディア授業 発想をメディアの特性を生かして主題として生成したり、視覚的に働きを考えて創造的な表現の構想を練ったり、それらを創造的に表す技能も学ぶ事ができる。
- ②本校スクーリング 対面授業を実施し、題材に対して造形的な視点の理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。
- ③報告課題(レポート) 教科書に準じた内容の報告課題を利用し学習することで、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を育成することができる。

○メディア箇所全て
◎メディア視聴報告書箇所

【年間学習計画】

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位数	学習到達目標	学習教材	面接指導(S)		報告課題(R)	備考	
	編	章	節	項					メディア(映像・音声)	本校スクーリング(面接指導)			
4月	鑑賞 絵画・彫刻	作家の生涯と作品 葛飾北斎	音声ガイド: 「諸国遍歴 下野黒髪山きりふりの魂」		20~21	2	葛飾北斎の生涯や作品を知り、表現の豊かさやおもしろさを感じ取る。	教科書・映像視 聴・報告課題	◎	◎	第1回 5月31日		
4月	表現 絵画・彫刻	身近なものを描く さまざまな絵の具	全国の生徒作品 技法動画:色鉛筆のタッチの違い/水彩の技法/身近なものを描く(水彩絵の具)/身近なものを描く(色鉛筆)/身近なものを描く(パステル)		6~9 78~79	2	身近にあるものを見つめ直し、描く方法や材料を工夫してあらわすことができる。顔料や顔料の時代の変遷とそれぞれの特徴を知り、表現や鑑賞に生かす。	教科書・映像視 聴・報告課題	◎	◎			
5月	表現 絵画・彫刻	鉛筆で描く	技法動画: 鉛筆で静物を描く/カッターナイフで鉛筆を削る/鉛筆で石膏像を描く		80~83	4	なじみのある画材の鉛筆で、芯の硬さやタッチの違いによって、幅広い表現ができることを知り、基本的な用具の使い方や描き方を知る。	教科書・報告課題	○				
5月	鑑賞 絵画・彫刻	作家の生涯と作品 バプロ・ピカソ 美術史年表(世界)	美術史ワード:「キュビズム」 美術史の用語について、解説を読んでみよう。		44~47 108~110	2	バプロ・ピカソの生涯や作品を知り、新たな表現を追究する姿勢を感じ取る。世界の美術の流れを知り、作品を鑑賞し、その時代の特徴を知る。	教科書・映像視 聴・報告課題	◎				
5月	表現 デザイン	色の性質 色の効果 配色のヒント	—		114~115 116~117 118~119	2	色の性質、効果、配色のヒントを知り、見る人により効果的に伝わるように工夫できる。	教科書・映像視 聴・報告課題	◎				
6月	鑑賞 映像メディア表現	写真家 土門 拳 写真家 植田 正治 写真史年表	—		68 69 111~113	1	撮りが異なる二人の写真家の作品を鑑賞し、それぞれのよさを感じ取る。撮影機材の進歩の歴史とともに、各時代の写真作品を鑑賞する。	教科書・映像視 聴・報告課題	◎			第2回 6月30日	
6月	表現 映像メディア表現	写真を撮影する テーマを決めて撮影する	全国の生徒作品		100~101 70~71	4	カメラの種類や機能、撮影のしかたを知ることで表現の幅を広げる。一つのテーマを決め、光や構図などを意識して、シリーズの作品を作る。	教科書・映像視 聴・報告課題	◎				
6月	表現 絵画・彫刻	場所との対話	—		42~43	6	設置する場所や周囲の環境との調和を意識して、縮尺を考慮して設定した場所の半立体の作品をつくる。	教科書・映像視 聴・報告課題	◎				
7月	表現 デザイン	メッセージを広く伝える 文字をデザインする	全国の生徒作品 学習に役立つリンク: TSDO(佐藤卓デザイン事務所)		48~51 98~99	6	伝えたい内容にふさわしい表現方法を考え、多くの人に伝わるようにデザインする。ビジュアルデザインの重要な要素である文字について知り、各種書体を自分の作品にも活用する。	教科書・報告課題	○	○	第3回 7月31日		
7月	表現 デザイン	パッケージのデザイン デザイン史年表	—		58~59 111~113	6	包むものや使用方法を考え、形や材料を工夫してパッケージをデザインする。	教科書・報告課題	○				
8月	鑑賞 絵画・彫刻	絵巻物を楽しむ 鳥獣人物戯画 美術史年表(日本)	音声ガイド:「鳥獣人物戯画 甲巻」 美術史の用語について、解説を読んでみよう。		15~18 108~110	2	「鳥獣人物戯画 甲巻」を鑑賞し、絵巻物の表現のおもしろさや工夫を感じ取る。世界の美術の流れを知り、作品を鑑賞し、その時代の特徴を知る。	教科書・映像視 聴・報告課題	◎	◎	第4回 8月31日		
8月	表現 デザイン	マークやサインで伝える 作家の手法 廣村 正彰	—		52 53	5	伝えたい情報を整理し、印象に残るシンボルマークや、しるす場所や目的にあったサインにデザインする。グラフィックデザイナー 廣村正彰のデザインのよさを感じ取る。	教科書・報告課題	○				
9月	表現 絵画・彫刻	墨で描く	音声ガイド:「雲竜図」 水墨画の技法を動画で見よう。		12~14, 19	4	墨による表現の豊かさを感じ取り、墨の特性を生かして作品を描く。	教科書・映像視 聴・報告課題	◎		第5回 9月30日		
9月	表現 絵画・彫刻	想像した世界を描く	全国の生徒作品		26~27	6	心に浮かんだイメージをもとに発想を広げ、夢や想像の世界をあらわす。	教科書・映像視 聴・報告課題	○				
10月	表現 絵画・彫刻	自己をあらわす	全国の生徒作品		32~33	6	様々な作品を鑑賞し、自分自身を工夫してあらわす。	教科書・報告課題	○				
10月	表現 デザイン	作家の生涯と作品 ル・コルビュジェ	音声ガイド: 「ノートルダム・デュ・オー礼拝堂」		64~65	2	ル・コルビュジェの生涯や作品を知り、建築への考え方や設計の工夫を感じ取る。	教科書・映像視 聴・報告課題	◎		第6回・映像視聴報告 10月31日		
10月	表現 絵画・彫刻	風景を描く	全国の生徒作品 美術史ワード:「印象派」『ジャポニスム』 技法動画:水彩絵の具で風景を描く		22~25 84~85	6	心ひかれる風景を、光を意識したり、構図を考えたりしながら工夫してあらわす。水の効果や筆の使い方による多様な表現に挑戦し、前の授業までに描いた下書きに水彩絵の具で色彩を添える。	教科書・映像視 聴・報告課題	◎				
10月	表現 デザイン	文様で飾る ※オリジナルの文様を考えてスタン プをつくり、手ぬいなどを制作	—		54~57	4	日本や海外の文様を鑑賞し、表現の工夫や生活との関わりを感じ取り、形や色を考えてデザインし、作品を制作する。	教科書・映像視聴	◎	○			

計70単位時間

【学習上の注意】

- ☞ 「絵画・彫刻」は感じ取ったことや考えたことから主題を生成し、表現形式の特性を生かす等して構想を練り、材料や用具の特性を生かしたり表現方法を創意工夫したりして主題を追究し創造的に表すなど表現に関する資質・能力を育成することをねらいとする。
- ☞ 「デザイン」は目的や条件、美しさ等を考慮して主題を生成し、デザインの機能や効果等を考える等して構想を練り、材料や用具の特性を生かしたり表現方法を創意工夫したりして目的や計画を基に、創造的に表す等表現に関する資質・能力を育成することをねらいとする。
- ☞ 「映像メディア表現」は感じ取った事や考えた事、目的や機能等を基に、映像メディアの特性を生かして主題を生成し、映像表現の視覚的な要素の働きについて考える等して構想を練り、映像メディア機器等の用具の特性を生かしたり、表現方法を創意工夫したりして表現の意図を効果的に表す等表現に関する資質・能力を育成する事をねらいとする。
- ☞ 「鑑賞」は作品等からよさや美しさを主体的に感じ取り、批評し合う等して、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫や美術の働き、美術文化について考え、見方や感じ方を深める事を重視し、鑑賞に関する資質・能力を育成することをねらいとしている。
- ☞ 感性や造形感覚等を高めしていくことを一層重視し、表現や鑑賞の学習に共通に必要な資質・能力を育成する観点から、多様な視点から造形を豊かに捉えることができるよう、造形的な視点を豊かにするために必要な知識も習得できるようにした。また、アイデアスケッチ等で構想を練ったり、言葉等を考えを整理したりすることや、作品について批評し合う活動等を取り入れるようにする等の言語活動の充実を図る。

【映像視聴について】

- 指示された所定の時間、所定の回数を視聴・学習すること。
- ☞ 複数の作品を比較鑑賞する題材もある。共通点や違いを感じ取ったり、感じたことを話し合ったりすることができ、作品への理解を深めることができるような題材を提示している。
- ☞ 表現・鑑賞すべての題材に関わる、色に関する資料も提示している。高校の美術で使われるほぼすべての技法を視聴可能。手順もQRコードから、技法動画を視聴することができ、技法のポイントがひと目で捉えられる事ができる。
- ☞ 教科書では題材の随所に、QRコードを掲載しているため、補助教材として活用する。鑑賞に使える音声ガイドや技法動画、作家へのインタビュー等、学びが広がるウェブコンテンツにリンクしている。

【学習評価】

*主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表す事ができる。
思考・判断	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。
学びに向かう力、人間性等	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組む、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養われている。

【単位修得認定基準】

- ①報告課題(レポート):6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- ②面接指導(スクーリング):実施校で行われる面接指導に4単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。
- ③単位認定試験の得点:単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

科目コード								第一学院高等学校 養父校
教科	科目	開講時期	履修	単位数	年間目安学習単位数(時間)	必要出席率	使用教科用図書	教科書
外国語	英語(必修)	通年	必修	3	105単位数(50分×105)	5単位数	新編 英語 読本(1)～(3)	2巻書 701
								授業時に準ずる
								古本 毎月

【教科学習を通して、育てたい生徒像(カリキュラムマネジメント)】

- ①目的・社会的価値について、多角的な視点から、
- ・基礎知識を通じて、話し手や書き手の意図を把握したり、構文や要点を自らに気づき取ったりすることができる。
- ・基本的な語彙や文法について、理解や考え、気持ちなどを伝えるための取り方や表現、論理性に基いて伝えることができる。

【学習目標】

- (知識・技能)
- ▶学習した表現を用いた文の形・意味・用法を理解することができる。
 - ▶学習した表現を活用し、相手とコミュニケーションできる状態を身に付けることができる。
- (思考・判断・表現)
- ▶自分の考えをまとめるために、相手が理解しやすいように情報を整理し、考えや気持ちを伝えたり書いたりして伝え合うことができる。
 - ▶学習した表現について、その使い方を理解し必要に応じて知識し、適切に使い分けたりして伝え合うことができる。
 - ▶自分の考えをまとめるために、相手が理解しやすいように情報を整理し、考えや気持ちを伝えたり書いたりして伝え合うことができる。

【学習方法】

- ①メディア活用 - 文や語句の強弱に着目し、会話の意図を聞き取る。 (聞くこと・話すこと【発表】)
- ②本校スクーリング - 理解や考え、気持ちなどを、基本的な語彙や文法を用いて伝える。(話すこと【やり取り】【発表】・書くこと)
- ③報告課題(レポート) - 読んだり書いたりするための基礎知識を身に付ける。(読むこと・書くこと)

○メディア活用会
○メディア視聴報告書書面所

学習単元	単元及び主な学習内容			単元総時数	学習到達目標	学習教材	授業形態(S)	履修単元(S)	備考
	編	章	節						
4月	Warm-Up 1 ア・ブ・ア・ブ			008_009	1		○		
4月	Warm-Up 2 読まず読まず			010_011	1		○		
4月	Lesson 1 読まず読まず			012_013	1		○		
4月	Lesson 1 読まず読まず			014_015	1		○		
4月	Lesson 2 読まず読まず			016_017	1		○		
4月	Communication 1 読まず読まず			018	1		○		
4月	読まず読まず			019	2		○		
4月	Lesson 1 読まず読まず			020_027	2		○		
4月	Lesson 2 読まず読まず			028_035	2		○		
5月	読まず読まず			036_037	2		○		
5月	Lesson 3 読まず読まず			038_045	2		○		
5月	Communication 2 読まず読まず			046	2		○		
6月	Let's Listen 1 読まず読まず			047	4		○		
6月	Lesson 4 読まず読まず			048_057	2		○		
6月	読まず読まず			058	2		○		
6月	Extra Target 1 読まず読まず			059	1		○		
7月	Lesson 1 読まず読まず			060_069	2		○		
7月	Let's Listen 2 読まず読まず			070	2		○		
7月	読まず読まず			071	2		○		
8月	読まず読まず			072_073	2		○		
8月	Reading 1 読まず読まず			074_076	2		○		
8月	Extra Target 2 読まず読まず			077	4		○		
9月	Lesson 1 読まず読まず			078_087	4		○		
9月	Lesson 7 読まず読まず			088_097	12		○		
9月	Lesson 8 読まず読まず			098_107	10		○		
9月	Communication 3 読まず読まず			108	4		○		
9月	読まず読まず			109	4		○		
9月	読まず読まず			100_111	4		○		
10月	Lesson 9 読まず読まず			112_121	4		○		
10月	Lesson 10 読まず読まず			122_131	4		○		
10月	Reading 2 読まず読まず			132_138	4		○		
10月	Extra Target 3 読まず読まず			139	10		○		
10月	読まず読まず			140_141	4		○		

【学習上の注意】
※教科書の各レッスンの最終ページにあるQRコードより、本文と音声の再生を聞くことができます。積極的に活用しましょう。

【映像視聴について】
英語コミュニケーション！教科書解説動画
指示された所定時間、所定回数以上を視聴・学習すること。
<https://www.youtube.com/watch?v=9pL7Sv3Dk00>

【学習評価】
※主に報告課題及び単位認定試験における観点別評価の観点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に換わる。

評価観点	評価基準
知識・技能	▶学習した表現を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ▶学習した表現を活用し、相手とコミュニケーションできる状態を身に付けている。
思考・判断・表現	▶自分の考えをまとめるために、相手が理解しやすいように情報を整理し、考えや気持ちを伝えたり書いたりして伝え合っている。 ▶学習した表現について、その使い方を理解し必要に応じて知識し、適切に使い分けたりして伝え合っている。
主体的に学習に取り組む態度	▶自分の考えをまとめるために、相手が理解しやすいように情報を整理し、考えや気持ちを伝えたり書いたりして伝え合っている。

【お問い合わせ先】
①報告課題(レポート)：期限を切りまでに提出し、合格することが必要。
②スクーリング(スクーリング)：実施日や住所などの詳細情報は5単位修得以上出席することが必要。出席基準については別紙。
③単位認定試験の申込：単位認定試験申込書以上の申込書が必要。

科目コード	科目名	学年	単位数	授業時間	授業形態	履修条件	授業科目概要	評価方法	担当教員
外国語	英語	通年	4	140分(50分×14)	7単位修得	前期英語(50分×14)	授業科目概要 2学期 7単位	授業科目概要 6	本学 徳島

【教科書を通じて、育てたい基礎力(カリキュラムマネジメント)】

- ①読解力(文章の大意)について、文章の要約を能くする。
- ②読解力(文章の大意)について、文章の要約を能くする。
- ③読解力(文章の大意)について、文章の要約を能くする。

【学習目標】

- ▶ 習った単語を用いた文の訳・意味・語法を理解することができる。
- ▶ 習った単語を用いて、簡単な文を構成することができる。
- ▶ 習った単語を用いて、簡単な文を構成することができる。
- ▶ 習った単語を用いて、簡単な文を構成することができる。
- ▶ 習った単語を用いて、簡単な文を構成することができる。
- ▶ 習った単語を用いて、簡単な文を構成することができる。

【学習方法】

- ①メソッド指導
- ②教科書(教科書)
- ③教科書(教科書)

○メソッド指導所全
○メソッド指導所全

学年	学期	単元	単元名	単元内容	単元時間	単元単位数	単元授業形態	単元履修条件	単元授業科目概要	単元評価方法	単元担当教員	単元履修日
4年	1学期	1	My Teacher This Year	先生と先生について	001-008	8	単元授業形態	前期英語	単元授業科目概要	単元評価方法	単元担当教員	単元履修日
4年	1学期	2	A Habitual Action	習慣的行動	001-017	8	単元授業形態	前期英語	単元授業科目概要	単元評価方法	単元担当教員	単元履修日
4年	1学期	3	Let's Listen 1	リスニング	018	3	単元授業形態	前期英語	単元授業科目概要	単元評価方法	単元担当教員	単元履修日
4年	1学期	4	Communications 1	コミュニケーション	019	3	単元授業形態	前期英語	単元授業科目概要	単元評価方法	単元担当教員	単元履修日
4年	2学期	1	With the Student	生徒と先生	020-027	8	単元授業形態	前期英語	単元授業科目概要	単元評価方法	単元担当教員	単元履修日
5年	1学期	1	Feelings and Emotions	感情と感情	028-029	2	単元授業形態	前期英語	単元授業科目概要	単元評価方法	単元担当教員	単元履修日
5年	1学期	2	With the Student	生徒と先生	030-038	8	単元授業形態	前期英語	単元授業科目概要	単元評価方法	単元担当教員	単元履修日
5年	1学期	3	Feelings and Emotions	感情と感情	040-041	2	単元授業形態	前期英語	単元授業科目概要	単元評価方法	単元担当教員	単元履修日
5年	1学期	4	Let's Listen 2	リスニング	042-051	8	単元授業形態	前期英語	単元授業科目概要	単元評価方法	単元担当教員	単元履修日
5年	1学期	5	Let's Listen 2	リスニング	052	2	単元授業形態	前期英語	単元授業科目概要	単元評価方法	単元担当教員	単元履修日
5年	1学期	6	Extra Target 1	追加目標	053	2	単元授業形態	前期英語	単元授業科目概要	単元評価方法	単元担当教員	単元履修日
6年	1学期	1	A Day in English	英語の日	054-055	2	単元授業形態	前期英語	単元授業科目概要	単元評価方法	単元担当教員	単元履修日
6年	1学期	2	Special Message	特別メッセージ	056-067	8	単元授業形態	前期英語	単元授業科目概要	単元評価方法	単元担当教員	単元履修日
6年	1学期	3	The Body and Culture	身体と文化	068-069	2	単元授業形態	前期英語	単元授業科目概要	単元評価方法	単元担当教員	単元履修日
6年	1学期	4	Movie	映画	070-075	8	単元授業形態	前期英語	単元授業科目概要	単元評価方法	単元担当教員	単元履修日
7年	1学期	1	Reading 1	読書	076-077	2	単元授業形態	前期英語	単元授業科目概要	単元評価方法	単元担当教員	単元履修日
7年	1学期	2	Reading 1	読書	078-089	8	単元授業形態	前期英語	単元授業科目概要	単元評価方法	単元担当教員	単元履修日
7年	1学期	3	Reading 1	読書	090-091	2	単元授業形態	前期英語	単元授業科目概要	単元評価方法	単元担当教員	単元履修日
7年	1学期	4	Reading 1	読書	092-103	8	単元授業形態	前期英語	単元授業科目概要	単元評価方法	単元担当教員	単元履修日
8年	1学期	1	Communications 2	コミュニケーション	104	2	単元授業形態	前期英語	単元授業科目概要	単元評価方法	単元担当教員	単元履修日
8年	1学期	2	Reading 2	読書	105	2	単元授業形態	前期英語	単元授業科目概要	単元評価方法	単元担当教員	単元履修日
8年	1学期	3	Reading 2	読書	106-117	8	単元授業形態	前期英語	単元授業科目概要	単元評価方法	単元担当教員	単元履修日
8年	1学期	4	Reading 2	読書	118-119	2	単元授業形態	前期英語	単元授業科目概要	単元評価方法	単元担当教員	単元履修日
8年	1学期	5	Reading 2	読書	120-131	8	単元授業形態	前期英語	単元授業科目概要	単元評価方法	単元担当教員	単元履修日
8年	1学期	6	Extra Target 2	追加目標	132	3	単元授業形態	前期英語	単元授業科目概要	単元評価方法	単元担当教員	単元履修日
8年	1学期	7	Extra Target 2	追加目標	133	3	単元授業形態	前期英語	単元授業科目概要	単元評価方法	単元担当教員	単元履修日
9年	1学期	1	Fighting Angel	戦士	134-143	8	単元授業形態	前期英語	単元授業科目概要	単元評価方法	単元担当教員	単元履修日
9年	1学期	2	Reading 3	読書	144-147	3	単元授業形態	前期英語	単元授業科目概要	単元評価方法	単元担当教員	単元履修日
9年	1学期	3	Reading 3	読書	148-153	8	単元授業形態	前期英語	単元授業科目概要	単元評価方法	単元担当教員	単元履修日
9年	1学期	4	Reading 3	読書	154-155	4	単元授業形態	前期英語	単元授業科目概要	単元評価方法	単元担当教員	単元履修日

【学習上の注意】

※ 教科書に掲載されているページの範囲に限り、本文と英語の両方を見ることがあります。積極的に活用しましょう。

【検定試験について】

英語コミュニケーションⅡ 教科書検定試験
指定された所定時間、所定回数以上を履修・学習すること。

【学習評価】

*主に報告書及び単位認定試験における観点別項目の履修点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱われない。

評価観点	評価基準
知識・技能	▶ 習った単語を用いた文の訳・意味・語法を理解することができる。 ▶ 習った単語を用いて、簡単な文を構成することができる。
思考・判断・表現	▶ 習った単語を用いて、簡単な文を構成することができる。 ▶ 習った単語を用いて、簡単な文を構成することができる。 ▶ 習った単語を用いて、簡単な文を構成することができる。
主体的に学習に取り組む態度	▶ 習った単語を用いて、簡単な文を構成することができる。 ▶ 習った単語を用いて、簡単な文を構成することができる。 ▶ 習った単語を用いて、簡単な文を構成することができる。

【単位認定試験基準】

①教科書(教科書) ②教科書(教科書) ③教科書(教科書)
④教科書(教科書) ⑤教科書(教科書) ⑥教科書(教科書)
⑦教科書(教科書) ⑧教科書(教科書) ⑨教科書(教科書)
⑩教科書(教科書) ⑪教科書(教科書) ⑫教科書(教科書)

【単位認定試験の得点】

※ 単位認定試験で規定された履修基準を満たすこと。

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位数	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
外国語	英語コミュニケーションⅢ	通年	選択	4	140単位数(50分×140)	7単位数	教科書 [All About English Communication] 2 叢書 CIII701	授業者に準ずる	吉本 優月

【教科学習を通じて、育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】

日常的・社会的常識について、ほとんど英語がなくても、

日常生活を通じて、話し手や書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて選んだりすることができる。

・基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。

【学習目標】

- (知識・技能) ▶学習した表現を用いた文の形・意味・用法を理解することができる。
▶学習した表現を活用し、相手とコミュニケーションできる技能を身につけることができる。
▶学習した表現について、その使い方や使う場面などを正しく認識し、適切に使うことができる。
- (思考・判断・表現) ▶自分の考えをまとめるために、相手が理解しやすいように情報を整理し、考えや気持ちを話したり書いたりして伝え合うことができる。
▶学習した表現について、その使い方や使う場面などを正しく認識し、適切に使うとする態度を身に付ける。
▶自分の考えをまとめるために、相手が理解しやすいように情報を整理し、考えや気持ちを話したり書いたりして伝え合うことができる。

【学習方法】

- ①メディア視聴 - 文や語句の強勢に着目し、母語話者の英語を聞く習慣をつける。(聞くこと・話すこと【発表】)
②本校スクリーニング - 情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて伝える。(話すこと【やり取り】【発表】・書くこと)
③報告課題(レポート) - 読んだり書いたりするための基礎知識を身につける。(読むこと・書くこと)

○メディア箇所全て

◎メディア視聴報告書箇所

学習目安月	編	章	単元及び主な学習内容	教科書該当頁	学習単位数(時間)	学習到達度目標	学習教材	面接指導(S)		報告課題(R)	備考
								メディア(映像視聴等)	本校スクリーニング(授業指導)		
4月	Lesson 1	Gifts to Barcelona	不定詞/動名詞	004-011	10	【教科書内】 アジアが抱いた経済発展の機会や脅威と、パルマ ポリにおける、その影響について学習する。 【教科書外】 映画『恋の嵐』鑑賞 【授業活動】 新聞記事について、英語で紹介することができる。	教科書/映像視聴 /報告課題	◎	○	第1回・第2回 4月30日	
4月	Lesson 2	Alkamu	現在完了形	012-019	10	【教科書内】 英語圏の動物園ツアーガイドの役割を通して、 エゾモモンガのオタの人の人々について学習する。 【教科書外】 映画『アムステルダム』鑑賞 【授業活動】 生き物の特徴について、英語で紹介することができる。	教科書/映像視聴 /報告課題	◎	○		
5月	Lesson 3	Your True Colors	使役動詞	020-027	10	【教科書内】 自分の好きな色と自己表現としてのファッションについて 学習する。 【教科書外】 映画鑑賞 【授業活動】 ファッションについて、英語でインタビューをする ことができる。	教科書/映像視聴 /報告課題	◎	○	第3回・第4回 5月31日	
5月	Lesson 4	Our Future Food?	受け身	028-037	10	【教科書内】 子どもを養育する親世代について対話を通して、 食生活について学習する。 【教科書外】 受け身 【授業活動】 食生活について、英語でインタビューをすること ができる。	教科書/映像視聴 /報告課題	◎	○		
6月	Lesson 5	Madagascar	関係代名詞	038-047	10	【教科書内】 マダガスカル島の自然と人々の生活をを通して、地帯 や生態系について考える。 【教科書外】 関係代名詞 【授業活動】 島の状況について、英語でプレゼンテーションを することができる。	教科書/映像視聴 /報告課題	◎	○	第5回・第6回 6月30日	
6月	Reading 1	The Fun They Had		048-053	8	【教科書内】 未来の機械化された学校と生徒の日常会話について の想像の読み、各課の状況と登場人物の心情を 読み取る。 【授業活動】 各課の状況や登場人物の心情を考えたり想像した りしながら、やや詳細な要約の作成を促す。	教科書/映像視聴 /報告課題	○	○		
7月	Lesson 6	The Mystery of the Tarracota Warriors	関係代名詞: who which	054-063	12	【教科書内】 古代中国を統一した秦の始皇帝の事跡と彼がした 功績について学習する。 【教科書外】 関係代名詞 (who, which) の非制限用法 【授業活動】 古代で面白い事柄について、英語でまとめるある 発表を準備することができる。	教科書/映像視聴 /報告課題	◎	○	第7回・第8回 7月31日	
8月	Lesson 7	Green Challenges	比較表現	064-073	12	【教科書内】 持続可能な開発目標(SDGs)についての発表を 通じて、エネルギー問題とその解決策について学習 する。 【教科書外】 比較表現 【授業活動】 再生可能エネルギーについて、語彙や構文を比較し て英語でプレゼンテーションを準備することができる。	教科書/映像視聴 /報告課題	◎	○	第9回・第10回 8月31日	
9月	Lesson 8	Witnesses of War	名詞を後ろから説明 する分詞	074-083	12	【教科書内】 第二次世界大戦で経験した広島の高層ビルとその崩壊 について考える。 【教科書外】 分詞 【授業活動】 高層ビルから見た戦争の惨状 【授業活動】 経験したことや考えたことについて、英語でまと めるある発表を準備することができる。	教科書/映像視聴 /報告課題	◎	○		
9月	Lesson 9	The Wonders of Lightning	仮定法過去	084-093	15	【教科書内】 雷の科学的な仕組みや天気予報の仕組みを通して、 雷の発生し方や危険性、気象観測の重要性を 理解しながら学習する。 【教科書外】 仮定法過去 【授業活動】 雷の科学的な仕組みについて、英語でインタビュー をすることができる。	教科書/映像視聴 /報告課題	◎	○	第11回・第12回 9月30日	
9月	Extra Target 1	過去完了形・過去完了 進行形		094	3	【教科書外】 過去完了形/過去完了進行形 【授業活動】 映画『ロード・to 死ねる』を視聴して過去完了 形を用いた文章を分析する。 【授業活動】 ある事件がどうも継続していたことを過去完了進行 形を用いて説明する。	教科書	○	○		
10月	Extra Target 2	無生物主語		095	3	【教科書外】 無生物主語 【授業活動】 無生物主語を用いた英語らしい表現を書き換えた 文、漢文も書き換えたりする。	教科書	○	○		
10月	Lesson 10	Katherine's Long Journey	関係代名詞 whose	096-105	15	【教科書内】 人類探検の歴史を通して、北極探検隊に所属した アフリカ系アメリカ人探検家、キャサリン・ジョ ンズ探検隊の探検について学習する。 【教科書外】 関係代名詞 whose 【授業活動】 探検の歴史を通して、英語でインタビューを 準備することができる。	教科書/映像視聴 /報告課題	◎	○	映像視聴報告 10月31日	
10月	Reading 2	Table for Two		106-111	10	【教科書内】 アメリカの食文化に由来したような、若い男女の恋愛 感や関係の物語を通して、各課の状況や登場人物 の心情を読み取る。 【授業活動】 各課の状況や登場人物の心情を考えたり想像した りしながら要約する。	教科書/映像視聴 /報告課題	○	○		

【学習上の注意】

※教科書の各レッスンの最初のページにあるQRコードより、本文と音声の再生を聞くことができます。積極的に活用しましょう。

【映像視聴について】

英語コミュニケーションⅢ 教科書解説動画

指示された所定時間、所定回数以上を視聴・学習すること。

<https://www3.tokyo-shoseki.co.jp/api/news/index.php?encode=off&id=6562>

【学習評価】

*主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点	評価基準
知識・技能	▶学習した表現を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ▶学習した表現を活用し、相手とコミュニケーションできる技能を身につけている。
思考・判断・表現	▶学習した表現について、その使い方や使う場面などを正しく認識し、適切に使っている。 ▶自分の考えをまとめるために、相手が理解しやすいように情報を整理し、考えや気持ちを話したり書いたりして伝え合っている。
主体的に学習に取り組む態度	▶学習した表現について、その使い方や使う場面などを正しく認識し、適切に使うとしている。 ▶自分の考えをまとめるために、相手が理解しやすいように情報を整理し、考えや気持ちを話したり書いたりして伝え合うとしている。

【単位認定基準】

①報告課題(レポート)：12回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。

②面接指導(スクリーニング)：実施が行われる面接指導に7単位数以上出席することが必要。出席認定基準については別記。

③単位認定試験の得点：単位認定試験や所定以上の得点を修めること。

科目コード	教科	科目	原簿期間	履修	単位数	年間自学習単位数時間	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
	外国語	論理・表現Ⅰ	通年	選択	2	70単位数時間(50分×70)	4単位数時間	教科書 INEN FACSIMILE English Logic and Expression I 2 東書 論 I 701	授業者に準ずる	吉本 俊夫

第一学院高等学校 義父校

【教科学習を通して、育てたい生徒像(カリキュラムマネジメント)】

- ・日常の社会的な話題について、多くの実感を活用しながら、
- ・文脈にある論理や意見を捉えながら、情報や考え、気持ちなどを、取り取りを通して伝え合うことができる。
- ・論議の構成や展開を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを、話したり書いたりして伝えることができる。

【学習目標】

(知識・技能)

- ▶ 学習した表現を用いた文の形・意味・用法を理解することができる。
 - ▶ 学習した表現を活用し、話す・書くなどのやり取りを通して、必要な情報を得ることができる。
 - ▶ 日常的な話題や社会的な話題について関わり関わりして得られた情報や考えなどを活用しながら、話したり書いたりして自分自身の考えなどを適切に表現することができる。
- (思考・判断・表現)
- ▶ 自分自身の考えをまとめるために、相手が理解しやすいように情報を整理し、要点や意図などを明確にしながら、自分自身の考えなどを伝え合うことができる。
 - ▶ 学習した表現について、その使い方や使う場面などを正しく認識し、適切に使うとする態度を身に付けることができる。
- (主体的に学習に取り組む態度)
- ▶ デイブートやディスカッションで使う表現などに適切な表現を積極的に使うことができる。

【学習方法】

- ①メディア授業 ・母語話者の英語を聞き、論理的に伝える表現について知る。(聞くこと・話すこと【発表】)
- ②本校スケーリング ・情報や考え、気持ちなどを、多様な語句や文法を用いて論理的に伝える。(話すこと【やり取り】【発表】・書くこと)
- ③報告課題(レポート) ・論議的に話したり書いたりするための表現や展開を身につける。(読むこと・書くこと)

【年間学習計画】

学習日	単元及び主な学習内容	教科書該当頁	学習日数	学習到達目標	学習教材	副教材(S)	報告課題(A)	備考
5月	英語で表現するには	006-011	2	【知識】 単語、文法、読解、聴解の基本的な知識、やり取りについて理解している。 【技能】 聞き取りや読み取り、発音や発話の基本的な表現を聞き取り、発音や発話をする。	教科書/映像授業	○		
5月	Unit 1 Lesson 1 初めての食事	014-019	3	【知識】 食べる、飲む、飲むなどの表現の形・意味・用法を理解している。 【技能】 単文の知識を用いて、食べる、飲む、飲むなどの表現を適切に活用し、自分の考えや気持ちを伝えたりする。	教科書/映像授業/報告課題	◎		
5月	Unit 1 Lesson 2 道に迷う	020-025	3	【知識】 食べる、飲む、飲むなどの表現の形・意味・用法を理解している。 【技能】 単文の知識を用いて、食べる、飲む、飲むなどの表現を適切に活用し、自分の考えや気持ちを伝えたりする。	教科書/映像授業/報告課題	○	○	第1回 5月31日
5月	Unit 1 Lesson 3 人物紹介	026-031	3	【知識】 食べる、飲む、飲むなどの表現の形・意味・用法を理解している。 【技能】 単文の知識を用いて、食べる、飲む、飲むなどの表現を適切に活用し、自分の考えや気持ちを伝えたりする。	教科書/映像授業/報告課題	◎		
6月	Unit 1 Lesson 4 体調が悪い	032-037	3	【知識】 食べる、飲む、飲むなどの表現の形・意味・用法を理解している。 【技能】 単文の知識を用いて、食べる、飲む、飲むなどの表現を適切に活用し、自分の考えや気持ちを伝えたりする。	教科書/映像授業/報告課題	○	○	
6月	Unit 1 Lesson 5 買い物	038-043	3	【知識】 食べる、飲む、飲むなどの表現の形・意味・用法を理解している。 【技能】 単文の知識を用いて、食べる、飲む、飲むなどの表現を適切に活用し、自分の考えや気持ちを伝えたりする。	教科書/映像授業/報告課題	◎	○	
6月	Unit 1 Lesson 6 行ってみたい場所	044-049	3	【知識】 食べる、飲む、飲むなどの表現の形・意味・用法を理解している。 【技能】 単文の知識を用いて、食べる、飲む、飲むなどの表現を適切に活用し、自分の考えや気持ちを伝えたりする。	教科書/映像授業/報告課題	○		第2回 6月30日
6月	Unit 1 Lesson 7 イベントに誘われる	050-055	3	【知識】 食べる、飲む、飲むなどの表現の形・意味・用法を理解している。 【技能】 単文の知識を用いて、食べる、飲む、飲むなどの表現を適切に活用し、自分の考えや気持ちを伝えたりする。	教科書/映像授業/報告課題	◎		
6月	Unit 1 Lesson 8 ネットで検索する	056-061	3	【知識】 食べる、飲む、飲むなどの表現の形・意味・用法を理解している。 【技能】 単文の知識を用いて、食べる、飲む、飲むなどの表現を適切に活用し、自分の考えや気持ちを伝えたりする。	教科書/映像授業/報告課題	○		
7月	Unit 1 Lesson 9 お気に入りの紹介	062-067	3	【知識】 食べる、飲む、飲むなどの表現の形・意味・用法を理解している。 【技能】 単文の知識を用いて、食べる、飲む、飲むなどの表現を適切に活用し、自分の考えや気持ちを伝えたりする。	教科書/映像授業/報告課題	○		
7月	Unit 1 Lesson 10 持ち合わせに便利な	068-073	3	【知識】 食べる、飲む、飲むなどの表現の形・意味・用法を理解している。 【技能】 単文の知識を用いて、食べる、飲む、飲むなどの表現を適切に活用し、自分の考えや気持ちを伝えたりする。	教科書/映像授業/報告課題	◎	○	第3回 7月31日
7月	Unit 1 Lesson 11 家庭でのディスカッション	074-079	3	【知識】 食べる、飲む、飲むなどの表現の形・意味・用法を理解している。 【技能】 単文の知識を用いて、食べる、飲む、飲むなどの表現を適切に活用し、自分の考えや気持ちを伝えたりする。	教科書/映像授業/報告課題	○		
8月	Unit 1 Lesson 12 英字新聞に投稿	080-085	3	【知識】 食べる、飲む、飲むなどの表現の形・意味・用法を理解している。 【技能】 単文の知識を用いて、食べる、飲む、飲むなどの表現を適切に活用し、自分の考えや気持ちを伝えたりする。	教科書/映像授業/報告課題	○		
8月	Unit 2 Lesson 1 クラスでディベート①	088-093	4	【知識】 食べる、飲む、飲むなどの表現の形・意味・用法を理解している。 【技能】 単文の知識を用いて、食べる、飲む、飲むなどの表現を適切に活用し、自分の考えや気持ちを伝えたりする。	教科書/映像授業/報告課題	○		第4回 8月31日
9月	Unit 2 Lesson 2 クラスでディベート②	094-099	4	【知識】 食べる、飲む、飲むなどの表現の形・意味・用法を理解している。 【技能】 単文の知識を用いて、食べる、飲む、飲むなどの表現を適切に活用し、自分の考えや気持ちを伝えたりする。	教科書/映像授業/報告課題	○		
9月	Unit 2 Lesson 3 経験談のスピーチ	100-105	4	【知識】 食べる、飲む、飲むなどの表現の形・意味・用法を理解している。 【技能】 単文の知識を用いて、食べる、飲む、飲むなどの表現を適切に活用し、自分の考えや気持ちを伝えたりする。	教科書/映像授業/報告課題	○		第5回 9月30日
9月	Unit 2 Lesson 4 遊びやスポーツを紹介	106-111	4	【知識】 食べる、飲む、飲むなどの表現の形・意味・用法を理解している。 【技能】 単文の知識を用いて、食べる、飲む、飲むなどの表現を適切に活用し、自分の考えや気持ちを伝えたりする。	教科書/映像授業/報告課題	○		
10月	Unit 2 Lesson 5 日本をPR	112-117	4	【知識】 食べる、飲む、飲むなどの表現の形・意味・用法を理解している。 【技能】 単文の知識を用いて、食べる、飲む、飲むなどの表現を適切に活用し、自分の考えや気持ちを伝えたりする。	教科書/映像授業/報告課題	○		
10月	Unit 2 Lesson 6 物語の両面を伝える	118-123	4	【知識】 食べる、飲む、飲むなどの表現の形・意味・用法を理解している。 【技能】 単文の知識を用いて、食べる、飲む、飲むなどの表現を適切に活用し、自分の考えや気持ちを伝えたりする。	教科書/映像授業/報告課題	○		第6回・映像授業 報告 10月31日
10月	Unit 2 Lesson 7 読み手を納得させる(分詞構文)	124-129	4	【知識】 食べる、飲む、飲むなどの表現の形・意味・用法を理解している。 【技能】 単文の知識を用いて、食べる、飲む、飲むなどの表現を適切に活用し、自分の考えや気持ちを伝えたりする。	教科書/映像授業/報告課題	○		
10月	Unit 2 Lesson 8 読み手を納得させる	130-135	4	【知識】 食べる、飲む、飲むなどの表現の形・意味・用法を理解している。 【技能】 単文の知識を用いて、食べる、飲む、飲むなどの表現を適切に活用し、自分の考えや気持ちを伝えたりする。	教科書/映像授業/報告課題	○		

【学習上の注意】

※ 教科書の各レッスンの最初のページにあるQRコードより、本文と音声の音声を聞くことができます。積極的に活用しましょう。

【映像視聴について】

論理・表現Ⅰ 教科書解説動画
指示された所定時間、所定回数以上を視聴・学習すること。
<https://www.3tokyo-shaseki.co.jp/ai/witrus/index.php?encode=off&id=rd-1>



【学習評価】

*主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点	評価基準
知識・技能	▶ 学習した表現を用いた文の形・意味・用法を理解することができる。 ▶ 学習した表現を活用し、話す・書くなどのやり取りを通して、必要な情報を得ることができる。
思考・判断・表現	▶ 日常的な話題や社会的な話題について関わり関わりして得られた情報や考えなどを活用しながら、話したり書いたりして自分自身の考えなどを適切に表現することができる。 ▶ 自分自身の考えをまとめるために、相手が理解しやすいように情報を整理し、要点や意図などを明確にしながら、自分自身の考えなどを伝え合うことができる。
主体的に学習に取り組む態度	▶ 学習した表現について、その使い方や使う場面などを正しく認識し、適切に使うとする態度を身に付けることができる。 ▶ デイブートのディスカッションで使う表現などに適切な表現を積極的に使うことができる。

【評価方法】

- ①報告課題(レポート) : 6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- ②映像視聴(スケーリング) : 実務で行われる面接指導に4倍時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。
- ③単位認定試験の得点 : 単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

教科	科目	単位数	必要面接時数	教科書	副教材	担当者
外国語科（英語）	実践英語 I	2	4 単位時間	英検 4 級総合対策教 本	授業者に準ずる	吉本 優月

【教科学習を通じて、育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】

言語活動を通じて、相手の思いを理解したり、場面や状況に応じて適切に自分の思いを表現したりする力をつける。

ニュースや SNS の投稿で活用されている「生きた英語」に触れ、自分で表現できる力をつける。

【学習目標】

知識・技能：話す、書くなどのやり取りを通して、必要な情報を得ることができる。

思考・判断・表現：日常的な話題や社会的な話題について、情報を得て、自分自身で表現することができる。

主体的に学習に取り組む態度：ディベートやディスカッションで使う表現など場に応じた表現を使うことができる。

【学習方法】

① メディア授業

・母語話者の英語を聞き、論理的に伝える表現について知る。〈聞くこと・書くこと〉

② 本校スクーリング

・情報や考え、気持ちなどを、多様な語句や文を用いて論理的に伝える。〈話すこと・書くこと〉

③ 報告課題（レポート）

・論理的に話したり書いたりするための表現や展開を身につける。〈読むこと・書くこと〉

【学習評価】

*主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。

評価観点	評価基準
知識・技能	・話す、書くなどのやり取りを通して、必要な情報を得ることができる。
思考・判断・表現	・日常的な話題や社会的な話題について、情報を得て、自分自身で表現することができる。

主体的に学習に取り組む態度

・ディベートやディスカッションで使う表現など場に応じた表現を使うことができる。

【年間学習計画】

学習月	単元及び主な学習内容	面接指導 (S)		報告課題 (R)	学習到達度目標
		メディア (映像視聴学習)	本校スクーリング (面接指導)	締切期限	
5月	Part 1 5級の復習をしよう be 動詞・一般動詞・現在進行形・命令文	◎		第1回 5月31日	英語の基本的なルールや文法を理解することができる。
5月	Part 1 5級の復習をしよう 代名詞・疑問詞①・疑問詞②・Part1の振り返り	◎			会話でよく利用する疑問詞を理解し、表現するだけでなく、質問事項に対して答えることができる。
6月	Part 2 英語の文法を知ろう 過去形・過去進行形・be going to と will・can, could, may, must, have to	◎	○	第2回 6月30日	時制の違いを理解することができる。 助動詞を使って表現することができる。
6月	Part 2 英語の文法を知ろう to不定詞・動名詞・as ~ as …	◎	○		to不定詞と動名詞の使い分けをすることができる。 原級を使って、身近なものを表現することができる。
6月	Part 2 英語の文法を知ろう	◎	○		比較級・最上級と学習した原級をそれぞれ使い分けることができる。

	比較級・最上級・There is / are~構文・いろいろな意味や使い方がある動詞・接続詞				それぞれの文に応じた動詞を理解することができる。
7月	Part 3 会話表現を覚えよう 勧誘・提案・依頼・許可・買い物・道を尋ねる・電話	○	○	第3回 7月31日	日常で使われる会話表現を理解するだけでなく、表現し、尋ねられたことに対して、返答をすることができる。
7月	Part 4 英語で聞いてみよう 「天気」を聞く・「したいこと」を聞く・「予定・できごと」を聞く・「話題・問題」を聞く・「数・時間・頻度など」を聞く	○			まとまった英語を聞き、大事なポイントを押さえ、質問に答えることができる。
8月	Part 5 英語を読んでみよう 案内・お知らせを読む練習	○		第4回 8月31日	案内や掲示から適切な情報を読み取り、理解することができる。
9月	Part 5 英語を読んでみよう Eメール・手紙・体験談を読む練習	○		第5回 9月30日	Eメールや手紙・体験談の文のきまりを理解し、適切な情報を読み取ることができる。
9月	Part 6 スピーキングテスト対策をしよう スピーキングテストの内容を知り、必要な力を身に付ける	○			スピーキングテストにひつような力を身に付け、実践することができる。
10月	予想問題 予想問題に挑戦し、これまでの学習の成果を確認する	○		第6回・映像視聴報告 10月31日	これまでの学習した内容を理解し、問題に取り組むことができる。

教科	科目	単位数	必要面接時数	教科書	副教材	担当者
外国語科（英語）	実践英語Ⅱ	2	4 単位時間	英検 3 級総合対策教 本	授業者に準ずる	吉本 優月

【教科学習を通じて、育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】

言語活動を通じて、相手の思いを理解したり、場面や状況に応じて適切に自分の思いを表現したりする力をつける。

ニュースや SNS の投稿で活用されている「生きた英語」に触れ、自分で表現できる力をつける。

【学習目標】

知識・技能：話す、書くなどのやり取りを通して、一定の支援を活用しながら必要な情報を得ることができる。

思考・判断・表現：一定の支援を活用しながら日常的な話題や社会的な話題について、情報を得て、自分自身で表現することができる。

主体的に学習に取り組む態度：ディベートやディスカッションで使う表現など場に応じた表現を積極的に使うことができる。

【学習方法】

① メディア授業

・母語話者の英語を聞き、論理的に伝える表現について知る。〈聞くこと・書くこと〉

② 本校スクーリング

・情報や考え、気持ちなどを、多様な語句や文を用いて論理的に伝える。〈話すこと・書くこと〉

③ 報告課題（レポート）

・論理的に話したり書いたりするための表現や展開を身につける。〈読むこと・書くこと〉

【学習評価】

*主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。

評価観点	評価基準
知識・技能	・話す、書くなどのやり取りを通して、一定の支援を活用しながら必要な情報を得ることができる。
思考・判断・表現	・一定の支援を活用しながら日常的な話題や社会的な話題について、情報を得て、自分自身で表現することができる。
主体的に学習に取り組む態度	・ディベートやディスカッションで使う表現など場に応じた表現を積極的に使うことができる。

【年間学習計画】

学習月	単元及び主な学習内容	面接指導 (S)		報告課題 (R)	学習到達度目標
		メディア 映像視聴学習	本校スクーリング (面接指導)	締切期限	
5月	第1章 文法 時制・代名詞・受動態	◎		第1回 5月31日	基本となる文法を深く理解し、積極的に問題に取り組むことができる。
5月	第1章 文法 比較・準動詞・分詞・関係代名詞 ・間接疑問文・付加疑問文	◎			基本となる文法を深く理解し、積極的に問題に取り組むことができる。
6月	第2章 単語・熟語 動詞・名詞・形容詞	○	○	第2回 6月30日	日常で使われる単語・熟語を理解し、表現することができる。
6月	第2章 単語・熟語 副詞・前置詞・熟語	○	○		日常で使われる単語・熟語を理解し、表現することができる。
6月	第3章 会話文 機能別会話表現・場面・話題の会話表現	◎	○		日常で使われる会話表現を理解するだけでなく、表現し、尋ねられたことに対して、返答をすることができる。
7月	第4章 長文読解 掲示・手紙文	○	○	第3回 7月31日	掲示・手紙から適切な情報を読み取り、理解することができる。
8月	第4章 長文読解 Eメール・説明文	○		第4回 8月31日	Eメールや説明文のきまりを理解し、適切な情報を読み取ることができる。
9月	第5章 英作文 基本的なルール・基本構造 日本語と英語の表現方法の違い	○		第5回 9月30日	英語の文構造を理解し、日本語と英語の表現方法の違いまで理解することができる。
9月	第6章 リスニング 第1部 (イラスト問題)・第2部 (対話問題)	○			リスニングに必要な力 (強弱・抑揚・音のつながり) を身につける。

10月	第6章 リスニング 第3部 (まとまりのある文)	○		第6回・映像 視聴報告	様々な状況のリスニングを聞き、全体把握だけでなく、必要な情報を聞き取ることができる。
10月	第7章 面接 試験の流れ・質問に対する応答のポイント	○		10月31日	面接の全体像をつかみ、表現することができる。

教科	科目	単位数	必要面接時数	教科書	副教材	担当者
外国語科（英語）	実践英語Ⅲ	2	4	英検 2 級総合対策教本	授業者に準ずる	吉本 優月

【教科学習を通じて、育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】

言語活動を通じて、相手の思いを理解したり、場面や状況に応じて適切に自分の思いを表現したりする力をつける。

ニュースや SNS の投稿で活用されている「生きた英語」に触れ、自分で表現できる力をつける。

【学習目標】

知識・技能：話す、書くなどのやり取りを通して、支援がほとんどなくても、必要な情報を得ることができる。

思考・判断・表現：支援がほとんどなくても日常的や発展的な話題や社会的な話題について、情報を得て、自分自身で表現することができる。

主体的に学習に取り組む態度：ディベートやディスカッションで使う表現など場に応じた表現を積極的に使うことができる。

【学習方法】

① メディア授業

・母語話者の英語を聞き、論理的に伝える表現について知る。〈聞くこと・書くこと〉

② 本校スクーリング

・情報や考え、気持ちなどを、多様な語句や文を用いて論理的に伝える。〈話すこと・書くこと〉

③ 報告課題（レポート）

・論理的に話したり書いたりするための表現や展開を身につける。〈読むこと・書くこと〉

【学習評価】

*主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。

評価観点	評価基準
知識・技能	・話す、書くなどのやり取りを通して、支援がほとんどなくても、必要な情報を得ることができる。
思考・判断・表現	・支援がほとんどなくても日常的や発展的な話題や社会的な話題について、情報を得て、自分自身で表現することができる。
主体的に学習に取り組む態度	・ディベートやディスカッションで使う表現など場に応じた表現を積極的に使うことができる。

【年間学習計画】

学習月	単元及び主な学習内容	面接指導 (S)		報告課題 (R)	学習到達度目標
		メディア (映像視聴学習)	本校スクー リング(面接指導)	締切期限	
5月	第1章 文法 1 文型・時制・態 2 助動詞 3 仮定法 4 不定詞・分詞・動名詞 5 関係詞	◎	○	第1回 5月31日	基本的な文法を深く理解し、 応用問題を解くことができる。
5月	第1章 文法 6 比較 7 名詞・代名詞・冠詞 8 形容詞・ 副詞 9 前置詞・接続詞 10 特殊な構文	◎	○		基本的な文法を深く理解し、 応用問題を解くことができる。
6月	第2章 筆記1 (単語・熟語) ①同意語・反意語 ②派生語 ③注意が必要な語	○	○	第2回 6月30日	1つの単語からそれに関連す る単語を覚えることができ る。
6月	第2章 筆記1 (単語・熟語) ①よく出る熟語 ②注意が必要な熟語	○	○		1つの単語からそれに関連す る単語を覚えることができ る。
6月	第3章 筆記2・3 (長文読解) ①長文の構成 ②長文の読み方のこつ	○			長文の構成を把握し、「つなぎ 言葉」や「言い換え」着目 し、問題を解くことができ る。
7月	第3章 筆記2・3 (長文読解) ①長文の空所補充問題 ②Eメール ③レポート	○		第3回 7月31日	長文の構成を把握し、「つなぎ 言葉」や「言い換え」着目 し、問題を解くことができ る。

8月	第4章 筆記4 (英作文) ①英作文の基礎 ②エッセイの構成 ④ 時間配分 ④覚えるべき表現	○		第4回 8月31日	主語や単数・複数に注意し、エッセイの構成を理解することができる。
9月	第5章 リスニング第1部 (会話文) ①音声変化 ②会話表現	○		第5回 9月30日	発話で起こる「不安定」な音声を聞き取り、特徴を捉えることができる。
9月	第6章 リスニング第2部 (一般文) ①選択肢から内容を予測する ②パターン把握	○			選択肢から内容を把握し、文章のパターンを理解することができる。
10月	第6章 リスニング第2部 (一般文) ③チャンキング ④強く発音される内容語から大意をつかむ	○		第6回・映像視聴報告 10月31日	強く発音される内容語から大意をつかみ、情報を整理することができる。
10月	第7章 面接 〈ポイントの整理〉 アティチュード・黙読・音読・質問を聞き取り答える力を身につける・描写力・自分の考えを説明する	○			面接の全体像をつかみ、表現することができる。

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位時間	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
家庭	家庭基礎	通年	必修履	2	70単位時間 (50分×70)	2単位時間	東京書籍 『家庭基礎 自立・共生・創造』 2東書 家基701	授業者に準ずる	天品 祐波

【教科学習を通じて、育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】

人間の生涯にわたる発達と生活の営み、自身の生活に関心を持ち、より豊かに日常生活を送れる実践的な知識、技術を身に付け、それを実践できている。

【学習目標】

- 〈知識・技能〉 人の一生と家族、および福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な知識を身に付け、実践することができる。
- 〈思考・判断・表現〉 生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想、実践し、考察したことを根拠に基づいて表現できる。
- 〈主体的に取り組む態度〉 様々な人々と協働し、地域社会に参画しようとするともに、自分や家族、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を身に付ける。

【学習方法】

- ①メディア授業 生活を主体的に営むために必要な知識、技能に興味関心を持つ。
- ②本校スクーリング 自身の生活に関心を持ち、日常生活をより豊かに送れる知識、技能を身に付ける。
- ③報告課題（レポート） 基本的な家庭基礎の知識を包括的に得て、自己や家族を起点に地域や社会への視野を広げる。

○メディア箇所全

◎メディア視聴報告書箇所

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位時間	学習到達度目標	学習教材	面接指導 (S)		報告課題 (R)	備考
	編	章	節	項					メディア (映像視聴学習)	本校スクーリング (課題指導)		
5月		家庭科の学び方 (・家庭活動の充実)	ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動	家庭科の学び方	見返し1-2	1	・ホームプロジェクト及び学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解する。 ・自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、解決方法を考え、計画を立てて実践しようとする。	教科書・映像視聴	○			
5月		家庭科の学び方 (・家庭活動の充実)	ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動	生活に生かそう・自分の意見を文章にまとめよう	4~11	1	・ホームプロジェクト及び学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解する。 ・自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、解決方法を考え、計画を立てて実践しようとする。	教科書・映像視聴	○			
5月	家族・社会との共生	第1章 生活を見直す		1人生を展望する	人な生活を通過して発達する	12~17	1	・自立した生活を営むために、生活発達の発点からライフステージの特徴と課題を理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○	
5月	家族・社会との共生	第1章 生活を見直す		2目標を持って生きる	人生は意思決定の連続	18~21	1	・生活課題に対して意思決定を行う重要性を理解し、歩みたい人生の目標を掲げる。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○	第1回 5月31日
5月	家族・社会との共生	第2章 人生をつくる		1人生をつくる	「人生100年」時代を生きる	22~25	2	・生涯を見通して自分のライフスタイルを考へることができるよう、さまざまな生き方について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		
5月	家族・社会との共生	第2章 人生をつくる		2家族・家庭を見つめる	家族・家庭をどう捉えるか	26~31	2	・よりよい家庭生活を実現するために、家族・家庭と私たちの生活の結びつきを理解する。 ・社会制度としての家族や家族と法律を理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○	
5月	家族・社会との共生	第2章 人生をつくる		3これからの家庭生活と社会	家庭生活をどう捉えるか	32~35	1	・誰もが家庭や地域のよりよい生活を創造できるよう、仕事と家庭の両立や家庭生活と地域の結びつきについて理解する。 ・誰もが家庭や地域のよりよい生活を創造するにはどのような社会を実現すればよいか、考へて実践しようとする。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○	
6月	家族・社会との共生	第3章 子どもと共に育つ		1命を育む	次世代の育成	38~40	1	・命に対する責任や、社会の一員として次世代を育む責任を持つために、性と生殖に関する健康について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		
6月	家族・社会との共生	第3章 子どもと共に育つ		2子どもの育つ力を知る	子どもの育つ力	41~47	2	・子どもの発達に応じて適切に関わるようになるために、子どもが生まれつき持っている能力や心身の発達について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		
6月	家族・社会との共生	第3章 子どもと共に育つ		3子どもと関わる	子どもの発達と保育	48~51	2	・子どもの発達に応じて適切に関わるようになるために、子どもが生まれつき持っている能力や心身の発達について理解する。	教科書・映像視聴	○		
6月	家族・社会との共生	第3章 子どもと共に育つ		4子どもとの触れ合いから学ぶ	子どもと触れ合おう	52~55	2	・子どもの発達に応じて適切に関わるようになるために、子どもが生まれつき持っている能力や心身の発達について理解する。	教科書・映像視聴	○		
6月	家族・社会との共生	第3章 子どもと共に育つ		5これからの保育環境	現代の子育て環境	56~61	2	・社会全体で子育てを支援していくために、現代の子育て環境の変化や課題について理解する。 ・子どもが健やかに育つ社会をどのように実現すればよいか、考へて実践しようとする。	教科書・映像視聴・報告課題	○		第2回 6月30日
6月	家族・社会との共生	第4章 超高齢社会を共に生きる		1超高齢・大衆長寿社会の到来	少子化・高齢化の進行	64~66	1	・超高齢社会の背景を理解する。 ・高齢者が生きがいを持って生活するためには、家族や地域によるどのような支援が必要か、考へる。	教科書・映像視聴・報告課題	○		
6月	家族・社会との共生	第4章 超高齢社会を共に生きる		2高齢者の心身の特徴	老化と成熟	67~71	2	・加齢に伴う心身の老化や高齢者の生き方や尊厳について理解を深める。 ・高齢期を支える社会の仕組みや課題について考へる。	教科書・映像視聴・報告課題	○		
6月	家族・社会との共生	第4章 超高齢社会を共に生きる		3これからの超高齢社会	高齢者の自立を支える	72~75	2	・高齢者の自立を支えるために私たちにできる適切な支援の方法や関わり方を考へる。 ・超高齢社会の課題を踏まえて、自分自身の高齢期をよりよく生きるようにするとともに、地域社会の一員として高齢者との関わり方を考へ、行動しようとする。	教科書・映像視聴・報告課題	○		
6月	家族・社会との共生	巻頭・各章末 ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動		・生活に生かそう ホームプロジェクト 各章末「ホームプロジェクト」	・ホームプロジェクト及び学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解する。 ・自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、解決方法を考え、計画を立てて実践しようとする。	4~9	1	・ホームプロジェクト及び学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解する。 ・自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、解決方法を考え、計画を立てて実践しようとする。	教科書・映像視聴	○		

7月	家族・社会との共生	第5章 共に生き、共に支える	1 私たちの生活と福祉	リスクに備える	78~79	1	・誰もが生活を営んで自分の力を生かし、必要に応じて援助を得ながら安心して暮らせる社会に向けて、家族・家庭生活を支える福祉について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		
7月	家族・社会との共生	第5章 共に生き、共に支える	2 社会保障の考え方	社会保障とは	80~81	1	・共に支え合う社会の実現に向けて、国・地方公共団体の制度などの支援体制、支え合いの構造について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		
7月	家族・社会との共生	第5章 共に生き、共に支える	3 共に生きる	共生社会を目指して	82~85	1	・私たちが多様性を発揮して共に豊かに暮らせる社会に向けて、個人や地域はどのような役割を果たし、つなげていけばよいか、考えて実践しようとする。	教科書・映像視聴・報告課題	○		
7月	生活の自立	第6章 食生活をつくる	1 食生活の課題について考える	青年期の食生活の課題	86~89	1	・よりよい食習慣を身につけ、生活を継続に過ごすために、食生活の課題や食事の意義、食生活を取り巻く環境の変化などを理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	◎		第3回 7月31日
7月	生活の自立	第6章 食生活をつくる	2 食事と栄養・食品	栄養と栄養素	90~101	4	・自分や家族が健康に過ごす食生活に役立てるために、栄養素の種類と機能や食品の決定的特徴や調理性について、科学的な理解を深める。	教科書・映像視聴・報告課題	◎		
7月	生活の自立	第6章 食生活をつくる	3 食生活の選択と安全	食品の選択	102~105	2	・安全で衛生的な食生活を営むために食品の選び方、保存や加工の方法、食中毒や食物アレルギー、安全を確保するための仕組みに関する知識を身につける。	教科書・映像視聴・報告課題	◎		
7月	生活の自立	第6章 食生活をつくる	4 生活の健康を見通した食事計画	栄養バランスのよい食事	106~111	2	・自分や家族の食生活を計画・管理できるようにするために、各ライフステージの食生活の特徴や課題を理解し、「健康によい、栄養バランスのよい食事」とはどのようなものかを理解する。	教科書・映像視聴	○		
7月	生活の自立	第6章 食生活をつくる	5 調理学の基礎	調理法や味付けのバランス	112~125	5	・食生活の自立に必要な調理の知識と技術を身につけるために、調理や加工によりおいしさが変化することを科学的に捉える。 ・配膳やマナーに関心を持つ。	教科書・映像視聴・報告課題	○		
8月	生活の自立	第6章 食生活をつくる	6 食生活の文化と知恵	日本の食文化	126~127	1	・郷土食や行事食などのよさを継承・創造するために、日本の食文化の特徴を確認する。 ・世界の食文化に関心を持ち、私たちの食生活への影響について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		
8月	生活の自立	第6章 食生活をつくる	7 これからの食生活	食料生産と食料問題	128~131	2	・自分や家族の食生活を持続可能にすることができるようになるために、安全、環境、健康など食生活に関わる情報を適切に判断し、広い視野で食生活について考える。	教科書・映像視聴・報告課題	○		
8月	生活の自立	第7章 衣生活をつくる	1 被服の役割を考える	高校生と衣生活	134~139	2	・私たちが被服を着用するに至った、社会的・文化的背景と服装の多様な機能や特徴について理解する。 ・用途に合った服装を実践できる力を身につけるために、社会生活を営むうえでの被服の役割を理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		
8月	生活の自立	第7章 衣生活をつくる	2 被服を入手する	被服の入手	140~147	3	・被服表示を参考に目的に応じた被服入手と着装について考えられる力を身につけるために、被服の材料や性能、加工について科学的に理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		第4回 8月31日
8月	生活の自立	第7章 衣生活をつくる	3 被服を管理する	被服の手入れ	148~153	2	・手持ちの被服を長期間にわたり着用することができるよう、管理や手入れの工夫について理解する。 ・環境に配慮した衣生活について考え、実践できる力を身につけるために、被服の洗濯や保管方法を科学的に理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		
8月	生活の自立	第7章 衣生活をつくる	4 衣生活の文化と知恵	被服の構造	154~157	1	・現代に受け継がれる日本の衣文化の工夫を受け継ぐために、日本の衣生活の変遷や日本の衣文化に込められた知恵や技術について知り、日本の民族衣装としての和服や世界の民族衣装について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		
8月	生活の自立	第7章 衣生活をつくる	5 これからの衣生活	被服の生産と消費	158~161	2	・次世代に引き継げる衣生活の在り方を考えるために、資源の消費の観点で自分の衣生活を再見する。 ・全ての人々が健康・安全・快適な衣生活を営むためのユニバーサルデザインの被服について理解を深める。	教科書・映像視聴・報告課題	○		
9月	生活の自立	第8章 住生活をつくる	1 住生活の変遷と住居の機能	住居の機能と変化	164~169	2	・生活を見通した住生活について考え、将来に向けて自立するために、私たちの毎日の生活を支える生活拠点ともなる住居の機能やライフステージごとの住要求を理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		
9月	生活の自立	第8章 住生活をつくる	2 安全で快適な住生活の計画	住居の防災	170~173	1.5	・自らの住生活に生かすことができるよう、防災、日照、換気などに関する環境性能について理解を深め、快適かつ健康、安全な生活を行う場となる住居の条件を理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		第5回 9月30日
9月	生活の自立	第8章 住生活をつくる	3 住生活の文化と知恵	伝統的な日本の住居	174~175	0.5	・日本の住文化の継承・創造に寄与するために、気候や風土の違い、時代の変化によって、大きく異なる世界や日本のさまざまな住文化について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		
9月	生活の自立	第8章 住生活をつくる	4 これからの住生活	日本の住宅政策	176~181	1	・持続可能な住居や、自助・互助・共助・公助に基づく地域コミュニティづくり、まちづくりの担い手になるために、環境に配慮した住生活について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		
10月	生活の自立	第9章 経済生活をつくる	1 情報の収集・比較と意思決定	消費生活と意思決定	184~186	1	・自立した責任ある消費者として、よりよい意思決定ができるよう、現代の消費生活における意思決定の重要性と情報の活用について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		

10月	生活の自立	第9章 経済生活を営む	2購入・支払いのルールと方法	購入と契約	187~189	2	・毎日の生活におけるさまざまな契約について理解する。 ・販売方法や支払い方法が多様化する中で責任ある消費行動が取れるよう、契約の重要性について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○		第6回・映像視聴 報告 10月31日
10月	生活の自立	第9章 経済生活を営む	3消費者の権利と責任	消費者の権利と責任	190~191	1	・消費者には権利と責任があることを理解する。 ・消費者問題を予防し適切に対応できるよう、消費者保護制度について理解する。 ・消費者の権利と責任の両方を踏まえて、どうすれば消費者市民社会が実現できるか考えて実践しようとする。	教科書・映像視聴・報告課題	○		
10月	生活の自立	第9章 経済生活を営む	4生涯の経済生活を見通す	安定した経済生活を営む	192~197	3	・生涯安定した経済生活を営めるように、経済的自立の重要性や生涯を見通した働き方について理解する。	教科書・映像視聴・報告課題	○	○	
10月	生活の自立	第9章 経済生活を営む	5これからの経済生活	これからの経済生活	198~199	1	・大きく変化する世界経済の中で家計をマネジメントする力をつけるため、家計と地域経済・国民経済・国際経済のつながりについて理解する。 ・どうすれば持続可能な経済成長が実現できるか考えて実践しようとする。	教科書・映像視聴・報告課題	○		
10月	生活の自立	第10章 持続可能な生活を営む	1持続可能な社会を目指して	大量消費社会の限界	200~205	2	・持続可能な社会を構築するために、持続可能な消費や生活について理解し、ライフスタイルを工夫する。 ・一人の主体者として、社会全体をよりよい方向に動かしていこうとする。	教科書・映像視聴・報告課題	○		
10月	生活の創造	第11章 これからの生活を創造する	1生活をデザインする	生活設計をする	208~213	1	・人生の目標を達成し、自分らしい生活が実現できるよう、各ライフステージの課題や生活資源、リスク管理について振り返りながら生活設計ができるようになる。 ・これから持続可能な社会を構築していくために、何ができるか考えて実践しようとする。	教科書・映像視聴・報告課題	○		

計70単位時間

【学習上の注意】

- 教科書を参考にしながら、丁寧に課題へ取り組みましょう。
- 家庭基礎は身の回りの生活全てに関わる重要な科目です。自身の生活に置き換えて考え、学習へ取り組んでください。

【映像視聴について】

指示された所定時間、所定回数以上を視聴・学習すること。
<https://ww3.tokyo-shoseki.co.jp/api/wirus/index.php?encode=off&id=4kkk>



【学習評価】

*主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点	評価基準
知識・技能	人の一生と家族、および福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な知識を身に付け、実践することができる。
思考・判断・表現	生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想、実践し、考察したことを根拠に基づいて表現できる。
主体的に学習に取り組む態度	様々な人々と協働し、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を身に付け、行動することができる。

【単位修得認定基準】

- 報告課題（レポート）：6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- 面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に2単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。
- 単位認定試験の得点：単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間目安学習単位数	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
情報	情報 I	通年	必修	2	70単位数 (50分×70)	2単位数	東京書籍 『新編-情報 I』 2 東書 情報 I 701	授業者に準ず る	田中 孝治

【教科学習を通じて、育てたい生徒像 (カリキュラムマネジメント)】

人間の生涯にわたる発達と生活の営み、自身の生活に関心を持ち、より豊かに日常生活を送れる実践的な知識、技術を身に付け、それを実践できている。

【学習目標】

〈知識・技能〉

情報社会と人との関わりについて、コンピュータの仕組みや法規、マナー等の幅広い視点で理解を深め、情報と情報技術を効果的かつ適切に活用できる知識・技能を身に付ける

〈思考・判断・表現〉

学習活動や日常生活において、様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、情報や情報技術を用いて身近な問題を発見・解決する問題解決能力を身に付ける。

〈主体的に取り組む態度〉

情報と情報技術を用いて問題を発見・解決することを通じて、情報社会における法規やマナー、情報セキュリティを守ろうとする態度などの情報モラルを身に付け、情報社会に主体的に参画する態度を身に付ける。

【学習方法】

①メディア授業

視覚、聴覚を活用した教材を使用し、情報や情報技術に関する知識、技能に興味関心を持つ。

②本校スクーリング

対面授業で他の生徒と意見を共有することで、情報と社会の関りを深く理解し、情報や情報技術を目的に応じて適切かつ主体的に活用しようとする態度を身に付ける。

③報告課題 (レポート)

情報と情報技術、情報社会に関する知識を包括的に得て、情報や情報技術を目的に応じて適切に活用する方法を考察し、判断する力を身に付ける。

○メディア箇所全て

◎メディア視聴報告書箇所

【年間学習計画】

学習目安月	単元及び主な学習内容				教科書該当頁	学習目安単位数	学習到達度目標	学習教材	面接指導 (S)		報告課題 (R)	備考
	編	章	節	項					メディア (映像視聴学習)	本校スクーリング (対面授業)		
4月	理論編	1章 情報で問題を解決する	1 情報とメディアの特性		P6~P7	1	・情報の特性から、情報とは何か理解できる。 ・さまざまなメディアの特性を理解できる。	教科書・映像視聴・報告課題	◎		第1回 5月31日	
4月	理論編 実習編	1章 情報で問題を解決する 5章 活動して提案する	2 問題解決の流れ 42 検索のコツ 43 職業人インタビュー		P8~P9 P119 P120	2	・問題を発見・解決するための一連の流れを理解できる。	教科書・映像視聴・放送視聴・報告課題	◎	○		
4月	理論編 資料編	1章 情報で問題を解決する	3 発想法 問題解決のツール		P10~P11 P156 P158	2	・問題解決の各場面で活用できる発想法を理解できる。	教科書・映像視聴・報告課題	◎	○		
4月	理論編	1章 情報で問題を解決する	4 情報モラル		P12~P13	2	・情報社会で生活していくための情報モラルを理解できる。 ・情報社会の安全を守るための、法規や制度および個人の責任について理解できる。	教科書・映像視聴	◎	○		
4月	理論編	1章 情報で問題を解決する	5 個人情報の流出		P14~P15	2	・個人情報とはどのようなものか理解できる。 ・SNSを通して個人情報が流出・特定される仕組みを理解できる。	教科書・映像視聴・放送視聴・報告課題	◎			
5月	理論編	1章 情報で問題を解決する	6 傷つかない傷つけないために		P16~P17	2	・ソーシャルエンジニアリングにより不正に情報が盗まれることを理解できる。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
5月	理論編 資料編	1章 情報で問題を解決する	7 著作権 いろいろな法律		P18~P19 P164	2	・著作権について理解できる。 ・引用の仕方を理解できる。	教科書・映像視聴・放送視聴・報告課題	◎			
5月	理論編	1章 情報で問題を解決する	8 情報技術の発展		P20~P21	2	・画像処理や電子商取引などの新しい情報技術について理解できる。	教科書・映像視聴・放送視聴	○			
5月	理論編	1章 情報で問題を解決する	9 情報化と私たちの生活の変化		P22~P23	2	・人工知能やロボットなどの情報技術と生活の変化を理解できる。 ・情報化による健康への影響などの問題について理解できる。	教科書・映像視聴・放送視聴・報告課題	○	○		
5月	理論編	1章 情報で問題を解決する	10 よりよい情報社会へ		P24~P25	2	・サイバー犯罪などの問題について理解できる。	教科書・映像視聴・報告課題	◎			
6月	理論編	2章 情報を伝える	11 コミュニケーション手段の変化		P34~P35	2	・メディアとコミュニケーションの変遷について理解できる。 メディアの特性について理解できる。	教科書・映像視聴	○		第2回 6月30日	
6月	理論編	2章 情報を伝える	12 ネットコミュニケーションの特徴		P36~P37	2	・近年のソーシャルメディアによる人のつながり理解できる。 ネットコミュニケーションの特徴である記録性や匿名性について理解できる。	教科書・映像視聴	○			
6月	理論編	2章 情報を伝える	13 デジタルの世界へ		P38~P39	1	・デジタルデータのメリットとデメリットを理解できる。	教科書・映像視聴・報告課題	○			
6月	理論編 実習編 資料編	2章 情報を伝える 5章 活動して提案する	14 数値と文字のデジタル表現 47 データの集積もり 2進法の計算		P40~P41 P124 P174	2	・2進法と情報の単位について理解できる。 ・2進法、10進法、16進法の仕組みが理解できる。 ・文字のデジタル表現について理解できる。	教科書・報告課題	○			
6月	理論編 資料編	2章 情報を伝える 5章 活動して提案する	15 音と画像のデジタル表現 ファイル形式の種類と特徴		P42~P43 P166	2	・音、画像、動画のデジタル化について理解できる。 ・デジタル化の標準化、量子化、符号化が理解できる。 ・画像や音声の圧縮形式を理解できる。	教科書・報告課題	○			
7月	理論編 資料編	2章 情報を伝える 5章 活動して提案する	16 色と動画のデジタル表現 色彩の基礎知識		P44~P45 P160	2	・光と色の三原色を理解できる。 ・動画の仕組みが理解できる。	教科書・報告課題	○			
7月	理論編	2章 情報を伝える	17 目的に応じたデジタル化		P46~P47	1	・デジタルデータとアナログデータを区別できる。 ・デジタル情報とアナログ情報のメリットとデメリットを考えることができる	教科書・映像視聴	○			

7月	理論編 実習編	2章 情報を伝える 5章 活動して提案する	18 情報デザイン 50 Webニュースページ		P48~P49 P128~P129 P167	2	・情報デザインの目的を理解できる。 ・抽象化、可視化、構造化の方法を理解できる。	教科書・報告課題	○			第3回 7月31日	
7月	理論編	2章 情報を伝える	19 ユニバーサルデザイン		P50~P51	2	・ユニバーサルデザインについて理解できる。 ・ユーザインタフェースとユーザエクスペリエンスを理解できる。 ・ユーザインタフェースの問題点を考えることができる。	教科書・報告課題	○				
7月	理論編 実習編	2章 情報を伝える 5章 活動して提案する	20 情報デザインの流れ 51 映像制作		P52~P53 P130	2	・情報デザインのプロセスを理解できる。 ・デザイン思考に基づいた分析を理解できる。 ・想定したユーザの考えや行動を分析できる。	教科書・報告課題	○				
8月	理論編	3章 コンピュータを活用する	21 コンピュータとは何か		P62~P63	2	・コンピュータの基本構成を理解できる。 ・基本ソフトウェアと応用ソフトウェアの役割を理解できる。 ・CPUでのプログラムの実行の仕組みを理解できる。	教科書・報告課題	◎				
8月	理論編	3章 コンピュータを活用する	22 ソフトウェアの仕組み		P64~P65	1	・プログラミング言語の種類を理解できる。	教科書・報告課題	◎				
8月	理論編	3章 コンピュータを活用する	23 演算の仕組みとコンピュータの限界		P66~P67	1	・コンピュータの演算の方法とその限界を理解できる。 ・AND, OR, NOT回路の仕組みを理解できる。	教科書・映像視聴 報告課題	◎			第4回 8月31日	
8月	理論編 実習編	3章 コンピュータを活用する 5章 活動して提案する	24 アルゴリズムの表現 54 プログラムで動きを再現		P68~P69 P136	2	・プログラムとアルゴリズムの関係を理解できる。 ・フローチャートでアルゴリズムを表現することができる。	教科書・映像視聴	◎				
8月	理論編	3章 コンピュータを活用する	25 プログラムの基本構造1		P70~P71	1	・プログラムを作ることができる。 ・プログラムを構成する変数を理解できる。	教科書・映像視聴	○				
9月	理論編	3章 コンピュータを活用する	26 プログラムの基本構造2		P72~P73	2	・分岐構造と反復構造を含んだプログラムを作ることができる。	教科書・映像視聴	◎				
9月	理論編	3章 コンピュータを活用する	27 発展的なプログラム1		P74~P75 P132	2	・制御構造を組み合わせてプログラムを作成できる。 ・配列とリストの意味と使い方を理解できる。	教科書・報告課題	○				
9月	理論編	3章 コンピュータを活用する	28 発展的なプログラム2		P76~P77	2	・関数の意味と利用方法を理解できる。	教科書・報告課題	○				
9月	理論編	3章 コンピュータを活用する	29 モデル化とシミュレーション		P78~P79	2	・物理モデル、図的モデル、数理モデルを理解できる。	教科書・映像視聴 報告課題	◎			第5回 9月30日	
9月	理論編	3章 コンピュータを活用する	30 シミュレーションの活用		P80~P81	2	・モデル化とシミュレーションにおける注意点を理解できる。	教科書・報告課題	◎				
9月	理論編	4章 データを活用する	31 ネットワークとインターネット		P90~P91	1	・インターネットとはどのようなものか、理解できる。 ・LANとWANの違いを理解できる。	教科書・報告課題	○				
9月	理論編 実習編	4章 データを活用する 5章 活動して提案する	32 インターネットの仕組み 57 パケット通信の体験		P92~P93 P140	1	・プロトコルと、その1つであるTCP/IPを理解できる。 ・ルータとハブの役割を理解できる。 ・IPアドレスの調べ方が身についている。	教科書・報告課題	○				
10月	理論編	4章 データを活用する	33 サーバとクライアント		P94~P95	2	・サーバとクライアントの役割を理解できる。 ・DNSの役割と動作の仕組みを理解できる。	教科書・映像視聴	○				
10月	理論編 資料編	4章 データを活用する	34 インターネット上のサービス 電子メールの基本		P95~P97 P159	2	・Webページを閲覧する仕組みを理解できる。 ・電子メールを送受信する仕組みを理解できる。	教科書・報告課題	○				
10月	理論編	4章 データを活用する	35 情報セキュリティ		P98~P99	2	・個人認証と暗号化について理解できる。 ・ファイアウォールについて理解できる。	教科書・報告課題	○				
10月	理論編	4章 データを活用する	36 データの形式		P100~P101	2	・質的データと量的データの違いを理解できる ・名義尺度、順序尺度、間隔尺度、比例尺度の違いを理解できる。 ・あるデータがどの尺度に当たるか判断できる。	教科書・報告課題	○			第6回・映像視聴報告 10月31日	
10月	理論編	4章 データを活用する	37 データベースの活用		P102~P103	1	・データベースの利点を理解できる。 ・銀行システム,POSシステムでのデータベースの利用方法を理解できる。	教科書・映像視聴	○				
10月	理論編	4章 データを活用する	38 さまざまなデータモデル		P104~P105	1	・データベース管理システムの必要性を理解できる。	教科書・報告課題	○				
10月	理論編 実習編	4章 データを活用する 5章 活動して提案する	39 データの分析の流れ 60 クラスの実態調査		P106~P107 P144~P145	2	・問題解決におけるデータ分析の位置づけを理解できる。	教科書・報告課題	○				

10月	理論編	4章 データを活用する	40 目的に合わせた データ活用		P108~P109	2	・データの代表値とグラフ化による分析方法を理解できる。	教科書・報告課題	○		
-----	-----	----------------	---------------------	--	-----------	---	-----------------------------	----------	---	--	--

計70単位時間

【学習上の注意】

教科書を参考にしながら、丁寧に課題へ取り組みましょう。

【映像視聴について】

指示された所定時間、所定回数以上を視聴・学習すること。

<https://ww3.tokyo-shoseki.co.jp/api/wizus/index.php?encode=off&id=r4ihx>



【学習評価】

*主に報告課題及び単位認定試験における観点別項目の総得点にて評価する。再試験の得点は本試験とは同等に扱わない。

評価観点	評価基準
知識・技能	効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身につけているとともに、情報社会と人との関わりについて理解している。
思考・判断・表現	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。
主体的に学習に取り組む態度	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

【単位修得認定基準】

- ①報告課題（レポート）：6回を締め切りまでに提出し、合格することが必要。
- ②面接指導（スクーリング）：実施校で行われる面接指導に2単位時間以上出席することが必要。出席認定基準については別記。
- ③単位認定試験の得点：単位認定試験で所定以上の得点を修めること。

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間学習単位時間	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
総合的な探究の時間	探究 1, 2, 3	通年	必履修	各1	35単位時間	1単位時間	FUTURE	授業者に準ずる	大塚健太郎

【教科学習を通じて、育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】

- 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解できる。
- 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。
- 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養うことができる。

【学習目標】

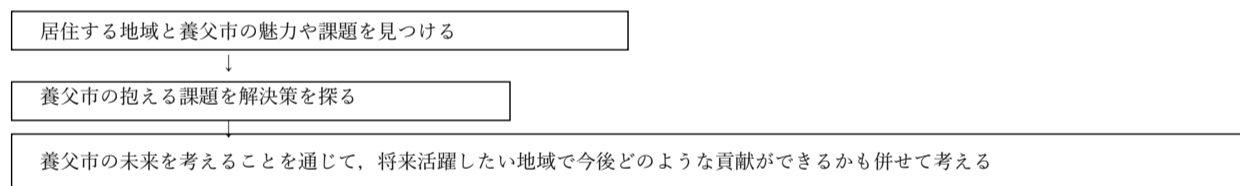
- 探究の見方・考え方を働かせ、養父市の魅力を発見し、課題を解決していこうとする探究的な学習を通して、自己の在り方生き方を考えながら、他者と協働し、主体的に課題を発見し、解決することができる。
- 地域や社会の魅力を発見していく探究の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を地域や社会と関わり合いから身に付け、キャリアを形成していく上で、探究し発表する力が重要であることを自覚できるようになる。
 - 地域や社会と自己との関わりから問いを見出し、その解決に向けて率先して行動できる力を身に付けるとともに、情報を集め、整理・分析して、論理的にまとめ、説得力のある提言を周囲に発表する力を身に付けている。
 - 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、自らの進路実現に生かすことができている。

【探求課題の解決を通して育みたい具体的な資質・能力】

〈知識・技能〉	①生徒自身が生活をしている地域には、見過ごされている魅力が多い。その魅力を様々な手段を使って自分の力で見つけることができる。 ②他者と協力し、情報を共有することで、他者の考えを理解するとともに、幅広い知識を得ることができる。 ③自分の生活している地域と面接指導を行う「養父市」の地域の魅力を比較し、共通点や違いを見つけ出す。 ④地域を「養父市」に絞り、地域の抱えた課題をフィールドワークなどを通じて見つけ出す。 ⑤自分で収集したものと、既存の資料を分析し、課題解決策を探り、提案する。 ⑥将来目指す自分の進路（職業）と地域との関連を探り「地域貢献」できるテーマについて、論理的に文章化する。
〈思考・判断・表現〉	I 課題の設定 ①複雑な問題状況の中から適切に課題を設定できる。 ②仮説を立て、検証方法を考え、計画を立案できる。 II 情報の収集 ①目的に応じて手段を選択し、情報を収集できる。 ②必要な情報を収集し、類別して蓄積できる。 III 整理・分析 ①収集した情報を、考えるための技法を用いて、比較したり、因果関係を推測したりして、整理、分析できる。 ②分析結果に基づき、自分の考えをもつことができる。
〈主体的に取り組む態度〉	I 自己理解 探究的な活動を通して自己を見つめ、将来を考え、自分の個性や特徴に向き合おうとしている。 II 他者理解 探究的な活動を通して、異なる多様な意見や他者の考えを受け入れ、尊重しようとしている。 III 主体性 自分の意思で真摯に課題に向き合い、解決に向けて探究的な活動に取り組もうとしている。

【学びの蓄積・発展】

年次に応じた自己実現のための探究活動の流れ



【年間学習計画】

月	探究1 課題	探究2 課題	探究3 課題	学習目安 単位時間	報告課題 締切期限
4月	大人気のピザを作ろう	おにぎりをバラバラにしよう	レジの前のチャンスは逃すな！	2	第1回 4月30日
4月	もし電気が使えなくなったら	動物園の宣伝ポスターを作ろう	新設するなら「〇〇レーン」	2	
4月	「探究」を体感してみよう	やりたい仕事の本質に迫ろう！	ファシリテーター・トレーニング	2	
5月	居住地の地域社会について調べる	居住地の地域社会について調べる	居住地の地域社会について調べる	3	
5月	居住地の地域社会の特徴といところを考え、まとめる	居住地の地域社会の特徴といところを考え、まとめる	居住地の地域社会の特徴といところを考え、まとめる	4	
6月	居住地の地域社会の課題を考え、まとめる	居住地の地域社会の課題を考え、まとめる	居住地の地域社会の課題を考え、まとめる	3	第2回 6月30日
6月	居住地の地域社会をより良いまちにするためのアイデアを考え、まとめる	居住地の地域社会をより良いまちにするためのアイデアを考え、まとめる	居住地の地域社会をより良いまちにするためのアイデアを考え、まとめる	4	
7月	養父市の地域社会について調べる	養父市の地域社会について調べる	養父市の地域社会について調べる	3	
9月	養父市の特徴といところを考え、まとめる	養父市の特徴といところを考え、まとめる	養父市の特徴といところを考え、まとめる	4	
10月	養父市の地域社会の課題を考え、まとめる	養父市の地域社会の課題を考え、まとめる	養父市の地域社会の課題を考え、まとめる	3	
10月	養父市をより良いまちにするためのアイデアを考え、まとめる	養父市をより良いまちにするためのアイデアを考え、まとめる	養父市をより良いまちにするためのアイデアを考え、まとめる	4	第3回 10月31日
10月	振り返り	振り返り	振り返り	1	

【学習方法】

- 面接指導（本校スクーリング）
- 報告課題（レポート）

【学習評価】

- 振り返りシートを利用し自己評価をするとともに、グループ内での相互評価なども行い多面的に評価する。
- ライフログを作成・活用しながら、ポートフォリオを作成し評価の充実を図る。
- 報告課題などの学習成果物の状況と、学習活動の過程とを合わせて総合的に評価する。

教科	科目	開講期間	履修	単位数	年間学習単位数時間	必要面接時数	使用教科用図書	副教材	担当者
学校設定	体験学習1・2・3	通年	学校設定必修	2	70単位数時間	2単位数時間	指定教科書なし	授業者に準ずる	藤井誉

【教科学習を通じて、育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】

- ・農業の発達に伴い、生まれた様々な農作物、工芸品、商品作物等生産活動やものづくりの体験活動を通して、それらが現在の私たちの生活や社会の変容に果たしてきた役割や意義について考察することができる。
- ・生産活動やものづくりなどの体験を通して、豊かな生活、社会の創造のため、人々が紡いできた工夫や知恵に気づき、今後の自分の生き方、在り方を考える指針を具体的な体験活動を根拠に表現することができる。
- ・主体的に他者と関わり、よりよい人生を歩むための学びにプラス思考で向かうことができる。

【学習目標】

〈知識・技能〉	学習の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、創作の意義や価値を理解できるようにする。
〈思考・判断・表現〉	実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立てて情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
〈主体的に取り組む態度〉	体験学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

【学びの蓄積・発展】

農林業にかかる地域の活動を以下の3分類とし、年次を積み重ねることにより、生産・消費から新たな商品価値創造までの流れを知る。

【体験学習3】

3年次：生活を豊かにするものづくり・活動（新たな商品価値）

【体験学習2】

2年次：生活を支えるものづくり（実用品・工芸品）

【体験学習1】

1年次：食料としてのものづくり（農業生産・消費）

【年間学習計画】 ○印=開講時期

科目	体験学習1	体験学習1	体験学習1	体験学習1	体験学習1	体験学習1	体験学習1	体験学習1	体験学習2	体験学習2	体験学習2	体験学習2	体験学習2	体験学習2	体験学習2	体験学習2	体験学習2	体験学習2	体験学習2	体験学習3	体験学習3	体験学習3	体験学習3	体験学習3	体験学習3	体験学習3	体験学習3	体験学習3	
学習分野	栽培・生産	栽培・生産	栽培・生産	栽培・生産	栽培・生産	栽培・生産	栽培・生産	栽培・生産	実用品・工芸品	実用品・工芸品	実用品・工芸品	実用品・工芸品	実用品・工芸品	実用品・工芸品	実用品・工芸品	実用品・工芸品	実用品・工芸品	実用品・工芸品	実用品・工芸品	商品価値	商品価値	商品価値	商品価値	商品価値	商品価値	商品価値	商品価値	商品価値	
講座内容	そば打ち	うどん打ち	味噌・蒟蒻づくり	大豆菓子	干芋づくり	和の心	パンづくり	農業体験	木工	切り絵	わら細工	皮細工	手芸	羊毛フェルトブローチ	スウェーデン刺繍	8の字風車作り	蘭クラフト			植物染色・折り染め	織り編みミサンガ	紙漉き	組み紐	著作	パターナイン作り	エコたわし作り	エコクラフト	笑い与健康	文芸入門
4月																				○	○	○	○	○	○	○	○	○	
5月																				○	○	○	○	○	○	○	○	○	
6月																				○	○	○	○	○	○	○	○	○	
7月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
9月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
10月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

【学習方法】

- ① 本校スクーリング
- ② 報告課題（レポート）
- ③ 事前学習
- ④ 事後学習

【学習評価】

評価観点	評価方法
知識・技能	できるようになったことを明確につかみ、自己の変容や成長を実感し、学習意欲の向上に結び付けることができているか自己評価と他者評価により客観的に相互評価を行う。
思考・判断・表現	生徒一人一人のよさや可能性、努力の様子などを踏まえて、製作物に寄せた生徒の興味・関心、目の付けどころ、発想や気付きなど、こだわりや学びの過程を評価する。
主体的に学習に取り組む態度	報告課題などの学習成果物の状況と、学習活動の過程とを合わせて総合的に評価する。

科目コード					第一学院高等学校 養父校				
教科	科目	開講期間	履修	単位数	必要活動単位数	必要実施校活動時数	使用教科用図書	副教材	担当者
特別活動	特別活動 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10	通年			30単位数	12単位数			大塚健太郎

【特別活動を通じて、育てたい生徒像（カリキュラムマネジメント）】

- 主体的に行動し、自らの役割と責任を果たすことができる生徒
学校行事やホームルーム活動、スクーリング等に主体的に参加し、自ら考え行動するとともに、集団の中で役割を理解し責任ある行動ができる生徒を育成する。
- 他者を尊重し協働できる生徒
多様な価値観をもつ他者を尊重し、互いに協力しながら課題解決に取り組むことができる生徒を育成する。
- 社会性と公共心をもって行動できる生徒
社会のルールやマナーを理解し、公共心をもって社会に参画しようとする態度を育成する。

【学習目標】

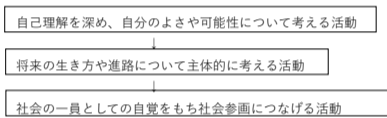
- よりよい学校生活や集団生活を築こうとする態度を育てる。
特別活動を通して望ましい人間関係を形成し、集団の一員としてよりよい学校生活を築こうとする自主的・実践的な態度を育てる。また自己の生き方についての考えを深め、社会の一員としての自覚を高める。
- 人間関係を形成し協働して課題を解決する力を育てる。
ホームルーム活動や学校行事、スクーリング等への参加を通して、他者と協力しながら課題を解決し、望ましい人間関係を形成する力を育成する。
- 自己理解を深め将来の生き方を考える力を育てる。
様々な体験活動や集団活動を通して自己理解を深め、自らの将来の生き方や社会との関わりについて主体的に考える力を育成する。

【特別活動を通じて育てたい具体的な資質・能力】

(知識・技能)	① 集団生活における基本的なルールやマナーに関する知識 学校生活や社会生活において必要となる規範意識やマナーについて理解する。 ② 他者と円滑に関わるためのコミュニケーションに関する知識・技能 挨拶や対話、意見交換などを通して、他者と適切に意思疎通を図る技能を身に付ける。 ③ 協働して活動を進めるための役割分担や合意形成に関する知識 集団活動における役割や責任を理解し、協力して活動を進める方法を理解する。 ④ 学校行事や集団活動に主体的に参加するための基本的な活動技能 行事の準備や運営、活動への参加を通して、主体的に行動するための技能を身に付ける。 ⑤ 社会生活に必要な基礎的な生活習慣や安全に関する知識 健康・安全に関する知識を理解し、安心して学校生活を送るための行動ができるようにする。 ⑥ 進路選択や社会参加に関する基礎的な知識 自己理解を深めるとともに、社会や職業に関する基礎的な知識を身に付ける。
(思考・判断・表現)	I 課題の設定 ① 学校生活や集団活動における課題を見いだす力をつける。活動の中で課題を見だし、解決方法を考え、仲間と話し合いながら自分の考えを表現できる力を育成する。 ② 自己や集団の状況を踏まえて課題を設定する力 自分自身や集団の状況を振り返り、よりよい活動や学校生活を表現するために必要な課題を主体的に設定する力を育成する。 II 情報の収集 ① 課題解決に必要な情報を収集する力 よりよい学校生活や集団活動の実現に向けて、課題の解決に必要な情報を収集し理解する力を育成する。 ② 他者の意見や多様な考えを理解する力 話し合いや意見交換等を通して、他者の意見や多様な考え方を理解し、活動に生かすことができる力を育成する。 III 整理・分析 ① 収集した情報や意見を整理し、課題との関連を考える力 課題解決に向けて収集した情報や他者の意見を整理し、それらを課題との関係から多面的に捉える力を育成する。 ② よりよい解決方法を比較・検討する力 整理した情報や意見を基に、よりよい学校生活や集団活動の実現に向けた解決方法を比較・検討する力を育成する。
(学びに向かう力、人間性等)	I 自己理解 自己のよさや可能性を理解し、自分の役割や在り方について考えようとする態度 特別活動への参加を通して、互いに自分のよさや可能性を理解するとともに、集団の中での自分の役割や望ましい在り方について主体的に考えようとする態度を育成する。 II 他者理解 他者のよさや個性を理解し、互いを尊重しながらよりよい人間関係を築こうとする態度 特別活動を通して、他者のよさや個性、多様な考え方を理解し、互いを尊重しながらよりよい人間関係を築こうとする態度を育成する。 III 主体性 よりよい学校生活や集団生活の実現に向けて主体的に取り組もうとする態度 特別活動において、自ら課題意識をもち、よりよい学校生活や集団生活の実現に向けて主体的に考え行動しようとする態度を育成する。

【学びの蓄積・発展】

年次に応じた自己実現のための活動の流れ



【年間学習計画】

学習 目安月	1年次	2年次	3年次	学習到達度目標	学習 目安 単位	学習 教材	メディア (映像視聴 学習)	本校スクー リング	報告 課題 締切	備考
4月	マイブラ（個別最適化学習）			自己のよさや可能性を見つめ、自分の関心に基づき活動を計画できる。	1		○			
4月		マイブラ（個別最適化学習）		直面した課題に主体的、実践的に取り組み、自分の考えを深められる。	1		○			
4月			マイブラ（個別最適化学習）	在り方生き方の自覚を深め、活動を自分の将来の選択につなげられる。	1		○			
4月	PBL×SEL			集団の一員として互いのよさを認め、協力して課題を見つけ出せる。	1		○			
4月		PBL×SEL		多様な他者と協働し、対話を通して納得解を作り上げることができる。	1		○			
4月			PBL×SEL	よりよい社会を築こうとする態度を持ち、集団の意思決定に参画できる。	1		○			
5月	デジタルシティズンシップ			デジタル機器のよさや可能性を理解し、自分の生活を律して活用できる。	1		○			
5月		プラスサイクル思考		リフレーミング（言い換え）などを通じて、ネガティブな状況から「プラスの側面」を見つけ出し、前向きな「次のステップ」を自分で決める。	1		○			
5月			デジタルシティズンシップ	よりよい社会を築くため、ICTを課題解決の手段として主体的に活用できる。	1		○			
5月	スクーリング学習			スクーリングの目的を理解し、多様な他者との関わりを意識して、自律的に学習や生活の計画を立てることができる。	1		○			
5月		デジタルシティズンシップ		多様な他者の権利や感情を尊重し、デジタル空間で適切に意思疎通できる。	1		○			視聴 報告 10 月 3 1日
5月			成長実感（自己理解・振り返り）	自己のよさや可能性を再確認し、活動を通じた自分の変化を自覚して、次への意欲を育てる。	1		○			
6月	成長実感（自己理解）			活動を通して『できるようになったこと』や『自分の変化』を見つけ、これからの自信につなげることができる。	1		○			
6月		建学の想い		学校の建学の想いを理解し、「学校・集団への帰属意識」をもつ。	1		○			
6月			進路実現【就職】	社会の一員としての自覚と責任を持ち、自らの能力を生かして職業生活を切り拓く意思を固める。	1		○			
6月	進路実現			自己のよさや可能性を見つめ、社会における様々な職業や生き方に関心を持つ。	1		○			
6月		進路実現		将来の在り方生き方を展望し、自らの適性に合った進路目標に向けた具体的な準備を計画する。	1		○			
6月			進路実現【進学】	将来の自己実現に向けて、進学先での学びを具体的に描き、主体的に学習を継続する意欲を持つ。	1		○			
9月	開校式（儀式）	開校式（儀式）	開校式（儀式）	スクーリングの目的を理解し、集団の一員としての自覚を持って、主体的に学習に取り組む決意ができる。	1	1	○			
9月	PBL×SEL	PBL×SEL	PBL×SEL	多様な他者の考えを尊重して聞き、互いのよさを認め合いながら、安心感を持って対話に参画できる。	1	1	○			
10月	PBL×SEL	PBL×SEL	PBL×SEL	集団の一員としての自覚を持ち、共通の課題解決に向けて、合意形成を図りながら主体的に活動できる。	1	1	○			
10月	閉校式（儀式）	閉校式（儀式）	閉校式（儀式）	活動を通じた自己の実績や成果を振り返り、感謝の心を持って、次なる学習への意欲を高めることができる。	1	1	○			

10 10 10

【活動方法】

- 実施校活動（本校スクーリング）
- 多様なメディアを利用した活動と報告（レポート）

【学習評価】

- 振り返りシートを利用し自己評価をするとともに、グループ内での相互評価なども行い多面的に評価する。
- ライブログを作成・活用しながら、ポートフォリオを作成し評価の充実を図る。
- 報告課題などの学習成果物の状況と、学習活動の過程とを合わせて総合的に評価する。